研究項目	進度	機關	擔當者
一般電氣回路に関する研究中周波數遞減裝置に付て 鉄心誘導体として二箇又は三箇の變壓器を用ひ其に蓄電器を組合せて特殊の電氣振動を發生せしめ之により單相交流電源より勢力を吸收し其の周波數の $\frac{1}{n}$ なる分數調波の單相又は三相交流に變換せしむる裝置を研究す	完	遞信電試	後藤以紀 森川宗一 竹内五一
一般電氣回路に関する研究中任意の始原條件を與へたるときの電氣回路の過渡現象を表はす公式に付て 任意の始原條件を與へたるときに電氣回路に發生する過渡現象の記號解法を研究し其の簡易なる解式を求め電氣回路の異常現象の研究に便ならしめたり	同	同	後藤以紀
超音波生成と其の金属に對する應用	未	日大工	淺川勇吉 藤井章
機械的濾波器の研究(昭10.5電氣學會雜誌) 傳送帶域の非常に狹き帶域濾波器を得るを以て其の素子として磁歪共振子を利用せる濾波器に付實驗す	研	京大工	加藤信義 井上勅夫 上山基明
電氣弧光の物理的並に光學的研究 各種電極の雰圍氣狀帶に於ける電氣弧光殊に熔接弧光に對する物理的並に光學的研究を行ふ	同	同	松田長三郎
電氣樂器の製作 音樂的の機械振動を電氣的に變化又は合成せしめてなる一種の有鍵樂器にして試作を了し本年中には第一次本製作完結の豫定なり	同	日本樂器	山下精一 加瀬甲子三
各波長に對する肉眼の感度並に認識せらるべき各感相異に對する最小波長變化に付て 生理光學の異色測光等の研究に於ける基本的一事項にして筆者の肉眼に付き Helmholz の Farbmischapparat を用ひて測定せるものなり	完	京大工	松田長三郎
電氣集塵裝置の研究	研	日立製作(龜戸)	和田清脩
炭素不純物除去法の研究 電極用其の他に有害なる不純物除去の研究	同	東京工大	加藤與五郎 舟木好右衛門
金属薄膜の研究(昭9.6電氣學會雜誌) 金属薄膜の電導機構に付理論的並に實驗的に研究す	完	同	福田勝 齋藤幸男
超短波に依る繭の處理(殺蛹並に煮繭) 超短波電波により繭の殺蛹並に蛹内の寄生うじの死滅作用其他の研究	研	同	山本勇 細野久雄
眞空管に依る自勵式發電機電壓自動調整裝置に於ける起動方法に付て(昭10 8 明電舍ジャーナル)	同	同	山本勇 小野常道
同期裝置に関する研究(技術調査及研究報告第31號) ベアードテレバイザー同期裝置の改良	完	放送協會	中西金吾 小川正太郎
同期動機構の研究	研	北辰電機	高橋丈夫

研究項目	進度	機關	擔當者
アルミニウム酸化皮膜と一試驗法(電氣化學第3卷第6號) 種々の條件下に於ける電解酸化皮膜の反射光量を測定せり	完	早大理工	富井六造 宮川保一郎
同調直線輻射体附近の Retarded Potential 分布に付て 同調アンテナ附近の電位分布を等電位線と等相線と二つの線族にて表示せしものなり	同	同	岩片秀雄
陽極酸化の研究 過硼酸塩の電解生成の機構に付て	研	德島高工	松田亮一
電鑄法並に各種鍍金の試驗 不導体に對する鍍金及金属に對する鍍金の研究	完	山形工試	須貝庚子雄
同期眼鏡に付て(昭10.5電氣學會雜誌) 電氣的計電動機を應用せる直視ストロボスコープなり	同	東京工大	尾本義一 佐藤晋 外一名

第四類

土木·建築業

1 土　　木

（材料、構造强弱、河川土質、堰堤、橋梁、道路）

研究項目	進度	機關	擔當者
砂の含水量が内部摩擦角及粘着力に及ぼす影響の研究 濕砂の剪斷試驗により含水量が其の内部摩擦角及粘着力に及ぼす影響の試驗を行はんとするものなり	研	内務土試(赤羽)	松尾春雄
セメント、ペースト凝結中に於ける温度傳導度の變化に関する研究 セメントの凝結經過中に於ては發熱量と関聯し温度傳導度の變化を明にせんとするものにして時間的関係を研究せんとするものなり	未	内務土試	島田八郎
膠接材料に関する研究（同所工業部報告第132號、同彙報第10號） (1) 臺灣に於て製造せらるゝセメント及本島に移入せらるゝセメントの引張力並に耐壓力に付て (2) 金瓜石鑛山に於ける土木建築用骨材の試驗成績	完	臺灣中研(工業)	服部武彦 藤澤國太郎 外二名
膠接材料に関する研究 (1) 膠接材料の摩耗に関する試驗 (2) 混合セメントに関する研究 (3) セメントの補强劑に関する研究 (4) 工事用骨材の品質に関する研究 (5) 軟練セメントモルタルの强度試驗	研	同	同
セメント混和材に付て	未	京大工	近藤泰夫
北海道各地のコンクリート用骨材の調査研究 道内各地特に函館地方産の砂利及砂を調査し此等を骨材とするコンクリートに於て如何なる材料配合が最强力且最經濟的となり得るかを調査す	研	淺野セメント(北海道)	林部庚次 堤信夫
土木用石材に関する研究 前年に引續き本邦産土木用石材の物理性質を試驗し之が用途を攻究すると共に資源的見地に於て之を分類せんとするものなり	同	内務土試	高田昭
臺灣産石材及碎石並に道路材料の試驗	同	臺灣中研(工業)	服部武彦 藤澤國太郎 清水正清
脆性物質の靜的動的破壞力に對する抵抗力の研究 脆性物質が種々の荷重の下に破壞する場合の現象を彈性的考察の下に研究せんとするものなり	同	内務土試	島田八郎
コンクリート材料分離程度の表現法に関する研究 施行法の如何に拘らずコンクリートの水量增加するときは材料の分離を來たすが故に其の分離の程度を表現する方法を求めんとす	同	鐵道研	山本信行
市販セメント防水劑の比較試驗 防水を必要とするコンクリート構造物多く其の防水劑の選擇に便ならしむる爲一定の試驗項目に付比較試驗をせんとす	同	同	大澤禎郎

研究項目	進度	機關	擔當者
骨材の最小空隙粒度曲線に付て 粒子の形狀を異にする骨材に付て裝入の仕事量を一定せる場合に空隙率の最小なる粒度を決定し以て骨材を主体とする混合物配合の標準を決定する方法に関する研究	研	内務土試	藤井眞透
粗骨材としてバンチスクラッブを使用したる重量コンクリートの配合と比重に関する試驗 開閉橋に設置すべきカウンターウェート用として重量コンクリートの比重を試驗決定したり	完	東京市土試	澄川義夫
エックス線による土木材料の研究 エックス線による土木材料を量的科學的に研究せんとするものなり	未	内務土試	島田八郎
製塩事業向セメントに関する試驗 セメント築造物の製塩利用の價値に関し調査するものにしてポルトランドセメント及高炉セメントを使用し結晶槽を築造し耐久力を調査するものとす	完	專賣三田尻試	貞永祥男
セメント並にコンクリート發熱狀況に付て 溶解熱を熱量計並にコンクリート熱量計により測定	研	淺野セメント	淺岡勝彦 大岡輝雄
現場コンクリートに関する研究 工事現場より採取せる供試体に付て主として抗壓强度試驗を行ひ現場施工のコンクリートの品質の概要を知ると共に同一仕様によりて作製せる試驗室供試体と比較研究をせんとするものなり	同	内務土試	大野博
コンクリートの抗壓强度と彈性係數との関係に関する實驗的研究 コンクリート抗壓强度試驗に際し其の變形を測定し强度と彈性係數との関係を實驗的に求めんとするものなり	同	同	同
混和劑を混入せるポルトランドセメントコンクリートに関する試驗 市販數種のセメント混和劑のコンクリートの性質に及ぼす影響に関する比較研究	同	同	同
高炉セメント及鑛滓バラスの性質に付て（研究報告第14卷第1號） 高炉セメントとポルトランドセメントの比較、セメントコンクリートの性質に付て、鑛滓バラスの配合による性質變化、鑛滓バラスの物理的性質に付て	完	日鐵(八幡)	谷宗雄
高炉セメントコンクリートの諸性質に付て 八幡製鉄所に納入されつゝある砂をコンクリートに用ひし際强度により砂の優劣を判斯せんとす	研	同	同
高石灰型セメントを使用せるコンクリートに對する水の滲透作用及海水の侵蝕作用の有無に付て ベロセメントの如き高石灰型セメント使用コンクリートの水の滲透作用及海水の侵蝕作用に對する抵抗性と水和作用に依りて生じたる水酸化石灰との関係を研究す	未	淺野セメント (北海道)	林部庚次 堤信夫

研究項目	進度	機關	擔當者
コンクリートブロック耐鹹及耐寒持久試驗（第1報）（同場試驗報告第4號） 各種セメント及增容材を使用し種々の混合割合にブロックを作成し塩田畦畔用として耐鹹耐寒試驗をなす	完	關東鹽試	松田信吉
コンクリートの透水性及溶解物質に関する研究	研	鐵道研	山本信行
寒中コンクリート施工方法の研究（同所報告第152號） 1年間の3分の1以上を冬期とする滿洲としては構造物の施行期間延長の上より少くも寒中工事施工法に對しては充分なる研究を完成し置かざるべからざるは明瞭なり此の点に立脚して (1)低溫時に於けるコンクリート凝結硬化現象 (2)材料の貯藏及加熱 (3)塡充コンクリートの防寒保溫被覆並に給熱 (4) 寒中コンクリート打後の注意等に付試驗を行ひたり	完	滿鐵沙河口研	布施忠司
嚴寒時コンクリート施工法の研究 低溫時のコンクリート施工に對し各種セメントコンクリートの發熱量傳熱係數凍害狀態並に各種防凍劑使用のコンクリートの研究を行ふものなり	研	同	布施忠司 外一名
寒中コンクリート施工に付て	未	京大工	近藤泰夫
コンクリートの施工法の共の組織及性質に及ぼす效果に関する研究 施行法の如何に拘らずコンクリートの强度は或變數の函數として表はされ從來の水セメント比に依らざることを明にせり	完	鐵道研	山本信行
夏期に於けるコンクリート施工の實驗的研究	研	熊本高工	吉田彌七
コンクリート混合法の共の抗壓强度及ウオーカビリチーに関する影響の實驗的研究	同	同	同
コンクリート養生法の相違と强度との関係 コンクリートの空中水中炭酸ガス中等に於ける長期に亘る强度の變化の模樣を高炉セメントとポルトランドセメントと比較せんとす	同	日鐵(八幡)	谷宗雄
鉄筋コンクリートの腐蝕試驗 鉄筋を埋めたるコンクリート供試体を空中水中炭酸ガス中に保存し鉄筋の錆を生ずるまでの期間を吟味せんとす	同	同	同
コンクリート引張試驗及コンクリート壓縮引張繰返し試驗	同	日大工	河野輝夫
コンクリートと鉄筋との附着力試驗	同	同	同
セメント小型コンクリートに依る應壓强度試驗（一部完了）（昭9.工業化學雜誌第439號）	同	磐城セメント	眞田義彰
木材の含水率に付て（昭10.建築雜誌）	完	東大工	森徹
木材の含水率測定に付ての研究 木材含水率を電氣的に測定せんとす	研	鐵道研	中村忠雄
各種材料の耐油性に付て	完	東京イー・シー	齋藤正平

研究項目	進度	機關	擔當者
砂中に於ける杭の耐力の研究 實驗に依り單一摩擦杭の耐力を研究し(模型)更に杭群の耐力を研究して前者と比較す(模型)	研	東大工	井坂富士雄
枕木防腐に関する研究 滿鉄線に於て現在使用中の注藥枕木にはクレオソート油の浸潤度極めて區々なるもの多く中には殆ど防腐效力を認め得ざるものあり防腐劑の種類と其の效力判定松材に對する防腐方法の研究、注藥前の豫備處理の研究を行ふものなり	同	滿鐵沙河口研	沓掛重義
枕木の防腐劑注入方法に付て(業務研究資料第22卷第39號) 氣乾枕木に對し材の狀態、前排氣、加壓、後排氣、溫度等の諸條件が防腐效果に及ぼす影響を試驗し注入方法の各操作を考案せり	完	鐵道研	田村隆
波蘭國に於ける鉄道枕木の腐朽菌に付て(日本植物病理學會報第4卷1,2號) 波蘭國にて此の研究の行はれ居ること及菌の種類が我國のものと頗るよく類似せることに付て	同	同	笠井幹夫
Rudge 氏の木材腐朽に関する異說(日本植物病理學會報第4卷第3,4號) R氏は從來の說に一變し木材の腐朽はカルシウム蓄積によると云ふ異說をなしたるに對し之に批判を加へたり	同	同	同
平版基礎の下に於ける砂中の應力分布の研究 平版基礎に依て荷重を加へた時生ずる砂粒の移動から應力度を決定す	研	東大工	井坂富士雄
地震時に於ける構造物と基礎地盤との連結に関する模型實驗 基礎地盤の沈下其の他の變形は構造物の基礎の形狀負荷重等に依りて一定せざるものにして此等の関係を諸種の地盤に付て研究し最效果的且經濟的の基礎工法を求めんとす	同	內務土試	松村孫治
鉄筋コンクリート螺旋筋長柱の理論的及實驗的研究	完	熊本高工	吉田彌七
鉄筋コンクリート版を有する鋼桁に関する實驗 コンクリート版による鋼桁の剛性の變化を測定す	研	內務土試	青木楠男
熔接部のガス切斷による削稜が其の强度に及ぼす影響 母材の端部をガス切斷せるまゝにて熔接することが其の强度に及ぼす影響を各種形式の熔接に對して求めたるものなり	完	同	同
熔接せる鉄筋を用ひたる鉄筋コンクリート桁の强度試驗 鉄筋コンクリート構造物に於て鉄筋を熔接して使用せる場合に於ける特性を研究せんとす	未	同	同
鉄筋コンクリートの附着力に関する試驗 混和劑を混和し、混和せざるコンクリート中に埋めたる鉄筋の引拔試驗により附着力の試驗を行はんとするものなり	同	同	大野博

研究項目	進度	機關	擔當者
鉄筋コンクリート構造に於ける鉸に関する實驗的研究 鉄筋コンクリート構造物に於て用ひらるゝ鉸の强度並に其の作用に付ての實驗的研究を行はんとす	未	內務土試	大野博
コンクリート構造物に及ぼす擊衝の研究	研	鐵道研	內山實雄 唐津秀雄
木造の柱と梁の仕口の水平力による耐力の研究(主として通柱)	同	日大工	河野輝夫
降伏点を超えたる梁の彎曲に付て	同	同	藤田驗 外四名
鐘口狀河口附近に於ける水流に付て(洪水波の問題を含む)(同所報告30號) 鐘口狀河口に於ける水流、洪水波等の性質を理論的實驗的に研究す	完	內務土試(赤羽)	本間仁
水路の粗度決定法 跳水現象を利用して水路材料の粗度を決定せんとす	研	同	同
各種溝渠整理法比較試驗(昭9.塩業試驗成績報告書) 塩田溝渠の整理に関する各種比較試驗	完	德島工試	平岡勇三
開渠に於ける流量測定に付て	未	熊本高工	北澤貞吉
コンクリート樋却しに付て コンクリート配合及水量と樋勾配との正しき関係を定めんとす	研	京大工	近藤泰夫
河床の洗掘に関する研究 河床の洗掘に関する理論並に實驗的研究をなし且河川內の各種構造物特に橋脚並に堰堤が洗掘に及ぼす影響に付て研究せんとす	同	同	平野正雄 石原藤次郎
主要港灣に於ける津浪の被害防止又は輕減方法に関する研究 主として大阪を對象とする津浪災害の防止方法殊に防波堤の配量及其の構造等に関し研究せんとす	同	內務土試(赤羽)	松尾春雄
防波堤等に作用する力に関する研究 津浪の如き長き波の海岸に於ける勢力を減殺する爲に設くる防浪堤等の設計に對する一資料たらしむる爲に模型試驗を行はんとす	同	同	同
直流防波堤の根固めコンクリート方塊が防波堤の安定度に及ぼす影響に関する研究 特に防波堤に作用する波力が根固め方塊により如何に影響さるゝかを研究せんとす	同	同	同
浦戸港口の潮流に関する實驗的研究 高知縣浦戸港口の潮流と防波堤の形狀との関係を模型試驗によりて明ならしめんとす	同	同	本間仁

研究項目	進度	機關	擔當者
土砂の安定强度試驗（同所報告31號） 土と砂との各種の配合、含水率當初壓力等による支持力の變化を明にせり	完	內務土試	山田元
土質組成分と其の力學的並に物理的性質との相関々係の研究 土の力學的性質(剪斬强度、耐壓强度、彈性率)及物理的性質(透水度、緊硬度)は土の組成分並に其の組織構造と密接なる関係あるを以て全國建設並に改良工事或は保線作業に於ける現場より採取せる數多の土質組成分を機械的分析裝置により分析し土質の種別を分類し或は自然狀態の土質標本より作製せる薄片を岩石學的方法に依り其の組成分の岩石並に鑛物を決定し或は其の組織構造を觀察し一方前記土質剪斬抵抗試驗機の他に土質の壓縮試驗機透水度測定機緊硬度測定裝置等を用ひ夫々其の數値を決定し組成分との微妙なる関係を求め土工、隧道基礎工事に関する根本概念を指示せん事を目的とし目下全般に亘り一齊に試驗繼續中なり	研	鐵道研	沼田政矩 渡邊貫 窪田吾郎
電氣的地質調査の研究 橋脚又は鉄道線路の建設に際し必要なる地質の狀態を電氣的に調査する方法に對する研究	同	同	服部定一 荻村龍城
基礎工事に関する研究 特殊の土質標本採取器(二重管式錐心管——內徑10mm)を試錐機に取付け地下深所(50m位)の土質を自然狀態の儘採取し此の目的の爲に製作せる豆形土質剪斬抵抗試驗機を用ひ土の摩擦角及凝集力を測定し基礎地盤の支持力を決定し或は土質壓密透水度試驗機を用ひて土の壓縮度を測定し建造物の荷重に依る地盤の沈下率又は沈下量を推定せん事を目的とし全國鉄道建設並改良工事或は保線作業に付て研究中なり	同	同	沼田政矩 渡邊貫 窪田吾郎
基礎地盤の物理的性質に関する研究 前年に引續き土壤其の他の軟地盤地層を構造物の基礎其の他土木工事を對象として使用する場合に必要なる物理的諸性質を研究せんとす	同	內務土試	高田昭
地盤探査法に関する研究 地中に於て火藥を爆發し或は單に高所より重錘を落下せしめ人工的に地盤を震動せしめ其の地震波の傳播速度を地震計に依り記錄する方法即ち彈性波式地下探査法に依り地下構造特に支持力ある基礎地盤の深さを求むる方法を研究し或は特殊の地盤震動裝置に依り各種地盤の固有震動を決定し前記彈性波式地下探査法の資料とするの他震動と土質の壓縮との関係を求め建造物の設置に依る地盤の沈下率及沈下量を推定するの資料となさんとし目下繼續研究中なり	同	鐵道研	沼田政矩 渡邊貫 窪田吾郎
地盤內の壓力分布に関する研究 光彈性實驗裝置を用ひ彈性理論の立場より諸種の建造物に依る壓力分布の狀態を研究せんとす	同	同	同
隧道工事に関する研究 地壓の隧道覆工に及ぼす影響特に軟弱粘土質地盤の膨脹作用其の他の原因に因る地壓を鉄道省內土質調査委員會にて考案せる地壓測定機により實測し隧道の断面設計並に施工法經濟化を圖るを目的とし目下國鉄大糸線大野隧道及伊東線宇佐美隧道に於て試驗繼續中なり	同	同	同

研究項目	進度	機關	擔當者
土工に関する研究 鉄道建設並に改良工事或は保線作業に於ける土工材料たる土質の試驗特に剪斬强度測定の爲（土の摩擦角並に凝集力）鐵道省內土質調査委員會にて考案せる土質剪斬强度測定機を以て測定し最經濟的なる切取並に築堤の高さ及勾配を決定すべき建築定規を作製中なり	研	鐵道研	沼田政矩 渡邊貫 窪田吾郎
堰堤基礎地盤に於ける漏水に関する研究 堰堤基礎地盤に於ける漏水は堰堤の安定に重大なる関係を有するを以て之が物理的法則並に防止方法を研究せんとす	同	內務土試	高田昭
コンクリート堰堤の漏水中の水素イオン濃度に関する研究 コンクリート堰堤內の漏水がセメントの石灰分を溶解して次第に之を類化せしむる過程を廣島縣王泊堰堤に付て調査し其の結果を實驗室に於ける研究と對比せしめたり	完	同	同
土堰堤材料の物理的性質に関する研究 土堰堤築造用材料は從來經驗に從ひて選定するに過ぎざるを以て之が物理的性質の研究によりて工事施行上の基標を設けんとす	研	同	同
土堰堤体內の滲透水に関する研究 土堰堤体內を滲透する水の理論を模型實驗によりて研究せんとす	同	同	同
人工振動による堰堤基礎岩盤の調査並に土堰堤の彈性係數の測定 電氣地震計を用ひて堰堤基礎岩盤の狀態を短時日內に調査する方法並に同樣の方法によりて土堰堤の彈性係數を測定し其の耐震構造研究の資料を得んとす	同	同	同
溢流堤下遊の洗掘防止に関する試驗研究（同所報告30號） 溢流堤下遊の洗掘防止の爲各種構造物の機能を實驗的に比較研究せり	完	同（赤羽）	本間仁
擁壁裏込の土壓輕減の效果に関する試驗 大規模な擁壁に作用する土壓力を輕減する目的を以て壁に接する部分に良質の裏込を置く場合之を如何に配置すれば經濟的なるかを模型試驗により研究せり	同	同	松尾春雄
矢板擁壁の控版に作用する力に関する試驗（同所報告29號） 控版の位置が擁壁に接近してある場合に於ける控版が支へ得る力を極めて簡單に算出し得る事を試驗に依り立證し又控版が長さの方向に於て間隙を有する場合間隙部が版の支持力に及ぼす影響に付ての試驗研究	同	同	同
鋼矢板含銅量試驗 諸種土木工事に使用せる鋼矢板の含銅量を試驗し其の成績を一括表示せり	同	內務土試	西川榮三
熔接橋梁支受の應力分布 瑞穗橋に使用せる熔接支受に付應力の測定をなしたるものなり	同	同	青木楠男

研究項目	進度	機關	擔當者
熔接トラスに於ける副應力の研究 トラス橋へ熔接を應用する場合從來の細部構造にては副應力の増加著しかるべしと考へられるが故に之が輕減の方法を研究せんとす	未	内務土試	青木楠男
連續拱橋の近似解法研究	研	九大工	三瀬幸三郎
彈性下部構造を有する連續拱橋の解法研究（同學紀要第7冊第5號） 數徑間連續せる鉄筋コンクリート拱橋の如きものを一彈性体として解く方法を示せるものにして先づ提案の九變位の定理を用ひて橋脚頭の彈性變位の一般解を求め次に各拱助及橋脚の應力を定むるものなり尚この正確なる解法の外に計算を簡便ならしむる爲近似解法として六變位の定理を擧げそれ等の應用を示せり	完	同	同
鉄筋コンクリート無鉸拱の經濟的並に耐震的設計に関する研究 土木試驗所報告28號に發表せるものに續き橋に直角の方向に作用する水平力に對する拱の設計法に関する研究	未	内務土試	大野博
鋼道路橋の經濟的構造（一部完了）（同所報告30號） 支間10, 12, 14,16, 18, 20, 22, 25, 30米の九種の標準設計案、鈑桁橋の部完了す	研	同	青木楠男
鋼道路橋の經濟的構造 ヂルバー型鉸桁に付研究	同	同	同
本邦道路橋の鋼重に付て 昭和三年以降架設の本邦道路橋各種形式のものに對する鋼重コンクリート量等を支間の函數として示す公式を求めたるものなり	完	同	同
道路橋の振動並に應力の測定 道路橋の振動並に應力を測定する事に依りて此等の特性を檢し其の維持狀態判斷の資料となさんとす	研	同	同
本邦道路橋輯覽 同輯覽第3輯として昭和三年以降完成の本邦主要街路國府縣道橋約150種に付構造工費、工法を明にせる統計なり	完	同	同
國府縣道及大都市街路の路床土壤の物理的性質に関する研究 簡易鋪裝の成果は其の路床土質に影響さるゝこと甚大なるを以て既設鋪裝の結果の良否と土質との関係を對稱として其の改良法を攻究せんとす	研	同	高田昭
基礎版の基本的研究（同所報告30號） 道路の鋪裝版、閘門の基礎版に作用する地盤反力に関する研究	完	同	松村孫治
地盤上にある彈性版の應力解析 鉄道の道床、道路鋪裝、其の他地盤上に横たはる版を理論的に解析し費用が許せば之に関する實驗をなす	未	神戸高工	江藤禮

研究項目	進度	機關	擔當者
砂利路面の構造 砂利路面工の配合、含水率と其の耐壓力との関係を實驗的に明にせるもなり	完	内務土試	山田元
砂利路面の構造 砂利路面の各種の配合、含水率と其の耐力との関係を實驗的に研究せんとす	研	同	同
埋設管用被覆材料の研究 35度ブローンアスファルト（蠟樣物質の析出なきもの）は耐水性にして附着力に富み臭氣及味の水に移る事なし操作中溫度に對する影響少くジョンスマンビルアスファルトに比して低廉且操作容易なり	完	日本鋼管（神奈川）	松下義久 石川誠一
コンクリート鋪裝の早期開放の比較研究 使用セメントを異にするコンクリート鋪裝の最適當なる養生期間を選定し又早期開放をなす爲に如何なる構法を如何なるセメントにて施行すべきやを研究す	研	京大工	近藤泰夫
コンクリート鋪裝に関する研究（一部完了） 基層及上層コンクリートの力學的性質に関する試驗	同	内務土試	藤井眞透
コンクリート鋪裝に関する研究 鋪裝コンクリートの可塑性狀態より剛性となる迄の力學的性質とコンクリートに及ぼす象氣作用の影響並に其の影響を輕減すべき工法に関して試驗し鋪裝の基層及表層コンクリートの合理的設計並に施工を研究せんとす	同	同	同
セメントコンクリート道路表面處理工法の研究 鋪裝後の當該道路面に耐久性を附與せしむる爲の試驗	同	東京市土試	渡邊米一
東京市に於ける各種鋪裝路面下の地中溫度測定（同所研究報告第4卷第2號） 市街の路面下に地中電纜を敷設する場合にはその地中溫度が如何に變化し行くやを知ること最肝要なり現在東京市内に實施せる五種の鋪裝路面下に付て深さ地表以下2.15m迄の間に於て8地点の地中溫度の變化を三時間毎に滿一年間に亘り實測せり	完	東京市電研	沼倉秀穗 宮村慶次
簡易瀝青乳劑鋪裝直下路盤含水量の季節的變化に付て 實施道路路盤の含水量を季節別に測定し鋪裝工法改良の參考たらしむるものとす	同	東京市土試	星野市郎
簡易瀝青乳劑鋪裝の衝擊抵抗に付て 嚴寒時に於ける實地鋪裝道路の衝擊抵抗を經年的に試驗し路盤狀態鋪裝工法と衝擊抵抗との関係を試驗するものとす	研	同	同
瀝青鋪裝路面の磨耗と骨材の强度との関係に付て 强度を異にする碎石を使用したる瀝青鋪裝路面の磨耗量を比較し路面の磨耗と骨材强度との関係を明ならしむるものとす	未	同	同
鉄輪交通を主とする瀝青鋪裝の研究 歐米各國の自動車交通を主とする瀝青鋪裝混合材の安定度試驗に對し鉄輪交通を主とする混合材の性質を研究し其の材質及配合を決定せんとす	研	内務土試	藤井眞透

研究項目	進度	機關	擔當者
アスファルト鋪裝路面より截取せる鋪裝体のアスファルト抽出方法に関する研究 二硫化炭素に依りアスファルトを抽出したる後アスファルトの變質を來さずして溶劑を除去する方法の研究	完	東京市土試	吉田辰雄
アスファルト鋪裝路面塗布用コールタールの硬化速度の研究 アスファルト路面に塗布するコールタールが其の化學的成分を異にすれば從て硬化速度も著しく異る点を明にしたり	同	同	同
交通に依り平滑となりし既設アスファルト鋪道の滑止方法に付て 交通に依り平滑となりたる既設アスファルト鋪道を鋪設裝することなく滑止をなす方法の研究	同	同	同
老化せる既設アスファルト鋪道を若返らしむる方法に付て 老化せる既設アスファルト鋪道面に鑛油動植物油を塗布浸透せしめ路面を軟化せしむる方法の研究	研	同	同
瀝青被覆碎石の衝擊破碎に付て 碎石を瀝青を以て被覆したるものに付上記の試驗を行ひたるに瀝青の爲破碎率が著しく減少することを確めたり	完	同	澄川義夫
粒徑を異にする碎石の衝擊破碎率に付て 粒徑別に碎石の衝擊破碎率を試驗し碎石の使用狀況に即して其の强度を測定したり	同	同	星野市郎
道路用碎石の粒度と破碎性との関係に付て 粒度と破碎率との関係を試驗し破碎率最小なる碎石粒度を決定し耐久力大なる道路築造用の碎石の粒度に関する參考たらしめたり	同	同	同
碎石の形狀と破碎率との関係に付て 破碎率は多面体形のもの最小にして立方体形角錐体形之に次ぎ扁平体形最大なることを確めたり	同	同	澄川義夫
形狀を異にする碎石の衝擊破碎試驗 碎石の形狀と衝擊破碎率との関係を試驗し碎石使用上の參考たらしめんとす	研	同	星野市郎
碎石の破碎面の粗荒性を表示する粗荒性指數の測定法及粗荒性と瀝青結合劑の附着性との関係に付て 粗荒性を試驗し之と瀝青結合劑の附着性との関係を試驗し碎石使用上の參考たらしむるものとす	未	同	同
吸水による强度低下より見たる碎石品質の判定法に関する試驗 吸水と强度との関係を各種碎石に付碎石品質判定上考慮すべき吸水試驗の重要性を確めんとす	同	同	同
粒形を異にする碎石の瀝青乳劑附着量に付て 瀝青乳劑附着量は多面体形のもの最小にして立方体形角錐体形之に次ぎ扁平体形のもの最大なることを確め之に依り瀝青乳劑鋪裝の瀝青乳劑設計量決定の參考たらしめたり	完	同	澄川義夫

研究項目	進度	機關	擔當者
平炉鑛滓火山礫等特殊骨材の鋪裝用材料としての效果に付て 特殊骨材に付工學的性質を試驗し其の長所を活用することを主眼とし其利用方法を研究したり	完	東京市土試	星野市郎
安山岩の人工破碎に依る配合砂のアスファルト針入度別衝擊試驗 原石破碎に依る砂を配合したる場合と普通砂との場合に於ける針入度別アスファルト混合物の衝擊比較	同	同	羅永操
道路用骨材の性質に及ぼす粒子形狀の影響に付て（同所報告27號） 粗骨材及細骨材の工學的性質に及ぼす影響の試驗を行ひ骨材選定の基準を求め此等の形狀に對應する鋪裝工法を研究したるものなり	同	内務土試	藤井眞透
滿洲に適する鋪裝材料及施工法の研究 當所にて研究製造したるピッチ類を原料とするピッチ乳劑を使用して滿洲に適したる鋪裝法を行はんとするものなりこが爲乳化劑の研究、各種ピッチの溫度變化による物理的性質の研究、ピッチ風化試驗等行ふものなり	研	滿鐵沙河口研	前田稔外二名
道路掘鑿に依りて生ずる衣土を骨材とする乳劑鋪裝工法の研究 新規に鋪裝を施行することなく砂利道其の儘の路表面を防水的に改良する簡易鋪裝工法の研究	同	東京市土試	渡邊米一
瀝青マカダム鋪裝の研究（同所報告27號） 實際の車輪と其の作用を同ふする試驗機械を用ひ構造、工法、耐力等を明ならしめたり	完	内務土試	山田元
瀝青マカダム鋪裝の比較研究 實際の車輪と其の作用を同ふする試驗機械を用ひ構造、工法耐力等を明にせんとするものなり	研	同	同
鋪裝用瀝青乳劑の性狀に関する基本的研究（同所報告29, 30號） 瀝青乳劑の力學的特殊性の一として毛細管法による粘性係數を速度傾度の函數として研究しエングラー度の意義をも明にし又乳劑の粘性係數は測定方法により非常に異なるが故に其の特性を明にせんとし測定容器内の速度傾度と粘性係數の関係理論式を詳細に研究す	完	同	島田八郎
鋪裝用瀝青乳劑の分解の遲速を測定する方法に関する研究（同所報告29號） 瀝青乳劑の乳化狀態と其の過程に付て研究し次で國産市販瀝青乳劑に付て分解試驗を爲し其の方法と結果とを比較して工事實施上の分解過程に付て考察す	同	同	福島朔六
鋪裝用瀝青乳劑の組織に對する理論的並に實驗的研究 瀝青乳劑の電氣泳動實驗、水素イオン濃度等膠質化學的研究	同	同	島田八郎

研究項目	進度	機關	擔當者
瀝青質材料の力學上の性質の實驗的理論研究 鋪裝用材としての瀝青質は溫度及外力の影響を蒙る事多く或は彈性体の如く或は粘性流体の如き性狀を呈す此の特性を定性定量的に明にし鋪裝工學上に資せんとす	研	內務土試	島田八郎
瀝青質材料の彈性係數の考察 瀝青質物質の如きものの彈性は如何に取扱ひ實驗的に之を求め得るかに付研究せんとす	同	同	同
アスファルトの回收法に関する研究 アスファルト鋪裝アスファルト鋪裝材料等中に存するアスファルトの性質を究むる爲にアスファルトを原狀に近き狀態に於て回收することを必要とするが此の回收は頗る困難とせらるゝ所なり	同	同	西川榮三
鋪裝用アスファルト及石油アスファルトの薄層の性質變化に関する研究 鋪裝タール、石油アスファルト等鋪裝施工後其の材料の性質變化が其の材料の適不適となるを以て外界四圍の狀況が鋪裝用タール、石油アスファルト等の薄層に及ぼす性質變化の現象を研究せんとす	同	同	同
直射日光及加熱に依るアスファルト及コールタールの變質若は老化程度の比較試驗 直射日光及加熱に依りアスファルト及コールタールのアスファルテン遊離炭素其の他油性化學成分量及質の變化に関する研究	同	東京市土試	吉田辰雄
アスファルトの日光直射に依る老化並に其の對策の研究 日光に依りて老化する原因を明にし其の對策を研究す	完	同	同
アスファルトのアルカリ含有量が乳劑の性質に及ぼす影響に付て アスファルト中アルカリの含有量が特に乳化に對する影響大なるに依り其の関係を明にせんとす	同	同	渡邊米一
冬季に於けるアスファルト乳劑の分解を迅速ならしむる乳化劑又は添加油の研究 特に冬季用原料アスファルトを使用することなく任意に稠度を調節し乳劑の分解を迅速ならしむる方法の研究	研	同	同
アスファルト及コールタールの油性乳劑に関する試驗 軟化アスファルト及常溫コールタールの油性乳劑の製造法及其の實用價値の研究	同	同	吉田辰雄
アスファルト乳化劑に於ける電流析出物の成分と乳劑の一般性並に原料アスファルトとの関係に付て アスファルト粒子の吸着狀態を電析物に依り確むると同時に之に依り乳化劑の原料アスファルト乳劑の性質相互の関係を明ならしむる試驗	同	同	渡邊米一
フィラーの種類並にアスファルト含有量を異にするアスファルト混合物の理化學性試驗 アスファルト含有量小にして理化學性良好なるフィラーの種類を決定せんとす	完	同	同

研究項目	進度	機關	擔當者
砂及フィラーの空隙率より見たるアスファルト混合物安定度試驗 細率を異にする砂及フィラーに依るアスファルトモルタルの安定度を比較せんとす	未	東京市土試	福永操
高溫季に於ける路面安定性とアスファルトの稠度との関係に付て 夏季に於て路面の軟化其の他支障を生ずることなきアスファルトの稠度の最大限度を決定する試驗	研	同	渡邊米一
低溫季に於ける路面の靱性とアスファルトの稠度との関係に付て 冬季に於て路面の破碎龜裂を起さしめざるアスファルトの稠度の最大限度を決定する試驗	同	同	同
アスファルト及硫黃縮合物の理化學性に付て アスファルトを主材とする彈性に富む防水絶緣材料の製造研究	未	同	同
アスファルトの溫度傳導度の測定 鋪裝工學上重要なるアスファルトの溫度傳導度の値を明にせんとす	同	內務土試	島田八郎
アスファルト塗裝方法の研究 專ら電蝕に耐ゆる塗裝方法を研究中	研	日本鋼管(神奈川)	松下義久
アスファルト塗裝の老化防止の研究 アスファルトは塗裝後數ヶ月空中に放置すれば表面龜裂を生ず之れを防止せんとす	同	同	松下義久 石川誠一
アスファルト及之に類似せる物質の感光成分の研究	同	理研	飯盛里安二 鈴木鎭一
アスファルト水素添加の研究(同所彙報第13輯第7號)	完	同	磯部義一 遠藤義臣 杉本幾郎
アスファルトに関する研究	研	同	和田俊三
アスファルト乳劑の研究	同	日石(秋田)	佐久間勇之
アスファルト乳劑製造研究 アスファルトの品質改良に依り良質の乳劑を得んとす	同	同(柏崎)	平野靜夫
優良ブローンアスファルトの製造 空氣とアスファルトとの接觸を密とする製造裝置の研究による方法	同	同	太田文太
タール、アスファルト混合物薄層の性質變化に関する研究 タール、アスファルト混合物の研究によりて得たる結果の中鋪裝材として適當なる配合物數種に付其の薄層の性質變化を研究せんとす	未	內務土試	西川榮三
道路鋪裝用タール乳劑に関する研究（一部完了同所報告31號） アスファルト乳劑に代るべき鋪裝用材料として國產タールを原料とする適當なる鋪裝用材料の試製と工學的性狀に関する研究	研	同	福島彌六

研究項目	進度	機關	擔當者
道路鋪裝用タール乳劑に関する研究 國產タールを原料とする種々の試製タール乳劑と外國產瀝青乳劑との工學的性質に於ける比較研究	研	內務土試	福島彌六
鋪裝用タールの性質に関する研究(同所報告第23號) 最近品質向上せる鋪裝用タール15種に付更に其の性質を研究し既往の研究の結果と比較し且各種用途に對する鋪裝用タールの特性を考へ製法と性質との関係を檢討し鋪裝用タールの規格案を再吟味し改定せる規格案と用途との関係を明にせるものなり	完	同	西川榮三
鋪裝用コールタール試驗 鋪裝用として適當なるコールタールの成分及施工法並に其の效果を判定する爲の試驗	同	東京市土試	渡邊米一
軟弱なる砂利道を路盤とする乳劑鋪裝に於けるコールタール下塗の防濕試驗 舊埋立地若は濕潤地の軟弱なる路盤に於ける瀝青乳劑鋪裝工法としてコールタール下塗を施す場合の效果試驗	研	同	同
分解迅速にして沈析の傾向小なるコールタール乳劑の製造法の研究 撒布後の乾燥迅速にして貯藏中コールタールの沈降する傾向のなきコールタール乳劑の製造法の研究	同	同	同
國產タールを原料とせるタール乳劑の試製實驗並に其の組織に関する理論的實驗的研究(同所報告31號) 國產タールを原料とし各種の乳化劑を使用し乳化力及乳劑試製實驗を試み且電氣泳動、水素イオン濃度測定其の他粒子の分布等其の組織を研究せり	完	內務土試	島田八郎
鋪裝用タール及石油アスファルト混合物の性質に付て タール、コンクリート、タールザンド等の鋪裝工法に對しては鋪裝用タール其の儘にては不適當なる性質をも有するを以て鋪裝用タール改良の見地より之に石油アスファルトを混合し其の混合の性質を研究す	同	同	西川榮三
鋪裝用タール及石油アスファルト混合物の性質に関する研究 既に研究完了したるタールコンクリート用混合物よりも一段軟質にしてタールミックストマカダム或はタール透入マカダム等の工法に對する鋪裝材たるタール、アスファルト混合物の性質を研究せんとす	未	同	同
タール酸及ナフタリンがコールタールの硬化速度に及ぼす影響 特にコールタール中タール酸ナフタリンの含有量とコールタールの硬化速度との関係を研究せり	完	東京市土試	吉田辰雄
阪神地方沿岸風水害調査報告(同所報告29號) 昭和9年9月21日阪神地方を襲へる暴風津浪の被害狀況と將來の防備施設に對する意見	同	內務土試(赤羽)	松尾春雄
コンクリート振動打込機の研究	研	鐵道研	山本信行

2 建築

(材料、構造强弱、振動、暖房換氣、建築史)

研究項目	進度	機關	擔當者
土類硬化物に付て セメント代用品	研	東京工大建材研	河上益夫
人造硬化石製法に付て 安價なる原料を簡單に處理し大理石と同等のものを得んとす	同	同	同
壁土染色試驗	完	石川工試	山田政信
鉛のセメント中に於ける腐蝕に関する研究 コンクリート中にて鉛を腐蝕せしむる主要原因をなす石灰水溶液により鉛及其の合金の腐蝕程度を比較せり	同	東京奬勵館	柳澤光治
セメントモルタル及コンクリートの研究 コンクリートの標準供試体より小なる試片を以てモルタルの耐壓强度を試驗し之を以て作らるべきコンクリートの强度を推定せんとす	研	仙臺高工	山崎慣二
早强セメントのコンクリートに於ける性質(昭9. 建築雜誌)	完	東大工	濱田稔
コンクリート凝結硬化時の收縮に付て(昭10. 建築雜誌)	研	同	大野和男
セメント强度試驗法の改良(昭10. 建築雜誌)	同	同	濱田稔
水セメント比說の誤差に付て	未	同	同
輕量コンクリートを鉄骨コンクリートの材料となすことの能否に付て	同	同	同
セメント硬化促進劑に付て(大日本窯業協會雜誌) 急速竣工を要する建造物交通頻繁なる道路の鋪裝、寒中施工に用ふべき促進劑なり、主として短期强度の增進を目的とす	完	東京工大建材研	近藤清治 鈴木信一
火災の研究 各種建築材料の耐熱度(脫水、燃燒等)の決定失火原因の統計的調査燃燒の機構の吟味	研	同	木下正雄 清水定吉
建築用保溫材の研究	同	同	小林政一
高溫度用保溫材の研究	同	日本アスベスト	駒形彌一郎
低溫度用保溫材の研究	同	同	同
輕量屋根材料の研究	未	東京工大建材研	谷口忠雄 今井光學
各種建築材料の耐寒性に関する研究 コンクリート其の他の各種建築材料に付主として滿洲に於ける多期工事を目標として其の耐寒性を攻究す	同	同	田邊平一 狩野春名 外四

研究項目	進度	機關	擔當者
稻藁を原料とする防音保温材料の製造に関する研究 稻藁の一部をアルカリ液にて處理し之を粘結劑として藁を固め成形する方法を研究し天井板、壁板等の建築材料及冷藏庫母体等の保温材料に適するものを製造する研究	完	大阪工試	杉本俊三
各種建築用木材防腐法の研究 各種建築用木材に各種防腐劑を施し之に腐朽菌を接種して其の防腐效果を重量並に强度の減少率により比較す	未	早大理工	十代田三郎
柱根の腐朽に関する研究 建築用各種木材の纖維に對して種々の方向よりの吸水量を測定し柱根の如く纖維に直角なる底面よりの吸水量最大なる爲腐朽し易きを述べ其の豫防法を研究す	完	同	同
各種建築用木材の耐腐力比較の研究 各種建築用木材供試体に人工培養による腐朽菌を接種し之を腐朽の最好條件に置きて一定期間後取出して重量並に强度の減少を比較す	研	同	同
セメントアスベスト板の熱性質に付て(機械學會誌) 主としてセメントアスベスト板の保温效果を調べしものにして種々のセメントアスベスト板の熱傳導率を測定せり其の測定方法は熱傳導率既知のガラス板を標準とし試料を之と重ね合せて熱の定常流により両者の熱傳導率の比を求むる所謂比較法なり	完	仙臺高工	吉澤幸雄
鉄筋コンクリートに對する塩化カルシウムの影響	同	旭硝石	松尾直治郎
鉄筋コンクリートの耐火性增大に関する研究	未	東京工大建材研	谷口忠 今井光雄
建築構造物の各種壁体の熱傳導率の測定 日本壁、洋壁、乾燥建築物壁、コンクリート壁等の熱傳導率の決定を試み優良壁を製作す	研	同	木下正雄 清水定吉
電弧熔接部の衝擊及反覆荷重に對する信頼度增大に関する研究	同	同	谷口忠 今井光雄
塗裝用プラスターの製造に関する研究	同	東京工試	永井彰一郎 村上惠一
リノリウムの乾燥方法に付て リノリウム乾燥時間を短縮するを目的とす	完	東洋リノリューム	三好彰三
窯業製品の高温荷重能力の意義と新試驗法	研	東京工大建材研	近藤清治 鈴木信一
窯業品の所謂高温荷重能力に関する一考案(工業化學雜誌) 耐火物の軟化点、耐火度及荷重の関係を論ず	完	東京工大	同
高熱を受けたるモルタルコンクリート及鉄筋コンクリートの强度に関する研究(建築雜誌第49輯第598號臨時增刊) 火災時の各種骨材及調合のモルタル及コンクリートの强度低下を調べ鉄筋コンクリート柱の火災時の内部温度分布を測定して柱の强度低下を調べたり	同	東京工大建材研	谷口忠 今井光雄

研究項目	進度	機關	擔當者
建築用金物に関する研究の中 (1)大貫筋違の仕口に関する實驗(昭9.10建築雜誌)(2)斜材のボルト締仕口に関する實驗 木造建築物の耐震、耐風構造上推奨するに足るべき規準を得んとす	完	東京工大建材研	田邊平學 狩野春一 外四名
曲げによる切缺き梁の最大内力に付て(同學彙報)	同	旅順工大	中川有三 岸本支那一
鉄筋コンクリートに於ける許容應力度の選擇法	未	東大工	濱田稔
耐彈材料並に耐彈構造 (主として衝擊、侵徹、爆破に對する抵抗)に関する研究	研	東京工大建材研	田邊平學 狩野春一 外四名
建築架構内の耐震壁の配置問題	同	福井高工	吉田宏彦
電流の鉄筋コンクリート構造物の强度に及ぼす影響に付て(昭9建築學會大會論文集) 特に直流電氣の鉄とコンクリートの附着應力度に関する研究	同	神戸高工	巽純一 湯井廉介
耐震壁に関する研究 斜狀筋補强壁を有するラーメンの特性及壁部補强用鉄筋に特殊鋼並に鉄網を使用したる場合の特性等に関し定量的考察をなさんとす	研	東京工大建材研	田邊平學 狩野春一 外四名
鐵筋コンクリート振動減衰性に関する研究 (同學々報第3卷第10號) 鉄筋コンクリート梁の曲げ試驗に依り振動時の内部エネルギーの消耗を各曲げモーメント段階に付研究す	完	同	谷口忠 今井光雄
木造耐震壁に関する研究 柱及梁材の曲げ及柱梁の接合部等を實物大に付て實驗研究し更に單價單スパンの種々の木造ラーメンに付て强度並に横力分布係數等を見出さんとす	研	東京工大	田邊平學 狩野春一 外四名
耐震壁に関する研究の中 (1)縱横筋に依り應剪補强せられたる有壁ラーメンの變形並に應力分布係數に付て(昭10.3建築雜誌)(2)有壁ラーメンの强度並に彈性に及ぼす斜狀筋と縱横筋との效果の比較 有壁ラーメンの特性を明かにしラーメン建築の耐震的設計に當りて壁体の取扱方に付て指針を得んとす	完	東京工大建材研	田邊平學 勝田千利 東東造
構造物の振動減衰性に関する研究 地震の場合建築物が振動を受け其の震幅增大し破壞することを其の震幅減衰率の增大に依りて防ぐことを研究す	研	同	谷口忠
室内を一様温度になす爲の隅角部壁形の研究 厚さ一様なる壁にては隅角部内側の温度は下降或は上昇し且熱の出入他部より多く從て室内全部を一定温度に保つ事困難なるを以て隅角部内壁面を適當に彎曲すべく其の正確なる曲線の決定	同	桐生高工	田村民平
建築構設物附近に於ける空氣より重きガスの流動に関する研究 重きガスが市街の建築又は工場地に於て滯溜分散する流動の研究にして戰時には煙幕毒ガス等の流動又は防止に應用するものなり	同	早大理工	伊藤貞敏

研究項目	進度	機關	擔當者
屋內氣候、溫度と建築との關係 材料と强度、構造と溫度、計畫と溫度に關する研究	研	名古屋高工	佐藤鑑
屋內自然換氣一般に付ての理論的研究	同	同	同
屋內自然換氣に於けるガラリと誘導式換氣法の效果に付て 風力に關する換氣に於ける Negative pressure の應用	未	同	同
地下構設物に浸入する空氣より重きガスの流動の研究 甕壕、地下室、地下道等に重きガスが浸入する流動の研究	同	早大理工	伊原貞敏
單一材料の音響透過に關する實驗的研究(建築雜誌) 各種建築材料に付音の透過率を音壓計を用ひて測定す	完	同	佐藤武夫 川島定雄 三木韶
複合材料の音響透過に關する實驗的研究(建築雜誌) 各種建築材料を組み合せ音の透過率を音壓計を用ひて測定し最も能率よき組み合せを見出さんとす	研	同	同
建築材料の音響透過度の研究	未	濱松高工	白川壽美男
開放せる窓の吸音率に付て(同學工學部彙報9卷4號) 開放せる窓の音を吸收する係數の測定	完	九大工	平山晃
建築音響學に關する研究	研	同	同
鉄筋コンクリート煙突の腐蝕(昭10. セメント界彙報)	完	東大工	濱田稔
ドアハンドルの研究並に試作(輸出向工藝品圖錄) 建築用ドアハンドルを外內扉用の二に區分し材料仕上着色等實際的方面より檢討し合理的にして單純なるものより變化せるものに向つて研究試作す	同	商工工指	松崎福三郎 黑澤道遠
塗裝作業室の構造研究 昭和九年四月採光保溫等を考慮して東北寒地に適する構造の九坪の漆塗裝作業室を新設し目下之に更に外氣、內氣の乾濕度に付試驗研究中	研	秋田川連漆試	近藤將照
設計圖による農民家具及住宅の研究 能率的住宅及家具の設計研究	同	秋田工試	鬼塚信之

第五類

化學工業

1 工　業　藥　品

研究項目	進度	機關	擔當者
無機工業藥品に関する研究の中 セメントダストに関する利用研究	完	臺灣中研(工業)	山崎稔 林贊生 末廣憲昌
無機工業藥品に関する研究の中 (1) セメントダスト利用に関する研究　(2) 活性炭製造に関する研究　(3) 發光体硫化物に関する研究　(4) 鐵泉の特殊含有成分に関する研究	研	同	同
構造不明有機藥品製造に関する研究	同	東京工試	淺岡卿
有機及無機工業藥品の製造研究(一部完了)	同	三池染料	三池染料工業所員々
バリウム亞鉛等を主とする工業藥品の製造研究(一部完了)	同	日本ペイント(東京)	宮氣敏 村澤正信
分析用標準試藥製造方法研究 ヨード酸カリ、オルリオキシキノリンの製造方法研究	完	大阪工試	吉田宣雄
分析用標準試藥製法の研究 鉛丹、メチルレッドの製造研究	研	同	同
鋼材洗滌硫酸廢液より綠礬の回收 經濟的回收の方法及裝置	同	日本鋼管(大阪)	小田基礎
發煙硫酸の製造	未	同	
アンモニアの酸化に依り濃硝酸の直接製造に関する研究	研	東京工試	佐々木一雄 久保田穰 矢崎富藏
アンモニア、硫酸、硝酸の利用に関する研究	未	滿洲化學	堀省一郎
精製海水並に鹹水よりソーダの製造に関する研究 豫め有害不純分を除去せる海水並に鹹水よりソーダを製造せんとす	研	專賣中研	鈴木寛 島田浦
食塩より炭酸ソーダの一新製造法研究(工業化學雜誌) 溶媒として液体アンモニアを用ふる一種の加壓アンモニアソーダ法の研究	同	東北大工	原龍三郎 阿部末吉 外八名
アンモニアソーダ法改良に関する研究	同	東京工試	内田章五
液体アンモニア中に於ける金属錯塩に付て	同	理研	芝彦一 井上敏一
液体アンモニア利用工業に付て	同	大日本人肥	織田研一 井上辰雄 外二名
H酸の製造研究 品位、得率共に目的通りの成績を得たり	完	保土谷曹達	工藤酬三
フラブアントレンの合成 品位、得率共に目的通りの成績を得たり	同	同	青山敏貞

研究項目	進度	機關	擔當者
ダイレクトイエローの合成並に工業化に付て 品位、得率共に目的通りの成績を得たり	完	保土谷曹達	工藤耐三
クロム酸の新製法研究	研	同	篠崎平馬
糖蜜よりカリの經濟的回收法 工業カリ原料としての製造方法	同	臺北大理農	濱口榮次郎 渡邊信
クロム煉瓦屑及クロム鑛滓より重クロム酸カリ製造に関する研究 クロムを含有する煉瓦屑又は鑛滓の廢物より重クロム酸塩類を回收せんとす	未	日本鋼管(神奈川)	南城敏男
炭酸カリ製造の研究 苦汁により得らるべき炭酸マグネシア及塩化カリを利用して炭酸カリの工業的研究、苦汁に石灰を加へて水酸化マグネシウムを得、之に炭酸ガスを通じて炭酸マグネシアを得塩化カリを加へて更に炭酸ガスを通じてエンゲル氏複塩を得、之を分解して炭酸カリを得	同	千種製藥	岩本一雄 高橋翌
ヨード膠狀液製造に関する研究(同所報告) 水を溶媒とする安定なるヨード膠狀液製造研究	完	大阪工試	重名潔
塩化石灰の製造 高度晒粉廢液より回收す	同	旭電化	島田四郎
水性ガスより水素製造の半工業的試驗 觸媒作用により水性ガスと水蒸氣とにより水素を得んとし半工業的設備を使用し水素製造時に於ける一酸化炭素の酸化率が原料ガスの流速反應溫度添加蒸氣量にて影響せらるゝ程度及觸媒の耐久力に関し研究す	研	滿鐵中試	渡邊一郎 渡邊勇
水素ガス製造に関する研究 水素製造用觸媒の改良メタン分解法其の他有利に水素を製造精製する方法の研究	未	滿洲化學	後藤久生 別府二郎
塩素の利用に関する研究 容量 1%前後の稀薄塩素より塩素酸カリの製造研究	完	日滿マグネ(宇部)	永井亮三
塩素の利用に関する研究	研	同	井上義政 永井亮三 小牧和之介
塩素利用法の研究 主としてアセチルセルロース製造用クロルアセチル製造に使用す	完	東京工大	加藤興五郎 藤野茂
塩素及液体塩素利用工業に付て	研	大日本人肥	庄司務 下光太郎 外二名
液体塩素を用ひる漂白液の製造試驗	完	香川工試	中場幸郎
液体塩素使用漂白試驗 晒粉の代用として比較試驗	研	德島工試	平岡勇三

研究項目	進度	機關	擔當者
各種塩素化合物の製造	研	旭電化	田中芳雄
醋酸廢液より醋酸の回收に付て 飛行機翼布塗料の原料たるアセチルセルロースの工業的製造に於て廢液たる醋酸廢液より濃度大なる醋酸を回收する事は極めて必要なることなり此の目的の爲醋酸廢液(醋酸含有量約20%)に適當なる方法及裝置に依りクレソール、トルオール、トリクロルエチレン其の他の揮發性溶劑を混和し蒸溜試驗を行ひ以て工業的可能なる方法を求めつゝあり	同	航研	桑田勉 青木松之助
無水醋酸の合成研究 醋酸人絹及不燃性フィルム製法等醋酸纖維工業に適する無水醋酸の合成方法研究	完	大阪工試	山田昌
醋酸濃縮方法の研究 醋酸纖維工業確立に重要なる醋酸濃縮方法の研究	研	同	同
無水醋酸の工業的製造の研究 醋酸の熱分解に依る製造法	完	大日本セルロイド	村上恭平 荒井慶造
醋酸の工業的製造の研究 カーバイドーアセトアルデヒドー醋酸の工程に依る方法にして特殊裝置を使用す	同	同	同
無水醋酸の製造に関する研究	研	東京工試	上野宰三 角谷仙之助
無水フタル酸製造試驗 接觸劑を使用しナフタリンを空氣により酸化し無水フタル酸を製造す	同	三井鑛山(目黒)	伊川浩藏 原田嘉一郎
四塩化炭素の製造研究 主として四塩化炭素の製造裝置に付研究し目下工業化中	完	大阪市工試	中土晃
四塩化炭素溶液に於けるアセトン及ベンゾール溶液に於ける1,2二塩化エタンの電媒分極の異常性に付て(同所彙報第13輯第10號) 分子の極性に関する研究	同	理研	久保昌二
アセントの工業的製造の研究 醋酸の熱分解に依る方法にして特殊裝置を使用す	同	大日本セルロイド	村上恭平 荒井慶造
ブチルアルコールアセトンの製造法	同	北海工試	岡田穗積
アセトンの合成に関する研究	研	東京工試	半田正雄
ホルムアルデヒド製造研究 接觸劑を使用しメタノールを直接空氣酸化しホルムアルデヒドを製造す	完	三井鑛山(目黒)	伊川浩藏 桑原基介
大豆アルコール抽出に関する研究 大豆を原料とする採油方法並に大豆製品の利用價値を高むる爲製品品位の向上を圖らんとし大豆をアルコールを以て處理し其の溫浸液の冷却に依り油分を成層分離せしむる方法並に副產物精製法に関し實驗室に於て研究を遂げ更に之が工業的試驗を行ひ本法の企業的價値に付其の有利なるを立證す	同	滿鐵中試	佐藤正典 松本秀名 外二

研究項目	進度	機關	擔當者
多價アルコールの研究	研	理研	吉川清 花井定彦
米を原料とするアルコールの製造	同	同	鈴木梅太郎 吉村信三
脂肪酸より高級アルコールの接觸的製造法に関する研究	同	東京工試	井上春成
アルコール類より有機酸の製造に関する研究	同	同	上野宰三
アルコール類より醋酸の製造に関する研究	同	同	同
ブチルアルコールの工業的製造の研究 アセトアルデヒド——クロトンアルデヒド——ブチルアルコールの反應工程に依る方法	完	大日本セルロイド	村上恭平 荒井慶造
工業用原料アルコールに付て(醸造學雜誌一部發表) 無水アルコールの蒸溜に関する研究及燃料としてのアルコールの研究	研	阪大工	中村靜
高級アルコールのスルホン化の研究(同所報告第49號) 低温にてエーテル等の溶劑及無水燐酸の如き脱水觸媒を使用することによりスルホン化97%の得量を得たり	完	東京奬勵館	松本常太郎
蔗汁及糖蜜より無水アルコールを製造する試驗	未	臺灣糖試	鈴木幸三 岩田芳 蔡仲豪
澱粉エーテルに関する研究	研	東京工試	松田多龜知
蔗汁よりグリセリンを製造する試驗 醗酵法に依り蔗汁よりグリセリンを製造する方法に関する試驗	同	臺灣糖試	岩田芳
糖蜜醗酵に関する研究 グリセリン其の他醗酵中間生成物の製造	同	臺北大理農	馬場爲二
酸塩化燐の製造 燐を塩素化し之を酸化し又は燐酸塩類の塩素化により製造す	同	大阪市工研	小林正美
芒硝に関する試驗(同場試驗報告第2號) 関東州冬季に於ける低温を利用し鹹水又は苦汁より芒硝を採收する試驗	完	關東鹽試	松田信吉 市川一夫
スケールを利用し炭酸石灰と芒硝の製造に関する第三回試驗 鹹水煎熬中に析出するスケールを利用し之にソーダ灰を作用せしめて炭酸石灰と芒硝を製するものにして品質良好なる製品の生産と共に之が利用價値に関し調査す	未	專賣三田尻試	久保田美壽雄 河邊正
人絹凝固浴より芒硝の製造 相律的研究	研	九大工	奥野俊郎
結晶芒硝の利用に付て	同	旭硝子	松尾直治郎
無水硫化ソーダの製造 芒硝のガス還元又はソーダ塩類の硫化により製造す	同	大阪市工研	小林正美

研究項目	進度	機關	擔當者
炭酸マグネシア製造に関する研究	研	理研	寺田喜代松
炭酸マグネシアよりマグネシア製造試驗 炭酸マグネシアを燒灼する際發生する炭酸ガスの捕集を兼ねたるマグネシア製造裝置を新設し品質優良なるマグネシア製造を行ふ、尚引續き第二回試驗を行ふ豫定	完	專賣三田尻試	貞永祥男 河邊正
炭酸マグネシアよりマグネシア製造時に其の發生ガスの利用に依る炭酸マグネシア製造試驗 塩基性炭酸マグネシアを燒灼しマネシアを製造する際發生する炭酸ガスを利用し水酸化マグネシウムに作用せしめて製造す、尚引續き第二回試驗を行ふ豫定	同	同	同
水酸化マグネシウムと液化炭酸ガスとに依る炭酸マグネシア製造試驗 原料水酸化マグネシウムの各濃度に對する炭酸ガス吸收度の関係を試驗するものにして同一加壓下に於て冷却法に依り施行す、尚引續き試驗の豫定	同	同	同
水酸化マグネシウムと石灰炉ガスとによる炭酸マグネシア製造に関する試驗 石灰石を燒きて得たる生石灰を苦汁に作用せしめて水酸化マグネシウムを得之に石灰炉よりの發生炭酸ガスを作用せしめて經濟的に炭酸マグネシアを製造せんとす	未	同	久保田美壽雄 貞永祥男 河邊正
濃厚苦汁と炭酸アンモンとによる炭酸マグネシア製造に関する第六回試驗 ソーダ灰法炭酸ガス法とを比較し本方法の利害得失を調査するものにして副產品として塩化アンモンを採收するものとす	同	同	久保田美壽雄 貞永祥男
マグネシウム並にブロムの製造に関する調査研究の中台灣產苦汁の利用として無水塩化マグネシウムの製造實驗	完	臺灣中研(工業)	服部武彦 白土四郎 外二名
海水の利用に関する研究 製塩業の副產物たる苦汁を出發点とし之より塩化カリ、塩化マグネシウム食塩を製造する研究	同	日滿マグネ(宇部)	永井亮三
濃厚苦汁と重晶石、炭末とに依る塩化バリウム製造試驗 塩化バリウム製造の一方法として製塩副產物たる濃厚苦汁を利用し之を重晶石と炭末に作用せしめ最適條件を探索す、尚引續き試驗を行ふ豫定	同	專賣三田尻試	久保田美壽雄 貞永祥男 河邊正
塩化カルシウム溶液製造に関する試驗 苦汁と消石灰とに依る塩化カルシウム溶液製造に當り濕式法及乾式法に區分し諸條件を比較調査せり	同	同	貞永祥男 河邊正
苦汁濃縮塩化カリ製造(夏季に於ける)試驗 普通苦汁並に精製苦汁を用ひて添加濃厚苦汁量、濃縮程度等を調査し夏季に適合する經濟的有利なる製造法を考究す尚引續き試驗を行ふ豫定	同	同	久保田美壽雄 貞永祥男
苦汁貯藏中に於ける含有成分變化分析試驗 苦汁利用工業上の參考に供する爲廢棄苦汁を一定容器内三箇年間貯藏を行ひ一箇月毎に其の成分變移狀態等に付分析試驗をなす	同	同	吉武幾甫雄 福田松一 横山晋

研究項目	進度	機關	擔當者
高級塩化カリ製造に関する第三回試驗 從來の苦汁生産工業用塩化カリを使用し高級塩化カリを容易に製造せんとす	研	專賣三田尻試	久保田美壽雄 貞永祥男
苦汁の利用に関する研究 (1)ブロム及其の化合物の製造に付て　(2)アグネシアセメントの製造並に應用に付て　(3)金屬マグネシウムの製造に付て(4)硫酸マグネシアの製造に付て　(5)カリ塩の製造並に利用に付て	同	專賣中研	福永範一 内藤正規 外三名
グリコールの合成研究 軍事上主要なる工業藥品の一たるグリコールの最經濟的にして工業化に適切なる合成方法の研究	完	大阪工試	田代豐
グリコール不凍液の研究 グリコール不凍液を自動車機関に實用試驗す	同	陸軍自校	尾田秀雄
グリコール誘導体に関する研究 グリコールモノエーテル、グリコールモノエステル、エタノールアミン等グリコール或は其誘導体の研究	研	大阪市工研	渡邊卓郎 山内英夫
二硫化炭素による防虫殺虫效力に関する研究（研究調査彙報第5號） 二硫化炭素を使用し燻蒸を實施せし時壓搾梱包に對する滲透力を試驗し絨布及同製品の格納法改善の資となすにあり壓搾梱包内に生存する被服害虫は二硫化炭素の燻蒸法により完全に死滅せしむることを得	完	被服本廠	近末實義 木村要
二硫化炭素の新用途研究 二硫化炭素に依る油脂浸出、四塩化炭素の製造	未	内海化學	弘重卓
アントラセン及カルバゾールの分離法 粗製アントラセンよりカルバゾールの分離研究	研	大阪市工研	中土晃
粗製アントラセンの研究 粗製アントラセンより純度高きアントラセンカルバゾールを得んが爲各種溶劑を使用し精製法を研究す	同	福山工試	重松米一郎
ホルマリンの製造に関する研究	同	東京工試	島五郎 竹島鎌一
コークス炉ガスより電氣的にホルマリン等の製造に付て コークス炉ガスと空氣又は酸素との混合ガスを高溫度に加熱して高電壓コロナ放電によりホルマリン等を製造するものなり其の目的はコークス炉ガスを有效利用せんとするものなり	同	日鐵(八幡)	上本保
エチレンオキサイドの合成研究 新興有機工業藥品の主なる原料藥品たるエチレンオキサイドの合成方法研究	完	大阪工試	田代豐
アセチレンよりエチレンの製造研究 アセチレンの水素添加をエチレンの程度に止めんとす	研	京大化研	堀場信吉

研究項目	進度	機關	擔當者
エチレン資源の研究 軍事上特に重要なる純アルコールをアセチレンより合成する工業的方法研究	研	大阪工試	門脇博明 長澤徹 田代豐
コークス炉ガス中のエチレンの利用法 ガス發熱量計算上正鵠なる數値を得る爲及副生品の價値增加の爲の研究	同	日鐵(八幡)	中村益雄 石村房司
無水塩化アルミニウム製造研究 各種アルミナ含有鑛石と塩素ガスとより無水塩化アルミニウムを製造す	完	三井鑛山(目黒)	池邊龍三郎 大谷泰通 橋上一郎
無水塩化アルミニウムの製造法 活性白土製造の際多量に副生する廢液より無水塩化アルミニウムの製造法	研	早大理工	山本研一
弗化アルミニウムの分解に関する研究	同	東京工試	井上春成
硫酸アルミニウム製造試驗 石灰殼より硫酸アルミニウムを製造する研究	同	滿鐵撫順炭研	
高度過酸化水素水の製造方法研究 外國特許等在來のものと異なる方法にて經濟的優良なる製品を得る方法の研究	完	大阪工試	植月千萬
電解に依る過酸化水素水製造法の研究	研	東京工大	加藤興五郎 相川秀雄
過酸化水素水の安定劑並に蒸溜に関する研究	同	東京工試	飯田秀松 增田長藏
過酸化水素水の安定劑の研究(一部完了)(同所彙報第46號) 30%過酸化水素水の安定劑には馬尿酸が良好なり、尙引續き研究中	同	內務東京衛試	近藤龍郎 清水二
アルギン酸及其の塩類の性質並に用途に関する研究	同	東京工試	高橋武雄
褐藻類よりアルギン酸マンニット並にヨードの抽出法に関する研究	同	同	同
褐藻類の成分に関する研究	同	同	同
レシチンの乳化作用に付て レシチン乳化作用と精製度との関係を明にせんとし各精製法を異にせるレシチンに付其の膠狀性を檢して乳化作用を推定し且實際の乳化試驗を行ひ上記推定を確めたり	完	滿鐵中試	佐藤正典 稻葉卓一 外一名
レシチン添加の石鹼性狀に及ぼす影響 石鹼の性狀を改良せんとし脂肪油より純脂肪酸を分ちソーダ塩となし其の水素液に付レシチン添加の影響を檢したるに純レシチンは石鹼の性狀を良好にするもソレヤレックスレシチンは精製不充分にして不良なり	同	同	同
レシチンの利用研究 膠製品柔軟劑として適することを認め膠引クラフト紙、印刷ローラー等に利用す	同	大阪市工研	山崎利一郎

研究項目	進度	機關	擔當者
大豆レシチン脱色法の研究 無味淡臭淡色の大豆レシチンを製造し大豆油アルコール抽出法を經濟的に有利に導かんとし大豆油のアルコール抽出法にて得らるミセラより食塩アルコール添加法に依り收得せる粗レシチンを吸着劑又は漂白劑を用ひて脱色せんとす	研	滿鐵中試	佐藤正典 横地三夫
レシチンに関する研究	同	東京工試	梶塚進
レシチンの研究 乳化洗滌滲透劑等の應用	同	第一工業製藥	芝時孝 竹田幸雄
蛋白(大豆)加水分解によるアミノ酸の製法 蛋白(大豆)を濃塩酸にて處理せり	完	阪大理	中島健次郎 田村忠德
アミノ酸の研究	研	理研	小川洋
大豆蛋白分解物よりアミノ酸の分離法に付て	同	東京工試	増野實雄 宍戸忠雄
大豆粕よりアミノ酸の製造法 大豆抽出粕より調味料を製造せんとし抽出粕の塩酸に依る加水分解條件加水分解液よりグルタミン酸塩酸塩析出條件游離グルタミン酸の製造に関する諸條件を決定せんとす	同	滿鐵中試	六所文三 田中理七
豆腐粕よりアミノ酸製造の可否研究 凍豆腐の副産物豆腐粕の利用法の研究の一としてアミノ酸原料となり得るかを研究す	同	和歌山工試	三田村鸞 吉田康雄
アミノ酸の脱臭法と其の利用法との研究	未	同	同
高壓ガスに関する研究 アンモニア合成用觸媒の改良に関するもの及合成化學に於けるガスの壓力及溫度の関係に付ての研究	同	滿洲化學	後藤久生 黒川秀孝
ベンゾールの研究(一部完了)(自發研究第12號) (1) 深冷壓縮に依るベンゾール類回收法の半工業的實驗をなし本所ソルベー式コークス炉發生ガスに付ては同法に依り現行の洗滌回收法に比し22%以上のベンゾール類を增收し得るを認む (2) コークス炉ガスよりベンゾール回收率を增す爲及粗ベンゾールを洗滌精製する際の損失を減少する爲尚研究中	研	日鐵(八幡)	中村益雄
ベンゾール精製に関する研究	同	宇部窒素	池田三郎 秋本健次郎
ベンゾール單誘導体に於ける近赤外吸收帶に付て	同	理研	淺越貫一
ベンゾールと一酸化炭素とよりベンズアルデヒドの合成研究	同	東京工試	高木外次
ニトロベンゾールの電氣的製造精製研究 硝酸とベンゾールとの混合物に對し電解と電氣滲透操作を同時に通用する研究なり	同	遞信電試	村岡隼雄
ステアリン酸及オレイン酸の混合物をエステル化して得らるゝトリグリセライドの成分に付て (工業化學雜誌第37篇第4冊)	完	東京工試	土屋知太郎 秋山五郎九

研究項目	進度	機關	擔當者
リノリン酸ヂロダニド及リノレニン酸テトラロダニドに付て(工業化學雜誌第38篇第1冊) リノリン酸ヂロダニド及リノレニン酸テトロダニドをオゾノリシスに附し分解生成物を檢索し其の構造を決定せり	完	東京工試	外山修之 土屋知太郎
リノリン酸及リノレニン酸の部分的ブロム添加に依る生成物に付て(工業化學雜誌第38篇第1冊) リノリン酸及リノレニン酸の部分的ブロム加成物を分別してリノリン酸より得たるヂブロモオクタデセン酸リノレニン酸より得たるヂブロモオクタデカヂエン酸並にテトラブロモオクタデセン酸をオゾノリシスに附し分解生成物を檢索して其の構造を決定せり	同	同	同
リノレニン酸リノリン酸ステアロール酸のウィイス法及ブロムピリヂン法に依るヨード價に付て (工業化學雜誌第38篇第1冊)	同	同	同
シリカゲルの品質改良に関する研究	研	同	安藤秀雄
ディアミノ酸の分離精製に関する研究	同	同	増野實 鹿園直治
芳香族アミンの酸化に関する研究	同	同	芳野守三
醋酸ベンジルの研究 ベンジルクロライド及ベンジルアルコールより醋酸ベンジルの製造研究	同	大阪市工研	中土晃
ベンズアルデヒドの研究 ベンズアルデヒドの工業的製造條件の研究	同	同	同
有機硫黄化合物に付て	同	理研	西村順一
硫黄の加工品に付て コロイド硫黄の製造、强度硫黄合劑の製造	未	内海化學	弘重卓
觸媒に関する研究 酒石酸製造に於ける觸媒研究	研	大阪工試	重名潔
各種弗化物製造研究 錫弗化ナトリリム、亜鉛弗化ナトリウム製造研究	同	同	入江辰雄
弗素及其の化合物の研究	同	理研	石川總雄 高井武雄 佐藤八郎
亞硫酸塩類の研究	同	同	石川總雄 萩澤浩
高度不飽和酸メチルエステルの重合 (同所彙報第13輯第4號, 第9號, 第14輯第1號) (1)重合エステルに對するハロゲンの作用 (2)鰯酸メチルエステル分子内反應物の構造 (3)リノレン酸メチルエステル重合物の構造	完	同	紀喜一郎
燐化合物の新製造法の研究 アセチルセルロースの製造法にて燐蒸氣と塩素とを結合せしむ	同	東京工大	加藤與五郎 藤野茂

研究項目	進度	機關	擔當者
アセチルセルロースの新製法(電氣化學誌第3卷第2號) 塩化アセチル法に依る醋酸製造法の研究	研	東京工大	加藤與五郎 宮本鶴三
尿素製造法の研究 石灰窒素より製造の研究	同	同	加藤與五郎 杉野喜一郎 愛谷美彦
ブロムの連續式工業的製法に付て 蒸溜塔を使用し塩素ガスを使用しブロムを製造せんとす其の方法は蒸溜塔上方より苦汁を流下せしめ塔の下方より塩素ガス及蒸氣を通じてブロムガスを分離せしめ之を塔の上部より冷却管に導き液狀のブロムとなすものとす	同	千種製藥	大石良治 高橋望
ブロムの利用に関する研究 各種ブロム化合物の製造に関する研究	未	日滿マグネ(宇部)	井上義政 永井亮三
有機セレン化合物の研究	研	理研	淺田隆次郎
セレン化合物に関する研究	同	同	石川總雄 室岡豐作
硫黄とアルカリとの反應に関する研究	完	旭硝子	櫻澤貫平
アルカリ工業に関する調査研究 食塩の電氣分解に依るアルカリの製造及電解塩素ガスの利用に関する調査研究	未	臺灣中研(工業)	服部武四郎 白土彦 外名二
塩化ヂフェニルの研究 塩化ヂフエニルの製造並に物理的、電氣的特性の研究	研	芝浦製作所	山高桂 石川潔
水溶性澱粉の研究 繊維工業用して水溶性澱粉を得るを目的とす	同	第一工業製藥	吉田初太郎
觸媒に関する研究 一酸化炭素水性反應並アンモニア合成觸媒	同	宇部窒素	興田是 横關敏雄
一酸化炭素の定量法の研究 操作簡易にして成績確定なる定量法を研究せんとす	同	衛生材料廠	石福覺治 小林茂生
アセト醋酸エステルの製造研究 アセトアルデヒドより醋酸エチルの經濟的製造方法及醋酸エチルよりアセト醋酸エステルの製造方法並に副生品の有價値利用法	同	日本合成化學	青木仙之助
オルソ及パラクレソール二成分系の熔融曲線に付て(昭10.4日本化學會誌第56秩第4號) 題記の二成分系に関する文献上の異說を潤点線の測定により確む	完	日立製作(日立)	鶴田四郎
フェノール、クレソールの二成分系の分子化合比に付て フェノール及オルソクレソール間に1:2なる分子比の化合物のあることを見出し結局フェノール、クレソール二成分の分子化合比は1:2に纒め得ることを知れり	同	同	同

研究項目	進度	機關	擔當者
蟻酸蓚酸の合成 苛成ソーダに一酸化炭素を通じ蟻酸塩となし之より蓚酸を製造せんとす	研	朝鮮石炭工業	伊藤久雄 狩野辰雄 佐藤珖
チタン化合物の研究	同	大日本人肥	庄司務 佐野龍二 外二名
ピラゾロン誘導体の研究	完	日本染料	研究所員
安息香酸の誘導体の研究	研	同	同
石炭酸誘導体の研究	同	同	同
ヘキサメチレンテトラミンの定量分析に付て(日本護謨協會誌第7卷第6號)	完	遞信電試	湊谷祝三郎 永井泉
メチルフロログルシン核を有するフラボンの合成(同所彙報第13輯第9號)	同	理研	吉川周
硫酸ヒドラヂン製造 ガラス表面銅鍍金する際の還元劑アンモニアを少量の膠質存在の下に次亞塩素酸ソーダにて酸化して製造す	同	大阪市工研	小林正美
インドール誘導体の合成的研究 蝦蟇の有毒窒素含有物ブフオテニンの合成を完了す	研	東京工大	星野敏雄 下平謙也
新染織助劑の研究 高級アルコール及脂肪酸のサルホン酸を主体とする特殊助劑の研究	完	第一工業製藥	芝時孝 廣瀨正雄
オキシ酸の研究 精練洗淨劑染色助劑としての基礎的及應用試驗	研	同	廣瀨正雄
透明なる熔融珪酸体の製造 透明溶融珪酸体を電氣熱により得んとす	同	圓山研究所	矢崎貞造
活性珪酸の研究 吸着性を有するシリカ又は其の化合物を得んとす	未	同	同
砒酸石灰の製造法の研究 農作物に對し藥害なく且殺虫力ある砒酸石灰の製造法の研究	完	鹿兒島化研	鎌田肇
砒酸鉄の製造法の研究 煙草の害虫夜盜虫及螟蛉驅除用に適する砒酸鉄の製造法を研究せんとす	研	同	同
木醋酸鉄の製造法改善に関する試驗 松根を乾溜して生成する酸液より木醋酸鉄を製造するに際し工費低廉品質優良なる木醋酸鉄の製造法に関して試驗せるものなり	完	奈良工試	玉木昌雄
高壓高温に於ける桂皮酸の還元方法に付て	同	ミツワ化研	野中正夫

研究項目	進度	機關	擔當者
消火劑の製造(一部完了) 特に油類及揮發性液体の消火に適する消火劑並に同目的の不凍性泡消火劑の製造	研	ミツワ化研	三雲次郎 櫻井昌夫
過酸化塩の製造	同	同	野中正夫
亞鉛鍍金に於ける副產物の利用 亞鉛華及硬亞鉛より種々なる亞鉛塩類の製造方法を研究す	同	日本鋼管(大阪)	北島一平
有機酸類の研究	完	大日本人肥	小泊重名 國井眞吾
稀薄亞硫酸ガス利用に関する研究	研	三菱鑛研	唐島讓吾 長尾慣
螢石より人造氷晶石の製造研究(一部完了)(同所報告) 氷晶石は我國に產出せざるを以て曩に肥料會社の副產物たる珪弗化ソーダより之を製造する研究を完了し、更に進んで螢石を原料として氷晶石を製造する方法の研究	完	大阪工試	入江辰雄
氷晶石製造試驗(於中央試驗所) アルミナ電解用添加劑として必要なる氷晶石の製造試驗をなす	同	滿鐵撫順アルミ	內野正夫 桜川堅
人造氷晶石に関する研究	研	東京工試	田中健二
活性炭に依る二酸化硫黄の吸着(同所彙報第13輯第8，12號第14輯第2號) (1)吸着量と溫度及壓力との関係　(2)活性化の溫度及時間の吸着能に對する影響　(3)高溫に於ける吸着平衡　(4) Hysteresis に付て　(5)吸着の機構に付て	完	理研	有井癸巳雄
活性炭による二酸化硫黄吸着に付て	研	同	同
活性炭の研究	同	同	餘六鐵 深川庫造
粃殼利用の研究 活性炭製造の研究及含有物質の化學的研究	同	同	神山賢一郎 大橋雄二
粒狀活性炭の應用に付て 釀造用水、製品等に粒狀炭を應用し其の效果程度を知らむとす	同	大藏釀試	鈴木重一郎
活性炭脫色程度並に使用法の研究	同	和歌山工試	三田村豐
活性炭製造法 活性强き經濟的なる製造法	同	臺北大理農	濱口榮次郎
活性炭の研究 昆布乾溜炭の活性化	同	北海工試	大宅八十松 關場重房
簡易なる處理に依る活性炭製法の研究 市民の簡易なる防毒具に使用する爲各個人が容易に實施し得る如き活性炭製造法の研究	同	陸軍科研	山田櫻

研究項目	進度	機關	擔當者
ツンドラを原料とする活性炭製造の研究	研	京大化研	志方益三 長沼清一
活性炭の試作 (1) 植物纖維に塩化亞鉛液を加へ炭化し塩酸洗滌をなす (2) タンニン塩類を炭化し塩酸洗滌に依る	同	山口工試	時岡隆太郎
製糖用活性炭の研究 木炭を簡單に附活し廉價にして優秀なるを目的とす	同	大日本活性炭	江戸川吉之助 永井七郎 河上岩男
清酒用活性炭の研究 清酒に使用して炭香絕無を期す	同	同	同
溶劑回收用吸着劑の研究 優秀なる活性炭其の他吸着劑の研究	同	同	同
活性炭製造研究 石炭を原料とし加硫を行ひ活性炭を製造す	同	三井鑛山(目黒)	池邊瀧三郎 竹井政夫 外二名
活性炭利用及製造研究 活性炭の性能及用途研究並に石炭及木材を原料とし藥品賦活法により活性炭を製造す	同	同	勝木壽一
木炭を原料とする活性炭に付て	完	圓山研究所	矢崎貞造
清酒用活性炭に付て 清酒の香及風味を變ぜずして脫色する特殊活性炭の研究	同	同	同
活性炭の製造研究 脫色脫臭用として有用なる活性炭を木粉纖維素等の廢物を藥品の存在にて炭化處理す	研	福山工試	土岡憲二
防毒マスク用活性炭の製造研究 鋸屑を原料とし之に藥品を浸漬し成形造粒し後低赤熱に焙燒堅硬にして碎け難き優良なる活性炭を作る方法の研究	同	東京工大	田丸節郎 永廻登 濟合和男 外十一名
活性炭の研究 活性炭の製造法並に其の物理化學的性狀に関する研究	同	內務東京衛試	勝田泰 福山富太郎
活性土の研究 活性土の製造並に其の物理化學的性狀に関する研究	同	同	同

2 醫　藥　品

デヒドロキニーネの製造研究 肺炎其の他に用ひらるる本品をニッケルを觸媒としキニーネ塩を容易に還元し得たり	完	內務東京衛試	板井孝信

研究項目	進度	機關	擔當者
芳香族ニトロ化合物の電解還元によるアミノ化合物の製法（同所彙報第46號） ニトロフェノール、ニトロアニリン、ニトロフェネトール、ニトロトルオール等を電解還元して相等せるアミノ化合物を簡單に且有利に純品を製造するにあり	完	内務東京衛試	河田五郎市 若松三郎
ヒドラスチニン製造試驗（同所彙報第46號） ナルコチンを原料とするヒドラスチニン（止血藥）の製法中諸点を改良し生成率を高め得たり	同	同	田中穣 山口一孝
ニトロクロルベンゾールよりニトロフェノールの製造（同所彙報第46號） アルコール製苛性カリと160°Cに加熱したる場合成績良好なり	同	同	青山新次郎 七井綱三
オルトニトロクロルベンゾールよりグアヤコールの製造（同所彙報第46號） オルトニトロクロルベンゾールより製造せる粗製オルトニトロアニゾールの蒸溜殘渣に付て研究し又粗製グアヤコールの精製に付報告す	同	同	青山新次郎 森田一貫 榎本正
2—クロル、4—ニトロ、トルオールの赤血塩による酸化（同所彙報第46號） 二酸化マンガンを添加し赤血塩にて酸化し順調に 2—クロル4—ニトロ安息香酸を製造し得たり	同	同	青山新次郎 清水二郎
大風子油脂肪酸エチルエステルの製造（同所彙報第46號） 中間工業的製造試驗成績	同	同	近藤龍二 井上芳雄 田中泰
アミノピリンの原料 4—アミノアンチピリン、ノバルギン及メルブリンの製造方法（同所彙報第46號） 各種製造法の比較	同	同	近藤龍三 篠崎好名 外二
ヲガルカヤ精油成分に付て（同所彙報第46號） ヲガルカヤの花穗より得たる芳香精油中よりカンフェン、エレミシン等を分離證明せり	同	同	刈米達夫 馬島淳子
ブトカイン製造試驗 α—ブトキシシンコニン酸ヂエチルエチレンヂアミドにして優秀なるコカイン代用藥なり、イサチンを出發原料として之が製造試驗を行ふ	同	同	田中穣 宮永謙介 寺井靖
フェニル水銀アセテート及ラクテートの製造試驗（同所彙報第46號） 有力なる殺菌消毒劑なり、文獻記載の方法を改良して之が純品を得たり	同	同	田中穣 京田登
ヤブジラミの精油成分 ヤブジラミ精油中の種々のセスキテルペン類の研究	研	同	刈米達夫 馬島淳夫
大風子油の研究 水溶性大風子油製劑の創製	同	同	近藤龍二 井上芳

研究目項	進度	機關	擔當者
當歸の精油成分 當歸實の精油中の有效成分の研究	研	内務東京衛試	刈米達夫 菅野詢
サントニン類似化合体の合成 サントニンと同型のラクトンを有する芳香族化合体の合成研究	同	同	刈米達夫 市川可知男
ヂメチルアニリン及ヂエチルアニリンの製造研究 新製造法に付て研究	同	同	近藤龍 三橋寅三
葡萄糖の電解還元によるソルビットの製造（一部完了）（同所彙報第46號） 葡萄糖を電解還元して $(CHOH)_4$ $(CH_2OH)_2$ を製造す	同	同	藤岡忠仁
ノボカインの製造研究 局所麻醉藥たる本品をクロル安息香酸より合成せんとす	同	同	板井孝信 高山靖
ヂヒドロコデインの製造研究 鎮咳鎮痛藥たる本品をヂドロキニーネにて良結果を得たるニッケルを用ふる接觸還元にて得んとす	同	同	板井孝信
驅虫藥の研究 種々のフェノールラクトン類の製法に付て研究し有力なる驅虫藥を得んとするにあり	同	同	田中穣 宮永謙介
ウレタン誘導体の製造試驗 ハロゲンを含有する種々のウレタン類の製法を研究し毒性少き強力の催眠藥を得んとす	同	同	田中穣 水野辰夫 神谷正
フェニル水銀タータラートの製造試驗 上記化合物を純粹に製し之を消毒殺菌劑として應用せんとす	同	同	田中穣房 鏡味忠
キノフェンの製法に関する研究 デブナー氏法に依るキノフェン（神經痛ロイマチス藥）の製法に於て生成率の向上等に関する研究	同	同	田中穣 寺井靖一 堀田好
バルビタール類の製造試驗 バルビタール類の製法に付て研究し毒性少き強力なる催眠藥を得んとす	同	同	田中穣 水野辰夫
ニトロ化合物の電解還元によるアミノ化合物の製法 ヂニトロベンゾール、ニトロナフタリンの電解還元による各アミノ化合物製法	同	同	河田五郎市 若松三郎
澱粉よりグルコン酸石灰の電解的製造法 澱粉の糖化と電解酸化との相関的研究	同	同	藤岡忠仁
アルカロイド類の電解的水素添加法の研究 モルヒネ、コデイン、ヂオニン等の阿片アルカロイドの水素添加を電解的に行ひ簡單に且有利に各種ヂヒドロ化合物を製造せんとするにあり	同	同	河田五郎市

研究項目	進度	機關	擔當者
タンニン酸フェナゾリンの製造研究 食慾催進藥なる本品をアントラニル酸より出發し合成せんとす	研	内務東京衛試	板井孝信 尾島繁雄
阿片アルカロイド並に其の誘導体の製造 各種製造法の比較と新製造法の確立	同	同	寄山新次郎 市川重春 廣木長衛
4—アミノアンチピリン或は 4—ホルミルアミノアンチピリンよりアミノピリンの製造研究 解熱藥アミノピリンの最經濟的なる製造法の探究	同	同	近藤龍 篠崎好三 清水二郎
アルカロイド類の電解酸化の研究 テバインの電解酸化の研究	未	同	河田五郎市
葡萄糖の電解酸化生成物の研究 グルコン酸及ケトグルコン酸の生成及其の分離	同	同	藤岡忠仁
ビオステリンの理化學的性質並に其の生理的意義に付て（同所彙報第13輯第8號） イシナギ肝油のビタミンA區分の水素添加に付て研究す	完	理研	中宮次郎
ビオステリンの精製及其の結晶性誘導体に付て（同所彙報第13輯第12號）	同	同	濱野貞行
ビオステリンの研究	研	同	中宮次郎 山本巖夫
ビオステリン大量注射による痙攣に付て（同所彙報第13輯第10號）	完	同	松岡登
カンフェロール並に他の酸化カンフルの藥理學的研究（同所彙報第13輯第8號）	同	同	武部虎一
カンフェロールの成分に付て（同所彙報第13輯第8號）	同	同	島本鶴造
兎の尿より得たるカンフェロールに付て（同所彙報第13輯第9號）	同	同	同 佐橋佳一
カンフェロール及オキシカンフルの化學的研究（同所彙報第13輯第8號）	同	同	武内邦次郎 外二名
p. オキシカンフルの性質に付て（同所彙報第13輯第8號）	同	同	佐橋佳一 武内邦次郎 伊木常安
β—(10)オキシカンフルの合成及其の性質に付て（同所彙報第13輯第8號）	同	同	伊木常安
π—(8 or 9)— オキシカンフルの合成及其の性質に付て（同所彙報第13輯第8號）	同	同	佐橋佳一 伊木常安
p(5)—オキシカンフルの合成並に其の性質に付て（同所彙報第13輯第8號）	同	同	武内邦次郎
ストリキニーネの化學的構造の研究	研	同	小竹無二雄
配糖体の合成	同	同	藤瀬新一郎 三井生喜雄

研究項目	進度	機關	擔當者
配糖体に関する研究	研	理研	小竹無二雄
胃腸藥中のヂアスターゼ糖化力に付て 胃腸藥に配合せらるゝヂアスターゼ又は藥品に麥芽末を配合しヂアスターゼの糖化力が何れの藥品に對し最も減退するやの試驗	完	富山藥試	水上慣一郎
丸劑の黴止劑に付て 丸劑に黴止劑を配合し飽和濕度及適當の溫度中に一定期間放置して黴菌の發生有無、日數を檢す	研	同	布上忠紀 澤井博
糖衣に関する試驗研究 丸劑錠劑の糖衣方法を研究	同	同	水上慣一郎 澤井博
ガラス製壹藥用容器の品質適否試驗 ガスラ製容器より溶出するアルカリが内容品に及ぼす影響大なるを以て容器品質の試驗規準を定めんとす	同	同	館村五三郎
硬膏劑の試驗研究 耐久的粘着力ある硬膏劑の製造方法を研究す	同	同	同
点眼水の各種に付壹藥としての適否試驗 十數處方の点眼水を試製し時日の經過に伴ふ變色沈澱の有無及容器原料の殺菌的のものと否とによる變質関係を試驗せんとす	同	同	同
冬綠油ステアリン酸アンモンより成るクリーム質の安定度に付て エステルの分離防止方法の研究	同	同	永森信治
タルクに依る錠劑、丸劑の被衣に付て 丸劑、錠劑の被衣方法及着色等試驗研究	同	同	布上忠紀
膏劑基質の試驗 各種の基質に付四季に渉り稠度及色彩の變化を試驗す	同	同	館村五三郎 堀井昌三
壹藥變質試驗研究 各劑別の各種方劑を考案試製し其の變質関係を試驗す	同	同	永森信治
坐劑の保存方法の試驗研究 蒸熟に因る成分溶出の難易並に保存に及ぼす関係を試驗す	同	同	澤井博
内裝包紙の防濕效力試驗 各種内裝包紙に付二三の試驗方法を適用し防濕效力を試驗す	同	同	堀井昌三
經時による丸藥崩解度と結合藥との関係に付て（昭9.業務報告） 丸藥の結合藥が丸藥崩解度に及ぼす經時的變化を知らんが爲同一主藥處方に結合劑及其の含有の割合を異にする多數の丸藥を作り三箇年間に亘り經時的に其の崩解度を觀察したり	完	奈良藥試	後藤謹二 村島良之助

研究項目	進度	機關	擔當者
はら藥の硬度及硬度と胃中に於ける關係試驗 業者の既成品を集め其の硬度と人工胃腸液中に於ける崩壞度を試驗せんとす	未	富山藥試	館村五三郎
配合禁忌の結果と藥包紙との關係に付て 有效なる處方に拘らず配合禁忌の方面より惡結果を認めしものあるを以て藥包紙の選擇より之が防止策を攻究せんが爲同種處方を數種の藥包紙に包み之れが變化を觀察しつゝあり	研	奈良藥試	後藤謹二 中西善盛
醱酵素の糖化低減と配伍藥品との關係及其の經時的變化試驗 醱酵素は保存中其の糖化力を漸減するを以て之れが對策を攻究する爲此等多數の市販品を數種の配伍藥を別個に配したるものゝ糖化力及其の經時的變化を觀察せんとす	同	同	後藤謹二 村島良之助
婦人藥の研究 本藥は原料並に製品が保存中黴を生じ其の他缺点多きを以て此等を除去する爲其のエキスを試製し製錠試驗を行ひ簡單なる錠劑となさんとす	未	同	同
賣藥の耐寒試驗 寒冷需要地に於て耐久力ある賣藥の完成をなさんが爲種々の劑形のものを試製し冷藏庫により試驗し之れが結果により夫々適當なる對策を攻究せんとす	同	同	同
糖衣掛方法の研究 製劑外觀の美化と其の服用容易化を期する一方法として重要なる糖衣掛は其の技術相當困難にして未だ一般に行はれざるを以て之が方法を研究する爲種々の劑形のものに付き順次試驗せんとす	同	同	後藤謹二 中西善盛
邦產藥用植物蒲黃、菖蒲根及石菖根の生產狀況調査（昭9.植物研究雜誌10卷、11卷） 本邦に於ける藥用植物の生產狀況殊に調製法と品質との關係を調査研究す	完	津村研究所	木村雄四郎 長町田鶴子
和漢藥類成分に關する總括的研究中伊豆縮砂の成分研究（一部完了）（昭9.藥學雜誌54卷1號） 國產醫藥品の自給自足を計る見地より和漢藥成分の科學的研究を行ふものとす伊豆縮砂の一新成分イザルビニン及アルビノンの化學的構造の研究	研	同	同
和漢藥の品質規格に關する研究の中芳香性生藥の植物性揮發油含量及一般恒數の定量に付て 和漢藥の規準的品質を知る爲一般成分を定量し品質統制上の資料たらんことを期す	完	同	木村雄四郎 河上暢男
和漢藥の品質規格に關する研究の中收斂性生藥のタンニン含量及一般恒數の定量に付て 和漢藥の規準的品質を知る爲一般成分を定量し品質統制上の資料たらんことを期す	同	同	木村雄四郎 星森雄
和漢藥の品質規格に關する研究の中漢藥萎蕤と黃精との比較研究 類似生藥と異同鑑別に資する爲生藥の顯微鏡的研究を行ふものとす	研	同	木村雄四郎 小山米子

研究項目	進度	機關	擔當者
和漢藥の品質規格に關する研究の中デリス根と魚藤との比較研究 類似生藥の異同鑑別に資する爲生藥の顯微鏡的研究を行ふものとす	研	津村研究所	木村雄四郎 小山米子
葡萄糖蜜の研究 各種原料による葡萄糖蜜の品質比較	同	靖和理研	川本玉一
日本藥局方葡萄糖の研究 局方葡萄糖の容積增加方法の研究	同	同	同
軟膏基礎劑の研究 溫度の低下により稠度に强き變化を來さざる軟膏基礎劑を求めんとす	完	三共(大連)	須子芳樹
ニコチン原料煙草の研究 米國種及滿洲種煙草よりニコチン原料として適種を求むる爲の比較試驗並に栽培方法による成分含有量の研究	同	同	米城善右衛門 外一名
2—オルソオキシ6—9—ヂアミノ、アクリヂン、ラクテートに付て 2—オルソオキシヂアミノ、アクリヂンを造り之と乳酸とを作用せしめて造る（深達性消毒藥）	同	鹽野義商店	御旅屋寛一
パラ、ブチール、アミノ安息香酸、ヂメチールアミノエチールエステル—モノクロールハイドレートに付て パラ、ブチール、アミノ安息香酸—ヂメチールアミノエチールエステルを造り可溶性のモノクロールヒドレートとなせるものなり（局所麻醉藥）	同	同	中島慶一
殺菌力强きアゾ化合物に付て 各種芳香族のヂアゾニウム化合物と芳香族アミンとを結合せしめて製す	研	同	佐藤大助
炭酸グァヤコールの研究	完	武田商店	小林謙司
サポニンの化學的研究（日本藥學雜誌）	研	同	桑田智
バルビツール酸誘導体の研究	同	同	小山俊二
硫酸アトロピンの製造 ヒヨスチアミンを轉化せしめて製造する法を研究す	完	星製藥	樫村鐸
パパベリンの工業的製造法 醫藥としてある特殊の疾病に偉效あることが發見せられ合成法でなく抽出法の研究	研	同	宮本貞一
キニーネ誘導体の製造研究 キニーネのフプレンを主体とする各種誘導体の製造及其の生理的作用の研究、キニーネより分解合成の過程を得るもの及他の有機化合物より合成する方法	同	同	同

研究項目	進度	機關	擔當者
消毒劑として水銀の有機化合物の製法 クレソール、トルオール類の化合物、水銀化合物の合成及生理的作用の研究	研	星製藥	宮本貞一
除虫菊有效成分の工業的抽出法 ピリトリンの抽出に依りエキスの製造溶劑の選擇、分解程度裝置の種類等の研究	同	同	同
コタルニンよりヒドラスチンノ製造 ナルコニン分解物タルニンを原料としヒドロコタルニン、ヒドロヒドラスチニンを經てヒドラスチニンとなす	同	同	樫村鑠
カサモチ精油成分ノトスミロールの新合成 水虫有效成分の簡易合成法	完	德島高工	大槇樹夫
野戰用消毒劑の研究 第一線の使用に適する簡易にして而も强力なる携帶用手指創傷消毒藥を得んとす	研	衛生材料廠	萩原三郎 原大次郎
ロダン尿素誘導体の合成的研究(昭 10.1 藥學雜誌) ロダン有機化合体の合成的研究	完	德島高工	堀井善一
ロダンフェニールヒドラチンの研究 ロダンの有機化合物の合成的研究	研	同	同
ω—クロル—アセトブレンツカテキンよりチアツヲール化合体の合成(昭 10,1 藥學雜誌) ω—クロル—アセトブレンツカテキンを母体とする化合物の合成的研究	完	同	同
ラノリンよりコレステロール及オキシコレステロールの製造研究 各種溶劑を使用しコレステロール及イソコレステロールを分離し且酸化生成物を得んとす	研	東京奬勵館	松本常太郎
パラベンヂル・メルカプト・フェニルアルヂン酸の合成 含硫黄砒素有機化合物の合成を目的とす	完	米澤高工	高橋酉藏
エセリンの合成研究 アフリカ產カラバル豆の猛毒アルカロイドエセリンの合成研究	研	東京工大	星野敏雄 小林貞之助
藥局方ワセリンの製造 西山原油より製出せんとす	完	日石(柏崎)	赤澤福松
アララギ葉の成分研究(昭 9.7 藥學雜誌629, 664) アララギの主成分タキシン $C_{37}H_{51}NO_{10}$ の化學的構造を闡明するにあり	同	米澤高工	高橋酉藏
クレオソートの研究 主としてグアヤコールの製造研究	研	大阪市工研	中土晃

研究項目	進度	機關	擔當者
アルコール抽出法に於ける廢液よりビタミンB劑の製造に關する研究 アルコール抽出法の副成物たるレシチン廢液を利用してビタミンB劑を製造せんとす廢液濃縮方法ビタミンBの吸着方法酵母培養によるビタミンB劑の製造研究	研	滿鐵中試	井瓜清一 宮崎勇
バルビツール酸誘導体に關する研究	同	旅順工大	西川武一
驅除劑の研究 殺蛆劑の强力なるものを製造せんとす	未	鹿兒島化研	鎌田肇 福谷眞一
樟腦に關する研究	研	理研	佐橋佳一郎 武内邦次郎 外二名
樟腦と二酸化硫黄との反應速度に付て（同所彙報第13輯第7號）	完	同	石川總雄 橋本長雄
樟腦—二酸化硫黄系の平衡に付て(同所彙報第13輯第7號)	同	同	石川總雄 三室井三郎 岡豐作
樟腦の減耗並に回收に付て 樟腦の昇華精製に際して生ずる減耗と風量並に溫度との關係を研究し之が合理的回收法を講ず	同	日本樟腦	桝田卯之助
樟腦結晶室に付て 樟腦を昇華精製に際し結晶室の大さ溫度が精製及減耗に及ぼす影響を研究せり	同	同	同
樟腦屬化合体の物理化學的性質の研究並に調査	研	同	山田清一 桝田卯之助
樟腦連續精製法に付て 粉末並に板狀精製樟腦を立体的分溜裝置に依り粗製樟腦より直に製造せんとす	同	同	山田清一 山村遷生 野外二名
樟腦精製作業中副生する油分多き樟腦の利用に付て 二三藥品の製造研究を終へ目下該藥品の精製研究中	同	同	山田清一 藤高輝次
樟腦の減壓精製法に付て	未	同	山田清一
合成樟腦に關する研究	同	同	同
樟腦の精製に關する研究 樟腦の變質減耗等を防止し得べき新製腦法に付研究中なり	研	專賣中研	矢作富藏 土橋力太
樟腦の生因に關する研究 樟樹涵養の基礎を確立すべく樹体内に於て樟腦を生成すべき原基体に付研究す	同	同	矢作富藏
隨時採腦試驗 從來の製腦法は一仕舞毎に蒸溜を中止し冷却器を開放して樟腦を採取し居れども之を連續蒸溜法に改良する研究	同	專賣鹿兒島試	島崎端吾
樟板製腦試驗 樟樹を板材として含有樟腦及樟腦油を蒸溜し其の廢材を利用せんとする製腦法の研究	同	同	同

研究項目	進度	機關	擔當者
樟丸太製腦試驗 樟樹に何等の加工を施さず丸太のまゝ含有樟腦及樟腦油を蒸溜し其の廢材を利用せんとする製腦法の研究	研	專賣鹿兒島試	島崎端吾 平尾子之吉
樟より樟腦及樟腦油製造に関する研究	同	再製樟腦	持田敏雄 泉正直
樟腦を原料とする藥品の製造研究 樟腦其自体藥品なれど之より導かるゝ藥品の數多し一例を擧ぐれば樟腦を硝酸化して得る樟腦酸の如し	同	高砂香料	植田正一
ポリエチレン酸ロダニッドのハロゲン化反應に付て 農藥醫藥に應用の目的にてポリエチレン酸ロダニッドをハロゲン化して合成せり	完	京大化研	木村和三郎

3 火　藥・爆　藥

研究項目	進度	機關	擔當者
火藥類の感度に関する研究(火研報乙第123號第127號)	完	火藥廠	新美政義
火藥類及火工品劑の吸濕性、感度及發火点試驗（火研報乙第121號）	同	同	滿尾貞弘
エチレンガスの分析法(火研報乙第115號) 火藥類の爆發に依り生ずるガス成分中より正確に分離定量する方法の研究	同	同	富岡孝三 鈴木軍治
アセチレンの分析法(火研報乙第118號) 火藥類の爆發或は燃燒に依て生ずるアセチレンの正確なる分析法の研究	同	同	同
硝燐混酸に依る高ニトロセルロースの研究(火研報乙第124號) 無煙火藥用として强力なる綿藥の研究	同	同	千藤三千造 千木川信之雄 小島光
ニトロセルロースの變性に関する研究(火研報乙第112號) 稀アルカリ液に依る加壓煮沸がニトロセルロースの諸性質に及ぼす影響	同	同	同
ニトロセルロース及ニトロメチルセルロースの溶解度に付て(火研報乙第114號) 各種溶劑に對する溶解機構の探究	同	同	本川信之
安息香酸セルロース並に其の硝化物の研究(火研報乙第113號) 安息香酸セルロースの製造法、硝化及精製法並に硝化物の諸性質探究	同	同	近藤次郎 中山久夫
綿藥膠質に関する研究 綿藥溶液の諸性質と火藥の物理的性質との研究	研	同	新美政義 石原昌訓

研究項目	進度	機關	擔當者
無煙火藥の安定劑の分解に付て 各種無煙火藥の貯藏中に於ける安定劑の分解を比色的に研究す	研	造兵廠(火工)	小島太郎
火藥の各種安定度試驗法の比較研究 各種試驗法を比較研究し火藥の安定性と試驗法との関係を研究す	同	同	同
火藥に對する各種安全膠化劑の合成の研究 火藥の安定膠化劑として有望なる物質の合成をなし火藥に對する安定機作を研究す	同	同	齋藤隆二 野原茂
火藥爆藥の帶電性の研究 火藥及爆藥の各種條件の下に於ける帶電性に関する研究	同	同	齋藤隆二 中岡一郎
ニトロセルロースの膠化劑による膠化機作の研究 ニトロセルロースの種々膠化劑に依る作用の機作に関する研究	同	同	齋藤隆二
ヂフェニルアミンと亞硝酸ガスとの反應に関する研究 各種溫度に於けるヂフェニルアミンと亞硝酸ガスとの反應生成物を研究し火藥安定劑の安定作用の機作に関し研究	同	同	同
火藥類爆發反應に及ぼす添加物特に減熱消焰劑の效果	同	東大工	西松唯一 山本祐德
ペンタエリスリットの製造 ホルムアルデヒド及アセトアルデヒドより火藥原料となるペンタエリスリットを製造せんとす	完	朝鮮石炭工業	三芳春樹 木下義忠 佐藤璣
綿藥の楷段分別	研	東大工	西松唯一 山本祐德
爆藥の燃燒及生成熱の測定(火研報乙第122號) 爆藥威力計算の基礎的數値	完	火藥廠	宮岡孝三 高橋一二
クロダイド爆藥の安全度研究 打擊振動及点火に對する安全度の研究	同	南滿火藥	細川良久
工業爆藥と工業雷管との関係	研	東大工	西松唯一 山本祐德
ダイナマイトの膠化性	同	同	同
硝酸アンモンに関する研究 硝酸アンモン爆藥原料として適當なる結晶形其の他に関し研究す	未	滿洲化學	後藤久生 中川鹿藏

4 染　　料

研究項目	進度	機關	擔當者
染料と温度との關係に付て(同場研究報告第5號) 染料を一般着色料として取扱はんとするときそれが熱に對する堅牢度は甚だ重要なる事なるも研究せられたるもの少きを以て之が研究をなし市販染料125種の100°～255°Cに於ける色調の變化を檢せり	完	神奈川工試	山田桂輔 野口忠雄 鈴木義郎
染料性質研究 各種染料に付染法、色相、濃度の各種堅牢度並に光學機械に依る色相の測定法研究	研	三井鑛山(目黒)	小室清夫 竹重榮一郎
染料の膠質化學的研究(工業化學雜誌) コンゴー赤に無機酸を加へて得たるコンゴー青ゾルが中性塩添加或は加熱に依り呈する色調變化及之に及ぼす保護膠質の作用の研究	同	京都高工藝	田中隆吉
染料褪色の化學的研究 染料褪色生成物を分離確定し其の褪色機構を論ぜんとす	同	桐生高工	岩本健二
染料の定量法に付て 水溶性ある市販染料を特殊有機塩基の塩として沈澱せしめ定量せんが爲此の目的に適する有機塩基を合成せんとす	同	同	同
染料の光學的研究	同	日本染料	研究所員
染料及其の中間物の新分析法の研究	同	同	同
染料製造用有機及無機物の品質規格の研究	同	同	同
天然色素の研究	同	理研	黒田チカ 和田利雄 眞島利行 村上増雄 入江遠 中村照子
特殊色素に関する研究	同	同	
細菌性色素の研究	同	同	
チオインヂゴ屬色素の研究	同	同	尾形輝太郎 丸山駿一
インヂゴ誘導体に付て	未	德島高工	上村久造
チオインヂゴ系染料合成研究(インダンスレンブリラントローザB外一種) ヘルツの化合物より市販既知又は新チオインヂゴ系染料を合成す	完	東北大工	柴田林之助 西鐵之助
チオインヂゴ系染料合成研究	研	同	柴田林之助 奥山實 大泉正雄 上野藏
ハロゲンインヂゴの研究 クロルインヂゴ類及ブロムインヂゴ類の製法研究	同	東京工大	
インヂゴゾルの研究 主としてインヂゴゾルを製造する爲青藍を還元する硫酸化方法を研究す	未	福山工試	重松米一郎

研究項目	進度	機關	擔當者
色素レーキの研究 (1) 黄色ピグメントレーキの製造實驗 (2) 耐光性顏料に付て	研	內閣印刷研	栗田茂晴
レーキ色素の研究	同	日本染料	研究所員
アリザリン色素の異性体の研究 日光、洗濯、汗、摩擦に堅牢なる實用染料にして其の合成方法を研究せんとす	未	德島高工	上村久造
家蠶繭糸色素の化學的研究(日本農藝化學會雜誌第1報乃至第11報)	完	郡是製絲(理研)	奥正巳
橙色塩基性染料の研究	同	日本染料	研究所員
綠・黒及赤色直接染料の研究	同	同	同
アントラキノン系青色染料の製造 (1) メチルアントラキノンより出發して得 (2) 3トルドアミノアントラキノンスルホン酸染料の製造	同	日本醋酸	井上滋次郎 貞田務
アントラキノン系綠色染料の製造 アントラキノンより出發してヂトルドアントラキノンスルホン酸の研究	研	同	井上滋次郎
橙、褐、黒及青色酸性染料の研究	完	日本染料	研究所員
赤色酸性染料の研究(一部完了) レーキ化の機構を求むる研究は完了し目下レーキ化の溫度の影響を研究す	研	東洋インキ	稻垣喜一
アヂン染料の製造研究 酸性青色アヂン染料ウールファストブリューの製造研究	同	大阪市工研	渡邊卓郎 山內英夫
アヂン染料の研究	同	日本染料	研究所員
チアヂン染料の研究	同	同	同
綠色及黒色酸性媒染々料の研究	完	同	同
黄色不溶性アゾ染料の研究 帶綠黄色の新レーキを合成す	同	東洋インキ	高島永保
黄色不溶性アゾ染料の研究 本邦に於て未だ工業化せられざるものを求む	同	同	神谷香一
不溶解アゾ染料の分析法研究 一般染料分析法と異なる方式を求む	研	同	湯川欣一
赤色不溶性アゾ染料の研究 染織物の色相並に其の濃度を特殊分光器にて測定する方法の研究	完	日本染料	研究所員

研究項目	進度	機關	擔當者
橙色酸性アゾ染料の研究 塩化ベンゾール誘導体より製法を研究す	研	東洋インキ	高島永保
アゾ染料の研究	同	日本染料	研究所員
アゾ染料の製造研究	同	大阪市工研	渡邊卓郎 山内英夫
アゾ染料に関する研究 構造未公知の主要アゾ染料の構造研究	同	東京工大	上野繁藏
アゾ染料應用に関する研究	同	理研	櫻井季雄 田沼三千尋
アゾ色素の研究	同	同	上野繁藏
赤色アゾ色素の研究	同	諸星商店	小島藤吉
青色硫化染料の合成研究（パイロゲンインヂゴの合成ヒドロンブリューの合成其の他）（工業化學雜誌第 4:4 號） ヘルツの化合物(塩化硫黄をアミン類に作用して合成す)より市販既知又は新青色硫化染料を合成し其の構造を論ず	完	東北大工	柴田林之助 西鐵之助
黄色硫化染料の合成研究 インダンスレンゲルブＧＦの合成其の他の研究	研	同	柴田林之助 奥山實 大泉正雄
硫化染料の研究	同	日本染料	研究所員
綠色硫化染料の研究	完	同	同
青色及綠色硫化染料の研究 色相鮮明なる青色及綠色硫化染料を國產化せんとす	研	大阪市工研	渡邊卓郎 山内英夫
紫色及海老茶色硫化染料の製造研究	同	同	同
青色建染染料の研究 堅牢美麗なる建染染料經濟的製造の目的にてアントラキノンよりベンザンスロン誘導体を作り之よりアルカリ溶融による青色染料を研究す	完	福山工試	土岡憲二
紫色綠色建染染料の研究(一部完了) 堅牢鮮明なる建染染料を製造せんが爲前年度に継續しアントラセンより研究す	研	同	同
建染染料に関する研究	同	理研	眞島利行 中西又雄
建染染料の研究 ベタメチルアントラキノンの誘導体の研究	同	山陽色素	濤川廣親 荒木末夫
建染染料の研究	同	日本染料	研究所員
建染、酸性直接酸媒塩基性、硫化媒染、雜屬各染料の製造研究(一部完了)	同	三池染料	三池染料工業所員

研究項目	進度	機關	擔當者
アクリヂン染料の研究	研	日本染料	研究所員
キサンテン染料の研究	同	同	同
トリフェニルメタン染料の研究	同	同	同
人絹用染料の研究	同	同	同
ゴム用染料の研究 ゴム加硫に強き着色劑を得んが爲不溶性アゾ染料系統及アゾ染料よりレーキを製造せり	完	福山工試	土岡憲二
帽子用染料の製造研究 トリフェニルメタン系酸性絲色染料の製造研究	研	大阪市工研	渡邊卓郎 山内英夫
油溶性染料の製造研究	未	同	同
メタンの利用及高級インダンスレン系染料の合成	研	理研	小田良平
アントラセン系新染料製造法に関する研究	同	東京工試	藤木經明 菅山五六
タートラヂン(黄色染料)の製造 ヂオキシ酒石酸より出發するタートラヂンの製造法に関する研究	同	日本醋酸	井上滋次郎
橙色不溶解性染料の研究 ヂクロ、ベンゾール誘導体よりの製法の研究	同	東洋インキ	神谷香一
ナフトール染料の研究	同	東京工大	上野繁藏 鈴木太藏
纖維素に吸收せられたるナフトール染料下漬劑の痕跡をも脫落せしむる清淨劑及其の方法の研究	完	日本染料	研究所員
ナフトール染料下漬劑及顯色劑の研究(一部完了)	研	同	同
ナフトール類電解ニトロソ化法の研究 各種ナフトールの電解ニトロソ置換方法を研究し此の種の合成方法の改良に資せんとす	完	大阪工試	江見浩一
染料中間体のカップリングに依る定量法の研究の中、カップリング用ヂアゾ液の選擇並に主要なる染料中間物の正確なる定量法に付て(工業化學雜誌第38編) メタヂアミン、ナフトール、ナフトールスルホン酸類、アミノナフトールスルホン酸類の正確なる定量法	同	東京工大	上野繁藏 關口春雄
ナフトール類とモノクロル醋酸との反應研究 多數のナフトオキシ醋酸誘導体を合成しアゾ色素用中間体として優秀なるものを合成せんとす	同	東北大工	柴田林之助 奥山實
ナフトール類とモノクロル醋酸との反應に関する研究	研	同	柴田林之助 奥山實 大泉正雄
ヨードを含む色素及中間体の合成研究 ヨードを含む色素乃至藥品中には染料として以外の效用に役立つ機能を有するものあり是が探究を開始す	同	同	柴田林之助 武田豐太郎

研究項目	進度	機關	擔當者
染料中間物定量法の研究	研	東京工大	上野繁藏 石川瀧雄 關口春藏
染料中間体製造に應用せらるゝ主要化學反應の基礎的研究 ニトロ置換還元等の基礎的研究	同	同	上野繁藏 鈴木太藏 關口春雄
ニトロソ置換反應に基くレゾルシンの新定量法（工業化學雜誌第38編）	完	同	上野繁藏 鈴木太藏
亜硝酸ソーダ規定液に依る滴定に基くレゾルシンの簡便正確なる定量法			
アルキルオルトトルイヂンの製法及應用の研究 メチル及エチルオルトトルイヂンの製法、之等のスルホン置換、スルホン置換物のアルカリ溶融、生成物より種々の染料の研究	研	同	上野繁藏 鈴木太藏 關口春雄
キノリン黄類の研究 キノリン黄類の合成並に染色的性質の比較	同	同	上野繁藏 白田達
カルバゾール誘導体の合成的研究 染料の中間体等として重要なる誘導体の合成的研究	同	同	星野敏雄 木本賴三郎
芳香物化合物のスルホン置換に関する研究 ベンゾール、トルオール、クロルベンゾール等のスルホン置換	同	同	上野繁藏 關口春雄
アミノアントラヒドロキノン硫酸エステルより誘導せらるゝ染料の研究 アシル化せるアミノアントラキノンをピリヂンクロロスルホン酸存在の下に金属粉末を作用し還元と同時にエステル化して得るものを原料としたる染料の合成及性質の研究	同	桐生高工	岩本健二
オーラミンO工業的製造法 テトラメチルヂアミノヂフェニルメタンより出發する焙燒法の工業的研究	同	日本醋酸	嶺田誠一
蟻酸及ホルマリンの應用に関する研究 塩基性及酸性染料にて植物性及動物性繊維を染色するに醋酸の代用に蟻酸を使用したる際の效果に付實驗を行ふ	同	大阪市工研	濱崎彌市
クレソールの分離及其の應用 粗製クレソールよりメタ、パラ、オルト異性体の分離及其の染料への利用研究	同	九大工	宮川一郎
アントラキノン誘導体に関する研究 合成並に性質研究	未	長岡高工	山口四郎
フラブインヂュリン及其の誘導体に付て（一部完了）（工業化學雜誌第38編第4冊第446號，同場研究報告第5號） フラブインヂュリン及其の誘導体の合成並に構造上の研究をなし其一部を完了せり	研	神奈川工試	山田桂輔 野口忠雄

研究項目	進度	機關	擔當者
ベンジヂンの製造 ワニリン製造傍生物よりベンジヂンの製造を研究す	研	日本香料藥品	川端澄
ベンジヂンの研究 ベンジヂンの經濟的製造の目的にてベンゾールを硝化してニトロベンゾールとなし之を還元せり	完	福山工試	重松米一郎
ローダミン類研究 美麗なる塩基性染料を安價に製造する爲ヂメチルアニリン、無水フタル酸より製造す	研	同	同
パラアシッドフェノールの製造研究	未	同	土岡憲二
アセト醋酸エステル誘導体の合成に付て ナフトールAS～Gハンサイエローの研究	完	山陽色素	濱川廣親 大賀壽一
フェニル 1. メチル 3. ピラゾロン 5. の合成に付て	研	同	同
コンヴエルジョン捺染を得る目的にて還元性抜色糊中に添加されたる觸媒の效力を無效ならしむる方法	同	日本染料	研究所員
染色用ヂアゾ化合物に對して不感性のタンニン酸誘導体又はチオフェノール化合物の研究	同	同	同
硫化カーキの製造 メタトルイレンヂアミン及アミノアゾベンゾールにて製す	未	大和染料	岡田貞重
カルバゾールの製造 アントラセンよりピリヂンにて抽出す	同	同	同
ヒドロンブルーの製造 常法によりパラニトロソフェノール及カルバゾールにて造る	同	同	同
インダンスレン染料絹糸染色廢液より染料回收試驗（昭9業務功程） インダンスレン染料の染色は廢液中に染料殘存するを以て之が回收を計らんとし、廢液に酸を加へ苦性ソーダを中和したる後酸化劑を以て染料を沈澱せしめて濾過す	完	秩父工試	岩堀英雄
壁紙不褪色色料の研究	同	三菱製紙	中村長一 菊川寶
アニリン中の微量のニトロベンゾール並にO—トルイヂン中の微量のO—ニトロトルオールの定量法（工業化學雜誌第38編） ニトロ化合物の還元又は比重試驗に基く定量法	同	東京工大	上野繁藏 鈴木太藏
ヂメチルアニリン製造研究 加壓加溫の下に接觸劑を使用しアニリン及メタノールを原料としヂメチルアニリンを製造す	同	三井鑛山（目黒）	伊川浩藏 中島克巳
モノメチルアニリン製造研究 加壓加溫の下に接觸劑を使用しアニリン及メタノールを原料としモノメチルアニリンを製造す	研	同	同

研究項目	進度	機關	擔當者
ヂメチルアニリンの製造 アニリンをメチレーションして製す	研	大和染料	岡田貞重
アニリンの製造 ニトロベンゾールを還元して製す	同	同	岡田貞重外一名
ニトロベンゾールの製造 アニリン製造及染料中間体として供用を目的とし純ベンゾールを混酸を以て硝化す	同	同	同
アニリン油電解酸化に付て（日本化學會誌 Vol. 10 No. 8）	完	福井高工	安井豐吉
セルロイド着色染料選定試験(昭9同場業務報告) 人体解剖に際し用ふるセルロイド溶液を着色すべき耐塩酸處理用染料の選定をなせり	同	神奈川工試	高田有吉

5 塗料・顔料

研究項目	進度	機關	擔當者
製版用冷エナメルの製造法に付て(昭10同局報告第2號)	完	内閣印刷研	小林榮一
珐瑯エナメルの研究 高抵抗を有する抵抗管製造の材料として特殊なる珐瑯エナメルの製造研究	同	芝浦製作所	村上透
船底塗料試験(造船部研究實驗成績報告第110號) 各種製品の船底塗料として適否を決定す	同	横須賀工廠	廣幡増彌外一名
特殊船底塗料實艦試験(造船部研究實驗成績報告第96號) 實艦に適用し其の成績の良否を檢す	同	同	同
スパーワニス、パテ及ドライヤ試験（造船部研究實驗成績報告第121號） スパーワニス、パテ及ドライヤを從來使用品と對照試驗す	同	同	同
船底塗料實艦試験	研	同	同
船底塗料比較試験 各種船底塗料の性狀及試驗板による諸試驗を行はんとす	同	同	同
同	未	同	廣幡増彌
船底塗料の下塗に鉛丹を塗抹するの可否實驗	研	同	廣幡増彌外一名
船底塗料の實驗 (1)船底下塗塗料の乾燥狀況の相違による防蝕效力實驗 (2)不二及東亞コールド船底塗料實艦試驗	完	呉工廠	前田龍男 宮川秀人

研究項目	進度	機關	擔當者
船底塗料の實驗 東亞ホットベネヂアン實艦試驗	完	呉工廠	小堀龍造 前田龍男 宮川秀人
船底塗料の實驗 (1)船底用ズボイド試驗 (2)海水表面に浮游せる重油等が船底塗料塗膜に及ぼす影響	未	同	前田龍男 宮川秀人
船底塗料の研究 (1)酸化第二鉄、三葉印防銹赤銹溶解鉛丹、鉛丹(A號)の曝露、耐温試驗 (2)高田、東亞特殊、舞工、中國、大東、万國、淺川、日本ホベリング及東亞ホットベネヂアン、外國ベネヂアン、中國コールドベネヂアンを海水に浸し比較試驗を行ふ (3)英國モレビヤ社、ピーコック社製水際塗料の實艦試驗	完	佐世保工廠	岡村恒四郎 山高市兵衛
船底塗料の研究 オリエンタル社、旭硝子、不二製のスパーワニス、パテ、ドライヤに付比較製驗を行ふ	同	同	米元竹平 山高市兵衛
市販各種船底塗料比較試驗(研究實驗季報)	同	舞鶴工作部	勝谷善作 木村朝美
船底塗料の研究	研	理研	稲葉見敬 野村七郎 石川周三 外二名
特殊塗料に関する研究 船底に固着する生物の生態學的研究及船底塗料の化學的研究	同	同	
ホットベネヂアン船底塗料の研究	完	高田船底塗料	岡屋甚一
纖維貼着による船底防汚法に付て	同	同	齋藤定藏
船底塗料の研究 效力優秀にして塗裝簡易なる船底塗料の研究	研	東亞ペイント	新井洋吉
水銀を含まざる船底防汚塗料の研究（工業化學雜誌） 水銀以外の無機有機毒性物質と水銀との防汚效果比較研究	同	同	大島重義
船底塗料の研究 船底塗料一般に関する研究特に各種毒物並に各種展色料の比較	同	日本ペイント(大阪)	建林二郎
船底塗料の研究	同	戸畑鑄物化研	大橋喜久三 島村鉞
船底塗料の研究	同	第一工業製藥	芝時孝
船底塗料用有機毒素の研究 有機砒素化合物、有機シアン化合物等の毒性研究	完	山陽色素	齋木龜治郎 八木貞雄
ペトローレンの製造 低温タールピッチより船底塗料等に使用さるゝペトローレンを製造せんとす	同	朝鮮石炭工業	三木芳樹 下義忠 佐藤戔
特性サビ止ペイント試驗(造船部研究實驗成績報告第95號)	同	横須賀工廠	廣幡増彌外一名

研究項目	進度	機關	擔當者
サビ止ペイント比較試驗 サビ止ペイントの比較試驗を行ひ船体防銹用として從來使用のものに代り得るものありや否やを知らんとす	研	横須賀工廠	廣幡増彌 外一名
サビ止ペイント試驗 特殊油のサビ止ペイント溶解油としての可否を檢せんとす	末	同	同
サビ止ペイント比較試驗(研究實驗季報) 各種サビ止ペイントの比較試驗を行ひ船体防銹用として從來のものに優るものありやを知らんとす	研	舞鶴工作部	勝谷善作 木村朝美
一般塗料に関する實驗 (1)サビ止ペイント比較實驗　(2)スパーワニス、パテ及ドライヤ試驗　(3)清水庫内面塗料比較實驗　(4)艦船水線附近及船底沒水部防銹塗裝法の研究　(5)プロペラ軸塗裝法の研究	同	呉工廠	前田龍男 宮川秀人
水中サビ止ペイントの研究 清水海水の貯藏槽内部サビ止ペイントの研究	完	東亜ペイント	新井洋吉 寺田進
オイルタンカー船艙内部塗料の研究 燃料油及海水を交互に滿す船内の油槽の防銹用塗料の研究	研	同	平木新太郎
輕量サビ止ペイントの研究 鉛丹に代る輕量サビ止ペイントの研究	未	同	大高清作
サビ止ペイント体質の研究	研	鐵道研	廣瀬誠一
特殊人造レジンによるサビ止ペイントの研究	完	戸畑鑄物化研	平井正夫 岩谷藪
金属面の處理及サビ止ペイント施工法	同	同	大橋喜久三 島村鉞
各種サビ止ペイントの日光曝露試驗 橋梁用塗料を長期に渉りて直射日光に曝露し其の變質程度に依り耐久力を推定する試驗	研	東京市土試	渡邊米一
金属サビ止ペイント特に耐熱に関するものゝ研究	未	東京高工藝	稲生有年
水性塗料の防腐に付て 澱粉質糊料を用ふる水性塗料の粘度低下防止に関し研究し適當なる防腐劑を選定す	完	大阪市工研	山崎金五郎
水性塗料の研究 完全なる耐水性塗料の製出を遂ぐ	同	第一工業製藥	吉田初太郎
水際塗料實艦試驗	研	横須賀工廠	廣幡増彌 外一名
水際塗料の研究 船舶の水際に塗裝する防銹用塗料の研究	同	東亜ペイント	寺田進
耐酸塗料試驗(造船部研究實驗成績報告第145號) 艦船用として耐酸塗料と塩化ゴム塗料との比較試驗を行ふ	完	横須賀工廠	廣幡増彌 外一名

研究項目	進度	機關	擔當者
特殊塗料の製造に関する研究 耐酸、耐アルカリ、耐熱、耐油、彈性等特殊の性質を具備する塗料の製造研究	研	大阪工試	松本源
耐酸塗料に関する研究 ポリスチロール應用塗料及耐酸性各種人造レジンの製造研究	同	大阪市工研	庄野唯衛 和田勉
耐酸耐アルカリ性塗料の研究 菜種油低級酸部より耐藥劑性耐水性分成乾燥性油を製造せんとす	未	同	山崎利一郎 野呂廣雄
耐酸塗料の研究 酸類特に硫酸に對する抵抗力强き塗料の研究	完	日本ペイント(大阪)	松本健次
アスファルトを利用する塗料の研究 アスファルトの耐酸、耐藥品性を利用せる數種の特殊塗料の製造研究	研	同	小林晃
耐酸塗料の製造に付て 石炭酸系人造レジンを原料とする耐酸塗料の製造法の研究	完	關西ペイント	酒見恒太郎 内山次郎
耐酸塗料の研究 ピッチ類を原料とする安價にして耐油性ある耐酸塗料の製造	未	同	林良治
人絹工場用耐酸塗料の研究 人絹工場内に於て黄變せざる塗料の研究	研	東亜ペイント	大高清作 増田庸三
耐酸耐アルカリ無臭塗料の研究 耐酸、耐アルカリにして無臭を必要とする箇所に使用する塗料に付て	同	芝浦製作所	山高桂 伊藤秀次郎
特殊人造レジンによる耐酸耐アルカリ塗料の研究	同	戸畑鑄物化研	石田武敏 河田謹湖
耐アルカリ性塗料の製造研究 特殊可塑性人造レジンを用ひて優秀なる耐熱性耐アルカリ塗料を製造せんとす	同	神戸電機	三好譽藏
耐輕質油塗料試驗(造船部研究實驗成績報告第150號) 耐ガソリン塗料と特殊揮發油間の反應を調査す	完	横須賀工廠	廣幡増彌 外一名
耐輕質油塗料の研究	同	高田船底塗料	三好貫
耐重油耐海水塗料の研究	研	同	同
耐油塗料の研究	同	日本ペイント(東京)	大澤利克 和田淳
耐溶劑油性塗料の研究	同	同	松下敏男 木村勝次
耐油性塗料の研究 各種鑛物油、植物油に抵抗性强き特殊塗料を得んとす	同	同　(大阪)	野口正名

研究項目	進度	機關	擔當者
耐油塗料の研究 耐油性(ガソリン、ベンゾール)にして耐水性ある塗料の製造法	未	關西ペイント	林良治 木島正治
耐油塗料の研究	研	住友電線	中谷信吉
ゴム線用燒付耐油塗料に付て	完	同	中谷信吉 川崎太郎
第一種第二種絶縁電線塗料の研究	研	同	神武博
電線に用ふる油系塗料の研究	完	古河電氣	熊谷德
絶縁線用塗料の研究 アセチルセルロースを主原料とす	同	北河製品	片岡節
絶縁塗料の研究 人造レジン纖維質塗料の研究	研	東京工大	福田勝
絶縁塗料の研究	同	高田船底塗料	三好貢
絶縁塗料の研究	同	旭硝子	太田廣太郎 竹田悅二
絶縁塗料の研究	同	戸畑鑄物化研	石田武敏
絶縁塗料の研究	未	日立製作(助川)	船越正一
絶縁塗料の研究 人造レジン其の他新生の原料を使用して優秀なる電氣絶縁塗料の研究	同	關西ペイント	石井秀成
絶縁塗料試驗 實艦に使用し其の適否を檢せんとす	同	須賀工廠	廣轡・增彌
塩化ゴム塗料の研究	完	高田船底塗料	三好貢 山路芳男
塩化ゴムを原料とする塗料の研究（同社發行塗料及塗料月報）	同	日本ペイント(東京)	豐田三郎
塩化ゴムに関する研究(昭9.12日立評論) 塩化ゴム塗料に関する研究をなし各種酸類に對する耐酸性に付て比較試驗す	同	日立製作(日立)	日月紋次
塩化ゴム及塩化ゴム塗料の製造 塩化ゴムを原料とする耐酸耐アルカリ塗料の製造及之に最も適當なる塩化ゴムの製法	研	關西ペイント	阪東依彦
塩化ゴム塗料の改良研究 塩化ゴム塗料の缺点を改善せる良質耐酸耐アルカリ塗料の研究	同	東亜ペイント	平木新太郎
防火塗料試驗	同	横須賀工廠	廣轡增彌 外一名
特殊塗料の研究 防水防火等の特殊塗料の製造法及應用法に付て	同	陸軍科研	篠田鐐

研究項目	進度	機關	擔當者
耐火電線塗料の研究	完	高田船底塗料	山路芳男 三好貢
防火耐水塗料の研究	同	同	齋藤定藏 松岡省吾 山路芳男
耐火塗料の調査 木材の燃燒を耐火塗料にて防止せんとす	研	三菱重工業(長崎)	濱部壽次
木材の耐火處理に関する研究の中、耐火ペイントの製造	未	東京工大建材研	内田壯 相三衛
耐高熱塗料の研究 鉄製煙突、罐等の外部塗料の研究	研	東亜ペイント	大高清作 永濱忠雄
耐熱塗料の研究	未	戸畑鑄物化研	
塗料並に人造レジンに関する研究 (1) 熱帶用塗料に関する試驗研究 (2) 人造レジンに関する研究 (3) 台灣の氣候に即したる塗料規格の調査研究	同	臺灣中研(工業)	
絹布透明防水に関する試驗 ニトロセルロース塗料及ボイル油を主劑としたる絹布防水用塗料を調製し之にて特殊塗法を施したるものなり	完	商工絹試	三井忠直
コールタールを主骨材とする安價塗料の研究 經濟的に有效にして防水性に富む塗料の研究	同	東京市土試	渡邊米一
王冠デイスク研究 王冠用コルクデイスクのガス止及耐水塗料の研究	同	大阪市工研	大島敬治
セロハン防濕塗料の研究	同	戸畑鑄物化研	島村試
抵抗塗料の研究	研	同	大橋喜久三 岩谷毅
彈性塗料の研究	同	同	石田武敏
塩化メチレンの如き强溶劑に耐へる塗料の研究	同	同	石田武敏 岩谷毅
各種金属及各種塗料の腐蝕性液に對する强度に付て（同社發行塗料及塗料月報）	完	日本ペイント(東京)	豐田三郎
地中埋設金属体の耐蝕塗料就中電導性塗料に付て 過酸化鉛を主成分とし鉛被面土塗膜に電導性を有せしめ塗膜剝離に依る電蝕電流の集中を根本的阻止せしむるものなり	同	遞信電試	京極高男
金属用塗料の研究	研	高田船底塗料	山路芳男 三好貢
輕金属用塗料の研究 輕金属特に航空機用輕金属に塗布し附着力、耐久力、耐溶劑性强きものを得んとす	同	日本ペイント(大阪)	野口正名

研究項目	進度	機關	擔當者
輕金属用塗料の研究	未	戸畑鑄物化研	
人造レジンの研究 輕金属塗料用としての研究	完	北河製品	越川榮治
飛行機用塗料の研究 主として輕金属用塗料及不燃性ニトロセルロース塗料の研究	研	同	北川淑 松本平八郎 外二名
陸軍飛行機用輕金属塗料の研究 ベンジルセルロースを主材とする飛行機用輕金属塗料に関する研究	同	古河電氣(理試)	大村清
飛行機用各種塗料の研究 輕金属及羽布用として最も密着力よき耐候性ある塗料の研究	同	關西ペイント	兒玉正雄 佐志通夫
新塗料の機能試驗 フタル酸レジン塗料に付て金属面に於ける密着度の試驗	同	商工工指	古谷豐吉 安倍郁二
金属プロペラ用塗料試驗 ヂュラルミン製プロペラ用として密着良好にして耐久力大なる優良塗料を得るため各製造所の輕金属用塗料を蒐集研究したり	完	日本樂器	右田秀雄 古橋英雄
被包式プロペラ塗料の研究 被包式乙型プロペラの被膜の密着度並に塗料の改良に関する研究をなせるものにして減壓塗粧により被膜密着度を改良し得たり	同	同	右田秀雄 平野猪一郎
被包式プロペラ用塗料の研究 アセチルセルロースを主原料とす	同	北河製品	北河淑 片岡節
金属材料の歪發生を知らしむる塗料の研究 試驗片に塗料を塗布し之に外力を加へたる時生ずる模様を塗膜に表はさしむ	研	三菱重工業(長崎)	松本喜四雄
軸受發熱を判別する塗料の研究(同所研究報告) 各温度により色の異る塗料を研究す	同	大阪能研	動力部員
内面塗料の研究 軍用罐詰用内面塗料の研究をなす	未	宇品糧秣支廠	内山武夫
醬油タンク内面塗料に関する試驗 試驗タンク内に塗粧し貯藏醬油の食料としての適否及塗膜の狀況を調査す	研	横須賀工廠	廣幡增彌 外一名
清水庫内面塗料比較試驗（造船部研究實驗成績報告第131號） 各種塗料に付飲料としての適否を比較試驗す	完	同	廣幡增彌
釀造槽用塗料の研究(耐水性塗料)	研	戸畑鑄物化研	石田武敏 岩谷毅

研究項目	進度	機關	擔當者
貯藏容器の塗料研究 容器類の塗料として柿澁、漆等の完全なる定着法を究めんとす	未	廣島醸試	橋瓜陽 橋原泰三
特殊塗料の研究 塗抹と同時に任意の龜裂模様を生ずる特殊塗料の製造方法	研	岡田化學	岡田康夫
特殊塗料製造試驗(昭9同場業務報告) 主成分をマグネシアとし之に各種の藥品を混合し雅味ある新塗料の製造	完	岐阜工試	久保守
水溶塗料の研究 セラックをアンモニア水に溶解せしめたる塗料に付て	同	山口工試	時岡隆太郎
帽体地原料塗料試驗 紙糸、麻糸等を原料とする夏季帽体地原料を製造する目的を以て光澤優れ摩擦に耐へ塗裝簡單なる塗料の製造法並に塗裝法に関する試驗	研	奈良工試	玉木昌雄
各種下地塗料の性能比較研究 從來の下地塗料を基本として之と比較研究を試み其の用途別性能を明白ならしめ以て原價の低減を計ると共に一層其の堅固度の增大を企圖せんとす	同	富山工試	上島桂次
木製玩具塗裝下地料の研究（昭9同場業務報告） 下地料の經濟的研究をなす爲各種材料に付比較研究を遂げたり	完	神奈川工試	中元藤英
琥珀の利用研究 撫順產琥珀より塗料製造及副產物利用研究	研	滿鐵撫順炭研	野呂
擴散性白色塗料の研究 光學的に優秀なる擴散反射性白色塗料を製造する目的を以て低粘土ニトロセルロースに諸種の白色顔料を加へたる塗料を製造し其の反射性質の隱蔽力及塗裝工程度の改善を研究中	同	遞信電試(福島)	關、三郎
ラテックス塗料應用研究試驗 ラテックスの直接應用研究	未	神戸工試	森田正穗
兵器用塗料に関する研究 一般兵器用特に彈丸用塗料の研究	研	日本ペイント(大阪)	寺井一郎 香川薫
マーキング用塗料の研究 鉄材にマークするに用ふる速乾性特殊塗料の研究	同	同	同
エマルジョンペイント製造研究 未だ國產品に優秀なるものなきを以て之が製造研究をなす	同	大阪市工研	山崎金五郎 齋藤和雄
コンクリート管用ピッチ質塗料製造研究 廢酸液排出用アスファルト塗料の製造研究	同	同	高畑春吉

研究項目	進度	機關	擔當者
壁下地塗料の研究	完	戸畑鑄物化研	石田武敏
人造革用塗料の研究	研	同	河田謹爾
コンクリート塗料の研究	完	高田船底塗料	山路芳男
ゴム靴塗料の研究	研	同	松岡省吾
建築用新塗料に関する研究 ビニールレジンの工業化は本邦に於て未だ着手されずアセチレンエリビニールレジン、合成乾性油を合成せんとす	同	東京工大建材研	内田壯 相三衛 外一名
發光塗料に関する研究(空廠實驗報告第285號) 計器の文字盤に發光塗料を塗布する方法を簡單輕濟化し實施部隊に於て之が塗代へ、補修を容易に實行し得る方法の研究	完	航空廠	植松八十五郎
軍用塗料としての諸原料の探究	研	陸軍科研	篠田鎌
塗料の研究	同	理研	渡邊俊雄 前田昱雄
塗料の燒付法の研究	未	日本ペイント(東京)	豐田三郎
纖維素系塗料の研究	研	住友電線	中谷信吉
人造レジンに関する研究 主として石炭酸系並にフタル酸系レジンに関する研究、特に既製レジンの品質改良並に特殊製品の製出に付て	同	日本ペイント(大阪)	大田登
フタル酸レジンの品質並に製造法に関する研究	完	同	同
各種人造レジンの研究 耐光性及耐候性强き人造レジンの製法に付て	研	關西ペイント	木島正治 鹽田良一
フタル酸レジン製造研究	同	滿洲ペイント	山本明正 外四名
フタル酸レジンに関する研究	同	東京工試	平野茂 大橋吉之助
塗料材料に付て 各種人造レジンの研究	同	保土谷曹達	鳥海達郎
魚油を原料とする塗料用油の製造研究	同	日本ペイント(東京)	長尾一男 内田慶一
イソリンのベンジル化に付て 塗料としての價値を調査せんとす	同	航研	朝比奈貞一
塗料被膜の透過性に関する研究 各種塗料の藥品透過性の測定	同	日本ペイント(大阪)	建林二郎
ツンドライトの塗裝並に耐火處理の研究 防水性、耐火性、耐久性の增大を計る爲之に適當したる種々の塗料並に塗裝方法に付研究す	同	京大化研	佐藤金次郎

研究項目	進度	機關	擔當者
塗料の試驗方法に関する研究 耐酸塗料其の他の試驗方法の研究	研	東亜ペイント	桝田武雄
混合溶劑に付て（顔料塗料印刷インキ第9卷第6號） アルコール、アセトン、醋酸、エチルの混合物の分析法を試驗し恒溫蒸發に於ける組成の變化を求めたり而して塗料溶劑として用ふる場合ブルーミングを起さざる一條件を求めたり	同	早大理工	山口榮一
混合溶劑の性質に関する研究 塗料中に配合せられたる各種有機溶劑の塗膜に及ぼす影響	未	日本ペイント(大阪)	建林二郎
有機ハロゲン化物の合成及塗料への應用研究	同	同(東京)	豐田三郎 潮田輝喜
特殊ベンジル化物の研究 種々なる天然高分子物のベンジル化物を研究し特殊用途の可塑物及塗料を製造せんとす	研	大日本セルロイド	水科元安
ニトロセルロースペイント用可塑劑製造試驗（第6回同場報告） 主として燐酸トリクレシル製造の際に於ける觸媒の研究	同	愛知工試	藤谷一
ニトロセルロースと各種レジンとの配合関係並に其の塗膜に及ぼす影響に付て(同社發行塗料及塗料月報)	完	日本ペイント(東京)	津幡豐吉 木村勝治
ニトロセルロースペイントの研究 ニトロセルロースペイントの附着力を强大ならしむ	研	東亜ペイント	大高清作 櫛谷議一
ニトロセルロース用研磨艶出劑の研究 現在内地品にして優良のものなき爲自動車用として特に優良なるものを製造せんとす	同	日本ペイント(大阪)	寺井一郎
漆の電氣的性質に付て	同	理研	宮田聰 相澤良治
色漆の研究 從來のレーキ顔料は中に變褪色甚だしきものあればインキ製造材料の顔料を用ひて綠色、青色、嚥脂色等の色に相當の成績を得つゝあり	同	會津工試	笠間與男 大橋榮吉
漆液分析法に関する研究 從來行はるゝバリタ水溶液によりウルシオル定量法及アルコール硫酸によりてウルシオルを重合して定量せんとする新分析法に付て主として研究せるものなり	完	東京工試	平野茂
漆液の乾燥に関する研究	研	同	同
漆の乾燥條件の再檢討 漆の乾燥の溫度濕度時間及燒けの現象の由因を研究せんとす	同	京都市工研	須原伊豫
彩漆の研究 合理的且色數豐富にして而も漆に劣らざる塗料媒体の研究	未	同	同

研究項目	進度	機關	擔當者
ストーブによる塗漆乾燥試驗（一部完了）(昭9.事項成績報告) 冬期間ガスストーブによる塗漆乾燥の適否及該器具の改善試驗	研	和歌山工試	佐原貫 阿部憲
塗立に於ける彩漆助成要素の研究(一部完了)	同	同	同
漆液の乾燥性增進に関する研究 主として印度產漆液の乾燥性の促進法に関する研究にして印度產漆液乾燥劑は支那產及本邦產漆液のそれとも又乾性油のそれとも多少趣を異にせることを認めたり	同	愛知工試	乾忠孝
漆乾燥に付て 藥品其の他により簡易に乾燥せんとする方法	同	香川工試	中村秀繼
漆器液乾燥條件と品質に関する研究 漆液の乾燥に際し梅雨期の速乾に過ぎて作業困難となるに反し冬季の如き溫度の低き場合には著しく漆の乾燥を遲緩ならしむるにより此の二季に於ける乾燥條件に適する溫度並に濕度を人爲的に調節せしめたるものなり	完	富山工試	上島柱次
漆液良否見分に関する研究 試驗を要せざる簡易見分法	研	石川工試	南精一
生漆及精製漆の簡易鑑別方法の研究 生漆及精製漆は近年甚しく粗惡なるもの市場に現はれ一應の試驗檢査をせざれば直接使用出來得ざる事情なり故に之が簡易鑑別方法は必要にして大体其の研究は進めつゝあるも一定の方式による簡易鑑別方法を研究せんとす	同	秋田川連漆試	近藤將照
色漆の發色研究(昭9同場業務報告) 色漆乾燥後の發色を豫見する爲に混和分量を記載したる手板を作製研究せり	完	神奈川工試	中元藤英
印刷ワニスの研究 (1) 印刷ワニスの沿革、製造法の變遷に関する調査並に新造設備の設計に付て (2)炭酸ガス雰圍氣中に於ける印刷ワニス及高溫煎油製造實驗	同	內閣印刷研	小倉正照 春日井忠一
印刷ワニスの研究 (1)燒ワニスの生成機構、特性並に液中燃燒法による燒ワニスの製造 (2)印刷ワニスの規格及試驗法制定に関する調査及研究 (3)亞麻仁油の加熱試驗法に付て (4)印刷ワニス原料として荏油、大豆油、麻實油、桐油、樹脂及人造レジンに付て	研	同	同
印刷ワニス及印刷インキのゴム版材に及ぼす影響 (1)版面洗滌劑並に印刷ワニスのゴム膨潤化に及ぼす影響 (2)ゴム製品と印刷インキの褪色との関係 (3)版面版材の着肉性及展刷性	未	同	同
印刷ワニスの工業的製法の改良 大量生產による製品の均一性を求む	研	東洋インキ	內藤光平

研究項目	進度	機關	擔當者
フタル酸系ワニスの應用に関する研究 無水フタル酸とグリセリンとを主原料とせる絶緣ワニスの特性を明にし、其の工業的應用方面の研究	研	芝浦製作所	山高桂 石川潔
乾燥油の乾燥性に関する研究 ワニスの基本的研究なり	未	同	山高桂
油溶性フェノールレジンの研究 フェノールレジンを廣くワニスに應用せんとする研究	同	同	同
罐詰用ブリキ板金色燒付ワニスの研究（同社發行塗料及塗料月報）	完	日本ペイント(東京)	長尾一男 大澤利克
油性ワニスの粘度及粘度測定裝置の研究	研	鐵道研	若林一三
特殊ワニス材料の研究	同	東京電氣	白石裕一郎
特殊ワニスに関する研究	同	諸星商店	小島藤吉
亞鉛華及亞鉛末の製造	未	日本鋼管(大阪)	
彩漆顏料に関する研究 彩漆顏料の品質を物理的化學的に研究し其の良否を決定すると共に更に之が改良をも計らんとす	同	富山工試	上島柱次
塩素法による酸化チタンの製造研究 砂鉄よりワナヂウム鋼製造の際の鑛滓より塩素法により酸化チタンを製造せんとす	研	大阪工試	利根川武
チタン顏料に関する研究 チタンを用ひたるレーキ製造研究	同	同	重名潔
チタン顏料の製造研究 輸入を仰ぎつゝある白色顏料チタン白製造研究	同	同	桑原利秀
ラッカー塗料用黑色顏料の研究	未	同	片山徹吉
ニトロセルロースペイント用顏料の研究 ニトロセルロースエナメルの變色、粉化に及ぼす顏料の影響	研	日本ペイント(大阪)	寺井一郎
黃色顏料の製造研究 工業的大量生產への施行法を求む	同	東洋インキ	山形肇
赤色不溶性アゾ顏料色素の研究 レーキレッドC其の他に付て	同	山陽色素	田口力 八木貞雄
黃色不溶性アゾ顏料色素の研究 ピラゾロン誘導体の研究	同	同	齋木龜治郎
顏料色素用中間体の合成に付て パラクレシヂン、C酸等の研究	同	同	大串理

研究項目	進度	機關	擔當者
鉛及亞鉛を原料とする顔料の研究	研	日本ペイント(東京)	岩城忠一
黒色顔料の研究	同	關西ペイント	廣瀬忠一
セレン顔料の研究 上繪付顔料にセレンを配合する研究にしてセレン特有の色彩のものを得んとす	同	愛知工試	野口清
ガラス用燒付顔料の研究 低溫熔融性の燒付顔料として剝脱性なく且色相の變化と鮮明度とを大ならしむる研究	未	東京奬勵館	橋本四郎
酸化第二鉄を主体とせる顔料の製造 絲鞏を出發点として種々なる顔料及藥品の製造	研	日本鋼管(大阪)	小林政二郎
クロム鑛を原料とする塩類及顔料に付て	同	電氣冶金	村本豐四郎
合成黄土の試作 鉄を主成分とせる强力なる黄色顔料の合成を目的とす	同	東洋リノリューム	濱崎駿吉
鉛丹の成分と防銹力との関係	同	鐵道研	廣瀬誠一
鉛丹中遊離一酸化鉛定量法の研究 鉛丹中四三酸化鉛として二酸化鉛と結合狀態にある一酸化鉛以外即ち遊離狀態にある一酸化鉛の定量法に関し普通の二酸化鉛の定量による間接法と苛性アルカリを使用する直接法を比較研究	完	湯淺蓄電池	蓑田織之助 高井利一
リトポン製造	未	日本鋼管(大阪)	
群青の研究 色合良好なるものゝ製法	研	關西ペイント	西田敏夫
ベンガラの精製處理に付て 研磨劑たるベンガラに付て市販品より高級品を得る研究にして種々實驗中なり	同	遞信電試	駒形作次 岩坂良以
無鉛繪具の研究	同	京都市工研	山口富雄
印刷インキ用複合ワニスに関する研究	同	諸星商店	井上秀治
印刷ワニスの研究 各種重合油の性質研究	同	東洋インキ	桑原高正
黄漆の精油の成分に付て 古來朝鮮に於て天然ワニスとして使用せられつゝある黄漆中の精油の成分を研究中	同	朝鮮中試	安田邦譽
謄寫版用印刷インキの研究 耐塞耐熱性にしてインキ又は印刷物酸化發熱するを防止するを得たり	完	堀井化學	
印刷インキの研究 印刷インキの試驗法及分析法並に基礎理論に付て	研	内閣印刷研	小倉正照 春日井忠一

研究項目	進度	機關	擔當者
印刷インキの研究 印刷インキ並に印刷物の乾燥、特にオゾンによる乾燥實驗を行はんとす	未	内閣印刷研	小倉正照 春日井忠一
インキ熟成に関する研究	研	諸星商店	白土萬次郎
黄鉛の研究	同	同	藤本瑞穗
ドライヤ乾燥成分として二元又は三元觸媒の協同作用に関する研究	完	同	白土萬次郎
着色法に関する研究 從來着色劑として有機のバルカンカラーを專用して居るも此の色素は一般に高價にして而も其の中のあるものは日光に弱く水に若干可溶性等の缺点あるを以て別に無機顔料中よりラテックス着色に適當なるものを探求せんとす	研	明治製糖(讃岐)	芦澤忠治 平林馨

6 香料

研究項目	進度	機關	擔當者
香料の研究	研	日本染料研究所	堀内利器
サフロールよりプロトカテキュイックアルデヒド製造 ワニリンの直接原料なるプロトカテキュイックアルデヒドはサフロールをアルコール性カリと處理しメトキシイソオイゲノール並にカビベトロールの混合物を得之をネオン酸化して製造せり	完	高砂香料	平泉貞吉 石井思致郎
サフロールを原料とするアルカロイド製造研究 豐富なる原料サフロールを利用して得難きアルカロイド(既知)の合成をなさんとす	未	同	眞弓莞爾 奥田治
サフロールの利用 サフロールより貴重なる醫藥、香料の製造を研究す	研	日本香料藥品	小野嘉七 木村清三 井本稔
ナトリウム及アルコールに依るイソサフロールの還元(日本化學會誌) 還元機構を明にし副生成物を檢索せり	完	同	小野嘉七 井本稔
アリル或はプロペニル側鎖を有する環狀化合体の常壓下に於ける水素添加(日本化學會誌) ニッケル觸媒の下に水素添加を行ひ各種條件の影響を檢索せり	同	同	木村清三
芳油の利用(一部完了) 低溫醋化研究を完了し更に芳油より各種香料の製造を研究す	研	同	木村清三 松崎廉
アリザニン藥化合物の合成に付て 各種の新アリザニン藥化合物の合成を研究す	同	同	木村清三

研究項目	進度	機關	擔當者
ワニリンの製造研究 クレソールよりワニリンの合成に付て	研	日本香料藥品	小野嘉七 井本稔
ワニリンの研究 丁子油及サフロールよりワニリンの製造研究	同	大阪市工研	中土晃
醋酸リナリルの製造研究 香料として重要なる醋酸リナリルを得んが爲芳油中のリナロールに無水醋酸醋酸ソーダを用ひ溫度時間を調節して好收量を得る方法を研究せり	完	高砂香料	堀内利器 大槻廣
塩化ベンジルを原料とする合成香料の研究 飛行機塗料、香料として重要なるベンジルアルコール又は醋酸ベンジル並に其の誘導体を研究中す	研	同	平泉貞吉 小谷野豐
薄荷油の利用 邦產薄荷油より貴重なる成分を抽出し之の利用を研究す	同	日本香料藥品	小野嘉七 木村清三
薄荷腦の利用研究 邦產薄荷油中の薄荷腦を有利に利用せんとす	未	同	同
薄荷腦利用に関する研究 薄荷脫腦油の主成分薄荷腦を原料とし香料醫藥染料等の合成	研	北海工試	林嘉吉 佐々木常雄
合成薄荷に関する研究 メタクレソールを原料とする薄荷油合成法の研究	同	同	杉野目晴貞
合成薄荷に関する研究	同	東京工試	井上春成 堀口博
台灣產植物成分基本調査の中 (1) アボカド葉の精油 (2)肖楠木より得たる酸の研究 (3)松樹樹脂及精油の研究 (4)台灣產植物精油 (5)台灣と天然香料に付て(同所工業部報告第 126, 133, 137, 141號, 同彙報第 11, 號經濟パンフレット誌, 東北帝大記念講演集) 台灣に於ける栽培又は野生植物中芳香を有するものとして未だ成分不明なるものを植物系統學的に種目を選定し之が基本調査を爲し之等植物精油の成分を研究し香料用或は食料品賦香料として又はテレビン油代用としての利用價値を研究し、尙香料原料として用ひ得べきものに付ては香料製造法等をも併せ研究せんとす	完	臺灣中研(工業)	加藤均 市川信 瀨邊惠 外六 三敏鐘 名義男
煙草香料に関する研究 (1)煙草製造用香料品質改善に付て (2)煙草の樹脂と香喫味の関係に付て (3)糖蜜の使用價値に付て	研	專賣中研	仁尾正政 千藤二 外 矢作富明 鹽谷二 外 藏雄名
樟腦油の利用に関する研究 (1)テルペン系化合体に付て (2)サフロールの誘導体に付て (3)藍色油の化成体に付て	同	同	矢作富 北島正 藏榮
樟腦油の組成に関する研究 製腦技術上の改善に資すべく製腦原料と樟腦油組成との相互関係に付き研究中	同	同	

研究項目	進度	機關	擔當者
樟腦赤油よりサフロール精製に関する研究 サフロールは其自身香料であり又其の原料として需要多く爲に結晶法或は蒸溜法により之が精製を研究せり	完	高砂香料	堀内利器 平泉貞吉 岡本義雄
樟腦白油の工業的新利用法の研究 白油の利用により更に樟腦副產油の價値を高めんが爲の研究なり	研	同	坂口堅太郎 石井恩致郎
樟腦白油の利用 特にヂペンテンを有利に利用せんとす	同	日本香料藥品	木村清三 安齋繁
樟腦赤油中サフロール拔油の成分に付て 樟腦赤油の成分を明にし其の利用に関する研究	同	同	小野嘉七 木村清三 井本稔
樟腦油成分の再檢討	同	再製樟腦	平尾子之吉
樟腦及樟腦油に関する研究(同所工業部報告第4, 24, 45, 94, 95, 119號) (1) 芳樟抽出油の成分研究 (2) 樟腦實油精油に付て (3) 各種樟腦油に関する研究 (4) 樟腦白油、芳油、赤油及藍油の利用研究	完	臺灣中研(工業)	加藤均 市川信 加藤敏亮
樟腦及樟腦油に関する研究 (1) 樟腦に関する物理化學的研究 (2) 樟腦白油、芳油、赤油及藍油の利用研究 (3) 各種樟腦油に関する研究 (4) 合成樟腦に関する調査研究	研	同	同
樟腦油成分の分離精製に関する研究 樟腦油中有要諸成分を純粹に分離精製し該油の利用價値を向上せしむべく研究中	同	專賣中研	鹽谷明雄 北島正榮
樟腦及樟腦油の理化學的性質に関する研究 樟腦及樟腦油の理化學的諸性狀を精査し之が新規利用途を開發せんとす	同	同	矢作富藏 鹽谷明雄 藤貫清
ピネン給源精油の研究	同	再製樟腦	平尾子之吉 高野隆

7 纖維素製品

研究項目	進度	機關	擔當者
纖維素工業に関する試驗研究 (1) 各種纖維の利用に関する研究 (2) 台灣產各種纖維の漂白法に関する研究	研	臺灣中研(工業)	加藤均 田崎佐 外二 三市名
纖維素工業に関する研究	同	理研	井口春久 細田懋
纖維素の水に依るミセル内膨潤に付て (同所彙報第 14 輯第 3 號) 結晶水を含有する纖維素のエックス線圖	完	同	櫻田一郎 淵野桂六

研究項目	進度	機關	擔當者
纖維形態學の研究	研	理研	小原龜太郎
纖維素の吸濕に付て(工業化學雜誌第451號) 標準綿纖維素の吸濕熱を測定せり	完	早大理工	小栗捨藏 吉田忠
光に依る纖維素の化學變化の研究(工業化學雜誌第434, 440, 450號) 光の作用による纖維素の變化を銅價變化の測定に依りて推定を下せり又水銀石英燈の光の比較的エネルギー分布の測定をなせり	同	同	同
光による纖維素の化學變化の研究 光による纖維素の化學變化は主として紫外線によりて惹起するもの故紫外光線として使用せし水銀石英燈の光のエネルギー分布を更に精密に測定し且紫外線によりて纖維素に起る變化に付て研究を行はんとす	研	同	小栗捨藏
絹纖維中の特質分の探求 絹精練廢液の利用を目的とし先づとよりセリシンⅠⅡⅢの各蛋白及メラニン系色素及新物質並に塩化カリを主体とする無機アルカリ化合物を分離せり	完	桐生高工	豐田今吉
纖維素及其誘導体の膨潤熱に関する研究(昭10工業化學雜誌)	研	同	中島正
木質化纖維に関する研究	同	遞信電試	竹中誠二郎 林三郎
人造羊毛に関する研究 製造時日短縮に付研究す	同	東京工大	祖父江寛
擬羊毛製造法研究 羊毛以外の纖維を化學的方法に依て羊毛化する方法の研究	未	大阪奬勵館	森清規
ステープルファイバーの研究	研	昭和化研	森本佐一 木原幸三郎
人造短纖維に関する研究 人造短纖維の製造條件研究	同	大阪工試	大森台三郎 吉村利三郎 外二名
醋酸綿系人造纖維の中規模製造研究	同	大日本セルロイド	大垣順四郎
人造纖維の研究 各種人造纖維に付て研究し之が工業化を企圖す	同	鐘紡武藤理研	香川毓美 石名田喜久男
纖維工業用新纖維の研究 纖維工業の原料獨立を目指し種々の物質に付て新纖維を研究	同	同	足立輝三 箱田達神
各種纖維及纖維素の陰極線研究 各種纖維及纖維素を陰極線により根本的研究を行ひ進んで之を纖維工業上に應用せんとす	同	同	俣野仲次郎 尾澤敏男
纖維素ミセルの大さミセル間隙の太さの測定(工業化學會誌)	完	帝人(岩國)	

研究項目	進度	機關	擔當者
艶消人絹製造に関する研究	完	日本レイヨン	庄司野正雄
高級人絹の研究	研	昭和化研	増田周三 上田彌太郎
特殊纖維素原料に依る高級人絹の研究	同	日本レイヨン	庄司野正雄
人絹並人造纖維の改良に関する研究	同	帝人(岩國)	岡村勳 外課員一同
天絹交り人絹の製造 銅アンモニア液を用ひ天然絹糸及纖維素を溶解し人絹の性質をして天然絹糸に近づかしむる目的を以て研究す	未	明治專門	富安彌之助
アセチルセルロース及醋酸人絹に関する研究 無水醋酸とリンターとよりアセチルセルロース及人絹を製造する研究	研	大阪市工研	渡邊卓郎
アセチルセルロースより醋酸人絹の製造法 (1)紡出液の調製方法の研究 (2)紡出並に溶劑の回收方法の研究 (3)撚掛け並に枠取の作業研究	未	日本合成化學	青木仙之助
再生絹糸の研究	研	昭和化研	東畑泰三郎 内田辰之助 外二名
天然絹糸の再製に付て	同	理研	山賀益三
ビスコース人絹に関する研究(工業化學雜誌 vol. 37 No. 2, 6, 7, 12, vol. 38 No. 3 (2卷) No. 5) ビスコース人絹製造及原理に関して全般に渉る研究を爲しつゝあり、品質の改良、生產原價の遞減新製品の製造に付研究す	同	京大化研	喜多源逸
ビスコースの諸性質の研究	同	日本レイヨン	小田切瑞穗
紡糸に於けるビスコースの研究 コロイド的並に流体力學的研究	同	東京工大	祖父江寛
アルカリ纖維素の研究 ビスコース前工程の研究	同	同	同
ビスコース共の他纖維素製品に関する研究	同	理研	喜多源逸 宮久力松 利光貞夫
ペンジルセルロースの研究	同	遞信電試	鈴木徹
同	同	大阪市工研	三枝八郎
ペンジルセルロース製造法の研究	完	北河製品	北河淑 上野昭雄
ペンジルセルロース可塑劑の研究	未	大日本セルロイド	水科元安
纖維狀アセトン可溶性アセチルセルロース製造(昭9工業化學雜誌37號) 常法でアセトン可溶性アセチルセルロースを製造する時は試料は一度溶解する故に試藥の回收沈澱操作其の他に工業上不利益なる点多し此の缺点を除く爲に纖維狀の儘醋酸化しアセトン可溶性にする方法に関し研究中	研	京大工	櫻田一郎

研究項目	進度	機關	擔當者
ベンジルセルロースの工業的製造研究 塗料及可塑物を目的とするベンジルセルロースの中規模製造法の研究	研	大日本セルロイド	水科元安
アセチルセルロースの工業的製造(一部完了)	同	航研	厚木勝基 大森台三郎
アセチルセルロースの製法研究	同	大阪工試	吉村利三郎 外二名
アセチルセルロース應用に関する研究 絶緣物及人絹製造の研究	同	東京工大	加藤與五郎 宮本篤三
アセチルセルロース人絹の研究	未	昭和化研	吉野兼孝
アセチルセルロース用可塑劑の製造研究 アセチルセルロース可塑物に適せる可塑劑の發見並に其等の工業的製造の研究	同	大日本セルロイド	上岡武雄 中村要三
ベンゾールと醋酸との割合及浸漬温度時間等によるアセチルセルロースの粘度の變化研究	研	遞信電試	鈴木徹
アセチルセルロースの工業的製造法の研究	同	大日本セルロイド	渡邊弘 加藤尙助
アセチルセルロース可塑物に関する研究 アセチルセルロースを主体とする難燃性可塑物及難燃性フィルムの製造法の研究	同	同	加藤尙助
耐水セルシの研究 防濕性透明紙の研究	完	同(神崎)	柳瀨昇
捺染セルシの研究 透明紙に連續捺染する方法の研究	同	大日本セルロイド	益山福三郎
フィルム用ニトロセルロースの研究 フィルムベース用高級ニトロセルロースの製造並に改良	研	同	渡邊弘 松田義朗
ニトロセルロースを主体とする難燃性並に特殊セルロイド生地の製造研究 ニトロセルロース並にセルロイドの燃燒機構を究明し併せて熟分解に及ぼす妨燃劑の影響を研究す	同	同	木戸猪一郎
不燃性セルロイド板の寒冷による龜裂に付て(愛知研究報告第254號) 冷所にて龜裂し易き事及其の豫防法を研究す	完	愛知時計	荒木鶴雄 長表貞二
難燃性セルロイドの研究 種々の充塡料可塑劑を併用す	同	大阪市工研	庄野唯衛 永田至知郎
セロハンの半工業實驗製造	同	旭電化	行友威彦 横田了民 兒玉慶
セロハンの再生研究 人絹屑を再びビスコース化してセロハン紙を製造する方法	同	桐生高工	鈴木賢三

研究項目	進度	機關	擔當者
煙草製品包裝用として國產防濕セロハンの效果に関する研究 各種セロハンの防濕效果の比較を測定せり	完	專賣中研	仁尾正義
皮革代用品の研究(昭9.10.昭10.7化學工藝) 纖維素ザントゲンアニリード及纖維素ザントゲントリードとラテックスの混合によりて製造する方法	研	德島高工	上村久造
絹纖維素を主とする擬革製造方法の研究 多孔質にして而もピータにより水和纖維素を形成し得られざる絹長纖維素に均質に特殊塗料を含有せしむる目的にてビリヂン並に其の誘導体を糊料中に均等に混和せしめ纖維素間に均等に浸入せしめ强靱なる絹纖維帶を形成せしめて擬革を製造する方法	完	岡田化學	岡田安治郎 岡田康夫 柿田正治
絹纖維帶の柔軟固着に依る防寒紙布の製造方法に付て 昔時使用せられたる紙衣を絹纖維にて形成せしめ服の表地と裏地との中間に眞綿代用に使用し眞綿の如く噴き出さずして而も片寄りせず尙ミシン掛けし得る特徵を有する絹製防寒紙布の製造	研	同	岡田安治郎 岡田康夫
色素及纖維素を含有せざる昆布製劑の製造方法に付て 昆布をアルコール其の他の有機溶劑にて處理し色素及纖維素を除別し醫治的效果を有する昆布製劑を得んとす	同	同	岡田安治郎 柿田正治
マニラ麻に柔軟性を附與するの研究 化學及物理的操作より纖維素を損傷せしめずして各纖維を離脱せしめ柔軟纖維素たらしむる研究	未	同	岡田康夫 岡田安治郎
稻藁より纖維製造試驗(昭9.同場業務報告) 藥品及機械的處理により優良なる纖維を得んとす	完	岐阜工試	久保守
パルプに関する研究	研	理研	喜多源逸 中島正 外二名
パルプの研究	同	昭和化研	野島榮次郎
塩素パルプの製造試驗	同	東京工試	村椙兵義
塩素法パルプの工業的製造	同	旭電化	志方益三
人絹パルプの研究 人絹パルプ自給の見地より樺太產及滿洲國產原木に付研究す	同	京大化研	本多眞一 土山伊佐美
亞硫酸パルプの漂白に関する研究	同	東京工試	早川榮治
亞硫酸法に依る木材蒸解に関する研究	同	同	岡田元 早川榮治
木材パルプの品種に依る叩解時間と紙質との関係に付て 外國產晒末晒ウッドパルプ12種に付叩解試驗を行ひ其の叩解の時間濃度溫度と濕度の関係並に製品の强度等に及ぼす影響を檢し以て革命をして夫々製造せんとする和紙に適當する種類と叩解種度とを選擇せしむるの資料を得たり	完	愛媛工試	丸山泉

研究項目	進度	機關	擔當者
マニラ麻シュート纖維晒白に関する試驗 マニラ麻・黄麻布の如きリグニン化せる纖維素原料よりなるべく簡單なる方法を以て和紙に適せる精製パルプを製造する試驗研究	未	愛媛工試	丸山泉
亞麻屑パルプの研究 硫酸法蒸解パルプのビスコース絹糸原料としての適否の研究	研	北海工試	黒澤徹 磯沼猛
落葉松のパルプ化試驗 硫酸法蒸解法の研究	同	同	同
ライ麥稈のパルプ化試驗 硫酸法蒸解法の研究	同	同	同
落綿の利用に関する研究 落綿より纖維素誘導体原料又は人絹用或は製紙用パルプを得んとする研究	未	大阪市工研	三枝八郎
樟木片滓よりパルプ製造試驗 樟木片蒸溜滓を製紙原料に利用せんとする研究	研	鹿兒島專賣	石川榮士
木材パルプの檢定法 (1)パルプの固有強度及叩解強度の測定　(2)パルプ中の塵の表示法　(3)パルプの漂白度及色の測定	同	内閣印刷研	白石亞細亞丸
桑樹皮の成分研究並に利用に関する研究	同	郡是製絲(理研)	奥正巳
プレスボートの製造方法の研究 木綿並に木材パルプを原料として適當の厚さに壓搾して製造する方法	完	巴川製紙	長倉英孝
人絹用パーチメント紙製造方法の研究 純白に漂白せる木綿を原料として抄紙し之を一度濃度の硫酸液中に浸漬して復水洗乾燥して作る人絹用パーチメント紙製造方法	同	同	大村羊三
雁皮及雁皮紙に付て 強度及其の他の性質に付て	同	内閣印刷研	今井久男 石川福次郎
三椏紙の伸縮に関する研究	未	同	今井久男
三椏皮及其の和紙に関する研究 生木三椏より特に加工したるもの及各種銘柄の市販三椏皮並に材採時期を異にする種々なる三椏皮等に付水浸歩留蒸煮歩留の試驗を行ひ更に其の製品の紙質を比較研究し當業者の參考に供せり	完	愛媛工試	丸山泉
三椏皮の加壓蒸煮試驗 流送用紙料として三椏皮は概ね常壓蒸煮法に依るも蒸解の均一と燃料及藥液の節約並に種紙用を目的として各種アルカリ流による加壓蒸煮試驗を行ひ其の適否條件を決定せんとす	研	同	同

研究項目	進度	機關	擔當者
三椏紙の物理的性質に関する研究 (1)叩解度と強度との関係　(2)三椏紙の伸縮て付て	研	内閣印刷研	今井久男
木綿破布紙料の和紙應用試驗 木綿破布より和紙に適する紙料を調製する技術的經濟的の試驗研究	未	愛媛工試	丸山泉
木綿纖維の製紙工程處理に於ける質的變化に付て 主としてαセルロース、銅價粘度等に付て	研	三菱製紙	井上末吉
手漉に於ける抄造操作の方法の紙質及能率に関する試驗(昭9本館業務功程報告書) 本縣製紙業者の操作方法は一定の基準無きを以て其の最合理的方法を決定せんが爲試驗せり	完	鳥取奬勵館	永松清一郎
紙料調製方法の紙質及工業經濟に関する試驗(昭9同館業務功程報告書) 煮熟し漂白の方法及藥品の種類の使用量叩解の程度等に付試驗研究せり	同	同	同
德島縣産和紙原料成分特に成分中リグニンの結合狀態に付て	研	德島高工	上村久造
楮黒皮製紙試驗	同	高知奬勵館	瓜生義照
マニラ麻、障子紙黄變化防止試驗	完	同	同
日光による樹脂サイズ效力消失防止に関する研究	同	同	同
棉皮紙製造試驗(同所報告第15回第1號) 棉作奬勵と農村經濟の更張に極めて適切有利なるものと認め棉莖皮の製紙試驗を行ひて本紙料の有效價値の存在を公表せり	同	朝鮮中試	妹尾光太郎
楮紙料に木質紙料の混合率決定試驗	研	同	同
小形抄紙機の製紙試驗 特殊ビータに依り叩解したる長纖維を以て薄塵紙を製造す	未	德島工試	平岡勇三
鑽孔紙の强度に付て	研	遞信電試	竹中誠二 林三郎
可洗壁紙の製造に付て	完	三菱製紙	井上末吉 菊川實
可洗製圖用紙の製造に付て	研	同	同
畫箋紙の製造試驗 稻藁麥稈を主原料とする畫箋紙の製造に於て之に適當なる纖原料及揮毫に適する塡充料に付ての研究	同	愛媛工試	丸山泉
反古紙を主原料とする皺寄塵紙製造試驗(昭9.業務功程報告書) 洋紙屑其の他の反古紙を主原料とする皺寄塵紙の製造試驗	同	德島工試	平岡勇三

研究項目	進度	機關	擔當者
轉寫用紙製造試驗 轉寫紙研究	研	福岡福島工試	近藤俊治
機械抄による樂水紙、ハトロン紙、蠶座紙の研究	同	香川工試	中場幸郎
滿洲向紙の改良試驗 モーエン紙の製造試驗	未	同	同
畫箋紙製造試驗 竹皮を主原料とし畫箋紙の製造に付試驗し好成績を得たり	完	岐阜紙試	古田健一
理髮用首卷紙製造試驗 機械漉に依り特殊方法を以て柔軟にして肌觸に良き首卷紙に付製造試驗せり結果頗る適當品を得たり	同	同	山本清鹿
特殊クレップ化粧紙の製造試驗 從來のクレップ紙製造方法を改良し特に高級なるクレップ化粧紙を製造する事に付試驗せり	同	同	同
漉込色森下紙の製造試驗 從來の森下紙(傘紙)は白紙抄造後染色し居るも以て之を抄造前原料を染色し以て明麗なる色傘紙を得べく試驗せり結果良好なる成績を得たり	同	同	坂井久之
カーボン原紙の製造試驗	同	同	古田健一
カーボンペーパー原紙機械漉試驗 從來手漉に依り製造し居れる標記原紙を機械漉にて抄造し安價なる大衆品を得んとす	研	同	池田楠馬
鉄筆原紙パーチメント化パルプ配合應用試驗 安價なる鉄筆原紙原料として安價原料にパルプにパーチメント化したるものを配合し蠟洩れざる緻密な質を製造せんとす	同	同	坂井久之
特殊型紙製造試驗 從來の型紙製造は製作複雜なるを以て特殊な方法に依り簡單に製造せんとす	未	同	石田茂
抄造中寒劑應用に依る黃蜀葵粘の研究 抄造の際黃蜀葵粘液の消滅は其の溫度細菌の發生に依るものゝ如し依りて寒劑を適當に槽中に混入し溫度の低下を圖り以て細菌の發生を防き延ては粘液消滅を防止せんとす	同	同	坂井久之
箔打紙の製造試驗	同	同	同
高級マニラ麻障子紙原料應用試驗 從來業者の使用せざりし高級格マニラ麻原料に依る障子紙の抄造試驗を行ひ原價並に製品價値を比較し最適當なるマニラ麻を選定せんとす	同	同	古田健一
透入森下紙の機械漉試驗 丸網抄紙機を以て標記の各色の傘紙を新案せんとす	同	同	池田楠馬

研究項目	進度	機關	擔當者
マーク入包裝紙の抄造試驗 商品券又は商品包裝紙を機械漉にて考案せんとす	未	岐阜紙試	池田楠馬
浮出し罫入り便箋紙製造試驗 抄造の際透し浮き出る樣に工夫し罫入の代用となるべき美術的便箋紙を機械漉にて製造せんとす	同	同	同
謄寫印版紙用原料紙に付て(一部完了) 製紙法に改良を加へ印版紙を優良ならしむるを得たり	研	堀井化學	
桑皮利用試驗	完	島根工試	中村和 小路位三郎
島根縣產和紙原料品質調査試驗	同	同	同
赤楮利用試驗	同	同	同
傘紙製造試驗	同	同	同
壁紙其の他の特殊和紙製造試驗	同	同	中村和
特殊和紙製造試驗	未	同	同
雁皮を利用する書畫用紙製造試驗	同	同	同
膏藥原紙の製造試驗	同	同	小路位三郎
石州半紙製造に於ける硬度及色相に關する試驗	同	同	同
蒟蒻用袋紙製造試驗 廢物利用の目的を以て桑皮を利用し紙の抄造を行ひ加工を施す	完	岡山工試	大田喜一
書簡紙其の他特殊和紙製造試驗(一部完了) 屑繭を原料として書簡用紙其の他特殊和紙の製造試驗を行ふ	研	同	大田喜一 井上聰
團扇用紙製造試驗 岡山縣特產撫川團扇用紙改良の目的を以て楮皮、三椏皮を混用し優良和紙を抄造す	同	同	同
和紙機械的乾燥方法の研究 乾燥方法を機械的に行ひ製品に何ら變化を與へずして操作し得るやに付試驗研究せんとす	未	鳥取奬勵館	清水輝男
サイズ用ビスコース迅速製造法の研究 從來のサイズ用ビスコースは普通人絹用ビスコースと同樣の製法に依り長時間の熟成をなし來れるも製紙用にありては註文等の關係あり迅速に製造し以てサイズに供する要あり故にSゴッドウイン氏の發表に依るビスコース迅速製造法の採用可否を試驗せる結果好結果を得たり	完	岐阜紙試	坂井久之
手漉和紙の諸原料步留試驗 現代使用し得られる手漉和紙各原料に付實際的步留を檢せり	同	同	同

研究項目	進度	機關	擔當者
徳島縣產和紙原料步留試驗 三椏及楮の黑皮並に白皮の得量試驗（昭 9 業務功程報告書）	完	徳島工試	馬場　進
製紙原料の步留試驗 原料の步留試驗は製紙經濟上重要なる事項にして其の步留率は一定不變のものにあらざるを以て試驗研究す	研	鳥取奬勵館	清水輝男
和紙原料の採取時期に依り紙量步留に及ぼす影響試驗	同	島根工試	中村　和
紙類規格案 印刷用紙、筆記用紙、包紙に付て	同	內閣印刷研	米谷　稔
纖維素エステルに関する研究	同	東京工試	岡田　元
纖維素エステルの研究 醋酸蟻酸エステルの特殊製法	同	九大工	栗山捨三
纖維素エーテルによる無色ドープの製造方法の研究 纖維素エーテルを溶混となしたる後着色し易きを防止し無色の變色せざるドープの製造方法	同	岡田化學	岡田安治郎 酒井好夫
纖維素エーテルの特性及其の應用	同	戸畑鑄物化研	岩谷　毅
纖維性可塑体製造に関する研究 植物性纖維素含有物質を原料とし電氣界面攪亂法を應用して諸種の可塑体を製造せんとす	同	京大化研	志方益三 藤井宰右

8 油　　脂

研究項目	進度	機關	擔當者
油脂の研究	研	理研	深川庫造 重三悅名 外三
油脂類に関する研究	同	同	小山亮清
油脂の重合に関する研究	同	同	紀喜一郎
耐寒各種油脂の研究 不凍性各種脂油の製法及應用法に付て	同	陸軍科研	花岡實業
油脂精製法に関する研究	同	廣島高工	中江大部
高壓油脂分解法の再吟味（一部完了）（工業化學雜誌）	同	同	同
壓力釜法による油脂分解の研究	同	北海工試	木村兼信 秦野好雄
油脂不鹼化物の研究	同	理研	川合眞一
油脂の鹼化に関する研究	同	東京工試	外山修之 土屋知太郎

研究項目	進度	機關	擔當者
油脂のアルコーリシスに関する研究（工業化學雜誌第37篇第4冊） 二種のアルコールの混合物に依りてオリーブ油のアルコーリシス並にオリーブ油脂肪酸のエステル化を起さしめたる場合に各成分アルコールが如何なる程度に反應に與ふるものなるかを研究し各成分アルコールは夫々分子量に相應して一樣に反應に與ふることを明にせり	完	東京工試	外山修之 土屋知太郎 石川得三
油脂の性質の研究 (1)マツキー發熱試驗法檢討と文献蒐集　(2)マツキー試驗裝置の大さ材料と發熱との関係　(3) 油脂類の酸價と發熱との関係　(4)油脂と塗布纖維質と發熱との関係　(5)油脂中の微量金屬塩と發熱との関係　(6) 酸化抑制劑の研究に別ちて研究をとげたり	同	第一工業製藥	吉田初太郎 藏田正雄
油脂の性質の研究 性質を研究して製品改良と新用途の發見に資す	研	同	吉田初太郎
潤滑油に関する研究（研究實驗成績報告第93號） 二號外部鑛油の變質と其の使用限度に付て	完	燃料廠	景平一雄 坂本貞彦 藤本久二
潤滑油に関する研究實驗	研	同	同
潤滑油の研究	同	理研	木下正雄 菅義夫
潤滑油に関する研究（日本學術協會報告第10卷） 各種潤滑油に付てオイリーネスの接觸角及粘度の測定を行ひ併せて主要なる特變數を定めて相互の関係を闡明し更に夾雜物の潤滑油の性狀に及ぼす影響を攻究し以て理想的潤滑油の具備すべき性質を發見せんとしたり	完	臺南高工	古屋一雄 吉瀨五十
潤滑油に関する研究 臺灣製糖工場に現在使用せる潤滑油を蒐集し其の性狀を精査せんとし化學的並に物理的方面より研究の歩を進めつゝあり	研	同	同
不凍性潤滑油の研究 前年度よりの継續にして各種不凍性潤滑油生成に関して一層詳細に研究し猶之を稍大規模に試製す可き諸條件に関して研究を進めつゝあり猶又普通の潤滑油に鮮重合せしめたるゴムを混和する方法が最良好なる結果を與ふる事に関しても研究中なり	同	航研	田中芳雄 小林良之助 瀧澤康順
新方法に依る不凍性潤滑油の製造並に低温に於ける諸油の性狀の研究 潤滑油の融点降下劑の添加並に塩素化或は塩素化油の脫塩素處理等により融点低く且粘度温度関係良好なる不凍性潤滑油の製造並に低温に於ける之等諸油の性狀を研究し優良なる不凍性潤滑油を得るにあり	同	同	瀧澤益二
低温に於ける潤滑油の粘度の測定に付て −30°C より更に低温に於て潤滑油の粘度を測定し以て不凍性潤滑油の低温に於ける性狀に関し詳細に研究中	同	同	田中芳雄 瀧澤康順
耐寒性潤滑油に関する研究	同	東京工試	外山修之 石川得三

研究項目	進度	機關	擔當者
不凍性潤滑油の研究（日本航空學會誌第1卷第1號工業化學會誌37編4冊） −30°C よりも更に低溫度に於て流動性を有し潤滑效力を有する潤滑油を得る目的を以て研究せり本研究に依り普通の石油性潤滑油に最適微量なる硬化油、固形脂肪、蠟、固体脂肪酸等を加ふるときは著しく其の凝固点を低下せしむることを得べく又固形脂肪の塩素化及其の脱塩素に依るも低き凝固点の潤滑油を得ることを明にせり	完	航研	田中芳雄 小林良之助
耐寒性潤滑油の製造に関する研究	研	大阪工試	村田二郎
耐寒用自動車潤滑油の研究 始動運行共に機能良好なる潤滑油を求むるに在り	同	陸軍自校	尾田秀雄
鑛油精製法の研究 各種溶劑にて潤滑油精製	同	日石(柏崎)	赤澤福松 中村安太郎
品質安定にして色相淡き潤滑油の經濟的製造法研究	完	同(新潟)	品川武夫 佐藤幸作
連續眞空蒸溜法に依る良質潤滑油の製造法研究	未	同	中村安太郎 山崎彌助 齋藤辰雄
潤滑油の製造 低溫タールより中性油を製造し之より潤滑油を製造せんとす	研	朝鮮石炭工業	三木芳春 佐藤下義忠 佐藤珖
シェール油より潤滑油製造 シェール油は本來潤滑油たるべき成分に缺けたるを以て適當なる方法に依て合成せざるべからず仍て塩化パラフインを作り適當成分と結合せしめ其の目的を達せんとす	同	滿鐵中試	田中猶三
潤滑油の研究 魚油を原料として優良なる潤滑油を得んとす	同	ペルペット石鹸	
魚油混合油を自動車潤滑油とする研究 市販魚油混合油を自動車機関に實用試驗す	完	陸軍自校	尾田秀雄
動植物油を自動車潤滑油とする研究 資源豐富なる動植物油を自動車潤滑油として研究す	研	同	同
動植物を原料とする潤滑油に関する研究	同	東京工試	外山修之 石川得三
潤滑油の研究 植物油を原料とし優良なる潤滑油を得る研究	同	攝津製油	柳澤二郎 宮坂金彌
大豆油を自動車潤滑油とする研究 大豆油單体及之に諸藥品を添加したるものを自動車機関に實用試驗す	完	陸軍自校	尾田秀雄
ヒマシ油の塩素化に付て 飛行機の潤滑劑たるヒマシ油を其の儘に又は水素添加を行ひたる後に塩素化し或は脱塩素し以て特殊の潤滑油又は潤滑油混和劑を得んとす	研	航研	田中芳雄

研究項目	進度	機關	擔當者
諸種潤滑油の比較研究(同所研究報告398)	完	三菱重工業(名古屋)	石澤命知 尾形康夫 町井義夫
各種潤滑油の燒付試驗（同所研究報告413） Castol oil, Voltol, Fulgol, Veedolexx Heavy の4種の潤滑油を薄膜狀態にて各種溫度に各種時間加熱し其の狀態變化を比較せり	同	同	町井義夫
精密機械潤滑油調合材料となるべきナフテン酸エステルの内グリセリド以外の各品に對する工業的製造法並にその性狀比較研究	同	日石(新潟)	中村安太郎 小林謹二
各種工業用油脂より得たる重合油の潤滑油としての價値比較試驗	研	同	中村安太郎 佐藤幸作
不飽和炭化水素の重合に付て(齋藤報恩會事業年報第8, 9, 10) 塩化アルミニウム其の他を觸媒として不飽和炭化水素を重合し主として潤滑油を合成せんとするものにして不飽和炭化水素としては石油(クラッキング)に依て生ずるものを使用し之が一層有效なる利用法を目的とするものなり	同	秋田鑛專	栗原浩三郎
廢棄モビール油の品質に付て(工業化學雜誌) 自動車潤滑油として使用したるシリンダ油が走行と共に品質の低下する程度を精査す	完	大阪市工研	山崎利一郎 野呂廣雄
石油工業に對する無水塩化アルミニウムの應用 活性白土(吸着劑)を製造する際の廢液より造れる無水塩化アルミニウムを使用して合成潤滑油を製造する研究	未	早大理工	山本研一
混合によるマシン油の製造に付て 種々の油を混合する時混合油の性質は元の油の性質から混合割合に基き計算したるものと屢異るにより或特殊の油を數種配合して潤滑油を製し其の性質を測定し配合と混合油との関係を究め良好なる潤滑油を調製せんとす	研	秋田鑛專	吉岡愛三
酸性白土に依るマシン油の精製法に関する研究	同	日石(秋田)	仲田衍
マシン油の研究	未	津上製作	藤井綱二
機械工業油の研究 舶來の各種類を分析し國產を以て製造せり目下實施應用試驗中	完	第一工業製藥	吉田初太郎
纖維工業用油脂並に其の加工法に関する研究	研	東京工試	外山修之 秋山五郎九
纖維工業用油の變性並に其の效果に付て	未	第一工業製藥	芝時孝 廣瀨正雄
紡毛油の研究 鑛物油を主体として乳化洗滌性を與へ安價なる紡毛油を求めんとす	研	同	芝時孝
紡毛油就中オレイン酸に関する研究(工業化學雜誌) 近來紡毛用として多量のオレイン酸が使用せらるゝも之が根本的研究未だなし仍て之が研究を行はんとす	同	大阪酸水素	岡村善策

研究項目	進度	機關	擔當者
紡麻油の研究 黄麻を原料とする麻袋製織用油の研究を目的とす	研	第一工業製藥	芝　時　孝
硫化油の研究 硫酸化油と各種溶劑との関係を求め染織油の製造研究を遂ぐ	完	同	吉田初太郎
硫酸化油の研究 ロート油の改良研究を主とす	研	同	同
乳化用硫酸化油の研究 油に水を加へ容易に分散し且安定なる强力乳化劑を採求し各種減摩劑に應用せんとす	同	日本鋼管(神奈川)	松下義久 石川誠一
單一脂肪酸の硫酸化油に関する使用上考察	同	京都市染試	瀧本梅二郎
絶縁油脂に関する研究（一部完了）（日本學術協會報告第10卷第1號，電氣學會雜誌） 各種工業用油脂に付て其の特變數と導電率との関係を吟味し次で吸着劑處理の木蠟導電率に及ぼす影響を究む、更に化學藥品處理の效果を論究し日光曝露に依る導電率の變化を精査せり、即ち此等の結果により油脂中に在來含有せられたる夾雜物の絶縁性に及ぼす影響を闡明し兼ねて日光の作用に依る夾雜物並にグリセリドの變化せる物質が如何なる行爲を表すやを攻究せり、尚引續き有極性物質の絶縁性に及ぼす影響を探究せんとす。	同	臺南高工	譽田敏雄 吾瀬五十
絶縁用鑛油の變質等の研究 熱劣化、再養變質防止、冷却作用等の研究	同	遞信電試	六角英通
絶縁用鑛油の標準破壞等の研究 破壞狀態の究明と標準試驗法の改良をなす	同	同	六角英通 相川孝雄
化學處理が絶縁油の劣化に及ぼす影響研究	同	同	竹内功三 植村春吉
油脂乾燥皮膜の劣化に對する諸因子研究	同	同	山田貞吉
イワシ油、鯨油及座頭鯨油の脂肪酸成分としてガドレイン酸の確認（工業化學雜誌第37篇第9冊）	完	東京工試	外山修之 石川得三
イワシ油中の高度不飽和酸の成分に関する研究	研	同	外山修之 土屋知太郎
ニシン油、タラ油、巨頭鯨油、油サメ油中の C_{24} の高度不飽和酸に付て（工業化學雜誌第37篇第9冊） ニシン油中の C_{24} の高度不飽和酸を分取し更に分別して $C_{24}H_{36}O_2$ なる分子式の高度不飽和酸を分離し之にニシン酸なる名稱を與へたりニシン酸はタラ油、巨頭鯨油、油サメ油中にも存在することを認めたり	完	同	同
高度不飽和酸の利用に関する研究	研	同	外山修之
魚油利用に関する研究 魚油を脱臭し之を塗料、石鹼、ゴム代理品等に利用せんとす	同	大阪工試	松本源郎 松尾秀

研究項目	進度	機關	擔當者
巨頭鯨油中のエイコサン酸に付て（工業化學雜誌第37篇第9冊） 巨頭鯨体油中よりガドレイン酸と異なる一つのエイコサン酸を分離し之にゴンドウ酸と命名せりゴンドウ酸はガドレイン酸と同じく炭素原子に側鎖を有せざるモノエチレン系酸にして両者は二重結合の位置を異にするものなり	完	東京工試	外山修之 石川得三
水産動物油の成分に関する研究	研	同	辻本滿丸
台灣産動物性油脂に関する研究の中カラスミ鱠の卵巣油に付て（同所工業部報告第129號）	完	臺灣中研(工業)	加福均三 畑忠太 廉川政一
台灣産動物性油脂に関する研究	研	同	同
魚油のHydro-crackingの研究（同所彙報第13輯第8號）	完	理研	遠藤義臣
魚油の部分的水素添加に関する研究 高度不飽和酸の選擇的水素添加の有效條件の決定	研	北海工試	木村兼信 秦野好雄
魚油ボイル油製造試驗	同	同	同
蠶蛹利用工業に付て 農村救濟事業として蠶蛹の利用研究に着手し先にサナギ油の利用工業を起せり玆に進んで蠶蛹蛋白の根本的研究を行ひ之が工業化を企圖す	同	鐘紡武藤理研	伊藤鬱彦 大槻一
台灣産植物性油脂に関する研究（同所工業部報告第131號） 台灣植物種子中油脂原料に用ひ得べき成分に関し研究せんとするものにして從來無價値として顧られざるものゝ内に工業的價値を有するものあることを發見す	完	臺灣中研(工業)	加福均三 畑忠太 廉川政一
台灣産植物性油脂に関する研究 (1)各種油脂の成分に関する研究 (2)油脂分解劑に関する研究 (3)油脂の酸化防止に関する研究 (4)斑芝綿種子を原料とするグリセリンの製造試驗	研	同	同
台灣産各種植物成分基本調査 (1)各種植物精油の成分研究 (2)前記植物精油に含有せらるる未知成分の學術的研究 (3)藥用植物成分の研究 (4)台灣産天然ガスより得らるゝ輕ガソリンにある特殊芳香油製造試驗	同	同	加福均三 市川信藏 瀬戸邊六 外山敏名
南洋産植物種實の油脂に付て（同所報告第29回第3號） 六種の南洋植物即ちアカリットム（アイス）、パンギウム、アブガオ、シャーシヤップ、ヤラボ、モモタマナの種實より得たる油脂の性質に付研究せり、其の中アカリットム脂は强き乾性を有し塗料用として適當なるものと認む	完	東京工試	辻本滿丸 小柳半二
二三の植物油脂に付て（同所報告第29回第3號） 牡丹及芍藥の種子油は乾性油、蓮種子油は半乾性油なり、ブラジル產パルム油の一種は石鹼原料として適す	同	同	同
植物油脂の成分に関する研究	研	同	辻本滿丸
植物油脂の精製加工並に其の應用に付て 製品品質の改良能率の增進コストの低下副產物の利用（例へば油滓の石鹼原料としての利用）に関して研究す	同	日清製油(大連)	守田英雄 外山三名

研究項目	進度	機關	擔當者
植物種子の搾油方法の改善に付て 製品品質の改良能率増進コストの低下に関する研究	研	日清製油(大連)	江口助次郎 外一名
植物油脂のブレークに付て ブレークの本質の研究並に其の簡單なる除去方法を研究	同	同	加藤春雄 外二名
朝鮮産油脂に関する研究 朝鮮産油脂に関する全般的研究	同	朝鮮中試	安東赫
大豆油の乾燥性改善の研究 酸化剤の作用によりて大豆油の乾燥性を改善せんとす	未	大阪工試	松木源
大豆油の乾燥力促進方法の研究	研	日本ペイント(大阪)	小林晃 瀬戸巌
硬化油製造法の改良 新規發明に係る高壓放電應用硬化油製造法の工業的實施適否を確立せんとし小規模實驗を基礎とし之を工業的實施に適する樣改良を加へ半工業的試驗を行はんとす	同	滿鐵中試	尾崎三千郎
硬化油製造法に於ける高壓放電の應用 硬化油製造裝置に電極を設け反應時に於ては高壓交流電極を適用して反應速度の促進を計り反應後は交流の代りに直流電壓を適用し反應器内にて觸媒の分離を行ひ之に依りて觸媒の連續的使用を可能ならしむるが如き方法	同	同	瀬戸巌
大豆油の利用研究 一般塗料としての用途研究にして現在既にボイル油の製造に成功す	同	滿鐵撫順炭研	
大豆油の加硫に関する研究 硫黄を添加結合せしめたる大豆油の物理的化學的性質の變化を追究考察してゴム代用品特殊石鹸塗料等大豆油の新用途の開拓に資せんとし大豆油と硫黄との反應を基礎的に追究し反應條件に依りて如何なる硫黄結合大豆油を生成するやを明にし次で各條件下の生成物の物理的並に化學的性狀の觀測を行はんとす	同	滿鐵中試	猪口金次郎 島田吉英
大豆油より油脂加工品の製造及品質の改善に付て (1)選擇的水素添加法研究 (2)吹込油の製造及用途研究 (3)石鹸原料として好適なる硬化大豆油の製造研究 (4)大豆油滓の利用法研究 (5)ウィンターオイルの製造 (6)油脂分解	同	大連油脂	簗瀬成一
油滓の成分及利用に関する研究 大豆油精抽出副成物中油滓は原料大豆の約1%に相當し利用の途なきを以て其の成分を檢し之が利用の途を講ぜんとし油滓を原料となし脱水及精製方法粉末油滓の成分の檢索及理化學的性質の研究成分の闡明による其の利用法の研究	同	滿鐵中試	岡野公次 小原巌
油脂連續抽出裝置の研究 大豆油抽出法殊にアルコール抽出法に於ける作業を連續的ならしめ從來の非連續作業に比し能率的な抽出機械を案出せんとす	同	同	石田義豐 岸本支那一

研究項目	進度	機關	擔當者
大豆グリコシド利用に関する研究 大豆油アルコール抽出法廢液よりビタミンB採取の際析出するグリコシドの硬水石鹸原料として利用研究をなさんとす、グリコシドを精製粉末狀とし之を石鹸に加へる際の效力等を研究し實際に其の製造を試みんとす	研	滿鐵中試	石田義豐 五十嵐正次
大豆油によるリノキシン製造 亜麻仁油の代りに大豆油を用ふ	同	東洋リノリューム	和田盛之助
食用大豆硬化油の脱色脱臭に付て	完	大連油脂	簗瀬成一
工業用硬化大豆油色相改善に付て	同	同	同
メタノール處理を施せる精製脱油大豆及大豆油の榮養價値に関する研究 ベンジンとメタノールの最低共沸混合物にて抽出を行ひたる大豆及抽出せられたる大豆油にメタノール處理の影響なきやに付動物試驗を行ひたり	同	東京工試	増野實 梶塚進
植物性油脂及油粕の利用に付て	研	吉原製油	佐々木銳爾 中山修一
植物性油脂及油粕に関する研究	同	同	松本壽雄 江尻信之助
植物性油脂精製法に付て 各種油脂最新精製法の研究	同	同	日高悌 日下統
東洋産、歐米産並に印度及南洋産植物性製油原料及油脂並に油粕の成分性狀の研究	同	同	小川美之吉
菜種油の成分に付て(日本化學會誌) 菜種油成分を精査し低級酸部と高級酸部を簡便に分離する工業的方法を考究す	完	大阪市工研	山崎利一郎 市原謙太郎
菜種加工利用試驗 製油並に此の油を利用して應用製品製造を行ふ	未	岡山工試	二之宮稔
オリーブ油の研究 オリーブの品種別に對する油脂の特性研究	研	香川工試	井上正朗
乾燥油精製研究 荏油、亜麻仁油等の乾燥油を其の用途に應じ最好適なる精製法の研究	同	攝津製油	宮坂金彌 野津正人
酸性白土に依るヒマシ油の脱水に付て(工業化學會誌第38卷第3號)	完	遞信電試	山田貞吉
桐油に関する研究	研	理研	馬詰哲郎
ウリ科植物種子の研究	同	東京工試	外山修之 土屋知太郎
ニューギニア産植物の精油研究	未	横濱高工	阿部滋弘
クリラワン樹皮の精油に付て(日本化學會誌) オイゲノールを主としてシネオール、サフロル、エストラゴール、シメンを含有するを述ぶ	完	同	同

研究項目	進度	機關	擔當者
マソイ樹皮の精油に付て	研	横濱高工	阿部滋弘
微生物の繁殖に對する芥子油の影響（醸造學雜誌第18卷第6號） 合成芥子油の化學構造と微生物の繁殖抑壓效力の関係を觀察す	同	大阪市工研	福本壽一郎
米糠油の製造精製法の研究	同	北海工試	辻太郎 木村兼信
ボイル油の特殊製造法	未	戸畑鑄物化研	
鮫油に付て（昭9工業化學雜誌） 鮫油の成分に関する研究特に高級酸並に不鹸化物の檢索	完	大阪酸水素	岩井正昌
ヒラカシラ油の成分（昭9，工業化學雜誌） 特に新重度不飽和酸 $C_{24}H_{38}O_2$ に付て	同	同	同
メヌケ油の成分 （1）脂肪酸成分に関する研究（昭9．工業化學雜誌37） （2）不鹸化成分に関する研究（昭10．工業化學雜誌38）	同	同	同
石鹸原料用油脂に付て	研	吉原製油	佐々木錦爾 中山修一
脂肪酸に對する金属の影響に関する研究 脂肪酸工業に於ける各種金属が製品に及ぼす影響を知らんとす	完	ペルペット石鹸	
二成分混合脂肪酸のエステル化に付て（工業化學雜誌第57篇第4冊） 二種の脂肪酸の混合物をアルコールに依りてエステル化する場合に両脂肪酸が如何なる割合に反應を與ふるものなるかを研究しエステル化反應は各箇の脂肪酸に對して非選擇的に進行し各箇の脂肪酸は一様に反應に與ふることを明にせり	同	東京工試	外山修之 石川得三 秋山五郎九
油脂分解に関する研究 有力にして優良なる脂肪酸を得べき分解劑を得んとす	未	ペルペット石鹸	
脂肪酸の新確認劑パラ・キセーニル・アミンに付て 難結晶性不飽和酸及誘導体の確認劑として從來適當なるものなし、此の缺陥を改善する目的にて脂肪酸をパラ・キセーニル・アミンと縮合せしむる新確認反應なり	完	京大化研	木村和三郎
脂肪酸誘導体の研究（脂肪酸、アミド スルホン酸の構造とコロイド性との関係） 種々の脂肪酸とアミド・スルホン酸と結合せしめ反應生成物の耐酸アルカリ、耐硬水性浸透劑としての性質を研究す	研	同	同
不飽和脂肪酸の化學、不飽和脂肪酸及不飽和脂肪の添加化合物の研究 不飽和脂肪酸及不飽和脂肪の不飽和点に各種金属、有機化合物を添加せしめたる機構及添加物の性質を攻究す	完	同	大江周三 山本豐

研究項目	進度	機關	擔當者
不飽和脂肪酸の化學、リノレン酸の立体構造 リノレン酸の六臭化物の脱ハロゲン化水素作用によりリノレン酸中の三箇の二重結合は何れも —cis—cis—cis— なることを證明せり	完	京大化研	丸山勉
不飽和脂肪酸の化學、エルシン酸の Geometrical inversion エルシン酸のブロム添加の際には Geometrical inversion を惹起してブラシデイン酸とならずエルシン酸に臭化物の脱ブロム作用にてブラシデイン酸を生ずることを證明す	同	同	同
不飽和脂肪酸の化學、共軛二重結合の三重結合への轉移に付て 共軛二重結合が苛性カリアルコール液により三重結合に轉移するは polyene に於ては起らず單純なる一組の共軛二重結合にて此の現象が認められたり	同	同	同
不飽和脂肪酸に付て （1）不飽和脂肪酸と硫酸の反應機構、生成物の化學的及物理的性質の研究 （2）各種不飽和脂肪及不飽和脂肪酸のヨード價と水素價とを比較し同時に油脂水素價測定に適する裝置の考案、其の條件の決定	研	同	丸山勉 大江周三 山本豐
不飽和脂肪酸の化學 高級脂肪酸の二重結合の研究の立脚点より二重結合に對する硫酸の作用の機構を考究し硫酸化合物の化學的乃至物理的性質を研究して此等研究の基礎の上に二重結合の利用として魚油、大豆油等の新方面を開拓せんとす	未	同	同
合成油脂の研究 脂肪酸のエステル類に付て研究す	完	旭電化	行友威彦
パラフィン製造に於ける發汗操作法の研究	研	日石（新潟）	松下明
ホットロールネックグリースの製造 アスファルトより製出せんとす	完	同（柏崎）	中村運正
サビ止グリースの研究	未	津上製作	藤井綱二
鑛油精製の際生する硫酸滓の處理法研究	研	日石（新潟）	中村安太郎 小林謹二 佐藤幸作
グリセライドの合成並に其の選擇的鹸化に関する研究（工業化學雜誌、日本學術協會報告）	同	廣島高工	中江大部
羊毛脂の精製に関する研究（同所報告） 羊毛の洗滌廢液より回收せる粗製羊毛脂を精製し日本藥局方に適合するラノリンを製造する方法研究	完	大阪工試	郡田卯作
羊毛脂の精製に付て 羊毛脂より脱水ラノリンを廉價に製造す	同	大阪市工研	山崎利一郎 有坂熊次
羊毛脂の成分に付て 成分を檢索分離し强力なる乳化劑、滲透劑を製造せんとす	研	同	同

研究項目	進度	機關	擔當者
ラノリンの抽出研究 羊毛脂よりのラノリン抽出法を研究し羊毛脂の用途を擴大せんとす	研	千住製絨所	小野宰平 荒木一夫
羊毛脂の利用に關する研究 羊毛脂を鹼化其の他の方法に依り各種の成分に分別し夫々適當なる處理を施しその利用法を講ぜんとす	同	愛知工試	下方鑛藏
羊毛脂の鹼化に付て 羊毛脂より有用なる脂肪を得る一方法	同	東京工大	祖父江寛
微生物に依る油脂分解の研究(熱帶農學會誌)	同	臺北大理農	平林成志
ハロゲン化油脂の工業的ハロゲン脱却法に付て 乾性油の製出を目的とす	未	早大理工	山口榮一
油脂製造工場に於ける副產物利用に付て	研	吉原製油	日高悌 佐々木銳彌 松本壽雄
クレオソート油及アントラセン油の工業的水素添加試索研究 コークス副產物中特にアントラセン、ピッチ、クレオソート油の如き經濟上廢棄物同樣品に水素添加を行ふことに依り極めて重要なる物質を製造せんとするにあり	同	日鐵(八幡)	黒井千代吉
乳化油の燒入成績に付て 乳化油と原油即ち潤滑油乙種第三種との燒入、燒入硬化度及擔バネの折損數を比較して乳化油の使用成績を向上せしむる樣調査研究する豫定なり	未	大鐵關取	
燒入油(菜種油)代用として古鑛油使用の研究 消耗品節約の目的で古鑛油の冷却裝置及引火防止方法を研究し實物試驗品に付折損狀況を比較調査す	研	名鐵濱松	宮川茂
油脂の硬化方法と榮養價の研究 油脂の榮養價を減退せしむることなく食料油脂として適當なる魚油硬化方法の研究	未	農林水講	深山義道
3—塩化エチレンに依る油脂の溶解除去に付て グリースマシン油等の除去方法として 3—塩化エチレン蒸氣に依る溶解法の短時間に其の目的を達し得ることを明かにせり	完	住友伸銅	稲村賢三
木蠟の成分に関する研究(同所報告第 29 回第 3 號) 核油を含まざる古實木蠟の脂肪酸の成分に付研究し試料のものは大約パルミチン酸77%ステアリン酸及アラキヂン酸 5%オレイン酸12%リノール酸少量(1%以下)二塩基性酸6%より成ることを認めたり	同	東京工試	辻本滿丸
木蠟漂白に関する研究(一部完了)(工業化學雜誌、日本學術協會報告第10卷、同校學術報告第 1 號) 既に色素の化學的攻究を完了し從來既知の物理的並に化學的漂白法の吟味を了へたるを以て更に分光光度計並にスペクトル寫眞に依る研究を行ひ兼ねて漂白蠟の性狀を究めて理想的人工漂白法を發見せんとす	研	臺南高工	佐久間操 吉瀨五十

研究項目	進度	機關	擔當者
動植物油脂蠟の Hydro-cracking に付て(同所彙報第 13 輯第 11 號)	完	理研	遠藤義臣
高融点分成蠟の製造 菜種油高級酸部より高融点蠟を合成せんとす	研	大阪市工研	山崎利一郎 市原謙太郎
木材防腐劑としてのクレオソート油各溜分の比較研究	同	遞信電試	種田悌二
肝油の不鹼化物に付て	同	理研	川上行藏
肝油製造試驗 廢棄せられつゝある魚類の肝臟よりビタミン效果大なる肝油の製造を目的とし現在多量に漁獲せらるゝ諸種の魚類の肝油のビタミン效果を試驗し優良なる原料を選定し且採油困難なる原料よりビタミンの經濟的抽出法に付試驗す	同	農林水試	東秀雄
鮫肝油二種の肝油研究(同所報告第29回第 3 號) 從來研究せられたることなき天竺鮫及一種の水鱒の肝油に付實驗せり	完	東京工試	辻本滿丸
姥鮫肝油の新炭化水素に付て(日本化學會誌第55帙第 7 號) 富山灣にて捕獲されたる姥鮫肝油を試料とし實驗せる結果は一種の新しきオクタデシレン($C_{18}H_{36}$)を含有することを發見し此の炭化水素にザメン(Zamene)なる名稱を與へたり	同	同	同
富山灣にて捕獲されたる大姥鮫の肝油に付て (昭9. 日本化學會誌第55帙第 7 號)	同	同	同
板鰓類魚類肝油の不鹼化物の成分並に其の應用に関する研究	研	同	外山修之
石鹼に関する研究(一部完了) 石鹼溶液の氣泡の性質に付研究し(完了)尙石鹼及洗滌劑の性質並に製造に関して研究せんとす	同	ミツワ化研	三雲次郎
アンモニア石鹼の研究 アンモニアより油脂の加壓硫化法の研究	同	九大工	安藤一雄
硬化大豆油石鹼の硬水に對する性能に付て	完	大連油脂	葉瀨成一
魚油を原料とする優良粉末石鹼製造試驗 魚油を原料とせる粉末石鹼は普通褐色にして惡臭あり、本試驗は此の缺点を可及的除去する目的の下に施行せるものなり	同	奈良工試	玉木昌雄
粉末石鹼製造法の研究 簡單迅速なる粉末石鹼製造の機構を知らんとす	研	ベルベット石鹼	
脂肪酸と炭酸ソーダの反應速度に関する研究 脂肪酸を原料とする石鹼製造の機構を知らんとす	未	同	
高温高壓鹼化法に関する研究 (工業化學雜誌) 壓力釜中に於て加壓の下に油脂を鹼化し良質の石鹼を速かに製造せんとする研究	研	大阪酸水素	岩井正昌

研究項目	進度	機關	擔當者
洗濯石鹸に関する研究(第一報)(工業化學雜誌) 洗濯石鹸には必ず珪酸ソーダ及著量の水を添加するを普通とするも往々石鹸生地の中に水及珪酸を分離することあり仍て之が根本的研究を行はんとす	研	大阪酸水素	岩井正昌
海水及硬水用石鹸の改良研究	同	第一工業製薬	曾我二郎
糠油の利用研究 糠油を以て薬用石鹸の製造方法を研究す	未	山口工試	時岡隆太郎

9 燃　料

研究項目	進度	機關	擔當者
一般工業用及暖房用汽罐の燃料の利用並に熱效率增進に関する試驗	研	商工燃研	山崎喜一郎
輕質內燃機燃料に関する研究	同	同	諏訪哲郎
ヂーゼル燃料に関する研究	同	同	同
自動車用ヂーゼル機関燃料の研究 ヂーゼル機関燃料油の理化學的性狀と實用成績との関係を研究す	同	陸軍自校	三木吉平 尾田秀雄
航空發動機用燃料及ヂーゼル機関用燃料に関する研究實驗	同	燃料廠	山口昌三郎 鈴木俊十名 外十夫
佛國イ社發動機用航空燃料に付て(同所研究報告414) 佛國イ社現用の航空燃料を精溜し各5°C間の溜分に付化學的試驗を行ひ其の組成的曲線を求む	完	三菱重工業(名古屋)	町井義夫
航空燃料潤滑油及燃燒に関する研究	研	航空廠	嘉納吉彦 齋藤秀人 中田金市
燃料の使用及貯藏に関する研究(研究實驗成績報告第90號) ヂーゼル燃料としてシェール重油の適否を試驗す	完	燃料廠	秋田穰 中西卓 山縣助仁
燃料の使用及貯藏に関する研究實驗(研究實驗成績報告第89號) 燃燒に関する基礎研究にして恒容の下に於ける一酸化炭素の燃燒に付て研究す	同	同	磯谷延治
燃料の使用及貯藏に関する研究實驗(研究實驗成績報告第86號) 燃燒に関する基礎研究にして恒容の下に於けるベンゾール炭化水素の燃燒に付て研究す	同	同	秋田穰
燃料潤滑油の使用及貯藏に関する研究實驗	研	同	秋田穰 磯谷延治 外十名 田一二
各種液体燃料の製造 石炭を出發点とせる內燃機関用燃料を求むべき各方法に付比較研究す	同	朝鮮窒素(興南)	西田榮啓 信田 土井壽

研究項目	進度	機關	擔當者
液体燃料の研究 代用液体燃料の合成其の他に付て研究す	研	陸軍科研	吉田又彦
各種代用燃料に関する研究實驗	同	燃料廠	江口孝 山口昌三 外二名
代用燃料としてのツンドラの研究	同	京大化研	志方益三 伊佐三郎
石炭より得らるべき代用燃料の研究 石炭より得らるゝ揮發油に付研究す	同	陸軍自校	三木吉平 尾田秀雄
液体燃料の熱分解に関する研究(一部完了)(工業化學雜誌)	同	商工燃研	大塚博
液体燃料の一資源としてのボタと過熱水蒸氣乾溜に関する考察(同所彙報第13輯第6號)	完	理研	城所德祐
自動車用燃料の研究 薪、木炭以外の固体並に液体燃料を混用し揮發油に匹敵する自動車用燃料を得んとす	研	陸軍自校	三木吉平
自動車燃料の研究 滿洲に使用する自動車燃料として最經濟的なるものを決定すると同時にガソリン代用品の效力試驗をなし之が應用を計らんとするものにして各種ガソリンの比較、木炭ガスの自動車燃料としての效力試驗を行はんとす	同	滿鐵沙河口研	磯兼益三 外二名
ガソリンの合成研究	同	商工燃研	堤榮
揮發油類のノッキング性に関する研究(同所研究報告第30號)	完	同	諏訪哲郎
航空三号揮發油ベンゾールトルオール混合物の凝固点に付て(同所研究報告407) 航空三號揮發油とモータベンゾールとの割合及モータベンゾール中のトルオールの量による凝固点の變化を見る	同	三菱重工業(名古屋)	町井義夫
特殊揮發油に對する實驗 特殊揮發油の酉輕質塗料及輕質油管各種金屬に及ぼす影響の比較を行ふ	未	横須賀工廠	廣幡增彌
航空發動機用ガソリンの揮發性に付て(愛知研究報告第247號) 空氣なし蒸溜曲線より空氣混合物の揮發度を見出す手段とす	完	愛知時計	荒木鶴雄 中林正素
硝酸銀による揮發油硫黄分檢出法に関する研究(研究實驗成績報告第88號) 本法と他の定性的硫黄試驗法との比較研究を行ひ本法の優れたる点を明にす	同	燃料廠	並河孝
分解揮發油製造法の研究 重油の常壓氣相分解法	研	北海工試	田丸巖 多田幸一
石油分解ガス利用の研究	同	商工燃研	大塚博

研究項目	進度	機關	擔當者
特殊揮發油の油系統の金属材料に及ぼす腐蝕作用に付て（同所研究報告 442） エチル鉛を含む特殊揮發油が各種燃料油槽材，燃料油管材及アルミニウム輕合金鑄物に及ぼす腐蝕作用に付て試驗せり	完	三菱重工業（名古屋）	池田傳 町井義夫
日本產原油性狀試驗（研究實驗成績報告第 85號）	同	燃料廠	渡邊伊三郎 野村數雄
日本產石油の一般成分に付て 新潟縣產原油の高沸点部に付成分の分離をなし各の性狀を研究せんとす	研	長岡高工	幸林良作
石油に関する研究（海軍燃料廠委託研究）（日本學術協會誌） 北樺太オハ產原油の揮發油成分に付研究せり	完	京大理	小松茂 中井利三郎
石油に関する研究（海軍燃料廠委託研究） 北樺太オハ產原油のガス油分の成分に付研究し其の分解蒸溜並に水素添加分解蒸溜の研究を行ひつつあり	研	同	小松茂 木村作治郎 外三名
石炭系重油の樹脂質物質除去に関する研究 石炭液化油は勿論撫順シェール油貯藏並に燃燒時の樹脂質を除去せんとし實驗室的にシェール重油精製油を再檢討し一方小規模裝置に依り精製せる油の（ヂーゼル機関）燃燒試驗を行ふ	同	滿鐵中試	阿部良之助 濱上庄司 外一名
重油よりアセチレン及水素の製造に関する研究	同	東京工試	斯波忠夫
一酸化炭素の常壓接觸的還元による石油ベンジンの合成	同	理研	喜多源逸 常岡俊義 村田義夫
原油の分類法研究	同	燃料廠	小松茂
石炭に関する研究	同	同	小川亨 並河孝 妹尾英孝
本邦の石炭に付て 化學成分相違の地質學的意義	同	九大工	中村小四郎
石炭除灰法の研究	同	商工燃研	新村唯治
微粉炭の發火燃燒性に関する研究	同	同	諏訪哲郎 稲留武男
石炭に関する調査研究の中工業分析の結果より見たる臺灣產石炭に付て（同所工業部彙報第 9 號） 臺灣石炭の炭質を精査し劣等炭の利用コークス製造に関する調査試驗及低溫乾溜に関する研究をなさんとす	完	臺灣中研（工業）	服部武彦 長谷阿章
石炭に関する調査研究の中臺灣產石炭炭質に関する基礎的研究	研	同	同
石炭の性狀に関する研究 滿洲產石炭の根本的研究を行ひ利用の合理化を圖らんとす	同	滿鐵中試	阿部良之助 高島四郎 外一名
撫順炭炭質調査 撫順炭の化學的物理的基本調査	同	滿鐵撫順炭研	

研究項目	進度	機關	擔當者
石炭其の他燃料に関する研究 煉炭、暖炉、石炭の反應度其の他石炭の性質に関する研究	研	三井鑛山（目黒）	池邊龍三郎 竹井政夫 外三名
石炭の酸化狀態に付て 溫度及時間による酸化程度を恒溫槽により測定中	同	秋田鑛專	米澤治太郎
製糸並に養蠶用石炭の炭質試驗	同	郡是製絲（理研）	新庄嘉吉
家庭燃料着火及燃燒試驗（同所研究報告）	同	大阪能研	藤原利市 池側實
膠質燃料の製造に関する研究	同	東京工試	宮崎安太郎
固体燃料の粉碎性に関する研究	同	商工燃研	山崎喜一郎
石炭液化研究實驗 各種石炭による基礎的研究及撫順炭による半工業的實驗	完	燃料廠	小川亨 横田俊雄 外二名
石炭液化に関する研究實驗	研	同	横田俊雄 田島悦郎 芦浦正義
石炭油化の研究（一部完了）（同所研究報告第18號）	同	商工燃研	内田正次郎 墨川貢武 廣田和一
石炭油化の研究	同	同	外二名
石炭の直接油化に関する研究	同	東京工試	北脇市太郎 鈴木爲吉 崎川範行
石炭油化廢ガスに関する研究 石炭油化廢ガスより水素を回收せんとし廢ガス中に存在する水素は壓縮、分離メタンは熱分解又は電氣的方法に依り水素回收をなす	同	滿鐵中試	阿部良之助 渡邊一郎 外二名
石炭の液化に付て（同所彙報第 13 輯第 5 號）	完	理研	磯部甫雄 常谷章
石炭水素添加の研究（同所彙報第 13 輯第 5 號） 好間炭に付研究す	同	同	磯部甫臣 遠藤義
撫順炭液化工業試驗 研究室の研究を工業的操作にて試驗し今日迄の技術上並に經濟上の結論を得んとし連續式小規模液化裝置に依り試驗す	研	滿鐵中試	阿部良之助 高島四郎 外十一名
石炭液化裝置に関する研究 石炭液化の化學的研究と併行して各種の機械の化學的研究を行ひ本工業の企業計画に資せんとし連續式小規模液化裝置に依り試驗す	同	同	阿部良之助 高島四郎 外五名
石炭の液化に関する研究 石炭液化の理論的考察新觸媒の發見をなし之が工業化に資せんとし高壓下に於て各種條件の下に於ける實驗並にエックス線的化學的方法による液化反應の觀察をなす	同	同	阿部良之助 原透 外五名
石炭液化油に関する研究 液化油が如何なる水素添加分解の狀態にあるかを確め更に之が利用方面を開拓すべき物理及化學的方法を案出せんとす	同	同	阿部良之助 濱上庄司 見汐正道

研究項目	進度	機關	擔當者
石炭及石油類の水素添加に関する研究	研	三菱鑛研	福永勉 加納莊介 今井浩美 伊川雙材 河野藏 小林正三
石炭タールピッチ油化研究 高温高壓の下に接觸劑を使用水素添加により石炭ピッチタール等の油化を行ふ	同	三井鑛山(目黒)	
石炭、木材、タール、ピッチ、重油等の高温高壓に於ける水素添加に関する一切の研究	同	理研	磯部義臣 遠藤四名 外十
ピッチの水素添加に付て(同所彙報第13輯第6號)	完	同	磯部甫 伊藤硯太郎 田中一彦 久保田勉之助 吉河清雄 山中龍雄 二木寧 下征治 溝田豐
水素添加作用の研究	研	同	
撫順產シェール油高壓水素添加分解に付て シェール油を高壓水素存在の下にて分解と同時に水素添加を行ひ良質揮發油、燈油、重油等を得んとし高壓水素添加能力優秀なる觸媒を發見する爲本觸媒を用ひ反應に最適當なる温度壓力等を研究す	同	滿鐵中試	
シェール油の品質改善研究 (1)シェール油よりパラフィンを析出する研究 (2)乾溜重油を綠色頁岩にて濾過したる結果の品質研究 (3)シェール粗油急速加熱加壓試驗 (4)水素添加油より減摩油の製造 (5)シェール油製品主として揮發油燈油輕油等の品質改善 (6)シェール重質油の利用研究	同	滿鐵撫順炭研	
シェール油成分の研究 シェール油成分を明にし合理的處理方法を考究せんとすシェール油は不飽和化合物を多量に含有するを以て其の取扱方法も一般石油とは大差あるべし仍て一般成分性狀の研究と同時に熟に對する化學變化、藥品に對する變化、酸化還元に依る化學變化等を研究せんとす	同	滿鐵中試	田中猶三
撫順シェール油成分研究(工業化學雜誌 1, 5, 9, 38, 358, 364, 369) ガソリン分150°C迄の精溜、沸点40°C以下の飽和炭化水素、沸点40°C以下の不飽和炭化水素、ガソリン沸点85～115°Cの性質、ガソリン分85～115°Cの環狀並に飽和直鎖炭化水素ガソリン分85～115°C部分のオレフィン炭化水素、以上滿洲國シェール油成分を明確にし工業的研究の基礎とするを以て目的とし蒸溜及化學的操作を併用して各成分を分離し其の性質及含有量を測定す	完	横濱高工	堀江不器雄
撫順シェール油成分研究(工業化學雜誌8) 50～85°C溜分の性質並にオレフィン炭化水素、50～85°C溜分のパラフィン並に芳香族炭化水素、115～133°C溜分の成分研究	研	同	同
撫順シェール油成分研究 150～300°C溜分の成分の研究	未	同	同
水性ガスより石油合成に関する研究	研	東京工試	井上春成 則武靜一

研究項目	進度	機關	擔當者
常壓に於ける石油ベンジンの合成 水性ガス及之に代るべき原料より觸媒の存在によりガソリンを製造することを目的とし一酸化炭素及水素よりなる水性ガスを適當なる觸媒上に通過せんと縮合せるガソリンを定量す本合成の重点は優秀なる觸媒の製法を見出すにあり	研	滿鐵中試	渡邊進 松下鳳介 外一名
粉炭水性ガス化の研究	同	商工燃研	齊藤永吉 木村一
天然ガス及石油に関する研究(一部完了)(同所工業部報告第124號、石油時報、工政) (1)プロペンガスに付て (2)天然ガス利用に付て (3)天然ガス發生地の調査並に成分の研究 (4)天然ガスの物理化學的研究 (5)天然ガスよりガソリン抽出に関する研究 (6)天然ガスの利用研究 (7)石油に關する研究	同	臺灣中研(工業)	庄野信春 福永豐二 小倉正 山本二 外一
天然ガスの利用 天然ガスを酸化して有用なる有機化合物となさんことを目的とし氣相並に液相に於て酸化を行ふ	同	東京工大	田丸節郎 永澤邇和 藤合賢 見十男 外一名
天然ガスより液狀炭化水素の合成實驗(一部完了)(昭9工業化學雜誌第1報第2報) 天然ガス或はメタンガスの高温熱分解による燃料油の合成法研究	同	早大理工	小林久平 山本研一 外二名
天然ガスを原料とするベンゾール等の合成に関する研究實驗	同	燃料廠	藤尾誓 白井二 外一名
水素ガス又は水素と窒素の混合ガスの製法に付て(同所彙報第13輯第8號)	完	理研	礒部甫 遠藤義臣 戸谷田正幸
自然ガスの利用に関する研究	研	同	赤司嘉志和 山口文太郎 久保田勉之助 山中龍雄 二木寧雄
大豆油より輕質燃料油の製造 大豆油に水素を添加して輕質燃料油を製造せんとし大豆油を種々觸媒と共に高壓下にて分解し水素添加を行ふ	同	滿鐵中試	佐藤正三 香川典 外一名
メタノールの自動車用燃料としての研究 メタノールを自動車燃料として實用試驗す	完	陸軍自校	尾田秀雄
アルコール混合揮發油の研究(愛知研究報告第211, 246號) 不凍性混合物に付き諸性質の調査	同	愛知時計	荒木鶴雄 中林正素
アルコール混合燃料の研究 揮發油、純アルコール混合燃料を各種自動車に實用試驗す	同	陸軍自校	尾田秀雄
アルコール性混合燃料の揮發性に関する研究(昭10.3工業化學雜誌) エチルアルコール、シクロヘキサン混合物の蒸氣壓の値から此の混合物を燃料とする場合に内燃機関を最低何度迄始動し得るかに付計算を行ひ、燃料として始動性を考察す	同	桐生高工	石井直治郎

研究項目	進度	機關	擔當者
アルコール燃料に関する研究	研	商工燃研	諏訪哲郎
純アルコールの合成研究 燃料油として必要なる純アルコールをアセチレンより合成する工業的方法の研究	同	大阪工試	篠崎英之助 門脇博明 和井田統一郎
水素と一酸化炭素とより高級アルコールの合成研究	同	東京工試	島五郎 蓮見寛 仲田幸男
アルコールの燃料的高性法の研究	同	北海工試	田丸巖 多田幸一
燃料其の他工業用アルコールに関する研究	同	臺灣中研(工業)	中澤亮治 田中庄助 中野政弘
無水アルコール(燃料アルコール)製造の實施經濟的研究 トリクロルエチレン法(ドラミノール法)に依る製造が最進歩せるものにして獨佛等に於て實施せられ本邦にても近年二三製造を開始するに至れり (1) 脱水劑分離器内に於ける脱水劑とアルコールとの分離狀態の研究 (2) 蒸溜中に於ける熱量関係の研究及經濟的蒸溜法の研究 (3) 蒸溜器の一部改良	同	內野醸造(關東)	川上七郎 右衛門外二名
高粱を原料とするアルコールの製造法 高粱を原料としてアミロ法によりアルコールを工業的に製造し燃料用工業用に供し併せて高粱酒醸造法の改良並醸造等に資せんとす、滿洲産高粱を原料としアミロ法に依る純粹的の糖化醗酵の諸條件を決定し之を工業的に應用してアルコールの優良なるものを増收せんとす	同	滿鐵中試	吉野榮 吉外三名
木材よりアルコールの製造 滿洲産木材屑を利用し之よりアルコールを得んとし各種木材屑に付て成分の研究、酸に依り加水分解法の各種條件決定、分解液の醗酵方法の決定をなしつゝあり	同	同	六所文三 鎌塚明
燃料アルコール製造に関する研究 本邦並に滿洲國産穀類を原料として燃料用純アルコールの製造を行はんとす	未	京大理	小松茂 田中正三
脂肪及脂肪酸の高壓水素處理 脂肪及脂肪酸を高壓水素添加して脂肪アルコール炭化水素類を得んとす	研	朝鮮窒素(興南)	中西政之助
撫順炭を主とせる各種混炭燃料の燃燒試驗 撫順炭を主とせる混炭の汽罐其の他燃燒炉燃燒用としての燃燒性を研究す	同	滿鐵沙河口研	森脇宗達
石炭完全ガス化の研究(研究實驗成績報告第91.92.94號) (1)安價なる水素の製造を目的とする石炭乾溜速度と生成コークス電氣傳導度との関係 (2)石炭灰分が水性ガス生成反應に及ぼす影響 (3)白熱コークスに依るメタンガスの分解	完	燃料廠	並河孝
石炭完全ガス化の研究	研	商工燃研	齋藤永吉 木村一
コークスの性質研究	同	同	新村唯治

研究項目	進度	機關	擔當者
石炭の抽出試驗 粘結性成分を究明して不粘結性石炭をコークス原料に利用せんとす	研	日鐵(八幡)	石村房司
石炭のコークス化中の機構に付て並に不粘結炭への應用研究 コークス化の機構を研究し其の本質の應用に依りコークス用石炭の利用範圍をして半粘結炭や不粘結炭にも及ぼさんとす	同	同	田所芳秋
コークス炉にコークスガス及高炉ガス使用の際に於ける熱效率に付て コークス炉燃料として使用せる兩者ガスの效率比較	同	同	海野三朗
撫順單味コークス研究 撫順炭のみにてコークスを製造する研究	同	昭和製鋼	丸山智明
木炭代用燃料製造試驗 微粉炭泥炭の混用による無煙煉炭の製造	同	北海工試	大宅八十松 關場重房
粘結劑を使用せざる煉炭の研究(燃料協會誌第132號) 多量に存在する價値少き粉炭を廉價に煉炭化して有效利用の途を開かんとするものにして其の方法は原料を適度に加熱して之を比較的低壓にて壓搾成形せんとす	同	鐵道研	松波秀利 森政保
朝鮮豆煉炭の利用に関する研究 粘質劑なき煉炭の製造、燃燒及着火点の試驗等に関する研究	同	朝鮮燃研	若山英男
鋸屑と從來の燃料との比較試驗 鋸屑を燃料とし經濟及燒成上從來の燃料との比較を試驗す	同	商工陶試	石塚信太郎
燃料灰の耐火度に関する研究	同	商工燃研	山崎喜一郎
メタン並にエチレンの熱分解に関する研究	同	東京工試	井上春成 横溝榮一
各種ガスの分離利用に関する研究	同	燃料廠	藤本春季
アセチレンガス合成に関する研究	同	三菱鑛研	光永政介
ガス狀炭化水素の分析に関する研究 (一部完了)(工業化學雜誌)	同	商工燃研	大塚博
炭化水素合成法の研究(電氣化學誌第3卷第6號) アセチレンよりベンゾールの新製法の研究	同	東京工大	加藤與五郎 相川秀雄
不飽和炭化水素の酸化防止中テトラリンの自動酸化に對する石炭酸及ナフトール類の酸化防止能に付て(第1報)(同所彙報122號) 不飽和炭化水素の酸化防止は鑛油類の樹脂質生成防止に関し重要なり此の研究に當り酸化機構を簡明ならしむる爲に純化合物たるテトラリンの自動酸化に對する酸化防止劑に付て研究し其の結果ピロカテキン、ヒドロキン、ピロガロール、αナフトール等は强力なる酸化防止能を有することを認め又石炭酸類の酸化防止能と化學構造との関係に付て研究せり	完	航研	田中芳雄 桑田勉 青木松之助

研究項目	進度	機關	擔當者
アセチレンよりベンゾール類の合成研究	研	東京工試	莊司信守 折戸勇
不飽和炭化水素の酸化防止中テトラリンの自動酸化に對するアミン、アルコール其の他數種化合物の酸化防止能に付て（第2報）(同所彙報 122 號)	完	航研	山村義次 田中芳雄 桑田勉 青木松之助
鎖式不飽和炭化水素の塩素化に関する研究	研	理研	久保田勉之助 山中龍雄 二木寧雄
炭化水素の接觸酸化に関する研究	同	同	下瀬林太 青山伊佐男
燃料及潤滑油の規格及試驗法に関する研究實驗	同	燃料廠	小川亨 秋田穰 並河孝
石油製品に関する日本標準規格と工場使用の石油系諸油との関係に付て	同	内閣印刷研	小倉正照 菅田耕作 春日井忠一
石炭類規格統一に関する研究(同所研究報告)	同	大阪館研	藤原利市 山口光夫 井場大悟

10 石炭乾溜生成物

研究項目	進度	機關	擔當者
石炭低温乾溜の研究	研	商工燃研	伴義定 齋藤永吉 木村一
石炭の低温乾溜試驗 各種石炭の低温乾溜を行ふと共に其の生成物の性質研究	同	三井鑛山(目黒)	池邊瀧三郎 竹井政夫 持田勝郎
低温乾溜製品の諸性質及其の有效利用法に関する研究	同	三菱鑛研	福永勉 山本晴次
低温タールの高壓水素添加に付て(工業化學雜誌) 低温タールの高温水素添加を行ひて揮發油を生成せしむるに必要なる反應條件を決定せり	完	商工燃研	安東新午
低温タール酸性油の接觸的高壓水素添加の研究（工業化學雜誌） 低温タール中に含有せらるる酸性油に水素添加を行ひて揮發油並に石炭酸類を生成せしむるに必要なる反應條件を決定せり	同	同	同
低温タール酸性油の接觸的高壓水素添加生成物の研究（工業化學雜誌） 低温タール中に含有せらるゝ酸性油に水素添加を行ひて高沸点アルコール類並に其のエステルを生成せしむるに必要なる反應條件を決定し併せて各生成物の性質を試驗せり	同	同	同
各種タール類並に重油類の連續的高壓水素添加研究	研	同	同
低温タール精製並に利用研究	同	同	伴義定 齋藤永吉 木村一
低温タールの熱分解の研究	同	同	馬場有政
タール類よりベンゾール類の合成研究	同	東京工試	折戸勇

研究項目	進度	機關	擔當者
タール類よりベンゾールの研究	研	商工燃研	新村唯治 野村秀雄
低温タール酸性物質より石炭酸を製造する研究（研究實驗成績報告第 87 號）	完	燃料廠	白井章 早下村野秀登 爲三
タール酸の利用に関する研究	研	同	鈴木俊郎
低温タール利用に関する研究	同	宇部窒素	大山剛吉 大野正夫
低温タールの利用法 低温タールの中性油は之を燃料特に内燃機関燃料として適用すべく酸性油は其の沸点に從ひ分別して之が新たなる用途を求むべく研究す	完	朝鮮窒素(興南)	西田榮一
石炭低温乾溜酸性タールの染料合成への利用研究	同	大阪工試	村田和也
中性重油より揮發油の製造 低温タールより得らるゝ重油を高壓熱分解し揮發油を製造せんとす	研	朝鮮石炭工業	信太啓二 佐藤城
輕質油の合成 低温乾溜により得たる半成コークスより水性ガスを製造し低温低壓法に依り觸媒を用ひて輕質油を合成せんとす	同	同	同
高沸点酸性油より縮合物の製造 低温乾溜により得たる酸性油中低沸点部分は縮合物として利用さるゝも高沸点部分は未だ實用の域に至らず再生可能なる可塑物を製造せんとす	同	同	岡田夫 中川時陸 佐藤毅城
高沸点酸性油より低沸点酸性油又は輕質油の製造 利用少き高沸点酸性油を熱分解に依り低沸点部分に變へんとす	同	同	三木芳樹 下奉忠 佐藤義城
塩基性分の利用 低温タールより塩基性分を除去し燃料油としての利用價値を増大し且塩基性分を利用せんとす	未	同	同
ピッチコークスの製造 低温タールピッチより蒸溜釜に依りピッチコークスを製造せんとす	研	同	新木桂之介 土岐恒夫 佐藤城
タンニン劑の合成 鞣革工業に於て重要原料たるタンニン劑を低温タールより得たる酸性油より製造す	完	同	西田榮一 佐藤城
瀝性タール（タール乳劑）の研究中第4報スルホン酸を乳化劑とするタール乳劑の製造研究(自發研究第17號) タールの乳劑化は特殊スルホン酸乳化劑の發見に依り研究室の裝置に於ては良好なる品位のものを得らるゝも之を工業的設備に擴大せし場合にも同樣の品位のものを得らるゝや否やを檢し安定劑裝置の一部等に改良を加へ之に成功せり尙此の半工業的設備を以て製造せしタール乳劑を用ひて實地道路鋪裝を試み好結果を得たり	同	日鐵(八幡)	谷宗雄 森元信夫

研究項目	進度	機關	擔當者
タール中の水分の電氣的除去に付て(自發研究第16號) タール中に乳化せる水分は其の蒸溜作業に於て度々故障を及ぼすものなり故にかゝる水分を簡單に除去し得らるるならば蒸溜作業は相當容易になる譯なり、本報告は電氣的にかゝる水分を除去せんとしたる極く小規模の試驗結果を記せるものなり其の結果の一例を示すに水分 3.5% を含む原料タールが一回の電氣的處理により水分が 2% となり二回の電氣的處理で水分約 1.1% 減じたり	完	日鐵(八幡)	上本保

11 人造肥料

研究項目	進度	機關	擔當者
空中窒素固定に関する研究 (同所工業部報告第134號) 明礬石含有の硫酸分を利用し硫酸アンモン製造の研究	完	臺灣中研(工業)	服部武四郎 白土齊名 外二
空中窒素固定に関する研究 アルミニウム製造の研究と相関聯して工業的中間試驗をなす	研	同	同
肥料製造の研究 硫酸石灰を利用して硫酸或はセメント等となす	同	明治專門	吉田邦雄
肥料の吸濕性に付て	未	同	同
燐酸アンモンの製造方法に関する研究	研	東京工試	西村常吉
ピロ燐酸ソーダ及燐酸類の研究	完	大日本人肥	小泊重名 谷村體務
化成肥料の肥效に付て	同	同	庄司譯記 兒玉靜吉
アンモニア合成觸媒の研究	研	同	城所謙一 織田研一
過燐酸石灰の肥效率增進に付て(日本農藝化學會誌、札幌農林學會報一部發表) 膠質化學を應用して肥料中の有效成分の流亡惡變等を防止せんとす	同	多木理研	日高毅 平野千里
窒素製造裝置の研究 空氣を液化して窒素及酸素を製造する裝置の研究	同	電氣化學(青海)	松尾正男
粒狀カーバイド及粒狀石灰窒素の製造 粒狀カーバイドの製造及之を石灰窒素に變製する事の研究	同	同	內藤寬男 松尾正郎 熊澤一
モンド硫酸アンモン精製法の半工業試驗 撫順炭礦硫酸アンモンを白色にして純度高き硫酸アンモンとなし販路の普及を圖る	完	滿鐵撫順炭研	
硫酸アンモンの研究 硫酸アンモンを主体とする混合肥料の製造に関する研究	未	滿洲化學	堀省一郎 後藤久生

12 皮革

研究項目	進度	機關	擔當者
タンニン鞣劑代用に関する研究(研究調査彙報第6號) 軍用革はタンニン鞣法によるを以て其の鞣材たる天然タンニンは本邦資源極めて貧弱にして主として南米印度より輸入しある狀況にして假令戰時軍靴用革にはクロム鞣法を使用するとするも底革は其の品質上タンニン鞣たるを要す其の對策として之が代用品を研究し自給自足の道を講ぜんとす (1)タンニン代用品として木材パルプを酸性亞硫酸石灰にて精製するとき生ずる廢液中に含有するタンニン類似の成分に付き研究す (2)北海道に產する赤ゑぞ松樹皮に付き研究す	完	被服本廠	橫山薰 瀨下精一
次塩化石炭酸ソーダの下方黴效力に関する研究 (研究調査彙報第4號) 從來の皮革の防黴劑オキシキノリン、オルソトルオル並に地質の防黴劑塩化亞鉛サルチル酸は相當效力あるも未だ充分ならざると水に對する溶解小なると加水分解により相當に無機酸を遊離し皮革地質を損傷する缺点あるを以て此等缺点なき完全なる防黴劑を得るを目的とす、種々試驗研究の結果更弗塩化石炭酸ソーダ(商品名クロホナイト)は前記缺点を除去し得て研究の目的を達成し得たるものと認む即ち本劑は防黴效力顯著にして持久性に富み且內地資源にして價格低廉なり	同	同	同
毛皮補强法の研究 糊材及裏打材料等に付き研究す	研	同	同
鮫革利用に関する研究 從來の研究を引續き主として鞣法に付き研究す	同	同	同
皮革製品の含水量と發黴に関する研究 皮革製品は製作の際多量の水分を含有せしむるを以て乾燥度と發黴関係に付研究す	同	同	同
電鞣法に依る速鞣法 電氣透析法を應用して速鞣の目的を達せんとす	同	東京工大	淸水誠
眞空法に依る速鞣法 本法に依れば從來1ヶ月以上を要せる底革の如きも 4～10時間を以て同一の目的を達し得	同	同	同
合成タンニン劑の研究 鞣皮性を有する合成タンニン劑の縮合に関し研究す	未	同	同
皮革工業に利用する細菌酵素に関する研究 皮革工業に於て脫灰劑其の他に利用する細菌酵素の研究	研	大阪工試	藤井正雄
皮革貯藏中燒止劑バリウム及マグネシウム塩類の革質に及ぼす影響試驗 皮革製造中燒止劑として最適のものを選出し之が使用量、使用法の研究	完	朝鮮皮革	今西覺郎 小林正巳

研究項目	進度	機關	擔當者
合成タンニン酸の研究 天然タンニン酸の代用品の合成より更にタンニン酸其自體の合成の研究	研	大阪工試	秋吉三郎 小守久功
革鞣中に於けるタンニン酸の滲透速度並に膨脹に関する研究 タンニン劑の配合鞣方法及鞣期間に関する研究	同	朝鮮皮革	安達藤一郎 荒木桂一郎
革鞣に於けるPH價の革質に及ぼす影響試驗 PH價の測定により鞣狀態を常に最適の狀態に置かんとする研究	未	同	竹口鐵之助 小林正巳
山羊皮毛の利用法(工業化學雜誌) 山羊絨皮毛を絨毛と皮とに分ち別々に利用方法を講ぜんとす脱毛劑に依る毛の損傷をなるべく少くし絨毛は滿洲及内地の需要者に送り批判を仰ぎたる結果滿蒙の標準物に比し强力稍劣れども充分利用し得ること判明せり皮も亦種々製革して利用し得ることを確めたり	完	滿鐵中試	小澤清三 大森薰
滿洲產樹皮をタンニン劑としての利用研究 全需要量の90%以上を年々輸入に俟つ内地及滿洲のタンニン劑自給の爲豐富なる滿洲材の樹皮を利用せんとす	研	同	小澤清三
兎毛皮の酸性及塩基性染料による染色の研究 兎毛皮のクロリネーション染料染着增加試驗兩種染料の最適品の選出	完	米澤高工	堀内義松
兎毛皮の油鞣法に関する方法(一部完了) 兎毛皮を鱈、鯨、海豹等の海產動物油を以て處理し柔軟にして耐水性を有する實用的毛皮を鞣製し(完了)尚ほ兎毛皮を植物性油類を以て鞣製せんとする研究	研	同	大島德四郎
毛皮鞣及染色試驗 岩手縣產兎毛皮羊毛皮の利用を目的として其の鞣及染色を試驗す	同	岩手工試	塙公宜
兎毛の藥品處理に付て 兎毛に硝酸水銀を用ひて縮絨力を增さしむ	同	帝國製帽	松室二郎
魚皮の鞣革方法に付て 陸產動物皮に比し組織と油脂含有量異れる魚皮の特殊鞣革方法の研究	同	農林水講	深山義道 小坂部勇
革靴の研究	同	大阪奬勵館	福永幾輔
牛腸利用テニスガット製造法の研究 牛腸を化學處理して庭球用ガット及バイオリン糸と爲す	完	廣島工試	林良利
緬羊及兎皮の鞣製に関する試驗研究(昭9以降同場事業報告) 主としてクロム鞣法に付研究せんとす	研	福島川俣工試	栗村市郎 吉田修

13 ゴ　ム

研究項目	進度	機關	擔當者
原料ラテックスの性狀を簡單且迅速に判定する方法の研究 ラテックスの水素イオン濃度、粘度、比重含有蛋白質量(窒素量)混入不純物の種類及量添加劑の種類及量新鮮度、凝固性等の簡易迅速正確測定法を考究中	研	明治製糖(鹽濱)	間宮保三 小川弘
ラテックス中に硫黄其の他の配合劑を均一に分布せしむる方法の研究 殆んど總ての無機配合劑はラテックスより遙かに大なる比重を有する爲之をラテックス中に配合する時は直ちに沈降し均一に分布されざる故ラテックスに對する沈降防止劑の探求並に其の沈降防止效果に関し研究中なり	同	同	同
ラテックスのクリーミング劑としてのアルギン酸塩に付て 從來外國に於てラテックスのクリーミング劑として多量に使用せらるるアルギン酸は海草中に多量に含まれ我が國に於ては廉價に得らるゝを以て之を海草より抽出し其のクリーミング效果を研究中	同	同	同
ラテックスの硫化法に関する研究 從來使用せる硫化促進劑は不安定にして高價なる上硫化法不完全にして强度及耐老化性良好なる硫化ゴムを得る能はず故に適當なる硫化促進劑適當なる硫化條件の選擇により諸性質良好なる硫化ラテックスを製せんとす	同	同	芦澤忠治 三宅敏夫
ラテックスの粘度を高むる方法に関する研究 ゴム引布製造方法中塗擴に於ては粘度高く流動性小なるラテックスを要す然るにラテックスの粘度は水の粘度に近く其の濃度60%附近とするも尙頗る流動性なく故にラテックスに添加して其の粘度を高め而も製造に惡影響を及ぼさざるのみならず時としては却て望しき性質を與ふべき物質を探求中なり	同	同	芦澤忠治
ラテックス濃縮方法に付て	同	廣島高工	井口豐八郎
ラテックスに関する研究 ラテックスより一般ゴム製品製造に關する研究	同	ダンロップ	遠藤英麿
ラテックスの直接利用研究	未	日立製作(助川)	山野井勝一郎
ラテックスゴムのジュール效果 ラテックス凝固ゴムの補强機構を考察する爲其のジュール效果を實驗	同	東京工大	田中芳雄 神原周
ラテックスによる製罐用充塡料の研究	完	廣島高工	井口豐八郎
ラテックス罐詰用パッキングに使用する研究	研	東京工試	柿元義秀
ラテックスよりゴム糸の紡糸に関する研究 ラテックスを原料とし人絹紡糸法に類似する工程によりゴム糸を作る方法を研究し125番手の細糸を容易に製造する研究	完	大阪工試	大和達實

研究項目	進度	機關	擔當者
ラテックスゴム糸製造裝置	完	廣島高工	井口驃八郎
ゴム糸の製造に関する研究 ラテックスを原料とし種々の配合劑を加へ貯藏タンク内より一定壓力にて糸吹出口より凝固液中へ吹出さしめ糸ゴムを連續的に巻取ることにより半工業的にゴム糸を試製せんとす	研	明治製糖(護謨)	芦澤忠治 平林馨
ラテックス製品に付て	同	内外護謨	竹内惣七
ゴム乳液の感熱化に付て ゴム乳液を感熱化しゴム製品の製造に利用す	同	九大工	君島武男
ゴムの加熱放冷に依る伸縮現象に付て(工業化學雜誌第37編) ゴムのジュール效果に関する研究の一部にして各種製造條件を異にせるゴム試料に付實驗考案す	完	東京工大	田中芳雄 神原周 外一名
ゴムの膨潤に付て(工業化學雜誌第38編) ゴムの膨潤機構と耐油性とに付實驗研究す	同	同	同
ゴムの膨潤機構 ゴムの膨潤熱に付實驗す	研	同	神原周
ゴム及ゴム誘導体の極性的研究 天然ゴム、合成ゴム、ゴム誘導体等の極性的研究を行ひ其の構造の特性等を考察せんとす	同	同	同
ゴムに関する基礎的研究	同	理研	草間時蕃 北原武郎
ゴム類の体積彈性係數の研究	同	同	辻二郎 大島秀男
石綿のゴムの性狀に及ぼす影響の研究 滿洲產石綿をゴムの充塡劑として使用し之が製品に及ぼす影響を研究しカタルポと同一程度に使用する研究	完	大阪工試	加藤義信
ゴムの高壓熱分解に付て(工業化學雜誌) ゴム高壓分解生成物の利用	研	九大工	加藤常太郎
天然ゴムの精製に関する研究(一部完了)(日本ゴム協會誌8卷4號) 天然ゴム中の蛋白質並に水溶性物質の工業的除去	同	古河電氣	佐竹省三 北山博
ゴム吸水性に関する研究(一部完了)(日本ゴム協會誌8卷1號) 天然ゴムの吸水機構並に吸水速度に付て研究し更に配合ゴムの吸水機構に付て實驗中	同	同	佐竹省三
銅の存在に依るゴムの劣化に関する研究(一部完了) 硫化反應中に於ける配合硫黄の金屬銅に對する腐蝕行爲を實驗し且其の腐蝕生成物の化學的組成を明にし銅の存在によるゴムの劣化の本体を究明しつゝあり	同	同	同

研究項目	進度	機關	擔當者
低温に於ける軟質ゴムのヒステリシス及伸縮繰返試驗 低温に於て使用せらるゝ航空機用彈性ゴムの改良に資せんとす	研	航研	朝比奈貞一
ゴム材料の加壓に依る發熱現象に付て	同	東京イー・シー	齋藤正平 加藤仲司
原料ゴムの分解したる生成物の研究	同	同	齋藤正平 一法師乾貞 鈴木重宜
ゴム成分の研究	同	日立製作(助川)	倉田主稅 山野井勝一郎
生ゴムのアセトン抽出の研究(昭10.6,7工業化學雜誌) 生ゴムのアセトン抽出物の酸價鹼化價抽出形式に付て	完	ダンロップ	遠藤英麿
ゴム硫化促進劑に関する研究 主としてチアゾール及チューラム系統の化合物及之より誘導さるゝゴム硫化促進劑の研究にして工業化されつゝあり	同	大阪市工研	渡邊卓郎 山内英夫
ゴム硫化促進劑の研究	研	日本染料	研究所員
ゴム用加硫促進劑及老化防止劑の分析に関する研究 市販促進劑及防止劑の定性定量分析方法に付て	同	ダンロップ	遠藤英麿
硫化條件下に於ける諸種促進劑の分解度の測定 水溶性硫化促進劑としてラテックスに用ひらるゝペンチメタレンヂチオカルバミン酸ピペリヂン、ピペコリールヂチオカルバミン酸ソーダ其の他の促進劑がラテックスに配合放置中に或は硫化中に如何なる程度の分解を受くるかを檢し該促進劑がラテックス用として適當なるや否やを檢せんとす	同	明治製糖(護謨)	芦澤忠治 堀江順策
熱空氣硫化法に関する研究 從來使用の硫化促進劑としてペンタメチレンヂチオカルバミン酸ピペリヂンを專用せるも之れ以外の促進劑の使用又は促進劑類の併用により硫化時間の短縮硫化ゴムのモシヅュラスの增大、硫化ゴムの硬度の增大、促進劑費の節約を計らんとす	未	同	芦澤忠治 平林馨
熱湯硫化法に関する研究 熱湯中にて硫化を行ふ時は硫化中空氣中の酸素の影響を受けざるが故に一般に耐老化性良好なる硫化ゴムを得らる、且極薄物の硫化に於ては離型に際し再び適度の湯度を與ふるの必要あるが故に斯るものゝ硫化法として本法は甚だ適當と思はるゝ故に適當なる硫化促進劑の選擇によりて薄物の硫化に適當なる條件を見出すべく研究を行はんとす	同	同	芦澤忠治 三宅敏夫
ゴム製品の老化に對する强酸の影響に付て 各種製法を異にするゴム製品に付き其の老化に對する强酸の影響を比較試驗す	完	湯淺蓄電池	吉田茂 山崎博信
ゴム老化防止法研究	研	桐生高工	島田慶一
ゴム製品の老化に関する研究	同	鐵道研	永井知二
無硫黄ゴムの研究 硫黄を加へずに各種藥品によりゴムを加硫する研究と之が絶緣電線への應用	完	大日電線	

研究項目	進度	機關	擔當者
硫化ゴム老化試驗	研	日立製作(助川)	後藤重太郎
無硫黄ゴムの研究	同	住友電線	大北忠男
粉末ゴムの製造と其の利用に関する研究	同	遞信電試	倉橋紀元
塩化ゴム型造の研究	同	同	矢内信太郎
塩化錫生ゴム重合体の型造研究	同	同	同
塩化ゴム及水塩化ゴムの研究 ゴム原料に塩素及塩酸ガスを結合せしめたる化合物の製造	完	ブリヂストン	松原俊造
環化ゴムの應用に関する研究(一部完了) 絶縁体の防蝕材料及接續材料として環化ゴムの利用に関する研究	研	古河電氣	河西淳一郎
軍用ゴム材料の研究 耐寒性ゴムの探究並にゴム製品の老化防止並に耐久保存格納法の研究	同	陸軍科研	國澤新太郎
超耐寒性ゴムの製造	同	内外護謨	竹内惣七
ゴムの耐熱性に付て	同	東京イー・シー	齋藤正平
耐油性ゴムに関する研究 多硫化エチレンの耐油性なるを利用しゴム製品に耐油性を附與せんとする研究	同	大阪工試	片山徹吉
ゴムの耐油性に関する研究 耐油性ゴムを得る理論的基礎及製造方法の両方面より研究す	同	東京工大	田中芳雄 神原周
超耐油性ゴム管の研究	同	内外護謨	竹内惣七
ゴム製品に對する防虫劑の影響(研究調査彙報第6號) ゴム製品はパラヂクロルベンゾールに接觸し暫く保存せらるゝ時は之を多量に吸着するの性質あり而して之が吸着により他のゴム劑の場合と同樣の影響を受け著しく變質敗化するを認むゴム製品の品質不良(殊に加硫不足)なるとき特に然り	完	被服本廠	近末實義 木村要
ゴム製品の構造學的研究 力學的立場よりゴム製品の構造を研究せんとす	未	ダンロップ	吉田丈二
化學材料としてのゴムに付て ゴム配合又は處理方法により耐油、耐熱及化學藥品等に對する抵抗に付て研究せんとす	同	德島高工	西内克秀
微孔性ゴムに付て	完	東京イ・ーシー	齋藤正平 鈴木重宜
微孔性ゴムの研究 ガス及液体の濾過に適當する板狀体の製作	研	三田土ゴム	田崎友吉 後閑繁司

研究項目	進度	機關	擔當者
微多孔性ゴム製造法に関する研究 硫化劑、硫化促進劑、促進助劑を配合せるラテックスを輕度に凝固せしめ、之を水分の蒸發を防ぎつゝ硫化する時は微孔を有する多孔性ゴムを得らる、此の微多孔性ゴムはラテックス獨特の製品にして蓄電池の隔膜濾過材等として用途廣きものなれば其の製造條件に関し研究中	研	明治製糖(護謨)	間宮保三 小川弘
硬質ゴム材質の研究 高壓磁石發電機用硬質ゴム材質の研究	完	國產電機	瀧本賢夫
硬質ゴム加硫反應の研究 エボナイト生成迄の化學反應の研究	研	大日電線	
耐熱性特殊硬質ゴム材の研究 高壓磁石發電機用耐熱性電氣材料の資料にせんとす	未	國產電機	村上末雄
活性テレビン油を溶劑とする軟質硫化ゴム中鑛物質の新定量法の研究(日本護謨協會誌第8卷第1號)	完	遞信電試	江部兎走
ゴム保軟劑の研究	研	日本染料	研究所員
耐油ゴム線の研究	同	住友電線	大北忠男
耐熱ゴム線の研究	同	同	同 倉田主税
耐寒絶縁ゴム線の研究	未	日立製作(助川)	船越正一 山野井勝一郎
發動機發火用ゴム線の絶縁耐力の研究 (昭10.3 古河電工電線) 各種のゴム線に付て研究せり	完	古河電氣	増澤貞純
發動機發火用ゴム線の耐コロナ性の研究 ゴムのオゾンによる侵害防止を研究せり	研	同	同
特殊耐コロナ性高壓ゴム線に関する研究 通常のゴム絶縁の他に合成ゴム類の應用に付て研究す	同	同	林精一郎 外五名
ゴム板の絶縁耐力の研究 種々のゴム板の絶縁耐力を研究比較せり	完	同	増澤貞純
ゴム被覆電線のゴム混和物の老化研究	研	遞信電試	浦部寅之助 石野了三 外二名
合成ゴム應用の研究 各種合成ゴムの電線への應用研究	完	大日電線	
合成ゴムの研究 工業的合成ゴムの製造研究	研	大阪工試	篠崎英之助 角谷清明 外二名
合成ゴムの研究 イソプレン型の炭化水素より化學的に合成する方法を研究す	同	三田土ゴム	田崎友吉 後閑繁司

研究項目	進度	機關	擔當者
耐油性合成ゴムの研究 重合多硫化オレフィンの製造研究並に之に依る耐油性合成ゴムの研究	研	古河電氣	林善季 石川清
再生ゴムの研究(同所彙報第13輯第6號,第8號)	完	理研	横山達一 草間時蕃
再生ゴムの研究 アルカリ處理法	同	内外護謨	竹内惣七
再生ゴムに関する研究	研	東京工試	柿元義秀
耐酸性ゴム製品の研究	同	日本染料	研究所員
ゴム引布の製造に関する研究 ラテックスを原料とし種々の配合劑を加へモスリン、キャラコ等を用ひ塗擴法又は浸漬法及塗擴法と浸漬法との併用により半工業的に片面引又は両面引のゴム引布を試驗せんとす	同	明治製糖(護謨)	芦澤忠治 江堀順策 宅敏夫 三
醫療用ゴム製品の研究 輸入に仰ぎつゝある醫療用カテーテルの製造研究	同	大阪工試	加藤義信
ゴム軸受の研究 軸受面の形狀及品質を吟味して耐久力を増大せしむ	同	三田土ゴム	須代鷹治
耐熱性タイヤ及チューブの研究 ゴム配合の工夫によりて熱地に於て變質少き樣になせるものを研究す	完	ブリヂストン	松平信孝
自動車用タイヤ及チューブ各種工業用ゴムベルト、ゴムホース、ゴムパッキング、ゴムライニングの研究(一部完了)	研	横濱護謨	小室泰治 武村謙
自動車タイヤの研究	同	昭和化研	藤田文雄
自轉車用タイヤ及チューブに付て(大阪府公報大阪府工產品實用標準規格書)	完	大阪奬勵館	矢崎周治 細井喜佐次
ライトラバー實用試驗 實艦に裝備し耐久力、耐水性、耐乾性、耐熱性、耐藥品性等に関しリノリウムと比較試驗す	未	横須賀工廠	廣幡增彌
材料に関する使用研究 ライトラバー實用試驗	同	吳工廠	前田龍男 宮川秀人
ゴム枕の研究	研	大阪奬勵館	矢崎周治
消ゴムに付て(大阪府公報大阪府工產品實用標準規格書)	完	同	同
ゴム底布靴總ゴム靴の研究(大阪府公報大阪府工產品實用標準規格書)	同	同	矢崎周治 細井喜佐次
ゴム代用物研究	研	東京イー・シー	齋藤正平
ゴム代用品の研究	未	日立製作(助川)	山野井勝一郎

14 寫眞

研究項目	進度	機關	擔當者
寫眞化學に関する研究	研	理研	石動弘
活動寫眞用ネガフィルムの研究 イーストマンフィルム及アグファフィルムに對抗するものゝ研究	同	オリエンタル寫眞	菊地東陽
天然色フィルムの研究 反轉16mm活動寫眞用のものゝ研究	同	六櫻社	西村龍介
天然色感光性フィルムの研究 フィルムの両面に乳劑を塗布し唯一回の露出を以て天然色畫像を得るものにして映畫用として適當なり	完	旭日寫眞	鈴木久 田中計
寫眞營業家に適するポートレートフィルムに付て	研	六櫻社	長岡菊三郎 古谷正次郎
エックス線醫術用フィルムの研究 イーストマンフィルム及アグファフィルムに對抗するものゝ研究	同	オリエンタル寫眞	菊地東陽
特別高感光度エックス線フィルムに付て	同	六櫻社	長岡菊三郎 中村德夫
赤外フィルムの研究	完	同	大島幹義
16mmフィルムの研究	同	オリエンタル寫眞	菊地東陽
汎色性フィルムの研究	研	六櫻社	大島幹義
寫眞用フィルムベースの研究	同	オリエンタル寫眞	菊地東陽
フィルムベースの研究 燃性不燃性フィルムベースの研究	同	六櫻社	利根忠義 杉本四郎
フィルムパックの研究	完	オリエンタル寫眞	菊地東陽
印畫紙に付て	研	六櫻社	江頭春樹 佐藤源一郎
臭素紙に付て	同	同	江頭春樹 西田謹二
天然色印畫紙の研究 簡單なる操作により天然色を有する畫像を現出する印畫紙を製造せんとす	未	旭日寫眞	堀内誠策
クロロブロマイド紙に付て	完	六櫻社	江頭春樹 西田謹二
オパール級以上のクロロブロマイドの研究	研	オリエンタル寫眞	菊地東陽
元素及化合物の寫眞乾板に對する作用の研究	同	理研	青山新一 袋井忠夫
寫眞乾板上の沿面電氣現象に付て(同所彙報第13輯第4號)	完	同	金原壽郎

研究項目	進度	機關	擔當者
寫眞用ブロム銀乳劑の生成に付て(昭9.4—6工業化學雜誌) ブロム銀乳劑の生成機構を知らんと企てたるもの特に乳劑水洗の際に起る變化に付て研究す	完	京大工	宮田道雄
寫眞用ブロム銀乳劑の製造に付て	研	同	同
寫眞用特殊乳劑の研究(同所報告) 塩化銀を應用したる寫眞用乳劑其の他の研究	完	大阪工試	同
中性法寫眞乳劑に関する研究 中性法による熟成を用ひたる寫眞乳劑製造條件研究	研	同	同
寫眞乳劑化學に関する研究	同	理研	福島信之助
微粒子感光度乳劑の研究	未	富士寫眞	藤澤信治 今村金名 外五
軍用として適當なる寫眞材料の研究	研	陸軍科研	新木壽藏
寫眞用藥品の研究	同	日本染料	研究所員
寫眞感光藥合成方法の研究 未だ國產に到らざる新感光劑の合成研究	同	大阪工試	村田和也
原料藥品の規格統一 硝酸銀；ブロムカリ、ゼラチン、エーテル、アルコール、アセトン、メタノール其の他雜藥品の購入規格	完	富士寫眞	牛山金治 中澤義行 高橋佑
寫眞用染料の研究	研	日本染料	研究所員
寫眞用ゼラチンの研究	同	オリエンタル寫眞	菊地東陽
寫眞用タルクの研究	同	同	同
ダイレクトポジの研究	完	同	同
寫眞に應用する人造レジンに付て	研	六櫻社	大島幹義 杉本四郎
整色性、汎色性、赤外用の各色素の研究 本邦にては最高級のもの既に完成したるも日進月歩の此の方面に新境を開拓せんとす	同	富士寫眞	村上永治 杉野真名 外六
增感色素に付て	同	六櫻社	打田安藏
赤外感光色素の合成(同所彙報第13輯第6號) (1)クリプトシアニン(O.A)1及同型色素の一般的製法 (2)クリプトシアニン(O.A) 1型色素の合成(3)3—メチンシアニン合成のメチンヂアニール法(4)2.4—ヂメチルキノリン及其の誘導体からのトリメチンシアニン (5)ポリメチンシアニンの合成(ピリ、チオ、チアゾロ、オキソ及イミド、シアニン)	完	理研	尾形輝太郎
赤外感光色素の合成(同所彙報第13輯第6號) ポリメチンシアニンの合成(チアゾリノシアニン)	同	同	尾形輝太郎 木村恒行

研究項目	進度	機關	擔當者
赤外感光色素の合成(同所彙報第13輯第6號) ポリメチンシアニンの合成(ペンタメチンシアニン、ヘプタメチンシアニン)	完	理研	尾形輝太郎 鹽崎遠
赤外感光色素の合成(同所彙報第13輯第6號) 3—メチン—フエナンスロシアニンに関する研究	同	同	尾形輝太郎 川崎京市 增田政忠
赤外感光色素の合成(同所彙報第13輯第6號) 四塩化炭素を縮合劑とする 3—メチンチノシアニンの合成	同	同	尾形輝太郎 田村國三郎
赤外感光色素の合成(同所彙報第13輯第6號) (1) ベンゾトリクロライドを縮合劑とする 3—メチンチノシアニンの合成(2)3—メチンアクリヂンシアニンの合成(3)3—メチンシアニン合成の Chloralhydrat 法	同	同	尾形輝太郎 鈴木太藏
赤外線感光色素の合成	研	同	尾形輝太郎 松隈トキヨ
感光色素の研究(同所彙報第13輯第6號) (1) トリメチンシアニンの互變異性 (2) トリメチン不整シアニン(3) チオインヂゴ屬色素	完	同	尾形輝太郎
感光性色素の寫眞化學的研究	研	同	櫻井季雄 吉村節子
赤外線寫眞に関する研究	同	同	櫻井季雄
天然色幻燈板の製作に付て 自然科學又は美學等の教材製作を目的とす	同	東京高工醫	鎌田彌壽治
製品の檢査規格統一 乾板、印畫紙、フィルム製品の商品と其の規格統一	完	富士寫眞	日比野正夫 田尻治 外二名

15 其　の　他

水產化學に関する研究	研	理研	林喬
接觸反應の研究	同	同	澤川庫浩 徐六鐵
高温度に於ける化學反應に付て	同	同	飯高一郎 鹽田隆藏
炭酸ガス工業に付て	同	同	大河内正敏 眞田玄次郎
或觸媒の作用に付て	同	同	飯島俊一郎
各種觸媒研究 無機物有機化合物の塩化並に還元に使用する觸媒の探索及此等觸媒に依る化學變化の研究	同	三井鑛山(目黒)	伊川浩藏 竹内乙彦 外四名

研究項目	進度	機關	擔當者
海水の利用に関する研究 (1)一般組成に付て(2)貴金属の採取に付て (3)マグネシウムの採取及利用に付て(4)カリ塩及芒硝の採取に付て	研	專賣中研	鈴木寛 吉村甚吉
ガスの研究 分解ガスの利用研究及石炭坑内爆發に関する發生ガスの研究	同	滿鐵撫順炭研	
ガス温度測定法（工業化學雜誌第 39 編）	完	東京工大	内田俊一 矢木榮 外三名
高温度コークスガスの電氣的タール除去に付て 上掲事項實驗に當り故障並に化學變化等を試驗せんが爲にす	研	日鐵(八幡)	上本保
消化器循環餘剩ガス利用法 ガス中 Co ガスの危險を除去すると同時に之が利用法を研究す	同	同	黒井千代吉
Cupro-Sulfat-β-Naphtol. 一酸化炭素ガスの吸收性並に其の確度の研究(同所研究報告) 現在一酸化炭素ガスの確實なる吸收測定液なき爲標記の試藥を試製し其の吸收性並に從來用ひ來りし各種の試藥との確度比較試驗を行ふ	同	大阪能研	藤原利市 池側實
耐酸耐油コンパウンドの研究 鉛蓄電池に於ては充電中酸飛沫防止の目的を以て電解液面に油層を設くるを便利とすること多し仍て此の種蓄電池の使用に適する封口用耐酸耐油コンパウンドに付て研究す	同	湯淺蓄電池	吉田茂 山崎博信
耐溶劑性可塑物質の製造方法 (1) セレンと硫黄との適量を溶解せるアルコールアルカリ液にオレフイン系炭化水素のハロゲン化物を作用せしめて可塑物質を製造する方法 (2)グリセリンの二ハロゲン置換体を溶媒存在に於てアルカリ又はアルカリ土金属の硫化物或はセレン化物等と作用せしめて可塑物質を製造す	完	藤倉電線	鑿田豐嵐 福生田治一 福永憲治
柔軟增量劑の研究 輸出織物を始め各種繊維加工品に有機及無機物を以て增量を行ふと共に柔軟風味を附與し防黴作用を與ふ	同	第一工業製藥	芝時孝雄 廣瀨正雄
柔軟防腐劑の研究 繊維工業用糊類に防腐性と柔軟性とを附與する藥劑を考案し工業化す	同	同	芝時孝一 靈井好
防水劑の研究 防縮防水劑を研究して縮織物の品質改良に資す	同	同	芝時孝三 玉木重
防水劑の研究 耐寒性防水劑の製造並に其の加工方法を求めんとす	研	同	同
人絹艶消劑の研究 可溶性にして施行容易艶消と風味を兼ねしむる藥劑の製造法完成す	完	同	芝時孝

研究項目	進度	機關	擔當者
絹鳴柔軟劑の研究 高級アルコールを主体として繊維質に本絹樣絹鳴と柔軟風味を與ふ	完	第一工業製藥	曾我二郎
繊維質物仕上劑の研究 ステープルフアイバー其の他繊維質物の吸濕性を改善し强度を高め柔軟風味を與ふる研究を遂げ略目的を達せり	同	同	芝時孝
セロファン仕上劑の研究 現在グリセリンを唯一の仕上劑として使用す之に代るべき仕上劑の研究	研	同	吉田初太郎
新洗滌劑の研究 高級アルコールを主体とする耐硬水、耐酸、耐アルカリの洗滌劑の研究並に工業的實施完成す	完	同	芝時孝雄 廣瀨正雄
サポニンの研究 乳化洗滌滲透等の應用	研	同	芝時孝雄 竹田幸
蛋論解舒液の研究 解舒助劑を求めんとす	同	同	吉田初太郎
浸透劑の製造研究 織物の加工に使用せらるゝ浸透劑の製造研究	同	大阪工試	都甲卯作
洗滌劑浸透劑の研究(昭 9. 10工業化學雜誌) 高級アルコールの硫酸塩が洗滌劑、浸透劑としての性質に関する研究	完	大阪酸水素	横山茂
大豆蛋白の研究 繊維質物加工に於ける糊劑、硬化劑、一般防水劑等に應用す	研	第一工業製藥	廣瀨正雄
精製脱油大豆蛋白の製造研究	同	東京工試	增野實 西村俊介
大豆蛋白の應用に関する研究	同	同	增野實 飯沼亨
大豆蛋白利用に関する研究 大豆粕よりカゼイン代用品の製造並に其の利用の研究を目的とし大豆粕をアルカリにて抽出し酸に依りて凝固せしめ大豆蛋白を製し其の抽出濾別乾燥等製造上の條件を明にすると共に膠着劑としての性質を明にす	同	滿鐵中試	石田義豐 後藤良輔
カゼイン糊の防腐に関する研究 カゼイン糊の長期貯藏方法に付實驗す	同	大阪市工研	山崎金五郎 大亦秀助
カゼイン角質物の研究 從來の方法と異る新硬化法の研究	同	同	庄野唯衛 永田至知郎
接合劑の研究 耐水接合劑を得んが爲カゼインを原料として研究す	完	福山工試	重松米一郎

研究項目	進度	機關	擔當者
接合劑の研究 耐水接合劑を得んが爲カゼインを原料として研究す	研	福山工試	土岡憲二
既成及調合カゼイン接合劑の實用上の比較に付て（愛知研究報告第223號） 調合カゼイン接合劑の貯藏性相當良きことを實驗す	完	愛知時計	荒木鶴雄 髙垣光三
電解透析法に依るカゼイン及乳糖の精製に関する研究（中間工業）	研	東京工試	加藤二郎
海藻の利用研究（同所報告） 糊用紅藻類及綠藻類の一般的性狀及化學構造の研究	完	大阪工試	柳川鐵之助
濕度の影響を受けざる人絹糊料に関する研究 人絹經糊の濕度に對する影響を防止し製織を容易ならしむる爲特殊化學的操作の研究	同	三重工試	熊田健一 萩原鶴雄
輸出向事務用糊の製造研究 デキストリンを主成分とする糊料の製造に付研究す	同	大阪市工研	山崎金五郎 大亦秀助
デキストリンに関する研究 輸出向事務用糊の製造に適するデキストリンの製造研究	研	同	同
デキストリンの研究 (1) デキストリンの臭味に付て (2) 無味無臭デキストリンの製造に付て	同	内閣印刷研	八木節男
木材用接合劑の强度比較試驗 各種市販接合劑の强度測定により施工と適當なる手法を見出さんとす	同	商工工指	寺坂毅
接着劑の研究 蛋白に尿素又は其の誘導体を添加して極めて强力なる接着劑を合成し其の接着力を木材に付試驗す、其の用途は航空機用又はベニヤ板等廣汎に亘るものなり	完	東京工大	清水誠
グアニヂン及其の誘導体の新規製造及應用の研究並に其の代用物の學術的研究（電氣化學誌第2卷同學々報第3卷） 主として肥料、火藥、ゴム和硫促進劑としての研究	研	同	加藤與五郎 杉野喜一郎 小泉勝永 愛谷美彦
貨物車屋根及羽目間隙補修用防水劑の研究	同	鐵道研	常山源太郎 中村素
銅合金脫酸劑の研究 銅合金超脫酸劑の製造並に之を各種の銅合金に付應用の研究	完	芝浦製作所	村上透一 澤井寛
進水用助滑劑の性質調査 進水用助滑劑の配合割合と溫度との變化が硬度に及ぼす影響	研	三菱重工業（長崎）	松本喜四雄
竹材腐蝕防止に付て 竹材を藥品にて腐蝕防止するの試驗	完	福岡福島工試	石橋角藏

研究項目	進度	機關	擔當者
炭素結着劑の研究 ピッチ、タール等の結着劑として用ひらるゝ其の性能を物理化學的方面より研究せんとす	研	日本カーボン	外村德三 中山辰雄
黑鉛減摩劑の研究 黑鉛微粉を基としたる各種減摩劑を製造し其の性質を研究せんとす	同	同	外村德三 渡邊安三
吸着洗滌法の研究	同	日石（新潟）	中村安太郎 佐藤幸作
製紙用毛布の洗滌劑の研究	未	三菱製紙	井上末吉 藤田董
清澄脫色液の研究（昭9. 業務功程報告） 錫タンネートのアルカリ液の研究	完	山口工試	時岡隆太郎
特殊吸收劑の研究 青酸に依る燻蒸殺虫作業時の防護材料としての吸收劑の性狀並に製法の研究	同	陸軍科研	品川忠勝
發煙劑の研究 芳香族水化物を塩素化して過塩化物となし之に亜鉛其の他の金屬又は酸化物及酸化劑等を配合して發煙劑となす 本發煙劑は点火劑を以て点火するときは灰白若は灰黑色の煙を著しく發するものなり	同	同	秋野武
夜光劑の製造及應用法研究	研	同	入江爲常
各種防虫劑利用及防喰劑の研究 (1) 安價にして防虫效力大なる藥劑を含有し其の使用法を決定せんとす (2) 殺虫劑サイローム使用量及使用法の決定 (3) アルカロイドにして防喰劑として使用可能と認めらるもの四種に付之が合成の研究	同	被服本廠	近末實 木村義要
新種藥劑十二種の應用試驗（昭9. 同場業務功程）	完	米澤工試	富田信雄
新防腐劑パラオキシ安息香酸並に其のエステルの合成に付て（同所報告119號） パラオキシ安息香酸エステルは獨逸よりの輸入品にて高價なる爲工業用に適せず故に安價に合成すべく研究せり尙同ブチルエステルは著者の創製にして效力最も强し	同	大藏醸試	黑野勘六 肥田一夫
淨水劑の研究 硬水軟化劑の製造研究	同	大阪市工研	中西健治
珪藻土濾過劑の製造試驗	研	北海工試	林嘉吉 杉本清道
新洗滌劑の製造 酸アミド型、アミン型、スルホン酸型の耐酸耐硬水性の新洗滌劑を製造せんとす	未	大阪市工研	山崎利一郎 野呂廣雄 有坂熊次
市販糊拔劑に付て（醸造學雜誌第13卷第5號）	完	同	福本壽一郎 浦島惠正
糊拔劑の製造研究 糊拔用ヂアスターゼの强力なるものを製造し輸入品を防遏せんとす	研	同	同

研究項目	進度	機關	擔當者
塗裝面艶出蠟劑の製造研究 特にニトロセルロース塗料の塗裝面の艶出に適當なる蠟劑に付研究す	完	大阪市工研	齋藤和雄
凍結点下降劑を含有する消火器用裝塡物に関する研究 凍結点下降劑を含有する在來の消火劑は消火器を相當に腐蝕するを以て此の如き缺点なく而も消火能力優れたる消火劑の研究	研	遞信船試	永島三郎 鹽澤正一
電蝕檢出液の研究 電纜其の他埋設金属体の電蝕判定に特殊呈色液を使用せんとす	同	遞信電試	堀岡正家 京極高男
清罐劑に関する研究 汽罐清罐劑として甘藷の性能を研究せんとし實際に汽罐中に甘藷を投入し性能を化學的に調査す	同	岐阜工試	久保守
穀粉及澱粉のベンジル化に付て 滿洲產高粱其の他の穀粉並に澱粉の加工及利用として之がベンジル化を行ひベンジルセルロース類似品を製造せんとし穀粉並に澱粉にベンジルクロリドを作用してベンジル化の諸條件を決定し其の收量及生成物の物理化學的諸性質を決定せんとす	同	滿鐵中試	二ノ宮讓
ペプトン製造試驗 鱈肉カゼイン魚肉等よりペプトンを製造せんとす	同	北海工試	丸田一郎
黃蜀葵貯藏試驗 各種貯藏劑の得失試驗	未	德島工試	平岡勇三
無水マシン油乳劑の製造法の研究 水を混合すれば直に石油乳劑の原液を製造する方法を研究す	完	鹿兒島化研	鎌田肇
石黃の製造法の研究	未	同	同
煙草害虫驅除劑の毒性に関する研究 砒素及鉛の人体に對する毒性に付動物試驗を行ひ詳細研究中なり	研	專賣中研	田村憲造
蘭草田雜草防止劑試驗 雜草防止により手數を省き而も肥料效果あるものを作らんとす	同	岡山工試	二之宮稔
殺虫殺菌劑に関する試驗 適當なる殺虫殺菌劑を製造せんとす	未	岐阜工試	久保守
ビニールアセテートの利用に関する研究	同	大阪市工研	庄野唯衛

研究項目	進度	機關	擔當者
アルミ酸石灰の研究((第5報)大日本窯業協會雜誌) アルミ酸石灰4種のエックス線的尺度を決定す	完	東京工大	近藤清治 外一名
アルミ酸の石灰存否に付て アルミ酸に石灰の存在を否定せんとす	研	同	近藤清治 山内俊吉
ヘキサリンの酸化に関する研究(中間工業)	同	東京工試	井上春成 田村周夫
鹹水沈泥の利用に付て	同	旭硝子	松尾直治郎
バラガッタの研究	同	住友電線	大北忠男
リグニンの利用に付て	同	德島高工	上村久造
椎茸(Cortinellus Shiitake P. Henn.)の脂油に付て(同所彙報第13輯第10號)	完	理研	鷲見瑞穗
ハナヒリノキの有效成分の研究(同所彙報第13輯第10號)	同	同	宮島武三 居吉郎
ビネンの自動酸化及之に関する觸媒に付て (同所彙報第14輯第3號)	同	同	鈴木鎭二
木瓜及ポンカン果肉色素 Caricaxanthin に付て (同所彙報第13輯第7號)	同	同	山本亮 加藤明昌
朝鮮に於ける鑛泉のラドン含有量に付て(同所彙報第13輯第11號)	同	同	飯盛里安 吉村忱 畑晋
指示藥として用ひられる色素の研究(同所彙報第13輯第6號) 新比色 PH 測定器に付て	同	同	尾形輝太郎 鹽崎遠
ハイドロサルファイトに関する研究	研	同	石川總雄 室岡豐作
蟾蜍の有毒成分の化學的研究	同	同	小竹無二雄
糖類合成に関する研究	同	同	宍戸圭一
デリス根の利用法	同	同	中澤清
ハロゲンヒドリンに関する研究	同	同	端宏郎
テルペン類の還元に付て	同	同	鈴木鎭二
コロイド反應に付て	同	同	桂井富之助
炭水化物の分解還元に関する研究	同	同	丹野恒治 原毅
オレフィン塩化物による合成に関する研究	同	同	龜澤精一郎
貝類の脂肪物質に付て(昭9.工業化學雜誌第37編第38編) (1)斧足類に屬するカキ、オホノガヒ及エゾヒバリ、腹足類に屬するアカニシ及ウシノツメの脂肪物質就中ステロールに付實驗せるに何れも蠡に他の貝類より發見せると同一物と考へらるゝ特殊ステロールを含有する事を確定し之をコンカステロール(Conchasterol)と命名せり、此の物及他のステロール類の呈色反應に付記載す (2)クマノコガヒ及南洋產大貝シャコの脂肪物質に付研究す、シャコはコンカステロールと異る新ステロールを含有す之をシャコステロール (Shakosterol) と命名せり	完	東京工試	辻本滿丸 小柳半二

研究項目	進度	機關	擔當者
脂肪及リポイドに関する研究	研	理研	鈴木文助 井上吉之 樺島祝一
ヂフェニレンオキサイド誘導体の研究 表題化合物の化學構造並に應用方面の試驗	同	米澤高工	山城誠止
タキシンの化學的構造研究 分解合成両方面よりタキシンの構造を檢明せんとす	同	同	高橋酉蔵
ピキシン及其の誘導体の異性体に付て カイロチノイド色素の一なるピキシン $C_{25}H_{30}O_4$ 及其の誘導体に塩化水素又はベンゾバー酸を作用せしめて異性化を行ふ	同	同	同
(4アミノフェニル) ベンチルスルフィドのアセチル誘導体に付て (4アミノフェニル) ベンチルスルフィドを無水醋酸にて處理すれば二種のモノアセチル化合物を生ず因て其の生因を探究せんとす	未	同	同
スキーワックスの製造研究 外國製優秀品數種に付比較研究を行ひ性質最可良なるワックスの配合を決定するに至れり	完	東京奬勵館	中澤君敏
電解酸化法によるアルドン酸の製造 ガラクトン酸の製造を行はんとす	未	廣島高工	佐藤靜一
ゼレノフェンの合成研究	研	桐生高工	森本保雄
異種有機促進劑の併用に関する研究(日本護謨協會誌第7卷第8號) マーキヤプトベンゾチアゾールとヘキザメチレンテトラミンとの併用に付て	完	遞信電試	青江一郎 北山博
桐材竹皮及藁等の漂白試驗 ソーダ灰石鹼及ハイドロフェイトランスを煮沸し黄色素を抽出せしむ、數日間清滲なる水中に浸漬反覆し後洗濯し脱水又は乾燥す、硫酸及過酸化ソーダを含める弱アルカリ性液、硫酸マグネシア及過酸化ソーダを含める弱アルカリ性液並に過酸化水素水及珪酸ソーダを含める弱アルカリ性液中に浸漬し後水洗乾燥す	研	鶴岡工試	中澤憲之助
西瓜廢果利用に関する試驗 西瓜廢果を用ひ化粧水シロップ飴台等を製造する試驗	同	奈良工試	玉木昌雄
台灣産植物の化學成分の研究	同	理研	山本亮
珪藻土による濾過の研究	同	東京工試	梶取松若
アマルガム還元作用に付て(昭10.5 日本化學雜誌)	同	桐生高工	益田苦良
特殊水金の研究 マットバーニッシュ及青色水金の研究にして目下工業化中なり	完	大阪市工研	中土晃治 中西健

研究項目	進度	機關	擔當者
カリ塩回收を目的とする洗毛法の研究 羊毛の洗滌方法を改良し之よりカリ塩を回收せんとする研究	研	大阪工試	宇高春風
金箔の廢物中より水金の製造法	同	石川工試	小山恭太郎 福見鐵男
亞鉄酸塩の磁性に関する研究(電氣化學誌第2卷第7號、昭9.5同學々報)	同	東京工大	加藤與五郎 武井武 河合登
洗毛工程の化學的研究(工業化學雜誌) 洗毛工程のアルカリの影響を研究し洗毛に最適の水素イオンを水素電極により見出す	完	同	祖父江寛
硬質人造板の研究 電氣界面攪亂法の應用により麥稈或はバガスを原料とする硬質人造板を製造せんとす	研	京大化研	志方益三 藤井宰右
電解酸化法によるアルドン酸の製造 コンニャクを加水分解しアルドン酸を製造しつゝあり	同	廣島高工	佐藤靜一
ツンドラ人造板中間工業試驗 ツンドラより優秀なる人造板を製造する事に成功したるを以て之が中間工業試驗をなす	同	京大化研	志方益三 藤井宰右
ツンドラ其の他人造板の物理的試驗 抗張强、抗壓强、耐水性に付研究	同	同	志方益三 佐藤金次郎
樺太産ツンドラの化學的研究 ツンドラ生成母植物の化學的成分並にツンドラ自体の化學成分を明にし夫々新利途を拓かんとす	同	同	志方益三 渡邊護
炭化チタンの製造	同	大阪市工研	小林正美
金属チタンと一酸化炭素の反應に付て 炭化チタンと関聯して基礎的方面の研究をなす	未	同	同
書記用インキの研究	研	大阪奬勵館	森川敬三
オフセット墨インキ印刷汚れに関する研究	同	諸星商店	白土萬次郎
人造レジンの電氣的特性に付て	同	東京イー・シー	齋藤正平 和田岩司
炭化水素化合物の縮合による人造レジン製造及其の應用	完	戸畑鑄物化研	石田武敏
防水性人造レジン製造法	研	同	石田武敏 河田謹爾
人造レジン製品に付て	未	内外護謨	竹内惣七
人造レジンの研究	研	旭硝子	太田廣太郎 竹田悦二
ビニールレジンの合成研究 軍事用安全ガラスとして本樹脂の工業的製造並に其の性能の向上化研究	同	大阪工試	篠崎英之助 小守久功 山田正盛

研究項目	進度	機關	擔當者
有機性ガラスの研究 各種人造レジンを利用する有機性ガラスの研究	研	東京計器	相馬修平
石炭酸系人造レジン應用積層板の電氣的性質に関する研究 紙、布應用積層板の電氣絶緣性に及ぼす諸條件に付研究す	完	大阪市工研	庄野唯衛 三輪正巳
尿素ホルマリン縮合物の應用に関する研究 尿素レジン應用のコンパウンド成型品及積層品の製造方法の研究	同	同	庄野唯衛 三好譽藏 前田城一
尿素レジンの工業的製法	研	東京電氣	平岡哲男
尿素レジン應用に関する研究 尿素レジン製品に特殊處理を施して其の用途を擴張せんとす	同	神戸電機	三好譽藏
尿素レジンの研究 無色透明なるある型物の製造研究	未	芝浦製作所	山高桂
フェノールレジンの品質改善に関する研究	研	神戸電機	三好譽藏
フェノールレジンの變色に関する研究 種々なる還元劑を應用せるフェノールレジンの變色防止性に付研究す	同	大阪市工研	大島敬治
淡色フェノールレジンに関する研究 無色透明或は淡色透明フェノールレジンの製造法に付研究す	完	同	庄野唯衛 大島敬治
フェノールレジンの研究	研	東京電氣	平岡哲男
フェノールレジンに関する研究 硫酸アンモン利用新注型法の研究	同	大阪市工研	庄野唯衛 松下一男
グクブタールレジン研究 多價アルコール、多塩基酸の縮合反應に付研究す	同	古河電氣(理試)	佐久間昇 巽田輝之助
ポリスチロールレジンの工業的製法に付て	未	大阪市工研	庄野唯衛
スチロールレジンの研究	研	遞信電試	羽生龍郎
低温クレソールの利用に関する研究 石炭酸系人造レジン製造原料として滿洲產低温クレソール利用の研究	完	大阪市工研	庄野唯衛 板山巖
クレソールホルマリン縮合物に関する研究 クレソールレジン生成の機構及中間体の構造に付研究す	研	同	庄野唯衛 大島敬治
アルキッド型レジンの研究	同	遞信電試	羽生龍郎
特殊可塑物に関する研究 砂糖樹脂及セルロース應用ベークライト代用品の製造研究	同	大阪市工研	庄野唯衛 吉田經之助

研究項目	進度	機關	擔當者
ベークライト新利用法研究試驗	未	神戸工試	仁林交一
ホルマリンの利用に関する研究 高壓に耐へるベークライト板の製造法及ホルマリンと縮合して得る種々なる人造レジンの性質の研究	研	大阪市工研	庄野唯衛 曾我部佳夫
軸受用ベークライトの研究 コールドロールの能率增進の爲に研究す	同	日鐵(八幡)	中村益雄
琥珀に関する研究	同	理研	赤平武雄 有田傳藏
油溶性石炭酸アルデヒド縮合物に関する研究	同	遞信電試	羽生龍郎
フェノライト製作の研究	同	理研	辻二郎 和田讓之助
耐油性充塡用混和物の研究	同	古河電氣	松島正藏
可塑性物質の研究	同	戸畑鑄物化研	大橋喜久三 石田武敏
熱可塑性物質に関する研究 本可塑物の組成軟化劑顏料の選擇並に鑄造上必要なる各種條件の決定、成品の性能試驗等に関する基礎的研究	完	古河電氣(理試)	佐久間昇 巽田輝之助 永井與作
樹脂に関する研究	研	理研	飯盛里安 鈴木鎭二 菊池宇宙
酸性白土の觸媒作用に関する研究(同所報告第29回第4號) (1) アニリンとメチルアルコールとの混合物に對する作用 (2) オキシムに對する作用 (3)脂肪族アルコールに對する作用 (4)チクロヘキサノール及其誘導体に對する作用並に該作用に於てアルキル基の位置の影響に付て (5)酸性白土成分とシリカ及アルミナとの関係	完	東京工試	井上春成
酸性白土の觸媒作用に関する研究(同所報告第29回第4號) (1)チクロヘキシルアミン及其の誘導体に對する作用(2)酸性白土の成分と酸性白土のナフタリンに對する作用との関係	同	同	井上春成 石村幸四郎
酸性白土の觸媒作用に関する研究(同所報告第29回第4號) (1)酸性白土の觸媒作用の促進及中毒に付て(2)酸性白土の觸媒作用と吸着作用との関係	同	同	石村幸四郎
バーサイトに由來する酸性白土に付て (同所彙報第18輯第9號)	同	理研	飯盛里安 吉村悦 畑晉
酸性白土の物理化學的性質(昭9工業化學雜誌) (1) 酸性白土の偏光顯微鏡研究 (2)酸性白土の屈折率 (3)酸性白土中の結晶性珪酸アルミニウムの實驗式 (4)酸性白土の酸性原因(研究中)	同	早大理工	山本研一
活性白土に関する研究(昭9工業化學雜誌) 天然酸性白土の數倍の效力ある活性白土(吸着、脫色劑)製造に関する研究	同	同	小林久平 山本研一
酸性白土の呈色反應及之を利用する白土鑑識法 (1)各種呈色標示藥と呈色反應に関する反應機構(2)ベンジヂンに依る酸性白土の鑑識法	研	同	小林久平 石川平七

研究項目	進度	機關	擔當者
酸性白土に関する研究 酸性白土の水に於ける懸濁液の沈降速度、電氣泳動速度と水素イオン濃度との関係	研	長岡高工	柴田雄三郎
漂布土、酸性白土及粘土に関する理化學的研究の中台灣烏山頭看天田土壌の含水狀態に於ける抗張力に付て（一部完了）(同所工業部報告第125號) 漂布土、酸性白土の吸着能其の他の性狀を研究し特に漂布土の工業化に努め一方島内各種の粘土並に台灣特産のラチリチックゾイルの物理的並に化學的研究をなさんとす	同	臺灣中研(工業)	服部武彦 山崎稔昌 末廣憲昌
酸性白土の試驗 朝鮮産酸性白土の石油、油の精製及脱色材として内地産との性能比較試驗	未	朝鮮中試	山田義雄
滿洲産白土の利用研究 滿洲産ベントナイトの酸處理に依り日本活性白土類似の脱色能ある製品を作らんとし現資料を種々の濃度の硫酸にて種々の條件の下に處理して其の石油類脱色能を比較す	研	滿鐵中試	田中泰夫
木材の耐火處理に関する研究の中、(1)木材の發火点測定裝置(2)新耐火劑の製造(工業化學雜誌第38卷第4號) 木材に各種薬品の處理に依り木材の燃燒性を失はしむる目的を以て新耐火劑を注入或は塗布す	完	東京工大建材研	内田壯 相三衛
木材耐火處理に関する研究の中 (3)各種耐火劑注入に依る發火現象 (4)耐火劑を注入せる木材の分解ガス分 (5)新耐火劑の半工業的試驗	研	同	同
木材の不燃化に関する研究 木材に豫備處理を施し之を各般の環境下に加熱し發生するガスの量及成分を明かにし且發火の現象を分析研究す	同	東京工大	田丸節郎 永廻和登 落合見男 鹽見賢吾 外十名
木材の防火性に付て	完	東京イー・シー	齋藤正平 一法師乾貞
耐火木材の研究 燃燒條件と生成する燃燒ガスの成分及殘留する灰分の量と其の負擔力を試驗し耐火に必要なる條件及有效なる耐火劑を探求せんとす	研	鐵道研	田村隆
木材吸濕防止試驗 木製品の樣地にパラフィンを溶きて吸收せしめる等により可及的に吸濕を防止せんとす	同	鳥取奬勵館	津久井憲治
木竹の防黴防腐に関する研究 殺菌乾燥薬品に依る方法	同	山口工試	時岡隆太郎
木材硬化に関する研究 木材の硬度を高め利用價値を高めんとす	同	京大化研	志方益三 右藤井宰
耐火木材に関する研究	同	東京工試	山崎潤三

研究項目	進度	機關	擔當者
ポマードの研究 鑛物ポマードの改良	完	中山化研	石本謙三
プラタームの研究 皮膚塗付薬の新製	同	同	佐藤久藏
化粧用クリームの研究	研	同	北原良一
頭髪香水の研究	同	同	石本謙三
白粉の研究	同	同	上野周
口紅の研究	同	同	佐藤久藏
無害染毛劑の研究	同	同	大倉大助
染毛劑の研究 衛生上可及的無害にして而も容易に堅牢なる黒色に染色し得る染毛劑の研究	同	大阪市工研	渡邊卓郎 山内英夫
化粧用澱粉の製造研究 米より化粧用澱粉の製造方法に付實驗す	完	同	山崎金五郎 三宅邦彦
歯磨の研究	研	中山化研	上野周
謄寫版用印刷用紙に付て	完	堀井化學	
謄寫印版紙の製造法に付て(一部完了) 優良にして均等なる製品を得るに至れり	研	同	
タイプライタ用印版紙の製造法(一部完了) 耐久性のものを廉價に得るに至れり	同	同	
鉄筆謄寫印版紙用塗劑の研究(一部完了) 强靱にして耐久性となすを得たり	同	同	
複寫紙(ペンシル用及タイプライタ用)の研究 耐久力に富み複寫數大なるものを得るに至れり	完	同	
振動計用複寫紙の製造 振動計グラフに適當のものを得たり	同	同	
複寫紙の製造法(一部完了) 優良にして均等なる製品を得るに至れり	研	同	
謄寫版用インキスクリーンに付て 化學的處理により耐水耐油性となすを得たり	完	同	
謄寫版原紙の製造に関する研究 ゼラチン及油脂を主原料とする謄寫用乾式型紙の製造方法の研究	同	大阪工試	藤井正雄

研究項目	進度	機關	擔當者
謄寫紙製造試驗	研	高知奬勵館	瓜生義照
カーボン紙の製造方法	同	日本クロス	村中晃
複寫紙の研究(大阪府公報、大阪府工產品實用標準規格書)	完	大阪奬勵館	細井喜佐次
カーボン紙製造研究	同	大阪市工研	山崎金五郎 齋藤和雄
カーボン紙の製造試驗 加工方法に付研究し完成せり	同	岐阜紙試	石田茂
タイプライタ用複寫紙加工試驗	研	同	同
宛名紙の加工試驗 宛名紙の加工方法並に藥品の配合に付研究せる結果良好なる成績を得たり	完	同	同
濕紙防腐の研究 手漉製紙に於て入梅時等に抄造せる濕紙腐敗を來たし斑点を生じ損紙を多く出し其の損害大なり故に之が防腐法に付研究す	研	同	坂井久之
防水加工紙製造試驗 防水劑を塗布せんとす	未	島根工試	中村和
墨流し法の研究並に美術傘紙應用試驗 墨流し法に付研究し之を美術傘紙に應用し新機軸を開かんとす	同	岐阜紙試	坂井久之
鉄筆原紙乾燥の研究 鉄筆原紙は濕紙乾燥の程度に依り加工蠟の吸收程度に大いに關係あるものなり故にこの最理想的乾燥狀態を得べく研究せんとす	同	同	同
一閑張り製造研究	同	同	石田茂
加工和紙製造試驗 各種特殊和紙を使用し加工紙の研究を行ふ	研	岡山工試	大田喜一 井上聰
印刷紙の脫墨法に付て	完	內閣印刷研	平石文雄
有價紙の用紙剝離を防止する研究	同	同	小林榮一 今井久男
ロジンサイズ及其の代用品の研究 (1)國產ロジンサイズ性に付て(完了)(2)硬化油のサイズ性と其の利用(完了)(3)適當なる硫酸アルミニウム使用量の測定(4)サイズによる紙の伸縮防止に付て(5)海藻類のコロイドの利用(6)乾燥サイズ劑の製造	研	同	中島今吉
白水回收に關する研究(一部完了) (1)白水酸度の測定(2)白水とサイズとの關係	同	同	今井久男 石川福次郎

研究項目	進度	機關	擔當者
色彩の標準化に關する研究 (1)標準色彩票の印刷により調製(2)標準色彩票のブラシ塗り法による調製	研	內閣印刷研	川原廣眞 小原忠男
ウィスナー紙試藥に依る和紙變色鑑別法の研究 蠹に和紙變色は紙中含有のリグニン量に略比例することを認めたるを以て標記試藥のリグニン存在に依る着色度が略比例するや否やに付試驗し鑑別に使用し得らるゝことを認む	完	岐阜紙試	坂井久之
ラテックスサイズ和紙應用試驗 手漉和紙にラテックスサイズし其の利用の途を講じ改良の資料となさんとす	研	同	同
除虫菊有效成分抽出試驗 農藝用並に家庭用殺虫劑を作らんとす	同	岡山工試	二之宮稔
除虫菊加工製品の比較研究 各種除虫菊加工品の成分に關する試驗	未	廣島工試	林良利
除虫菊より液体驅虫劑の浸出試驗	完	香川工試	井上正朗
除虫菊に關する研究(同所報告) 有效成分の定量分析方法の研究	同	大阪工試	長澤徹
除虫菊有效成分の抽出及利用研究	研	除虫菊工場	吉田武郎
乳化劑に關する研究 除虫菊乳劑製造に有效なる乳化劑の研究	同	北海工試	吉田武郎 鈴木與惣治
ピレトリン抽出試驗 除虫菊成分抽出法精製に關する物理化學的研究及處理法の研究	同	同	吉田武郎 伊藤光一
除虫菊貯藏試驗 乾藏及諸製品の貯藏中ピレトリン含量の變化の調査	同	同	同
純粹なるカーボランダム及アランダムに付て 特殊なる砥石に必要なる綠色カーボランダム及白色アランダムの研究	完	圓山研究所	圓山準吉
結合劑を用ひざるカーボランダム体の製造 カーボランダムの再結晶により結合劑なき炭化珪素の製造	同	同	同
電氣アーク炉によるアランダムの製造研究	研	東海電極	永井雅夫
ラサ島產アルミナ燐鑛石より研削砥料製造の研究 ラサ島產高礬土燐鑛石を電氣炉內にて處理し含有アルミナは之を研削砥料となし燐分は燐鉄及燐酸として回收す	完	ラサ工業	渡邊良吉 十川隆二
液体研磨劑の製造試驗 在來品の缺点とする沈澱固化延び不充分なること刺戟臭あること研磨後の銹戻り早きこと等に關し之を改良する製造法に付研究す	研	奈良工試	玉木昌雄

第六類

窯業

1 ガ　ラ　ス

研究項目	進度	機關	擔當者
各種光學ガラスの製造研究	研	大阪工試	高松亭 桑山武 田村嘉行
光學ガラスの燒鈍に関する研究	同	日本光學	堀井義衛
寫眞レンズ用ガラスの製造研究 テッサF45型寫眞レンズ用ガラス四種の製造研究	完	大阪工試	高松亭 桑山武 田村嘉行
眼鏡ガラス製造に関する研究 現在押型眼鏡ガラス生地は全部輸入品なるを以て此のガラス生地の製造研究	研	同	森孝 田村嘉行
眼鏡玉の研究(大阪府公報、大阪府工產品實用標準規格書)	完	大阪奬勵館	大谷正友
濾光板としての岩城色ガラスに付て(同所彙報第13輯11號)	同	理研	二神哲五郎
重フリントガラス製造研究 屈折率1.7に及ぶ高屈折のものにして分光器プリズム製作用に必要なるガラスの製造研究	同	大阪工試	高松亭 桑山武 田村嘉行
安全ガラス試驗(造船部研究實驗成績報告第103號) 驅逐艦に裝備實驗	同	横須賀工廠	廣瀬増彌 外一名
安全ガラス試驗 軍艦艦橋に裝備し試驗せんとす	研	同	同
窓ガラス中に存在せる SO_3 の研究	同	旭硝子	小山賴彦 並木孝一
窓ガラス消色試驗	同	同	上田清 谷貝英雄
各種板ガラスの强度試驗(建築雜誌)	完	同	松尾直治郎
板ガラスの歪測定法に付て	研	同	山本英雄 末利志郎
ガラスの試作研究 主に工藝用ガラスの試作研究	同	京都市工研	山本可武
耐熱ガラスに付て 組成と耐熱の関係	同	東京工大	田端耕造 森谷太郎
ガラス電極に付て 水素イオン濃度測定用ガラス電極試作	同	同	同
硼珪酸ガラスの高温度に於ける失透に付て(一部完了)(工業化學雜誌) 組成と失透速度、失透成生物	同	同	田端耕浩 森谷太郎 外一名

研究項目	進度	機關	擔當者
硼酸の量により著しき性質の變化を示す硼珪酸ガラスの物理性研究 (1) 硼珪酸ガラスの高温度に於ける比重 (2) 硼珪酸ガラスの急冷に因る比重變化	未	京大化研	澤井太郎
アルカリ石灰ガラスの溶解に付て（大日本窯業協會雜誌） 組成溶解の関係、アルミナの影響	完	東京工大	田端耕造 横山辰雄
珪酸工業に関する調査試験 (1) ガラス原料の調査試験 (2) 琺瑯鉄器製造に関する試験	未	臺灣中研(工業)	服部武彦 松井七郎
ガラス中に存在するガスのスペクトル研究	研	旭硝子	山本英雄 末利志郎
ガラスの光線及熱線通過度測定	同	同	同
强化ガラスの光彈性的研究	同	愛知時計	遠藤貞一 森琇一
ガラス及ソーダのエックス線的研究	同	旭硝子	小山頼彦 並木孝一
ガラス、煉瓦及ソーダ製造工程中結晶學的研究	同	同	吉木文平
ガラスの高温度粘性の測定	同	同	山本英雄 末利志郎
ガラスの腐蝕に関する研究 印刷用ガラス網目板の製造研究	同	大阪市工研	中西健治
ガラスの風化現象 ガラス製造中に於ける風化作用と其の防止法	同	東京工大	田端耕造 横山辰雄
稀土元素のガラス中に於ける着色作用	未	同	同
ガラスの組成と電氣傳導に付て（一部完了） 直流低電壓常温に於ける測定裝置	研	同	田端耕造 森谷太郎 外一名
ガラスの組成及表面狀態と電氣絶縁性との関係	未	京大化研	澤井太郎
ガラス熔融に於ける基礎的反應 熱天秤に依る反應の研究	研	東京工大	田端耕造 横山辰雄
ガラスの熱的歪の測定 歪試驗裝置の試作	未	同	同
ガラスの燒入に付て 組成と燒入條件の関係	研	同	同
ガラスの熱處理と表面の性質 熱處理條件とガラス表面の變化	未	同	田端耕造
强化ガラスの疲勞試驗	研	愛知時計	荒木鶴雄 森琇一
ガラスの破れ	同	日大工	藤田駿 外四名

研究項目	進度	機關	擔當者
本邦產珪石のガラス原料としての價値 化學分析	完	東京工大	田端耕造
ガラス製造用耐火材料の研究 各種のガラス調合に對し夫々適當する耐火材料を選擇決定せんとす	同	東京奬勵館	橋本四郎
ガラスの鍍銅に関する研究 魔法瓶の鍍銅に関する研究	同	大阪市工研	中西健治

2 陶　　磁　　器

研究項目	進度	機關	擔當者
陶磁器用轉寫紙の糊附貼合せ法研究 轉寫印刷用紙を糊付して貼合する方法は均一に貼り難く從來英國より輸入せしも此の完成により輸入品を用ひず本邦產の紙を使用して貼合せするに至れり	完	日本陶器	美馬淺次 吉田英秋
信樂產各種原料の調査並に其の應用試驗 各原料地の調査をなし耐火度、吸水度、燒成色合、收縮及粘力の各性狀の試驗並に其の利用方法の研究	研	滋賀窯試	秋月透三 金ヶ江德
梨ヶ原粘土、室津陶土及育波珪砂使用のテラコッタ應用試驗(昭9. 同場業務成績報告) 何れも天然產出の儘微粉碎を要せざる未利用の新原料にして新に利用法を講ずるを目的とす、一平方糎に付七十孔及九百孔篩を通過したる坯土に付燒成試驗を行ひたり、梨ヶ原粘土使用成精品は一般に商品と爲し得べきも肌合に特徴なきを以て需要多き製品とは認め難く又室津育波両原料を等分に混合したるものは色相、肌合に於て充分なる資格を有するも收縮多く歪を生じ燒成困難にして利用不可能なり	完	神戸工試	平原篤之助
陶磁器原料の精製に関する研究中、浮游選鑛法に依る精製に付て 原料中に含有する鉄分を除去し優良原料化を圖らんとす	研	商工陶試	磯松嶺造
琺瑯釉藥陶器試驗並に万古赤土利用試驗 有色素地を利用し低火度燒成に依る特殊製品を產出し尚他元素土を利用し輸出向製品の產出を圖らんとす	未	三重窯試	熊澤靖一
漂白原料實地利用試驗（昭9同場業務成績報告） 出石三等原料を塩酸にて漂白したる坯土の實地利用試驗を行ひ蓚酸法に比較せり、大体漂白素地は一等素地と同樣なる成績を得たり	完	神戸工試	渡部斐男
伊保原石英岩の調査研究(昭9業務成績) 釉藥原料に供し得るものと認む	同	沖繩工指	鈴木利平
來待錆石の應用試驗	未	島根工試	中野義雄

研究項目	進度	機關	擔當者
岡山縣產ドロマイトの釉藥への應用 本縣產ドロマイトは珪酸の含有量多く品質劣るも之が釉藥への應用を研究し蛙目珪石、長石より成る百三種の釉藥に付試驗せり	完	岡山工試	高木數太郎
喜瀬原陶土の調査研究(昭9.業務成績) 陶器田炻器原料に使用するを得	同	沖縄工指	鈴木利平
粉碎時間が來待錆石の熔融に及ぼす影響試驗 來待錆石を釉藥主原料とせる陶業に其の粉碎程度に依る呈色の良否試驗をなす	同	島根工試	中野義雄
白川山土、波佐見石を主原料とする釉藥試驗 釉藥價格の低減を目的とし白川山土、波佐見石に依り各種調合試驗をなす	研	佐賀窯試	德見知孝
出石三等原料使用色釉藥應用試驗(昭9.同場業務成績報告) 出石三等原料の新利用法研究を目的とす、本原料を使用し色釉藥を應用せる還元焙燒成試驗を行ひ頗る興味ある製品を製出するを得たり、充分利用の途ありと認む	完	神戸工試	渡部斐男
來待錆石の應用試驗 來待錆石を應用し釉藥の研究をなさんとす	研	島根工試	中野義雄
珪酸工業に関する調査試驗研究 (1)建築用タイルの燒成試驗　(2)鉄釉藥、銅釉藥其の他の釉藥の研究	同	臺灣中研(工業)	服部武彦 松井七郎
上繪具赤の研究(同場業務功程) 上繪具赤に於て高熱に耐え色彩を鮮かならしむ	完	石川工試	八島茂次郎
外國製市販上繪具の試驗	同	岐阜工試	
出石三等原料素地に對する色繪具使用法 有色素地の調製研究	未	神戸工試	渡部斐男
酸化コバルト、アルミナ、珪酸系の研究 コバルトは陶磁器顔料として最普通に使用せらるゝものなれど高溫度釉藥に對し滲を生ずる缺点あり其の原因を研究し高溫度に耐ゆる含コバルト顔料を新製せんとす	研	東京工大	榎本修二
上繪付顔料の試驗 地方により異る釉藥と繪具に付て行はんとす	未	岐阜陶試	鵜飼健一
有鉛無鉛両上繪具試驗研究	研	同	
赤褐色甲磁器用下繪具の試驗(同場業務功程) 酸化亜鉛、アルミナ、酸化第二鉄、塩素酸カリを材料とせる赤褐色下繪具の呈色及之に珪石、硼酸の添加に依る呈色變化試驗を行へり	完	三重窯試	西村吉男

研究項目	進度	機關	擔當者
施釉方法の改善による新製品の研究試作 コンプレッサー或は流し掛に使用する器具に改良を加へ各種釉藥の使用方法の改善による新製品の試作	研	滋賀窯試	金ケ江德三
彩釉藥描畫法の研究 陶器素地に白色乃至淡黃色を施し更に濃彩色釉藥を以て爲し一度燒を以て多彩の日本畫風の裝飾を施さんとす	完	沖縄工指	
信樂各種釉藥の燒成、火度低下試驗 現在使用される信樂各釉藥にフリット媒熔劑を加へ品質に低下を來たさざるSK7—8に適切なる釉藥の研究	未	滋賀窯試	金ケ江德三
低火度釉藥の研究と之が各種繪具に及ぼす影響と其の應用に付て(昭9.同場業務報告)	完	岐阜陶試	鵜飼健一
土灰釉を基礎とする色釉藥研究 土灰釉を基礎となし各種酸化金属を添加し以て各種色調の研究	研	滋賀窯試	藤田幸助 金ケ江德三
海鼠釉中に於ける各性分の及ぼす影響中長石の鑛物學的研究 海鼠釉中の長石の鑛物學的試驗により斑流紋浮出する長石の顯微鏡的試驗	同	同	藤田幸助
海鼠釉中に於ける各性分の及ぼす影響中土灰置換試驗(同場業務功程) 海鼠釉中の土灰を合成土灰及合成土灰と天然土灰とを併用置換し硼砂混合により海鼠釉の優良範圍の限定	完	同	同
海鼠釉藥の研究	未	島根工試	加藤仁一
低火度釉藥の研究と之が各種繪具に及ぼす影響と其の應用に付て 凡そ700～110°Cの成分を異にする數種の釉藥を得て各下度の下繪具の發色と上繪具の發色度熔着度耐酸性等に付ての研究	研	岐阜陶試	鵜飼健一
釉藥及顔料の改良に関する研究	未	沖縄工指	鈴木利平
磁器釉の微構造に付て(大日本窯業協會雜誌) 釉の組成と釉中の結晶の種類との関係	完	東京工大	近藤清治 外一名
食塩釉の研究(工業化學雜誌) (第1～2報)水及食塩蒸氣と珪酸アルミナ、酸化第二鉄、長石、白陶土、粘土等との反應、(第3報)珪酸ソーダの試製、(第1～5報)食塩釉の微構造、泥漿食塩釉	同	同	近藤清治 鈴木信一
無貫入不透明釉藥試驗 河内長石、鳥屋根珪石、土灰及酸化亜鉛を使用原料となし豫備試驗の結果良好なる白色不透明陶器釉を得たるを以て三角座表により數百種の調合研究	研	滋賀窯試	金ケ江德三

研究項目	進度	機關	擔當者
色ミジン釉藥研究 塩化クロム、塩化コバルト等各種可溶性塩類によりミジン釉呈色試驗	研	滋賀窯試	藤田幸助
無貫入透明釉試驗(同場業務功程) 富瀬長石、小原白繪、鳥屋根珪石及マグネサイトを使用して三角座表により14種を調合しSK 9—10—12に於て燒成結果を檢定し各燒成溫度に安定優良なる無貫入透明釉を限定せり	完	同	金ケ江德三
色彩斑紋釉の研究 各種金屬の應用配合により海鼠釉、ミジン釉以外の色彩紋釉の研究	研	同	藤田幸助 金ケ江德三
結晶釉藥の研究 一種の亜鉛結晶釉藥にて原料調合範圍の研究にして前年度より繼續のものなり	同	京都市工研	山口富雄
社村產味噌土及高城產酸性白土の炻器素地原料の有用化試驗 味噌土酸性白土と共に其の產出豐富なるが未だ大量的陶器原料として使用され居るを聞かざるにより之が有用化を研究せんとす	未	鳥取奬勵館	天木春芳
屋嘉陶石の調査研究(昭9.業務成績) 石英粗面岩の崩解せるものにして陶器原料に適す	完	沖繩工指	鈴木利平
上繪附用白玉の試驗	未	岐阜陶試	鵜飼健一
有色陶器の改良試驗(一部完了)	研	商工陶試	小川新一郎
色相の光學的研究 陶磁器の色相を機械にて數字的に測定せんとす	同	同	藤井兼謨
一般飲食用陶磁器特に皿類の衝擊の强度に付て 衝擊を與へて製品の機械的强度を測り製品の改良に資せんとす	同	同	同
陶磁器の衝擊强度增進に関する研究	同	東京工試	伊藤亮
急熱急冷に對し安定なる陶磁器研究	同	同	同
陶磁器の研究 日用食器化學用磁器絶緣碍子点火栓碍子等內外品に付物理的化學的に比較試驗を行ひて製品向上を計らんとす	同	京都市工研	深見芳雄
輸出向陶磁器製造試驗 大分縣產有色粘土を用ひ之に化粧劑を施し輸出向品を製造せんとす	未	大分工試	早川善吉
耐酸炻器製高壓ガスポンプの製造方法に付て（液体塩素製造法） 塩素ガス壓縮ポンプにして從來は金屬製のものを使用さるも腐蝕の爲永久使用に耐へざる爲耐酸炻器製に據らんとす	完	高山陶器	高山順太郎

研究項目	進度	機關	擔當者
耐酸炻器製ナッシュ式眞空ポンプの製造方法に付て（塩素ガス輸送用） 從來金屬製のもの使用さるも腐蝕の爲永久使用に耐へざる爲耐酸炻器製に據らんとす	研	高山陶器	高山順太郎
耐酸炻器製自動揚酸器の製造方法に付て（各種の酸液輸送用） 從來金屬製のもの使用さるも腐蝕の爲永久使用に耐へざる爲耐酸炻器製に據らんとす	同	同	高山泰雄
耐酸炻器製ルーツブロアーの製造方法に付て（酸性ガス輸送用） 從來金屬製のもの使用さるも腐蝕の爲永久使用に耐へざる爲耐酸炻器製に據らんとす	未	同	高山順太郎
炻器品龜裂に関する研究 炻器製品に於て乾燥と同時に高台內部に龜裂を生ずる事屢々あるにより之が原因を研究せんとす	研	鳥取奬勵館	天木春芳
南蠻燒炻器の研究 施釉、銀茶釉藥を研究せり	完	沖繩工指	
南蠻炻器の改良研究	未	同	鈴木利平
燒酎甕製造試驗	完	朝鮮中試	大橋武夫
京畿道江華郡江華島の原料に付炻器の研究を行ひ器物として良好なるものを得現今江華島釀造會社にて製造しつゝあり			
大正燒改良試驗（貫乳防止試驗)(同場業務功程)	同	三重窯試	中島要雄 木下庄太郎
一定の素地を使用し釉藥の調合及之が貫乳に及ぼす影響を試驗し併せて釉藥の釉調並に各種繪具に對する發色具合を試驗す			
萩燒を基調とせる輸出向陶器の研究（昭9.業務功程報告） 萩燒固有の經驗技術を應用したる輸出向新製品の試作	同	山口工試	加藤藤雄 安達靜雄
捻子蓋物容器の製作研究 沖繩縣に於ける農水產加工品容器は殆んど縣外より移入せる硝子容器のみなるを以て縣產陶器にて之が製作をなしたり	同	沖繩工指	
ガラス熔融用ルツボ製造法に付て 熟練工を要せず機械にて迅速簡單に製造せんとする研究	研	商工陶試	寺崎厚治
硼珪酸ルツボの研究 現在市販のルツボは甚しく硼珪酸ガラスに浸蝕さるゝ缺点あるを以て然らざるものゝ製造研究	同	大阪工試	綿谷政次郎
耐酸陶器製造上の改良研究 燒酎瓶、硫酸瓶の素地窯詰方法等に付研究す	同	山口工試	加藤藤雄
陶器の割れ目に関する研究	同	理研	福島浩

研究項目	進度	機關	擔當者
平物陶器製作研究	未	沖繩工指	鈴木利平
特殊原料により輕質半磁器の研究 地方的特殊原料を用ひ輸出向有色輕質半磁器の製造を行はんとす	同	岐阜陶試	塚本甕彦
僞磁器の研究(同場業務功程) 信樂有色素地に化粧をなし無貫入透明釉を被釉しSK10にて燒成し一見磁器に遜色なき白色青華僞磁器となせるものなり	完	滋賀窯試	金ケ江德三
匣鉢坏土の研究(手造匣鉢) (1) 機械製並に手製匣鉢の强度を夫々比較研究し燒粉混入坏土の優良なるものを以て耐火粘土の亂費を防止せんとす (2) 機械製匣鉢と可及的同一條件にて手造をなし數回の實地燒成により優劣を判定す	研	岐阜陶試	保野福太郎
佐賀縣產鉄質粘土を主原料とする陶炻器試驗 變食器製作を目的とし鉄質粘土を主原料として陶器炻器の製作試驗をなす	未	佐賀窯試	
信樂產原料による耐產陶器の試作 信樂產含鉄粘土の利用を目的とし耐酸陶器の素地釉藥の研究	研	滋賀窯試	藤田幸助
陶製土產品の試作研究 山口縣下名勝地に適切なる鄕土風俗傳說行事に因する意匠に依る試作	同	山口工試	加藤藤雄 安達靜雄
來待錆石來待白石玉造石を素地とせる有色陶器の研究 從來釉藥にのみ使用せられつゝあるも低火度にて燒成する陶器を作成す	完	島根工試	中野義雄
白雲石陶磁器の研究 ドロマイトを熔劑として低火度の陶磁器を製造せんとす	研	商工陶試	平野耕輔
泉山磁石に依る坏土に粘力附加試驗 有田磁器素地の可塑性增加を目的とし蛙目、木節、ベントナイト等調合研究す	同	佐賀窯試	木下清
泉山石より硫化鉄除去試驗 泉山石より硫化鉄を除き有田陶磁器の品質向上を目的とす	完	同	大須賀眞藏 木下清
泉山磁石を附加原料に依り改良する研究 有田磁器の品質向上及生產原價の低減を目的とし泉山石に波佐見石、白川山土を調合研究す	研	同	德見知孝
ドロマイトの陶磁器試驗 素地及釉藥試驗	未	朝鮮中試	大橋武夫 佐藤功
陶器素地成形壓と其の强度との關係 タイル、煉瓦の如き壓搾成形を要する陶器素地の成形壓並に成形水量と燒成後の强度等の關係を明かにし經濟的成形壓を決定するを目的とす	研	東京工大	榎本修二

研究項目	進度	機關	擔當者
大型器物成形法の改良研究 熟練工を要せず短時間に容易に大型器物を成形する方法	研	商工陶試	寺崎厚治
陶磁器の流込成形の研究 流化法により自働的に製作する機械裝置の研究	同	日本陶器	長谷川清治 宮田純一
陶磁器の轆轤成形法の自働化研究 轆轤成形法と雖も未だ手工を要する部分多し、之を自働的に機械力により成形せんとするものなり	同	同	岡井弘 奥田義明 小川莊一
陶磁器の自働成形裝置の研究 轆轤により自働的に製作する成形裝置の研究	同	同	吉田英秋 津田稔男
陶磁器型造法の改良研究 大量生產に便するが爲其の利用成績を研究中なり	同	神戸工試	平原篤之助
玩具原型の研究 玩具製作は近時其の意匠の向上と共に鑄込法を採用するに至れり四日市地方は鑄込法に卓越せる技術を有し又家內工業發達せるを以て玩具の製作は最適したる工業と思考す仍て優秀なる原型の研究をなし之が產出を奬勵せんとす	未	三重窯試	矢守一生
煮沸用陶器素地の研究	同	沖繩工指	鈴木利平
素地改善による冷割防止の研究 各種原料を使用し實物試体を作り登窯にて燒成し以て優良素地の選定	研	滋賀窯試	藤田幸助
軟化性素地の試驗 低下度に於て熔化する素地の試驗にして現在の大正燒の品質を堅牢ならしめ所謂砥器質製品の產出を圖るを目的とす	同	三重窯試	熊澤靖一
輸出向丸谷燒素地及釉藥の新研究 低火度磁器に於て特異性を有するものゝ研究	同	石川工試	小山恭太郎 藤川正一
末田燒改良に關する試驗 山口縣末田燒陶器の素地成形燒成等の研究	未	山口工試	加藤藤雄 松本文知
低膨脹素地及釉藥の研究(一部完了) 加熱に對して破碎せざる陶磁器の研究にして加熱用耐熱磁器の研究は完了せり	研	商工陶試	小川新一郎
釉藥に因る素地の反曲 釉燒の際陶磁器が反曲する理由並に其の防止法の研究	同	東京工大	近藤清治 河島千尋
伊部產畠田土を原料として備前燒用釉藥の試驗 伊部產畠田土は從來備前燒の塗土(一種のエンゴーベ)に使用したるも之を釉藥として應用し古伊部風の雅趣あるものを得んとす	未	岡山工試	高本數太郎

研究項目	進度	機關	擔當者
具志頭白土を原料とする琉球の燒陶器釉藥の研究 具志頭白土に着色材料を混じて色鮫釉藥を調製せり	完	沖縄工指	
豐見城黃土の應用研究 在來の陶器素地に化裝泥を掛け下掛を施し乾燥の後模樣を施して彫刻をなし上絨釉を施し酸化焰にて燒成せり、即ち鉄砂海鼠釉なり	同	同	
大正燒用白色透明釉藥の試驗(同場業務功程) 大正万古燒は鉛釉藥亜鉛釉藥の二種を使用し鉛釉藥は繪具の發色は自由なれども鉛を多量含有する關係上釉藥自体が黃色を帶び製品の品位を低下する缺点を有す、此の缺点を除去するの目的を以て數種のフリットを使用せる結果現在使用せられつゝある鉛釉藥に比し色相甚だ良好となり帶黃色の缺点を除去す	同	三重窯試	西村吉雄
染附磁器に於ける呉須と釉藥との關係に付て	研	商工陶試	小川新一郎
衛生陶器の釉藥に關する研究試作 無貫入透明釉藥及研究中の無貫入白色不透明釉藥を粗土に被釉し衛生陶器の試作	同	滋賀窯試	藤田幸助 金ヶ江德三
炻器素燒温度にて熔融する色釉藥の試驗 素燒燒成と共に施釉品を燒成するを目的とす	完	鳥取奬勵館	横山初次
炻器着色釉藥の研究 山口縣產炻器製品の釉藥を改良する爲各種釉藥の調製研究	研	山口工試	加藤藤雄
一度燒硬質陶器に付て(昭9. 同場業務報告) (1) 素地の組成變化(釉藥組成と燒成火度一定の場合) (2) 釉藥の組成變化(素地組成と燒成火度一定の場合) (3) 火度の變化(素地の組成と釉藥組成の一定の場合)	完	岐阜陶試	塚本豐彦
トンネル窯に依る高級磁器の燒成 從來トンネル窯により高級磁器の燒成さるゝこと不可能なりしものを完成せしものにして磁器界に於ける革命と謂ふべし	同	日本陶器	原田彌六 野村俊二 外名
島根縣粘土を主とせる匣鉢の研究(一部完了) 石見地方產粘土と瓦燒成の際多量に使用せるモミ土を燒粉となせる廢物利用	研	島根工試	中野義雄
島根縣產粘土を主とせる匣鉢の研究	同	同	同
島根縣產原土を主とせる匣鉢の研究	未	同	同
匣鉢の調合成形改良研究 匣鉢の耐久度を增加する調合とし成形法を改良せんとす	研	日本陶器	岩橋保 岡崎久三
匣鉢の持久度增加の研究 陶磁器燒成の際必要なる匣鉢の持久度を延長して材料の消耗を減少せんとする研究	同	同	高原省吾 菅原敏夫

研究項目	進度	機關	擔當者
陶磁器の上繪付法改良研究 上繪付を改良し繪具が充分釉藥に沈む如くす	研	日本陶器	平野寛治
磁器の釉藥下並に釉上繪具の改良研究 磁器の釉藥下繪具は現在少數に限らる之が廣範圍に使用さるゝ研究と共に釉藥下繪具の改良研究	同	同	原田彌六 水谷次郎 石川信太郎
陶磁器上繪付顏料の中セレンを用ひて赤色研究	同	默知上繪付	富田三男
陶磁器上繪付顏料の中無鉛上繪具の黃色の研究	完	同	同
陶炻器用下繪具の研究 輸出向に適當なるピンク色褐色、青色、綠色、黃色及黑色各種系統の安定なる下繪顏料研究中	研	滋賀窯試	藤田幸助 金ヶ江德三
加工陶磁器改良研究試驗(昭9同場業務成績報告) 上繪付陶磁器の製作作業改良を目的とし新案品の製出に努めたり、新圖案應用の試作品を作り當業者に展示し作業指導を行ひ製品の面目を改めたり	完	神戸工試	平原篤之助
寫眞製版を陶磁器繪付に應用研究 陶磁器繪付に寫眞製版法を應用して自由に安價に繪付せんとする研究	研	日本陶器	美馬淺次 森竹恒雄
陶磁器及炻器に塗料の應用法の研究	同	石川工試	小山恭太郎
陶磁器彫刻應用の工藝化研究 從來の陶磁器に彫刻を應用し以て實用品位の向上を計らんとす	同	商工陶試	沼田勇次郎
ステアチットに關する研究 タルクを原料として電熱磁器を作らむとす、尙タルクを原料とせる透明性のタイルを副產す	同	東京工大建材研	近藤清治 鈴木信一
ボーンチャイナの製作並に商品化に付て ボーンチャイナとは骨灰を使用する世界最高の磁器にて我國にては未だ製作されざりしが此の完成と共に商品化され內地は勿論米國市場に輸出さるゝに至りたり	完	日本陶器	原田彌六 水谷次郎
陶磁器新原料の品質試驗及其の應用に付て 新規原料及廢棄原料を試驗し原料の供給難の緩和を圖らんとす	研	商工陶試	小川新一郎
素燒円筒を使用する家庭用濾水器の研究	完	日本碍子	島田昌三
ルツボの節約法 ルツボの形狀、炉の形狀に付研究	研	大鐵鷹取	ルツボ研究會
濾過ルツボの研究 酸化アルミニウムを主要構成要素とする濾過ルツボの製造	未	日本研磨	六十川克巳

研究項目	進度	機關	擔當者
前兼久坏土の研究(昭9業務成績) 此の坏土は沖繩縣地方民間の製法に適せざるを以て喜瀬陶土クチヤ粗土石炭等を供試原料として改善をなす	完	沖繩工指	鈴木利平
坏土の粒子微細度が製造工程並に製品に及ぼす影響に付て(同所報告) 坏土の微細度を測定し成形能率の増進を圖らんとす	同	商工陶試	磯松徹造
鑄込坏土の研究	未	島根工試	加藤仁一
鑄込泥漿の研究 電解質の種類が石膏型侵蝕に及ぼす影響に付研究せんとす	同	三重窯試	中島要雄
鑄込泥漿に関する研究(同場業務功程) 大正燒坏土、伊賀燒坏土、伊賀燒坏土に珪石を混じたるもの、伊賀土に燒粉を混じたるものに付電解質として珪酸を使用し其の量と水との割合が泥漿の流動性に及ぼす影響を試驗す、尙其の泥漿の實際鑄込に際し製品の厚さ並石膏型の吸水量に関する試驗を行ふ	完	同	同
各種の壓力の下に於て塩基性クロム酸鉛の合成研究並に上繪具顏料(紅黄元)としての效果如何に付て 原料變化の関係、壓力變化の関係、從來品との比較、フリットを加へたる場合の比較研究	研	岐阜陶試	塚本豐彦
一刀彫裝飾法の研究 沖繩縣產劣等材料を以て製作せる陶器素地に白泥化裝をなし一刀彫にて南畵風の意匠を施し透明釉藥を掛け一度燒きを以て表現する陶器裝飾法なり	完	沖繩工指	
微粉炭燃燒試驗 陶磁器燒成費の低減を目的とし微粉炭機にて粉碎されたる粉炭を窯内に送入燃燒せしむ	研	佐賀窯試	木下清
日本趣味應用の意匠圖案の研究 西洋向食器となさんとする研究	同	商工陶試	平野耕輔
日本趣味を基調とせる西洋食器の意匠圖案の研究	同	同	水町和三郎
燒成温度別に依るフレーム用植木鉢に関する研究(昭9業務功程報告) 草花類栽培用植木鉢の保温、吸水、排水等を顧慮し各燒成温度別の製品を試作し山口縣農事試驗場に依嘱し發育狀態の試驗をなす	完	山口工試	加藤藤雄 松本文知

3 煉瓦・瓦及タイル

研究項目	進度	機關	擔當者
大連珪石の品位向上化研究 現在主として使用せる丹波產赤白珪石に代用し廉價にして且優良なる煉瓦を製作し將來に備へんとするものなり	研	日鐵(八幡)	田所芳秋

研究項目	進度	機關	擔當者
石英の鱗珪石化 鱗珪石とクリストバライトとを區別するエックス線的尺度の決定並に溫度の急變に耐ゆる珪石煉瓦の製造法	研	東京工大	近藤清治 山内俊吉
耐火煉瓦耐火材料の研究 珪石煉瓦シヤモットムライト煉瓦苦土質素地等に付試驗をなし品質の向上と有用天產物の應用研究をも行はんとす	同	京都市工研	深見芳雄
珪藻土利用試驗 珪藻土を主体としたる焜炉煉瓦の製造	同	山口工試	加藤藤雄
ボイラー灰より煉瓦製造 微粉炭燃燒に依り生ずる灰分に石灰を作用し煉瓦を製造せんとす	同	朝鮮石炭工業	三木芳春樹 下義忠 佐藤珖
熔融煉瓦に関する研究 現在製造されつゝある熔融煉瓦は其の用途によりては遺憾の点あるを以て各種組成の熔融煉瓦を製し其の性質等を研究の上硼珪酸ガラス熔融に適當なる熔融煉瓦製造研究	同	大阪工試	關皓之
輕量耐火煉瓦に関する試驗 高熱耐火原料に他の耐火質輕量劑を加へ之を製造試驗す	同	大分工試	早川善吉
高温度に於ける耐火煉瓦の石炭灰に依る侵蝕作用に付て シヤモット質及蠟石質耐火煉瓦より直徑約2吋高さ2.5吋の圓筒形試驗片を作り其の中央に徑20粍深さ25粍の孔を穿ち之に各種石炭灰の粉末を固く充塡し之を炭素抵抗電氣炉に挿入して灰の熔融温度以上の各温度に一定時間保ちたる後取出し冷却後試料を中央より縱斷して石炭灰に依り浸蝕せられたる体積を求めたり一般にアルカリ分の多き石炭灰は其の浸蝕作用大なり。	完	汽車製造(大阪)	太田三吉
保温耐火煉瓦の研究 近代の重工業及建築に必要なる保温煉瓦の優秀なるもの本邦になし之が研究を完成せんとす	研	京都市工研	深見芳雄
罐用耐火煉瓦温度急變試驗 罐用耐火煉瓦に温度の急變を與へたる場合其の耐火力に及ぼす影響の程度を調査し之が改善資料を得んとす	同	横須賀工廠	藤井芳郎 上田博
改造第七コークス炉用耐火煉瓦の物理的並に化學的諸性質に付て 改造第七コークス炉の乾燥作業並に爾後のコークス製造作業上の指針となし併せて將來の參考に資せんとす	同	日鐵(八幡)	田所芳秋
断熱煉瓦の研究 耐水度高くして熱傳導度低き断熱煉瓦の製造	未	東京工大	近藤清治 河島千尋
熱風炉ギッター煉瓦の熱效果に付て 熱風炉内部の温度配布狀況を調査し且ギッター煉瓦の材質形狀並に積方等を研究す	研	日鐵(八幡)	田所芳秋

研究項目	進度	機關	擔當者
瓦の改良研究 琉球本瓦は從來低火度業燒瓦なるを以て吸水性甚だしく耐久力低きを以て之を改良せんが爲低火度釉藥を施せり	完	沖縄工指	
屋根瓦の改良に関する研究	研	東京工試	熊澤治郎吉
着色釉藥瓦の研究 山口縣產原料に適應する着色釉藥瓦の研究	同	山口工試	加藤藤雄
琉球瓦の調査研究	未	沖縄工指	鈴木利平
西三瓦の耐寒試驗(昭9. 同場報告) 試料百一種に付き耐寒試驗を終了す、耐寒試驗は飽水瓦を−15°C に於て二十四時間冷却せり	完	愛知工試	野口清 眞保義郎
燻燒瓦アリに関する試驗 燻燒瓦を屋根に葺きたる時風化の爲特長とする銀面が消失して紫色或は黃色化することなき瓦の製造法に関する試驗	研	奈良工試	吉川崇
愛知縣產製瓦原料の物理的並に化學的性狀の研究(第7回同場報告) 縣產原料の化學分析並に粒度の測定を行へり、粒度の測定はアンドレアゼン法に依る	完	愛知工試	眞保義郎 外一名
滋賀縣瓦原料の調査、品位試驗 各地原料の耐火度、吸水量及凍寒試驗をなし其の成績により適當なる改善をなし品位の向上を研究す	研	滋賀窯試	秋月透 金ヶ江德三
富山縣產有用鑛石並に瓦用土質に関する化學的試驗 瓦用原土並に釉藥資源に関し調査試驗を行はんとするものなり	同	富山工試	上島桂次
有色粘土による變形瓦の研究	同	同	中本八郎
來待石、雲山石等を主原料として瓦土に生掛可能なる低火度赤褐色釉藥の研究 燃料費の節約燒成中に於ける燒曲防止の目的にてゼーゲル錐5〜6番程度にて良好なる赤褐色釉藥を得んとす	同	鳥取奬勵館	横山初次
色瓦釉藥の研究 酸化金屬による各種色瓦釉藥の研究	同	滋賀窯試	金ヶ江德三
屋根瓦釉藥の研究	未	島根工試	中野義雄
屋根瓦各種色釉藥の研究 耐寒屋根瓦に於ける色釉藥に付て	研	石川工試	小山恭太郎
屋根瓦低火度基礎釉藥中フリットの製造原料の細末度及其の熔融度が水に對する作用に付て(昭9. 屋根瓦試驗報告) 原料粒子の程度 60, 80, 120 眼とし火度SK 1a 6a 10 にて燒成	完	岐阜陶試	塚本豐彦

研究項目	進度	機關	擔當者
生掛可能なる各種色瓦釉藥の研究 本縣瓦は總て施釉法生掛なるに依り生掛可能なる各種の色釉藥を研究せんとす	研	鳥取奬勵館	横山初次
改良窯瓦燒成試驗 (昭9. 業務工程報告書) 窯內に敷煉瓦を使用せる場合の瓦燒成試驗	完	德島工試	平岡勇三
瓦栓痕防止法の研究 燒成に際し附着する栓痕を防止する方法の研究	研	富山工試	中本八郎
施釉瓦燒成用ハセの研究 施釉瓦燒成に際し瓦個々の溶着を防ぐ目的の下に使用さるゝハセによる傷を防止せんが爲之が形体並に製作法を研究す	未	鳥取奬勵館	横山初次
屋根瓦用役瓦の鑄込に付て(昭9. 屋根瓦試驗報告) 成型操作鑄込方法に付ての研究	完	岐阜陶試	塚本豐彦
瓦窯に関する研究 瓦製造に要する燃料を節約する爲、餘熱を利用し得る瓦窯に付研究せんとす	未	大分工試	早川善吉
山口縣產原料を以てタイル類の製造試驗 (昭9. 業務功程報告) 縣產原料を使用しモザイック、スクラッチ、クリンカーの製造	完	山口工試	加藤藤雄 松本文知
タイル製造試驗 新規發見の京畿道始興郡冠岳山陶石及京畿道驪州郡粘土を以てタイルの試驗中	研	朝鮮中試	大橋武夫
滑らぬタイルに付て アランダム、カーボランダムを使用し常溫又は低溫燒成にて製造し滑らず耐久性にて且水浸透せず	同	東邦砥石	龜谷磨之亮
白色タイルの研究 ドロマイトを應用して輕質にて堅固なる白色タイルの製造法の研究	同	商工陶試	澤村滋郎
陶器及タイルの研究 富山縣下の原土質に應じ適當なる陶器及タイルの研究	同	富山工試	中本八郎
建築陶器の研究試作 信樂產原土によるSK9−10 の燒成の各種建築用具の試作	同	滋賀窯試	藤田幸助

4 セ　メ　ン　ト

セメントに関する研究	研	理研	笠井康一

研究項目	進度	機關	擔當者
セメント類の研究	研	理研	前田勤 山根茂 庄司隆三
セメントの特殊試驗法の研究	同	東京工試	中原萬次郎
特殊セメントの研究	同	磐城セメント	眞田義彰 齋藤直意 荒尾潤四郎
ポルトランドセメントのエックス線的研究(同校紀要) ポルトランドセメントの組成に付てエックス線的に研究し理論を確めんとするにあり	同	仙臺高工	内田秦郎
特殊ポルトランドセメントの研究（工業化學雜誌第 440, 441 號） 早期高强度耐寒セメントの製造研究	同	早大理工	秋山桂一
超高級セメントの製造 短期長期に於て共に現在のペロセメントの强度を遙に凌駕し更にコンクリート工事の養生期間の短縮施工費材料費の輕減を計ることを目的とするセメント製造研究	同	淺野セメント(北海道)	林部庚次 堤信夫
高熱セメントの製造 北海道樺太北滿等多期酷寒地方に於けるコンクリート寒中工事用のセメントとして現在のペロセメント以上に多量の水和熱を發生し以て此等地方の冬期工事を可能ならしめ或は其の養生期間を極度に短縮する事を目的とするセメント製造研究	同	同	同
急結性發熱セメントの研究 ポルトランドセメントとアルミナセメントの中間のセメントを研究す	同	早大理工	秋山桂一
熔融セメントの研究(工業化學雜誌第434, 437號)	完	同	同
耐酸セメントの研究 耐酸性セメントにして耐酸タイル接着其の他に使用するものにして酸に侵さるゝことなきものなり	同	日本碍子	鈴木巳代三 名和二郎
高石灰型ポルトランドセメントに付て（大日本窯業協會雜誌）(第2～3報) 珪酸アルミナ及酸化第二鉄の比、クロムセメントの研究	同	東京工大	近藤清治 外名一
混合セメントの研究 各種の混和物特に駒ケ岳火山灰利用を目的とする混合セメントの强度其の他の性質研究	未	淺野セメント(北海道)	林部庚次 堤信夫
苦土分多きポルトランドセメントの研究	研	磐城セメント	眞田義彰 西軍吉
セメント調合原料に關する研究	同	同	同
アランダムセメントの製造 アランダムを主体とする耐火結合劑の製造	同	圓山研究所	矢崎貞造
ポルトランドセメント原料の粘土に付て（工業化學雜誌昭 9. 第 435～438 號, 第 441 號, 昭 10. 第443號, 第445號）	完	磐城セメント	眞田義彰

研究項目	進度	機關	擔當者
石灰一酸化鉄系化合物の研究 エックス線的研究	研	東京工大	近藤清治 山内俊吉
珪酸石灰の研究(大日本窯業協會雜誌)(第2～4報) 珪酸石灰四種の微構造、水和作用の鏡檢及エックス線解	完	同	近藤清治 外名一
ポルトランドセメントの苦土含有量に付て（昭10大日本窯業協會雜誌第 506 號）	同	磐城セメント	眞田義彰 西軍吉
各種硬化促進劑の研究 ペロセメントに硬化促進劑を添加す	研	淺野セメント(北海道)	林部庚次 堤信夫
ポルトランドセメントの副成分の作用	同	東京工大	近藤清治
ポルトランドセメントの化學成分と施工時に於ける發熱量との關係に付て	同	早大理工	秋山桂一
ポルトランドセメントに對する混和物の影響に關する研究 市販各種セメント混和劑强度に對する影響を試驗しセメントの性質を改善せんとす	同	大阪工試	武部末次郎
石膏セメントの硬化に及ぼす附加物の影響の原因に付て(同所彙報第13輯第10號第12號) 硬化速度に及ぼすエチルアルコールの影響、硬化速度とS～Nとの關係等	完	理研	山根茂
硬化セメントの半結合に付て 硬化セメント中の半結合水と膨脹收縮との關係	研	東京工大	近藤清治
ポルトランドセメント規格の凝結の化學的內容に付て（同所彙報第14輯第 1 號）	完	理研	前田勤 庄司隆三
作業混合比のポルトランドセメント水系反應に付て（同所彙報第13輯第 7 號）	同	同	前田勤
セメントペースの溫度上昇狀況に付て（昭 10, 3, 4, セメント工業） 當工場製造短期高强度セメントペロセメントの糊狀体をデュワー瓶によりて熱絶縁し其の上昇溫度を測定し粉末度混捏水量添加石膏並に塩化石灰の量の溫度上昇速度に及ぼす影響に付て研究す	同	淺野セメント(北海道)	林部庚次 堤信夫
セメント硬化体中の水分の形態と之が硬化体の膨脹收縮に及ぼす影響	研	東京工大建材研	近藤清治 鈴木信一
ポルトランドセメント中のアルカリ容量分析（同所彙報第 13輯第 9 號）	完	理研	前田勤 庄司隆三
ポルトランドセメントの酸化第二鉄に付て	未	磐城セメント	眞田義彰 西軍吉 荒尾潤四郎
本邦產セメントクリンカーの組成 エックス線的研究	研	東京工大	近藤清治 山内俊吉
ポルトランドセメントクリンカーの硬度に付て	同	磐城セメント	眞田義彰 若松堅平
硫酸塩、セメントの組成に對する影響(工學彙報)	同	九大工	張玄彦

研究項目	進度	機關	擔當者
水熱式燒成法に依るセメント燒塊に関する研究 セメント燒塊の主要成分たる種々の珪酸石灰及礬土酸石灰塩を合成し其の高溫變化に及ぼす過熱水蒸氣の影響を物理化學的に説明す	研	京都高工藝	青武雄
微粉末測定の研究 微粉末殊にポルトランドセメントの粉末徑値測定方法を研究し且現在の我國產セメントを風篩法に依り10ミクロン以下、10～20ミクロン、20～30ミクロン、30～40ミクロン、40～50ミクロン、50ミクロン以上の六粒群に分離し粒徑とセメントの物理的及化學的性質を研究す	同	名古屋高工	北澤忠男
セメント粉塵の利用（大日本窯業協會雜誌）(第3～4報) セメント窯より生ずるコットレルダストを以てガラスを製造する方法を研究す	完	東京工大	近藤清治 河島千尋
ポルトランドセメント工場より飛散する烟導塵の利用 烟道塵をセメント原料に添加せし場合燒成塊中の遊離石灰及珪酸量を測定す	研	明治專門	川上誠一朗
貯藏ポルトランドセメントの風化に付て（昭9大日本窯業協會雜誌第497號.第500號）	完	磐城セメント	眞田義彰
工藝用材料としてのセメント研究 セメントの型技法加工業に付研究し工藝材料としてのセメントの領域を擴大せんとす	研	京都市工研	山本可武

5 其の他

奈良縣の窯業原料の調査研究	未	奈良工試	玉木昌雄 吉川崇次
陶粘土の電氣的處理に付て（昭9.12同所研究報告第375號 昭10.2電氣化學） 陶粘土の電氣的精製研究の一部として本年度は主として鉛筆用粘土の研究を行ひたり、基礎的實驗並に工場實驗を行ひ更に各種粘土に付研究を擴めんとす	研	遞信電試	駒形作以 岩坂良
登窯平地化試驗 登窯の傾斜を最大限度に低下せしめ煙突により火焔の吸入をなし窯内火度平均、冷割防止、燃料の節減を計らんとす	同	滋賀窯試	秋月透三 金ケ江德
窯内空間利用燒成作品の研究	未	島根工試	中野義雄 加藤仁一
廢熱利用自動乾燥法研究 窯の冷却に際し廢熱を利用して自動的に能率的に品物を乾燥し蒸氣を使用せざる研究	研	日本陶器	原田彌六 吉田英秋
高級耐火物の膨脹係數熱傳導度の測定	同	旭硝子	山本英雄 末利志郎

研究項目	進度	機關	擔當者
耐火物に関する研究	研	日本光學	長岡正男
新高級耐火物フォステライトに関する研究 フォステライトを MgO-SiO_2 二成分系より説明且國產原料より合成し高級耐火物に價することを示し冶金工業用耐火物たらしめんとす	同	京都高工藝	青武雄
マグネシア耐火材試驗 朝鮮產マグネサイトを以てクリンカーの製造に着手す試驗の結果耐火材として良好なり	同	朝鮮中試	大橋武夫 佐藤功
炉材に関する研究 マグネサイト珪石粘土は製鉄工業に密接の関係を有する原料なるを以て之が利用價値の向上に付て研究す	同	昭和製鋼	三田正揚
工業用炉に関する研究 管炉の耐熱狀況に関する研究	同	東京工大	矢木榮 外一名
急冷急熱するも破壞せず電氣的絶緣性の高熱に耐ゆるアランダム製高熱炉に付て	同	東邦砥石	龜谷磨之亮
實驗室用電氣炉の研究 酸化アルミニウム又は炭化珪素を構成要素とする電氣炉を研究す	同	日本研磨	五十川克己
特殊ゲルの研究	同	理研	前田勤 庄司隆三
琺瑯の研究 南部鉄器に琺瑯に依る色彩の變化を加味施工し新生面を開拓す	同	岩手工試	兼平保太郎 砂子澤平三郎
琺瑯釉藥の研究	同	日本碍子	中村孝 副島廣次
銅板琺瑯に関する研究 赤色、白色の銅板琺瑯に関する研究	同	大阪工試	角田秀男
鑄物琺瑯の研究	同	石川工試	小山恭太郎
琺瑯鉄器の研究（大阪府公報、大阪府工產品實用標準規格書）	完	大阪奬勵館	田中忠雄
琺瑯鉄器生地の藥品處理に関する研究 琺瑯鉄器生地を適當なる藥品にて處理して釉藥と鉄板との密着を良好ならしめんとする研究	同	大阪工試	内田十喜治 玉木文男
印刷應用に依る金属擬似七寶の研究 金属工藝品、板金、鑄物製品に從來は釉藥嵌入の七寶裝飾模樣を施したるも本法は印刷術應用により轉寫模樣附をなし之を夫々金属に適合する腐蝕劑を以て凹刻をなし之に各種彩又はラッカー種の耐酸耐熱の塗料を嵌入し擬似七寶を能率的に生產する方法を得たり	同	富山工試	車健太郎
愛知縣產窯業原料の研究（第7回同場報告） 木節粘土を主とする八十種の原料に関する耐火度試驗	同	愛知工試	野口清 杉浦文雄

研究項目	進度	機關	擔當者
電鑄に依る七寶素地の試作研究 從來の七寶素地は銅器鑄物又は銅槌金物、置線物、彫金物等を使用せるが本研究は之に對し工程上の煩雜を簡易化し一定模樣の形狀物と雖も容易に多數同時に製作し得ると共に純銅純鉄を電鑄するが故に七寶釉藥との密着度良好にして燒成に際し素地より來る夾雜物の害なく鮮麗なる色彩をも自由に顯すことを得たり	完	富山工試	米田外次郎
脫色用粘土試驗 大分縣下各地に產する酸性粘土の有色油脂の脫色效力に付試驗す	研	大分工試	早川善吉
愛知縣產窯業原料の研究 白粘土を主とする耐火材料に関する研究を行はんとす	同	愛知工試	野口清 杉浦文雄
小形マッフル窯の研究 酸化アルミニウム炭化珪素を構成要素とするマッフル窯の研究	同	日本研磨	五十川克己
コルハルト微粉を利用せる耐火物研究	同	旭硝子	上田清 谷貝英雄
マグネシア耐火物の彈性率 高溫彈性率小さく溫度の急變に堪ゆるマグネシア耐火物の製造	同	東京工大	近藤清治 吉田博
Tio_2—Al_2O_3—Sio_2 三成分系の研究	同	旭硝子	小山賴彦 並木孝一
人造寶石の製法研究 精密機械等に使用すべきコランダム等に付其の製法の研究	同	京都市工研	山本可武
石膏に関する研究(同所報告) 型用石膏の性質を調べ之に適當の藥品を加ふることにより强度を增加せんとする研究	完	大阪工試	利根川武
石膏型の應用研究	未	島根工試	加藤仁一
豐見城万土を主原料とせるゼーゲル錐 6a 番用釉藥の研究 含鉄砂土にして本研究に供したるものは比較的鉄分多しと認めたるものにして黃褐色釉藥に使用することを得	完	沖繩工指	鈴木利平
ゼーゲル錐6～7番用色釉藥の試驗 燃料費の節約弱火性原料の有用化を計らんが爲本試驗を行ひたり	同	鳥取奬勵館	横山初次
島尻頁岩を原料とせるゼーゲル錐 6a 番用釉藥の研究 頁岩、珪石、石灰等を以て釉藥を調製せり、即ち淡黃釉なり	同	沖繩工指	
ゼーゲル錐の研究 ゼーゲル錐の軟化点に関する研究	研	京都市工研	干田信淳
ゼーゲル錐製作法の改良研究 從來のゼーゲル錐製作に改良を加へんとす	同	同	山本可武

研究項目	進度	機關	擔當者
ゼーゲル錐の研究 本邦製作のゼーゲル錐の品質を益々向上せんとして不斷の研究を續行しつゝあり	研	京都市工研	深見芳雄
ゼーゲル溫度計の製造及研究	同	東京工試	伊藤亮 茂木今朝吉
東京附近のロームの利用に関する研究	同	理研	仮盛里安 菊池宇宙
香住町產原料應用試驗(昭9同場業務成績報告) 香住町產新原料の應用試驗にして酸化焰ゼーゲル錐八番燒成成績良好特色を有す	完	神戸工試	平原篤之助
粘土類の乾燥に對する溫度と濕度との影響に付て (昭9同場業務報告) 乾燥に對する溫度と濕度の各種坏土の成形素地に對する影響に付研究せんとし先づ單味の窯業原料四種の溫度 35°C, 45°C, 55°C及濕度 45%, 55%, 65%, 75% の乾燥速度を檢せり	研	神奈川工試	廣川季一
珪酸工業に関する調査試驗研究 (經濟パンフレット誌) (1)台北州產含鉄鑛粘土の燒成試驗 (2)台灣の陶業に付て	完	臺灣中研(工業)	服部武彦 松井七郎
山形縣產膨潤土の研究(大日本窯業協會雜誌) 膨潤速度及粘度と粒子模型	研	長岡高工	內田宗義
油土の研究(同場業務功程) 粘土に油類、石鹼、硫黃等を混入し四季不變の軟性を帶ばしめたるものなり	完	石川工試	小山恭太郎 八島茂次郎
窯道具の改良研究 沖繩縣產原料のみを以て匣鉢棚板等の窯道具を製作せんとす	同	沖繩工指	
平安南道江西郡窯業原料調査 陶磁土長石等の品質の優秀なるもの少からず鑛量多し	研	朝鮮地調	波多江信廣

第七類

食料品工業

1 酒及アルコール

研究項目	進度	機關	擔當者
酒米の肥料別適否試驗 魚肥、大豆粕等を主用として酒米としての素質に及ぼす影響を究め更に其の酒造に及ぼす關係を攻究す	未	廣島釀試	橋爪陽
酒米刈取時期と米質との關係研究 米の早適晩刈に由る物理的、化學的性狀の差異及酒米としての適否を究めんとす	研	同	同
島根縣產米火力乾燥と天日乾燥とによる酒造用適否試驗	未	島根工試	木谷吉次郎 山崎修二
米の精白度を用途每に異にせるものと統一せるものとの酒質に對する影響試驗(同場報告12號) 麹、酒母、醪等の原料米の精白米率を別々にしたるものと全部或る程度に統一したるものとの酒質に及ぼす差を見るために研究し其の結果は或る程度以上の精白度は用途每に差異あるを可と認めたり	完	廣島釀試	橋爪陽
埼玉縣產米清酒釀造試驗 酒造適良米の耕作奬勵並に縣產清酒の向上に資せんとし前年度と同樣實地酒造場に於て縣產米(穀良都)種と他品種との比較釀造試驗を行ふ	未	熊谷釀試	佐武健造 川田春水
各種秋田縣產米の理學試驗 如何なる米が理學的方面から酒造に適するやの試驗	研	秋田釀試	齋藤彌三郎
各種秋田縣產米の化學試驗 如何なる米が化學成分上酒造に適するやの試驗	同	同	石田德太郎
鳥取縣產米大粒種小粒種酒造適用に關する比較試驗（昭5,6,7,8,9同館業務功程報告書） 酒造に適用の目的を以て主要縣產米の粒種、重量、含水量、蒸饐、製麹酒造關係等を試驗研究す	同	鳥取奬勵館	國枝太策
福島縣產釀造適米に關する試驗研究	同	會津工試	竹內直衛
酒米喜多穗(出雲及小天狗の新交配種)吟釀適否試驗（同場報告12號） 新酒米喜多穗の吟釀米として他の適米に比較し其の優劣特徵を究めたるに其の結果は大粒種雄町に比し遜色なきも酒質は小粒種共通の風味を存するを認めたり	完	廣島釀試	長尾悅造
異種米配用と酒質との關係試驗 廣島縣に於て最近改良せる酒米數種ありて各々特徵を異にする故之を麹、種母、醪等に巧に配用して酒質の完璧を期す	研	同	橋爪陽
汲水分加仕込と酒質の濃度との關係試驗 原料添加の中汲水を米の溶解に應じて數回に分加し以て濃醇なる酒の生產を增さんとす	同	同	同

研究項目	進度	機關	擔當者
水質比較清酒釀造試驗 地下水及水道水を比較研究せり	完	大藏釀試	杉山晋朔
清酒釀造に於ける仕込用水の細菌學的研究（釀造學雜誌一部發表） 清酒釀造仕込用水中に含まれる細菌類に関し研究し殊に清酒釀造上有用なる硝酸還元菌の種類に付研究中なり	研	阪大工	小田雅夫
硝酸塩還元性による酒母仕込用水の良否判別試驗	同	青森工試	絹原健郎
清酒品質向上を目的とする浸漬水の加工に付て	未	三重釀研	丹羽歌治
各種秋田縣產米の蒸饐試驗	研	秋田釀試	伊藤敬二
曲線式駒と在來駒との比較研究 蒸米、蒸饐上題記駒の及ぼす影響の研究をなすにあり	未	和歌山工試	三田村鼎
酒造米、蒸饐時に發生する蒸氣餾液の研究 題意の蒸氣餾液中に含まるゝ成分を調査し以て蒸米の蒸饐程度を研究するにあり	同	同	三田村鼎 吉田康雄
蒸饐裝置の改良による酒質改良試驗 從來の蒸饐裝置を改良して强力なる蒸氣によりて蒸米を蒸饐し糖化力を良くし濃醇なる清酒を釀造する方法	完	岡山工試	小出治彦
水中鉄分の蒸米に移行する狀態試驗 水中の鉄分は蒸米の色を惡化せしむるものなりや否やの試驗	同	秋田釀試	池田吉郎
麴菌に関する研究 主として酵素的方面より新しき利用研究をなさんとす	研	神奈川工試	鹽入英次
黴に関する研究（一部完了）（同所工業部報告第138, 139號） (1)糖化菌に関する研究（中間工業試驗） (2)鰹節の菌類に関する研究 (3)紅麹菌に関する研究 (4)クエン酸醱酵菌に関する研究 (5)兵器を汚損する菌類に関する研究 (6)煙草、茶の製品を惡化せしむる菌類に関する研究 (7) 黴の生產する色素に関する研究	同	臺灣中研(工業)	中澤亮治 武田義人 外六名
細菌に関する研究（一部完了）（同所工業部報告第130, 135, 144號） (1)醋酸菌に関する研究 (2)ペクチン及纖維素醱酵菌に関する研究 (3)酪酸菌に関する研究 (4)アセトン及ブチルアルコール醱酵菌に関する研究	同	同	中澤亮治 田中庄助 平山邦基 外六名
主として台灣に於ける有用醱酵菌類の研究	同	臺北大理農	中澤亮治 霜三雄
主として台灣に於ける醱酵菌類の檢索	同	同	渡邊寛
日本麴菌の比較研究（釀造學雜誌） 百數十種の日本麴菌に付菌學的及生理學的研究を行はんとす	同	阪大工	大谷義夫

研究項目	進度	機關	擔當者
種麴の製造試驗 本場にて新に分離したる菌種が工業的に價値並に種麴製法に及ぼす無機塩類の作用を研究せんとす	研	愛知工試	宮田謙三
特殊種麴の製造試驗	未	德島工試	井内武夫 角山政雄
高度精白米麴製法研究	研	和歌山工試	三田村鼎
等低温製麴法の研究（昭9.業務報告） 等低温製麴法による麴を以て造る清酒は其の光澤に於て時々缺くることあり不安なるものと認む	完	同	同
大藏式製麴機並に其の製麴試驗（同所報告119號） 從來製麴の操作は著しく勞力を要するが故に科學を利用して機械的に操作せんとし電動機によりて回轉するドラム内に原料を入れ攪拌並に温度の調節をなし得る一新製麴を發明し之が試驗成績を報告せるものなり	研	大藏釀試	黒野勘六 勝目英
インベルターゼ（轉化酵素）の研究（昭9.工業化學雜誌第37卷） 酵素は生物の生活と密接なる関係を有するに拘らず其の本質は不明にして又性質も研究者によりて一致せず、之は要するに酵素の精製が困難なるに基因す、本研究は沈澱法及吸着法に依る	完	早大理工	武富昇
精製インベルターゼの化學的及物理的性質の研究	未	同	同
誘出法に依るインベルターゼの精製及インベルターゼ溶液の電氣透析に付て 精製法を攻究し次で其の本質は化學的に如何なる化合物なるか又物理的化學的性質に付研究す	研	同	同
酵素によるペントザンの加水分解に付て 麴菌酵素によるペントザンを加水分解し速度及生產物を研究せんとす	同	廣島高工	佐藤靜一
麴菌に依る硝酸の還元に付て 麴菌の硝酸還元の作用本体及生理學的関聯と諸條件の研究	同	阪大工	照井堯造
酵母に関する研究の中白粗酵母に付て（同所工業部報告第140號）	完	臺灣中研(工業)	中澤亮治 武田義人 外七名
酵母に関する研究 (1) アルコール酵母に對する優良酵母の檢索並に酵母類の臺灣に於ける分布狀態に関する研究 (2) 酵母其の他微生物のビタミン含有量決定、其の他微生物のビタミンに関する研究 (3)乾燥酵母に関する研究 (4)酵母のグリセリン醱酵に関する研究	研	同	同
清酒酵母に関する試驗 各地銘釀家の酵母を比較試驗し優良種を選定して更に之を純粹培養を行ひ實地釀造試驗をなす	同	熊谷釀試	
優良酵母の分類と其の應用試驗 優良なる酒の酵母を分離し其の性能を研究し之を應用して酒質の改善に資せんとす	同	廣島釀試	橋爪陽

研究項目	進度	機關	擔當者
酵母のグルタチオンに付て	研	大日本麥酒	大淵源治
菌類のグルタチオンに関する研究(醸造學雜誌一部發表) グルタチオン菌の醗酵生理に對する諸機能及諸酵素に對する関係に付て	同	阪大工	照井堯造
醗酵に関する研究	同	理研	内藤敬 久保淳三
清酒醪の密閉醗酵試驗(同所報告119號) 清酒醪を醗酵せしむるに蓋を用ひ或は醪の上層部を蓋の代用として密閉醗酵を營しめたるに其の程度に依り色澤香味の佳良なる製品を得たり	完	大藏醸試	鈴木重一郎 田中清壽 芝田喜三代
アルコール醗酵形式と生成物の差異 アルコール醗酵の形式を變へて其の生成物量の差異を調査せんとするものなり	未	同	小穴富司雄
機械的自動酒母製造試驗(第2報)(同所報告119號) 前回試驗に於て得たる成績に鑑み攪拌用ドラム並に羽根の構造を改良したるものなり	研	同	黒野勘六 杉山晋朔 勝目英
酒造用種麹比較試驗 酒造季節前市販種麹を比較試驗し當業者の種麹選擇上の參考に資せんとし比較培養試驗を行ふ	未	熊谷醸試	
清酒麹の糖化作用增進方法に付て 清酒麹の糖化作用を一層增進せしむる方法の研究	研	大藏醸試	鈴木重一郎
純粹酵母應用酒母育成試驗 清酒の香氣を優良ならしむる爲に特に優性なる酵母を培養添加して酒母を育成する研究	完	岡山工試	小出治彦
高精白度備前米使用速醸酛育成試驗	同	島根工試	木谷吉次郎
高精白度備前米使用速醸酛使用醪製造試驗	同	同	同
優良酵母產膜酵母の分育試驗 優良產膜酵母を使用して酒母の醸造を安全且優良ならしむる試驗	研	秋田醸試	池田吉郎
酒母育成操作の改良試驗 酒母育成上最注意と勞力を要する攪入並に暖氣操作の簡易化を計り安全に育成せんとす	同	岡山工試	小出治彦
熟成醪を酒母代用とする研究(昭9.業務報告) 熟成醪の一部を酒母とし清酒式仕込に依る	完	鹿兒島工試	神戸健輔
酒母遞加使用試驗 酒母を三段に添加して辛口酒を醸す	未	德島工試	清水良吉
清酒醪五段掛法の研究(昭9同場業務報告) 經濟的優良酒の製造をなす	完	神奈川工試	藤井與次

研究項目	進度	機關	擔當者
生理的性質を異にする酵母の併用試驗 從來速醸系酒母は製成酒の風味を淡味ならしむると認められしが生理的性質を異にせる酵母を各別繁殖せしめたる速醸酒母を適宜混用して使用せる所、得たる清酒は濃醇にして生酛系酒母を使用せるに劣らざる實績を見たり	完	大藏醸試	鈴木重一郎
清酒醪濃厚仕込並に濃度增進に関する研究	研	會津工試	竹内直衛
清酒酵母のアルコール馴養と酒母との関係研究 清酒醸母を高度アルコールに馴致し得るかを研究し高度アルコール馴養酵母を用ひて酒母の育成を爲し其の馴養價値を研究す	同	和歌山工試	三田村豐
酵母馴致に依る性質の變化に付て 清酒酵母を種々の條件の下に馴致を行ひ其の性質の變化を究めんとす	同	大藏醸試	小穴富司雄
吟醸酒母仕上法研究(其の一)(昭9.業務成績報告) 吟醸酒母仕上げに於ける低溫最高法を研究し和歌山縣に於て低溫最高溫度17°C迄低下研究せるに結果良好なり	完	和歌山工試	三田村豐
醗酵低溫早開必要條件の研究	研	同	同
酒母の低溫仕上に付て 清酒の柄を良くし且醸造を安全ならしむる爲酒母の湧付時最低溫度を確む	完	秋田醸試	花岡正庸
優良清酒酵母の分離試驗	研	青森工試	石田彰 絹原健郎
高泡現象を呈せざる清酒醪中より分離したる酵母に関する研究 清酒の醪中より醗酵中泡起現象少き酵母を分離し其の性質に付研究せんとす	同	阪大工	小田雅夫
醸造物成分々布の相異の應用化試驗 同一容器中の醸造物の成分々布は平均せるものに非ざるを以て其の良好なる部分のみを利用したる所製品の香味大に優れたるものを得たり	完	大藏醸試	鈴木重一郎
醗酵生產物に付て	研	理研	東恒人
醗酵液の物理化學的研究 醗酵により發生する炭酸ガスが成分を異にせる各種醗酵液中に如何に溶解するかを明にし實地醸造上に於ける醪醪中の諸變化の釋明に資せんとす	同	廣島高工	河野通利
吟醸糖利用に関する研究	同	會津工試	竹内直衛
酒母中の細菌に関する研究(醸造學雜誌) 酒母育成中に於ける細菌類の消長を研究し硝酸還元菌の種類を明にせり	完	阪大工	齋藤賢道
新清酒の製造	研	理研	鈴木梅太郎 加藤正二 外三名

研究項目	進度	機關	擔當者
酒母の乳酸菌に関する研究 酒母育成中短桿菌と連狀球菌との繁殖狀態が品質に及ぼす関係を究明せんとす	未	青森工試	絹原健郎
乳酸菌を應用形式の研究 清酒醸造特に酒母に乳酸菌を應用する形式を研究せんとするものなり	同	大藏醸試	小穴富司雄
白糠利用清酒醸造試驗(昭9.業務功程報告書) 高度精白米の副産物たる白糠を白米の代用に供す	完	德島工試	清水良吉
冷用酒醸造試驗(同場報告12號) 夏季に冷用すべき清酒の標準を確定する爲各種の組成分最適當にして冷温何れにも適すべき酒質を得たり	同	廣島醸試	長尾悦造
夏季飲用甘口酒仕込試驗	未	德島工試	清水良吉
特種馴養酵母應用清酒醸造試驗 清酒酵母を酸、糖、アルコール等にて反覆馴養したるものが清酒醸造上如何なる影響ありやを檢したるものなり	研	大藏醸試	黒野勘六 小穴富司雄
特種麹菌を使用せる清酒醸造試驗(第1報)(同所報告119號) 蛋白質分解力の比較的弱き麹菌を用ひて種麹を製り之を實地の清酒醸造に應用したるものにして粗白米を用ひて淡麗なる清酒を醸出せんとしたるものなり	同	同	黒野勘六 勝目英 岩下信雄
特種麹菌を使用せる清酒醸造試驗(第2報) 前年度に於ては蛋白質分解力の最弱き種類の麹菌を使用して酒質淡麗に過ぎたる感ありたる爲今回は前回の麹菌より稍分解力強き品種を用ひて試驗したり	同	同	黒野勘六 勝目英
酵母比較清酒醸造試驗(同所報告119號) 全國各地より蒐集せる酵母の中優良と認むるものを選擇し之を應用して清酒醸造を行ひ一般醸造家に推奨せんとするものなり	同	同	小穴富司雄 水野三郎
炭酸ガスを含有する清酒又は清酒代用飲料製造法 夏季向の飲料として醗酵法に依り炭酸ガスを清酒に含ましむる方法を述べたり	同	同	山田正一 高岸勝一郎
空氣攪拌清酒醸造試驗(同所報告119號) 清酒醪を攪拌するに當り從來擢を以てせるものを壓搾空氣を吹込みて擢を廢止し醸造操作の簡易化を圖りたるものなり	完	同	小穴富司雄 水野三郎
酒類の試醸試驗の中(一部完了)(同所工業部報告第143號) (1)日本酒の醅の微生物に関する研究 (2)紅酒と後熟に關する研究 (3)各種澱粉質を原料としアミロ法に依る酒類及アルコールの製造試驗 (4)糖蜜のアルコール醗酵に関する試驗 (5)果實酒に関する試驗 (6)食酢(主として果實酢)の製造試驗 (7)各種リキュール類の試驗	研	臺灣中研(工業)	中澤亮治 武田義人 霜三雄
硼砂の醸造に及ぼす影響 硼砂を使用すれば酒造は安全なりや否や又サルチル酸に對して如何なる作用を及ぼすや	完	秋田醸試	石田德太郎

研究項目	進度	機關	擔當者
各種燐酸塩の醸造に及ぼす影響試驗 燐酸塩を使用して香氣良く味を爽快ならしめ且酒造を安全ならしめんとする研究	完	秋田醸試	木瀬與六
酒母枯し期間と最高温分ち時、母氏度數、生酸、アルコール量との関係研究	研	和歌山工試	三田村豐 吉田康雄
硫化水素發生防止試驗 清酒醸造中に遇々硫化水素の發生することあり酒母中に錫末を微量添加して硫化水素の發生を防止し得る事を實證したり	完	大藏醸試	黒野勘六 勝目英
清酒中の鉄分と着色度に関する試驗	研	會津工試	千葉佐仲
清酒火持の强弱豫知に関する研究 肝臓片又は小豆粒培養により清酒貯藏中火持の强弱を成るべく早く豫知する方法の研究	同	山邑酒造	嘉儀金一郎 橋本滋雄 鳥居啓二郎
清酒の火落菌に関する研究(北大農學部紀要) 清酒の火落菌の發育促進性物質の研究及火落菌の發育による清酒成分の變化並に火落に菌の微生物學的研究	完	阪大工	大谷義夫
火落豫知法研究(昭9.事業成績報告) 電熱温室法が實用的にして火落榮養分添加法の鋭敏に過ぎて實用向ならざるものと認む	同	和歌山工試	三田村豐
清酒の火落防止法に関する研究(醸造學雜誌) 微生物の生産する物質を以て清酒火落菌の發育を防止する事項に付研究す	研	阪大工	大谷義夫
清酒火落香除去法の研究 火落酒矯正方法に関する研究	同	靜岡醸研	河原常次郎
清酒の捌けと粘度との研究	同	和歌山工試	三田村豐 吉田康雄
清酒醸造中に發生することあるレイ香に関する研究 レイ香の本質及成因に付研究し之が豫防法を講ず	同	山邑酒造	嘉儀金一郎
脂肪添加試驗 清酒醸造中之に椰子油又は牛酪の如き低級脂肪酸グリセライドを含有する脂肪を加へ醗酵によりて之等の脂肪酸のエチルエスターを生成せしめ清酒に芳香を附與せしめんとの試驗なるが生成せる香は餘り適當と謂ふを得ず	完	大藏醸試	山田正一
合成酒製造試驗	研	北海工試	生原長胤
合成酒製造法研究(一部完了)(昭9.業務成績報告) 麹エキスのアルコールを主体として之に在來清酒含有成分又は類似成分を混じ太陽光線にて醸化せしむる研究を完了し引續き研究中	同	和歌山工試	三田村豐
清酒簡易分析法の研究と科學審査法	同	三重醸研	丹羽歌治
清酒微量成分と酒質との関係研究	同	和歌山工試	三田村豐

研究項目	進度	機關	擔當者
清酒成分の研究 清酒微量成分と酒質との関係を闡明せんとす	研	北海工試	生原長胤 橋本重一 阿部久郎
清酒の酸に付て(日本學術協會雜誌) 清酒中の乳酸及琥珀酸を定量して其の含有量を比較し更に乳酸及琥珀酸を分離し以て其の存在を明にせり	完	廣島高工	大崎正雄
清酒酵母の醱酵副生産物酸に付て 窒素源を異にする人工培養液中に於て清酒酵母が醱酵によりて生ずる副生産物乳酸琥珀酸及林檎酸を定量して其の生成量を比較し更に乳酸琥珀酸及林檎酸を分離して其の存在を明にせんとす	研	同	同
日本酒の新研究(昭9同場業務報告) 米を原料とする酒類を大衆的特に世界的飲料に供せんとす	完	神奈川工試	藤井與次
清酒の研究並に之が合成日本酒に齎らす效果に付て(醸造學雜誌一部發表) 清酒製造中に於ける物理的化學的變化の研究と合成日本酒製造に関する考察	研	阪大工	中村靜 寺本四郎
優秀清酒の經濟化並に世界的飲料としての日本酒の改良研究 日本酒を外國的に改良する事及優秀清酒の生産費低下に付て	同	香川工試	濱政一
冷用酒の研究(昭9.同場業務報告) 冷酒のまゝ大衆向嗜好に適する酒類を四段若くは五段掛方法にて醸造するものなり	完	神奈川工試	藤井與次
寒地嗜好に適したる冷用酒の研究(一部完了) 冷用酒の需要が寒地に於ても喚起せられつゝあるに鑑み之が適切なる醸造法を研究す	研	青森工試	關係職員一同
清酒の洋酒化に関する製造試驗	同	秋田醸試	場員一同
酒粕利用の研究(昭9同場業務報告) 吟醸粕を清酒醪中に添加し醱酵せしめて並酒を優良化せしむ	完	神奈川工試	藤井與次
酒粕利用の研究 酒粕の新用途を發見せんとす	研	同	同
吟醸粕利用試驗 有效成分を多量に含有せるを以て之を清酒醪に利用し有效成分を完全に清酒化せんとす	未	岡山工試	小出治彦
酒造副産物利用に関する研究 酒造上の副産物たる米糠、酒粕等の利用方法を研究す	同	廣島醸試	橋爪陽 西名敏郎
酒造副産物の利用研究 酒粕、糠等の利用研究	同	香川工試	濱政一 山田正清

研究項目	進度	機關	擔當者
フェニール、エチルアルコール有機酸エステルの清酒防腐性の研究	研	和歌山工試	三田村豐 吉田康雄
カプリン酸、フェニールエチルアルコールの清酒防腐力研究(昭9業務報告) 火落菌存在下に於ては両者共に火落を防ぎ得ず僅かに火落を遲滯せしむるのみにて添加に依つて清酒の香味を損ふ故價値少なきものと認む	完	同	三田村豐
清酒用活性炭並に石綿に付て 清酒に用ふる活性炭並に石綿の性狀使用時の注意事項等に付て	研	大藏醸試	山田正一 白井稔
酒の醸造及貯藏用容器及其の處理法に関する研究	同	島根工試	山崎修二
過酸化水素水園桶手入法の研究(昭9.事業成績報告) 園桶手入に1%過酸化水素水を用ふる方法の結果良好なり	完	和歌山工試	三田村豐
園桶外面錫紙張の價値研究(昭9.業務報告) 酒質に影響なきも鉄滅防止の價値は多少あるものと認む	同	同	同
用琺瑯の清酒貯藏に及ぼす影響研究(昭9.業務成績報告) 用琺瑯が清酒貯藏に及ぼす影響を調査せるに清酒に侵されざるも清酒に漆香を添へて結果不良なり	同	同	同
パーチメント紙内張桶の清酒貯藏に及ぼす影響並に其の接着剤の研究(其の一)(昭9.業務報告) 未だ理想的の接着剤を發見し得ず此の問題は接着剤の適良なるものを得ば解決すべし	同	同	同
パーチメント紙接着剤の研究(其の二)	研	同	三田村豐 吉田康雄
瓶詰酒の表裝による成分變化及貯藏性の强弱試驗 表裝の紙質及色によりて起る成分の變化あるや否や、火落に對する影響ありや否や	未	秋田醸試	池見元一
呑切せる際に於ける清酒の移動狀態に付て 呑を切つた際流出する酒は上層の物が早きや下層のものが早きか如何なる狀態に流出するやの試驗	完	同	伊藤敬二
酒造場火災による水質變化影響研究(昭9.事業成績報告) 酒造場火災によつて水質に及ぼす影響は有機物の激增による腐敗なることを認む	同	和歌山工試	三田村豐
アルコールの製造に付て麥芽法麹麴法アミロ法の何れが合理的なりや比較研究 アルコールの製造に関して麥芽法と麹麴法とアミロ法とあり就中アミロ法の優越を說くものありと雖も米を原料とするものゝ外未だ實施せらるゝに至らず果して何れの方法が優越なりやに付ては今にして充分に研究し置くの必要あり (1)菌學的方面より觀たる比較研究 (2)機械設備方面より觀たる比較研究 (3)工業的實施方面より觀たる比較研究	研	內野醸造(關東)	川上七郎右衛門 外二名

研究項目	進度	機關	擔當者
アルコール酢肉付方法試驗(同場報告12號) 麹麺を用ふるアルコール酢肉付仕込試驗	研	廣島醸試	川上藤次郎
アルコール精溜塔の棚板效率に付て (1) 棚板精溜塔の各部分の寸法を變化して效率への影響を實驗す (2) 多少棚板構造を變更して效率への影響を實驗す	同	横濱高工	岡村幸雄
アルコール脱臭試驗 アルコール臭を除くには如何なる方法が良きや	完	秋田醸試	齋藤彌三郎
合成高級アルコールの研究(昭9.10工業化學雜誌) 脂肪酸及其のグリセリドに觸媒の存在に於て高壓水素を作用せしめそれに相當するアルコールを合成する事に關する研究	同	大阪酸水素	上田清五郎
滴定によるアルコール定量法の研究 蒸溜法によらず簡單にアルコール分を滴定測定する方法の研究	研	靜岡醸研	河原常次郎
酸化法に依る清酒中のアルコール並にエキス分定量の新創案 清酒中のアルコールエキス分の定量測定法の新法を創案せんとす	同	京都市工研	矢野勝太郎
燒酎、醬油、味噌の經濟的製造試驗 安價原料の使用によりて生產原價の低減を計らんとす	同	鹿兒島工試	神戸健輔
燒酎製造改良試驗 糖化醱酵の操作を改善し增收を期す	同	北海工試	生原長胤 阿部一郎
燒酎蒸溜方法の改良 清酒粕を原料とする燒酎の香氣を時代の嗜好に適合せしめんとす	同	岡山工試	小出治彦
燒酎(高粱酒)等酒類の原料として滿洲產主要原料高粱玉蜀黍以外の原料應用研究 滿洲國主要農產高粱玉蜀黍は日本內地に於ける米穀の如き食料品的位置を有するものなれば之が騰落は直に大衆農民の生活に大影響を及ぼすものなり故に酒類の原料の如き漸次主要農產物以外の副的農產物或は移入安價原料に仰ぐ可きものなりと考察す現に朝鮮の如きは原料の選擇を自由ならしめて好結果を得しめつゝあり仍て此の点に付次の各項に付研究中なり (1) 高粱玉蜀黍以外の各原料の栽培法收穫成分等の研究 (2) 輸入原料の研究	同	內野醸造(關東)	川上七郎右衛門
甘藷燒酎製造に於ける黑麹米の選定に關する試驗 各種原料を使用し以て製麹の良否、難易の仕込方法品質歩合等を比較研究せんとす	未	鹿兒島工試	神戸健輔
甘藷燒酎に於ける甘藷臭を除去する研究(昭9.業務報告) 在來式蒸溜器の改良により其の目的を達せんとす	研	同	同
各種大麥製麥芽の麥酒の品質に及ぼす影響	同	大日本麥酒	內野倉傳太郎

研究項目	進度	機關	擔當者
滿洲國在來燒酎(所謂高粱酒)とアルコール式燒酎(新式燒酎)との混和法の研究 日本內地の在來國有の燒酎は元來清酒醸造の副產物たる年產617万石內外の酒粕燒酎の類なりき今や年產額50万石の內其の混和せらるゝ純粹酒粕製燒酎は約一割內外に過ぎずして他の45万石內外は主として甘藷等を原料とせるアルコール式燒酎に飲料アルコールとなれり又朝鮮は燒酎の年產額30万石の內約10万石はアルコール式燒酎を供給し居れり要するに其の國の在來燒酎は漸進的にアルコール式燒酎化する經路を有するものなりこれアルコール式燒酎は其の嗜好と衛生と經濟とに於て十二分に現代性を有する一面邦家の財源且非常時の國策(燃料アルコール製造)の一助となればなり、滿洲國目下の高粱酒年額は約40万石なり仍て當所としてはアルコールを如何なる純度と風味に製造し次に其のアルコールを高粱酒と如何なる程度に混和するのが最滿人の嗜好衛生經濟等に適合するかに付て研究中なり	研	內野醸造(關東)	川上七郎右衛門外二名
麥酒の酸に付て 麥酒の各種酸を分離定量せり	完	大日本麥酒	佐治忠實
高粱酒の研究	研	理研	吉村信三
果實酒の研究	完	香川工試	濱政一
果實廢物利用の研究 各種果實の廢物を酒類、食酢等の原料に供せんとす	研	神奈川工試	藤井與次
果實酒製造試驗(昭9同館業務功程報告) 果實の利用と適醸法を求むる目的に於て苺及葡萄果を應用せる普通果實酒と濃强性果實酒の醸造試驗をなす	完	鳥取奬勵館	國枝太策
壓搾酵母製造試驗 甜菜糖蜜を原料とする壓搾及乾燥酵母の製造法	研	北海工試	吉町貞一
葡萄酒中の溷濁性物質の研究(昭9同場業務報告) 葡萄酒の溷濁は醋酸菌なることを確めたり	完	神奈川工試	鹽入英次
林檎酒に關する研究	研	青森工試	絹原健郎
櫻實酒製造に關する研究	同	會津工試	竹內直衛 千葉佐仲
苺酒製造試驗	同	秋田醸試	木瀨與六
トマト酒の製造研究(昭9同場業務報告) 過熟トマトの廢物利用としてトマト酒の製造をなす	完	神奈川工試	藤井與次
2 味噌及醬油			
醬油安價原料の研究 大豆、小麥代用として安價なる原料に付試驗せんとす	研	神奈川工試	藤井與次

研究項目	進度	機關	擔當者
代用原料試驗(同場報告 11, 12 號) 小麥代用に大麥裸用と麩、米糠配用仕込試驗	完	廣島釀試	川上藤次郎
脫脂大豆，小麥代用高粱裸麥等安價原料應用醬油に関する試驗研究(昭 7, 8, 9 同館業務功程報告書) 安價醬油を得る目的に於て脫脂大豆を主原料とし小麥代用として高粱、裸麥、麩及之等を混用せるもの等に付製造試驗をなす	同	鳥取奬勵館	國枝太策
醬油安價原料仕込試驗 大豆小麥代用に櫻豆、大麥、稗等の安價原料を仕込に使用する試驗	研	青森工試	高橋亘理 小山武治
高粱應用醬油釀造試驗 小麥の代用として高粱を使用したる實驗にして而も高粱處理を變更し容易に分解利用せられる如く爲したる試驗なり	同	大藏釀試	松本憲次
醬油原料用食塩に関する研究	同	野田醬油	仲谷一二 藤田義二
塩の苦汁脫除方法試驗(同場報告 12 號) 醬油の脫苦力に関する試驗	完	廣島釀試	川上藤次郎
大豆、小麥分別製麴試釀	未	和歌山工試	三田村豐 堀進
醬油製麴方法に関する試驗 著明なる製麴缺点の製品に及ぼす影響試驗	研	廣島釀試	川上藤次郎
醬油仕込に麩麴使用方法試驗(同場報告 12 號)	同	同	同
製麴方法の改良試驗	同	銚子醬油	萩原昌二 大出晴康
醬油製麴法の改良研究	未	和歌山工試	堀進
醬油種麴の比較試驗(昭 9 業務功程報告書) 各種種麴の醬油品質に及ぼす影響の比較試驗	完	德島工試	井内武夫
醬油麴酵素に関する研究	研	野田醬油	仲谷一二 西保隆
麴菌實地試驗 多數の醬油麴菌中より分解力强力なる菌八種を選び實地試驗す	同	龍野醬油	多田瀞
酵母菌實地試驗 優良なる二種の醬油酵母を選び醬油諸味に添加して試驗せり	同	同	同
麴菌の蛋白分解酸酵に関する研究(同所報告119號) 醬油諸味中に含まるゝ蛋白分解酵素の量を種々なる時期に於て比較定量したり	完	大藏釀試	黒野勘六 瀧澤澄江
醬油仕込に関する研究	研	野田醬油	館野正淳 中田鉦次郎

研究項目	進度	機關	擔當者
醬油酸酵と脂油の関係(同所報告 119 號) (第 5 報)各種飽和脂肪酸のメチル及エチルエスターの醬油防黴性及カプリン酸の種々のエスターの合成及其の防黴性を試驗せり(第 6 報)一般醱酵作用に関與すべき酵母のバクテリア、糸狀菌の繁殖に對するカプリン酸の毒作用を試驗せり	完	大藏釀試	深井多史 小松眞一
酵母添加仕込試驗 優良酵母使用醬油仕込試驗	同	廣島釀試	川上藤次郎
大豆主用醬油仕込及再製仕込試驗(同場報告 12 號) 大豆を主用し味延よき醬油の釀造試驗及之に用ひたる再製醬油仕込試驗	同	同	同
醬油仕込に於ける塩水遲加試驗 諸味の熟成を早からしめんため主醱酵前に於て食塩を加ふ	研	德島工試	井内武夫
加工用水釀造試驗 醬油の色素造成にアンモン塩の影響あるやを試驗せんとするものなり	同	大藏釀試	深井多史
普通醬油釀造法の研究 從來の釀造法による醬油の香味改良に関する研究	同	靜岡釀研	德永要
番醬油の製造に関する試驗 生粕浸出に際し麩麴、酒汁及アミノ酸を利用し消化及醱酵を營まし良好番醬油を得る試驗	完	宮城工試	清水健一
醬油の經濟的釀造に関する試驗 生產原價低減目的にて小麥代用に酒造吟糖、大豆代用にアミノ酸預汁を應用し且細菌類の添加に依り速釀するものなり	研	同	同
醬母應用諸味連用醬油釀造試驗 醬母應用は結果良好なるを以て使用醬母の製造を簡略にする爲醬母應用したる諸味を醬母の代用となす試驗にして第一回試驗は終了したり	同	大藏釀試	松本憲次
玄米使用醬油釀造試驗 玄米を小麥の代用にしたるものにして既に熟成し製成して鑑評したる結果標準に比較し遜色なきを認めたり	完	同	同
水素イオン濃度調節醬油速釀試驗 麴菌の蛋白質分解酵素はアルカリ性に於て作用するもの最强く酸性にて作用するもの之に亜ぐを以て醬油諸味仕込後アルカリを加へて水素イオン 8.0 位に調節し以て蛋白質分解を增進せしめんとす	研	同	黒野勘六
醬油中のコロイドに付て 醬油中に含有する膠質物を分取して其の性狀を極め之と同樣なる物質を製造して合成醬油に利用せんとす	同	同	松本憲次
諸味攪拌に関する研究	同	野田醬油	茂木和三郎 外三名

研究項目	進度	機關	擔當者
土産用味付諸味の研究 市販の味付、諸味の改良研究	未	香川醬試	坂下一三
嫌氣的培養諸味添加試驗 優良細菌類を新諸味に添加して嫌氣的培養を施し其れを醬母(種諸味)として諸味に加用し諸味の熟成を促進せしめ且優良なる製品を醸成せんとす	研	大藏醸試	松本憲次
電熱應用に依る醬油諸味の温醸法に付て 特殊電熱器を適當なる時期に應用して醬油諸味の熟成期間を短縮し且優良なる製品を得る温醸法の研究	完	福岡工試	鳥居嘉夫
櫻豆、大豆の混用醬油醸造試驗	研	德島工試	井内武夫
乳酸菌及酵母菌の實地醬油醸造に應用する研究	未	青森工試	小山武治
アミノ酸製造試驗(同場報告12號) 淡色アミノ酸の製造及蛹を用ひ無臭のアミノ酸製造試驗	完	廣島醸試	川上藤次郎
含糖アミノ酸液の利用に付て 合成醬油製造用及醬油加工用の臭氣なく且粘性を有するアミノ酸液を製造せんとす	研	大藏醸試	松本憲次
アミノ酸添加醬油試醸(其の二)	未	和歌山工試	三田村豐 堀進
淡口仕込試驗(同場報告12號) アスパラギルス、カンヂダス系麹菌使用淡口醬油仕込試驗	完	廣島醸試	川上藤次郎
淡口醬油醸造試驗 淡口用種麹の選定の原料大豆の漂白並に醸造操作に付研究し色澤淡麗にして香味共に優良なる淡口醬油を造らんとす	研	福岡工試	鳥居嘉夫 山根東一 河野芳德
淡口醬油試醸研究(同場試驗報告第28號)	完	香川醬試	坂下一三
アスペルギルス、キャンデダス菌利用淡口醬油研究	研	和歌山工試	三田村豐
淡口醬油の速醸に関する試驗 淡口醬油需要增加に伴ひ之を速醸する目的にて大豆を使用せず小麥麹にて仕込み醪醇中グルタミン酸ソーダの塩水溶液を添加し目的を達せり	完	宮城工試	清水健一
醬油速醸試驗(昭7.醬油醸造試驗報告)	同	青森工試	高橋亘理 小山武治
醬油の速醸に関する試驗 大豆或は櫻豆の使用量を節減し代ふるにアミノ酸及グルタミン酸ソーダを醪醇中添加し短期に良醬油を得る試驗	同	宮城工試	清水健一
再製醬油の速醸に関する試驗 經濟的に且短期に再製醬油を得る目的にて櫻豆、小麥アミノ酸塩水を以て良品を得る試驗	同	同	同
醬油速醸とPH濃度との関係	未	三重醸研	丹羽歌治

研究項目	進度	機關	擔當者
細菌應用加温醬油速醸試驗 本試驗は継續の試驗にして工業的に大量を實施したるものなり	完	大藏醸試	松本憲次
米糠利用の研究 赤白混合米糠の新用途を發見せんとす	研	神奈川工試	藤井與次
米糠利用の研究(昭9同場業務報告) 赤白混合米糠を醬油原料小麥代用とす	完	同	同
白糠應用醬油醸造試驗 酒造米精白の際生ずる白糠を小麥代用に利用する試驗	同	岡山工試	小出治彦
燒酎粕の利用法研究 燒酎粕を原料とし塩酸分解法を以て醬油混和用アミノ酸を製造す	同	山邑酒造	橋本滋雄 鳥居啓二郎
醬油醸造の機械化に関する研究	未	青森工試	高橋亘理 石田彰
醬油醸造方法の改善試驗	研	銚子醬油	萩原昌二 小田信豐 大野
醬油加工法の研究 醬油の粘稠性其の他を研究し加工劑料の適否試驗	同	香川醬試	坂下一三
醬油調味料に関する試驗研究 適切なる醬油調味加工劑を得る目的に於て脱脂大豆、魚類、海草類、米糠雜穀類等を利用し化學調味の製造試驗を行はんとするにあり	未	鳥取奬勵館	
醬油加工用甘草處理法試驗 醬油甘味料として甘草精製處理方法の研究	研	岡山工試	鳥屋尾陽一
醬油壓搾に関する研究	未	野田醬油	中田鎌次郎 長谷川敬一
醬油に関する微生物の研究	研	銚子醬油	萩原昌二逞 中山
紫外線を醬油殺菌に利用する研究	未	青森工試	高橋亘理 石田彰
粉末醬油及粉末味噌製造法研究 貯藏携帶に至便にして優良なるものゝ研究	同	靜岡醸研	德永要
乾燥醬油味噌に関する研究 (1)液体乾燥裝置の根本的研究 (イ)小型乾燥器に依る諸試驗 (ロ)現在裝置の改修(ハ)電氣式採集裝置密閉篩、排氣計及空氣濕度調節に関する研究 (2)品質の貯藏性溶解性の研究	完	糧秣本廠	
合成醬油の研究 素質の改良に関する研究	研	靜岡醸研	德永要
合成醬油の研究 大豆蛋白質加水分解物を主体とし糖類其の他を以て短期間に合成醬油を製造する研究	同	香川醬試	村田清淳 木原清雄 佐藤康

研究項目	進度	機關	擔當者
合成醬油製造試驗 蛋白質並に澱粉質を加水分解し醗酵生成物を加へ短期間に醬油を製造する試驗	未	青森工試	高橋亘理 小山武治
薄口醬油合成製造試驗 從來薄口醬油は釀造に依りしが之を化學的に合成せんとす	研	大分工試	石橋善左衛門 稲川昌也
合成醬油の製造法研究 釀造法に依らずして化學的に醬油を合成せんとす	同	鹿兒島化研	福谷君貞
化學醬油製造試驗 アミノ酸と糖化液を主体とする醬油の化學的製造試驗	未	岡山工試	鳥屋尾陽一
半化學式醬油釀造試驗 原料及其の處理法を變更し短期間に安價なる醬油を釀造せしめんとするものにして從來の釀造法に化學的操作を加味したるものなり	研	大藏釀試	深井多史
合成醬油と緩衝作用に付て 種々の醬油成分と其の水素イオン濃度緩衝能力を調査し合成醬油の製造と緩衝作用の関係を究めんとす	同	同	同
合成釀造折衷式醬油の釀造試驗 蛋白原料を酵素或は酸にて分解し醗酵を營ましめ澱粉原料を添加し風味の調和を計る	同	宮城工試	清水健一
醬油、溜の簡易分析法と科學審査法の研究	同	三重釀研	丹羽欽治
サシミ醬油の研究 味極めて濃厚且美味にして而も芳香に富むサシミ醬油の研究	同	福岡工試	鳥居嘉夫
海外輸出向醬油味噌の研究 相當長期間を經るも變敗せず且舶來向なるものゝ研究	未	同	鳥居嘉夫 山根東一
醬油粕利用試驗(同場報告12號) 醬油捨粕再麹化仕込試驗	完	廣島釀試	川上藤次郎
醬油粕利用試驗 醬油粕の殘留成分を一層利用せんとし酸又はアルカリを以て無壓又は加壓の下に於て加水分解を行ふ	研	熊谷釀試	佐武健造
醬油粕利用に関する研究 醬油捨粕を加工し調味料其の他に利用する試驗	未	青森工試	高橋亘理 小山武治
醬油粕の利用法に付て 醬油粕を加水分解して粕製アミノ酸を製造する粕の再利用法研究	研	香川醬試	佐藤康雄
醬油釀造副産物の利用試驗(一部完了)	同	銚子醬油	萩原昌二 横尾忠夫

研究項目	進度	機關	擔當者
醬油釀造廢産物利用試驗(一部完了)	研	銚子醬油	萩原昌二 田中島光治
醬油防黴試驗 市販各種防黴劑の比較試驗を行ひ當業者の參考に資せんとし一定條件の下に於て效力比較試驗を行ふ	同	熊谷釀試	佐武健造
醬油防黴方法の研究	完	銚子醬油	萩原昌二 田中島光治
防腐劑の研究 主として醬油防腐劑の目的にて芥子油オイゲノール紫蘇油又はパラオキシベンゾイックアシッドのエステル類を研究す	同	福山工試	土岡憲二
醬油防黴劑の研究	研	中山化研	大倉大助
醬油防黴劑製造試驗 芥子油を主体とする乳劑製造法試驗	未	岡山工試	鳥屋尾陽一
防黴劑の效力試驗(昭9業務功程報告書) 醬油防黴劑の效力比較試驗	完	德島工試	井内武夫
市販醬油黴止劑效力比較試驗	同	島根工試	山崎修二
醬油着色劑の化學構造に付て 醬油に使用せらるゝ着色劑の化學上に於ける位置を決定し其の製造法を改良せんとするものなり	研	大藏釀試	深井多史
仙台味噌の原料處理方法、仕込温度及仕込方法と酵素作用との関係試驗 釀期短縮の目的にて標題の事項と製品との関係を知らんとす	未	宮城工試	清水健一
米麹の代用として玄米麹を以て味噌を釀造研究 經濟上及榮養上より玄米を以て製麹し味噌を釀造せんとす	研	同	同
種麹菌種選定試驗(昭9同場業務報告) 味噌溜專用種麹菌の選定に當り25種の菌種を分離し純粹に培養して各々其の特性を研究し味噌用種麹菌の種溜用種麹2種を選定せり	完	愛知工試	宮田謙三
味噌製造に細菌類の應用に付て(同所報告119號) 味噌中より分離したる細菌を應用して味噌を製造し其の結果良好なるを認めたり	同	大藏釀試	松本憲次 三橋皓太郎
味噌の細菌類に付て(同所報告119號) 各種味噌中より細菌を分離し形態及生理的性狀の一部を試驗して既に報告を了したり	研	同	松本憲次 青森豐
高温細菌の研究 味噌速釀に利用し得らるゝ高温細菌を分離研究せんとするものなり	同	同	松本憲次
味噌醗酵防止試驗 味噌のアルコール醗酵を防止せんとするものにして種々の醗酵防止劑を試驗す	同	同	深井多史

研究項目	進度	機關	擔當者
脱脂大豆使用味噌仕込試驗 脱脂大豆を製麹し味噌仕込試驗	完	廣島釀試	川上藤次郎
麥味噌仕込試驗(同場報告12號) 麥味噌に米糠配用仕込試驗	同	同	同
酵母添加味噌仕込試驗 優良酵母添加味噌仕込試驗	研	同	同
信州味噌仕込試驗 色淡白にして味良好なる信州味噌を短期間に釀出せしめんとするものなり	同	大藏釀試	深井多史
脱脂大豆味噌の釀造に関する研究 脱脂大豆味噌は普通大豆に比し製品に於て劣れる所あればそれが品質の向上を計らんとす	未	宮城工試	清水健一
酵母添加による速釀味噌製造試驗	研	島根工試	佐伯利男
仙台味噌の速釀に関する試驗 速釀及風味增加の目的にて大豆を製麹し糯米を配用する方法に関する試驗	完	宮城工試	清水健一
安價原料味噌製造試驗(昭9業務報告) 津輕味噌の原價低減の目的を以て白糠を利用し之が製造試驗を行ひたり	研	青森工試	絹原健郎 小山武治
味噌の經濟的釀造に関する試驗 經濟的釀造目的の爲廢物米糠(酒造吟醸糠)及グルタミン酸ソーダを應用す	同	宮城工試	清水健一
甘味噌製造試驗	同	大分工試	石橋善左衛門 稲川昌也
釀造嘗味噌類製造試驗(昭9同館業務功程報告書) 嘗味噌類の適造法を目的とし大豆、裸麥、米等を主原料とし處理法製麹、配合等を異にせる嘗味噌の釀造と蔬菜類等を漬込みたるもの等に付試驗研究す	同	鳥取奬勵館	國枝太策
櫻豆應用赤味噌製造試驗 大豆の一部に櫻豆を應用す	未	德島工試	井内武夫 吉兼利貞
粟味噌仕込の研究 安價原料たる粟を利用して色澤淡麗且香味共に優良なる粟味噌を釀造し白味噌代用に供せんとす	研	福岡工試	鳥居嘉夫
無花果味噌製造研究	完	香川工試	濱政一
仙台味噌の耐熱試驗 輸出目的にて仙台味噌の特徴を失はざる範圍に配合を變更し30°C以上の熱に放置して變質如何を試驗す	研	宮城工試	清水健一

研究項目	進度	機關	擔當者
仙台味噌の甘性化試驗 嗜好の變遷を考へ仙台味噌を少し甘口的にする爲配合方法原料處理方法等を變更し目的を達せんとす	研	宮城工試	清水健一
粉末味噌粉末醬油の製造研究 普通の釀造方法に依らざる製造研究	未	大阪市工研	福本壽一郎
味噌の研究 味噌の成分主として蛋白質分解の進度により釀造法の研究を行ふ	研	三重釀研	丹羽歌治
二分半味噌の研究 愛知縣產二分半味噌に澱粉質原料を配合し色澤を淡白ならしむると同時に甘味を增し大衆味噌に改良せんとする目的に從つて本試驗を施行せんとす	未	愛知工試	宮田謙三
味噌微生物に関する研究	研	野田醬油	茂木正利 吉田茂次

3 澱粉及糖類

研究項目	進度	機關	擔當者
澱粉の研究(日本化學會誌) 本邦產米並に滿洲國產高粱及粟の澱粉の比較研究	研	京大理	小松茂 柏谷義三郎
米澱粉の研究	未	廣島高工	佐藤靜一
馬鈴薯澱粉加工法に関する研究 染織用糊料としての馬鈴薯澱粉加工法	研	北海工試	林公男 佐藤勘之助
馬鈴薯澱粉製造法改良試驗 磨碎澱粉粒の分離乾燥の機械的考案	同	同	佐藤勘之助 林公男 笹本憲治
米粉利用試驗 高度精白に依り生ずる米粉を其の儘澱粉として使用するは不經濟なるを以て他の有效なる方面に使用せんとす	未	大分工試	石橋善左衛門 稲川昌也
麥粉加工品に関する試驗 麥粉製品の品質改善法の研究	研	北海工試	飛鳥晉久
硬質小麥粉の研究 小麥粉の硬軟性と蛋白、澱粉無機塩等の含有成分との関係を闡明せんとす	同	同	吉町貞一 飛鳥晉久
小麥粉質改良に関する研究 漂白及硬度增强に関する化學的處理法の研究	同	同	同
ライ麥製粉法試驗 麥皮分離法	同	同	飛鳥晉久

研究項目	進度	機關	擔當者
高粱の利用 澱粉並に製粉の廢物利用の研究	研	第一工業製藥	吉田初太郎
高粱製粉に関する研究 高粱製粉上技術的難点とする製品の着色細微粉碎の困難等の問題を解決し高粱製粉の工業化に資せんとす精白機の考案及精白方法の研究、微粉碎を容易ならしむべき處理方法、製品の漂白及品位改良法の研究	同	滿鐵中試	山本隆次 木村正二 外一名
高粱より澱粉及飴の製造に関する研究	同	東京工試	松田多龜知
糖類に関する研究 蔗糖中に含有する轉化糖の製品に及ぼす影響	完	廣島工試	山田繁一
製糖に関する研究 結晶及脱色に関する研究	研	東京工大	加藤與五郎 水野滋 相川秀雄
旱魃甘蔗に付て(台灣蔗作研究會報第27卷第7號) 昭和八年臺灣は稀有の旱魃に遭ひ、九年度製糖原料甘蔗に異狀を呈せるもの頗る多し此等異狀甘蔗に付蔗汁の諸性質を調査せり	完	臺灣糖試	鈴木幸三 田邊敏一
糖蜜泡沫の研究 糖蜜中の脂肪の蠟類を抽出し其の起泡力を研究し糖蜜醱酵、糖蜜アルコール蒸溜、糖蜜貯藏中に於ける泡沫現象に對する工業化學的處理法を論ぜんとす	未	臺南高工	久間貫 佐野嚴之添 中陳進
糖汁清淨に関する試驗	同	臺灣糖試	鈴木幸三 平田武次郎
標準糖に関する研究 標準糖の色相と糖度其の他の成分を比較調査し砂糖の品質を區別する標準を定めんとす	同	同	吉田政俊 石井稔
乾燥馬鈴薯を原料とする澱粉糖の製造試驗(昭9業務報告) 乾燥馬鈴薯を利用し之が製造試驗を行ひ醬油甘味料として應用せり	完	青森工試	石田彰 高橋亘理
米糠を原料とする澱粉糖の工業的製造試驗(昭9業務報告) 醬油甘味料としてアミノ酸分解釜を利用し米糠を原料として簡易製造試驗を行ひたり	同	同	石田彰 絹原健郎
耕地白糖の製造(熱帶農學會誌) 最低石灰含量の條件に付て	研	臺北大理農	濱口榮次郎 清水俊秀
耕地白糖の製造に塩素を利用する試驗 塩素の蔗汁清淨作用を利用して耕地白糖を製造する方法の研究	同	臺灣糖試	鈴木幸三 田邊敏一
炭酸清淨白糖製造法の改善	同	臺北大理農	濱口榮次郎
焦糖製造法 澱粉焙燒裝置の設計	同	北海工試	佐藤勘之助 笹本憲治

研究項目	進度	機關	擔當者
香川縣產砂糖の特性に付て 香氣風味に付き研究	未	香川工試	井上正朗
蔗糖結晶粒の成因並に成長に関する試驗 蔗糖の結晶形と糖汁中の不純物特に無機物との関係並に結晶成長に関し最適當せる條件を究めんとす	研	臺灣糖試	鈴木幸三 平田武次郎
紫外線に依る砂糖の螢光に付て(日本學術協會報告第10卷第1號) 紫外線に依て砂糖が螢光を發する原因に付試驗せり	完	同	鈴木幸三
甘蔗糖色素に関する研究(一部完了)(工業化學雜誌、日本學術協會報告第10卷、同校學術報告第1號) 病害を受けたる甘蔗及健全なるものより色素物質を抽出して其の性狀を精査し次に蔗汁中の夾雜物並に糖類のフミン化を行ひ其の生成物の性狀に付論究し更に糖蜜中の色素物質を單離して之が攻究を遂げ尙引續き研究中なり、從來甘蔗糖色素に関しては系統的研究甚だ少く而も概ね色度の强弱研究に重点を置きたるに對し本研究は色素の本質を探究し以て製糖作業中有害なる色素と然らざるものとに大別するを旨とす	研	臺南高工	佐久間巖 吉瀨五十
臺灣產原料糖の灰分電導度係數に付て(日本學術協會報告第10卷) 製糖工業の化學的管理に當り速に灰分含量の測定を行ふは最重要なる事項の一なり、近時含有灰分を重量法に依らず其の溶液の電導度を測定し之より算出する方法は各所に於て研究せられつゝあるも、臺灣に於ては未だ斯かる研究なし、玆に於て本島原料糖を試料として之が攻究を行ひたり	完	同	竹上四郎 但馬雅夫
蔗汁の水素イオン濃度測定法に関する試驗 蔗汁清淨作業は主として其の水素イオン濃度の測定に依り調節せらるゝを以て蔗汁の水素イオン濃度を簡易に測定する裝置を考案せんとす	研	臺灣糖試	鈴木幸三 見城守衛

4 食塩

研究項目	進度	機關	擔當者
各種濃度の鹹水の蒸發試驗(同場報告第1號) 關東州に於ける同時間内の濃度の相違による蒸發量の差異を知らんとす	研	關東鹽試	松田信吉 武田晴彦 外二名
海水濃度の干滿に依る變化調査試驗 晴天連續の後及降雨後の場合に於て塩田に海水導入上の資とすべく塩田沿岸に於ける海水の干滿に依る比重變移狀況を調査するもとす	同	專賣三田尻試	水上清 鹽田春太郎
撒潮の時期と附着塩分量との関係試驗 採鹹連續したる場合は塩分の附着不良となる傾向ありかゝる際適當に撒潮をなし塩の附着を良好ならしめんとするにあり	同	同	水上清 岡村忠雄

研究項目	進度	機關	擔當者
鹹水の物理的性質に付て 鹹水の物理的性質は直接製塩に関係あるを以て之を調べんとす	研	關東鹽試	吉田信夫 松川一純 市島貫一
鹹水自然輸送裝置と鹹水の濃度とに関する調査試験 鹹水自然輸送裝置の在來汲取法に比し採收する鹹水が稀薄となる傾向あるを以て之を防止せんとするにあり	完	專賣三田尻試	清水上堂 茂林
エタニットパイプ對各種塩液作用影響調査試験 エタニットパイプの製塩裝置使用上の參考資料を得る爲海水鹹水苦汁に對する作用影響に付き試驗研究をなす	同	同	久保田美壽雄 福田松雄 吉武幾甫
採鹹採塩試験 單位面積に於ける海水使用量他和鹹水生産量塩生産量を調査し塩田構造に資せんとす	研	關東鹽試	吉田信彦 武田晴
凍結採鹹に関する試験(第一報)(同場試驗報告第3號) 関東州冬季に於ける低温を利用し海水鹹水中に於ける水分を凍結せしめ濃厚鹹水を得る試驗	完	同	吉田信夫 松川一 市川貫
階段式凍結採鹹試驗 冬季塩田に於て海水鹹水中の水のみを凍結せしめ濃厚なる鹹水を採收する試驗	研	同	吉田信夫 松川一純 市島貫
稀薄鹹水採收と濃厚鹹水採收とに依る塩業經濟比較試驗 近時塩業の工業化並に鹹水の天日濃縮裝置の進歩著しく爲に塩田より採收する鹹水の經濟的濃度を移動する現況にあるを以て濃淡二樣の鹹水を採收し之が經濟関係を明にせんとするにあり	同	專賣三田尻試	久保田美壽雄 清水上
海水濃縮試驗 塩酸を以て中和せる海水を亜鉛を附設せる加壓式製塩裝置により濃縮しスケールの附着を防止せんとするにあり	完	同	久保田美壽雄 三浦一 外二名
天日濃縮に関する試驗 塩田より採收したる鹹水を形狀を異にする各種裝置に依り天日を以て濃縮し燃料の節約を計らんとするにあり	未	同	清水上 鹽田春太郎
電動力に依る海水濃縮に関する試驗 塩田を使用することなく電動力に依り自動的に海水を噴射せしめ日光及風力に依り濃縮せんとする電動海水濃縮機に依り海水より直接鹹水を得んとするにあり	研	同	清水上 大庭雅彦
鐵酸法に依るスケール附着防止海水濃縮試驗 工業用塩酸を以て中和せる海水をアルミニウムを附置せる加壓式製塩裝置により濃縮しスケールの附着防止及生産が其の他に付き試驗調査す	同	同	久保田美壽雄 野口美代次 外二名
藻垂濃度と採收鹹水の濃度並に容量等に関する試驗 海水對藻垂の割合一定なる場合藻垂濃度が鹹水濃度に及ぼす関係を知り斯業の參考に資するにあり	完	同	清水上 雄岡村忠

研究項目	進度	機關	擔當者
階段式天日濃縮台試驗(昭9塩業試驗成績報告書) 鹹水の濃縮に對し平天日濃縮台との比較試驗	完	德島工試	平岡勇三
海水鹹水の精製試驗 塩田に於て消石灰を使用しマグネシウムを除去し炭酸ソーダ製造用鹹水を得んとする試驗	同	關東鹽試(旅順)	松田信吉 末松勝三
蓚酸ソーダ使用海水精製に関する試驗 海水精製石灰除去上に関する具体的研究をなす爲蓚酸ソーダ使用に関し實地的作業上の準備的試驗をなす	同	專賣三田尻試	久保田美壽雄 吉武幾甫 外二名
蓚酸ソーダによる海水精製並に製塩試驗 工業用蓚酸ソーダにより海水を精製處理し製塩を行ひ海水濃縮製塩の資に供せんとす	未	同	久保田美壽雄 野口武 吉武幾甫
鹹水濾過材料第五回試驗 鹹水の濾過、脱色の程度は塩の色相及品質に影響するところ多きを以て骨炭を濾過材料として其の效力に付き試驗す	完	同	野口武 加藤光雄 小川通
鹹水濾過材料第六回試驗 第五回試驗同樣骨炭の有效限度に付き試驗す	研	同	岡克貞治 河内式 小川通
沼井浸出材料に関する試驗 沼井浸出材料の適否は鹹水の性質、色相及生産高に及ぼす差異著しきものあるを以て在來萱藺を使用せるを竹製と改め其の優劣を試驗するにあり	同	同	水上清 林堂茂
海水の水素イオン濃度差異による鉄材等に對する作用影響分析試驗 海水濃縮製塩上の參考資料を得る爲海水の水素イオン濃度の差異による軟鋼板の作用影響等に付き分析試驗をなす	同	同	久保田美壽雄 吉武幾甫 福田松雄
塩田より生産されたる各種濃度の鹹水成分調査試驗 各濃度の成分を調査し濃度上昇に伴ふ各成分を調べんとす	同	關東鹽試	松田信吉 市川一 外二名
各季節に於ける採收鹹水含有成分比較試驗 各季節に於ける塩田生産鹹水の品質優劣を研究する爲春、夏、秋三季節に於ける各潤生産鹹水を採收の上分析試驗をなす	完	專賣三田尻試	福田松雄 横山晋一 吉武幾甫
塩主要産地に於ける滿潮時海水含有成分比較試驗 將來海水濃縮製塩上等の參考資料を得る爲主要産地に渉る海水に付き分析試驗研究をなす	同	同	同
滿潮の際に於ける潮先海水含有成分比較試驗 滿潮時潮先海水の濃淡分布狀態等を研究する爲滿潮の際灣內の海水を一定時刻毎に採取の上分析試驗をなす	同	同	同
硫酸基除去鹹水精製に関する分析試驗 鹹水中の硫酸基を經濟的有利に除去する爲消石灰及塩化バリウムの併用に関し分析試驗研究をなす	研	同	同

研究項目	進度	機關	擔當者
砂面よりの蒸發に関する研究(第1報) 本報に於ては主として内地塩田土壌の理化學的性質に付き記述せり	完	專賣中研	福永範一 藤貫清 外二名
砂面よりの蒸發に関する研究 塩田製塩の參考に資すべく砂面よりの水の蒸發に関し試驗中なり	研	同	同
各地塩田撒砂の物理的性質第二次試驗 塩田に使用する各地撒砂に付保水量比重等を知り撒砂選定の資に供せんとす	未	專賣三田尻試	水上清 勝山福彦
各地塩田撒砂の物理的性質第一次試驗 各地塩田撒砂の物理的性質を試驗し撒砂選定上の資に供するにあり第一次粒同調査第二次比重保水量汲引力等を試驗せり	完	同	同
撒砂の粒徑と蒸發量其の他保水量等に関する試驗 撒砂を粒徑別に數種採收し其の蒸發量保水量等の関係を試驗し撒砂選定の資に供するにあり	同	同	水上清 鹽田春太郎
爬砂度數增加試驗 塩分の附着する工程は日没頃最高となり日出前最低となるを以て夜間降下を始むる頃を見爬砂を行ひ其の降下防止をなし塩の增收を計らんとす	研	同	同
地盤漏洩試驗 各濃度鹹水の漏洩量を調べんとする試驗	同	關東鹽試	松田信吉 市川一夫
塩田地盤の構成と附着塩分量との関係試驗 塩田地盤の構成如何に依りて撒砂塩分の附着する度を異にするを以て總水道地盤に改造し材料を川砂又は石炭殼等を使用し且表土の厚さを異にする地盤に付き附着塩分量の如何を試驗するものなり	同	專賣三田尻試	水上清 勝山福彦
雜用地利用試驗 優良安價なる食塩の生産を目的とし、塩田附近の各種の不毛地等を利用して製塩用鹹水を安價に生産す	未	臺灣專賣局	永美益夫 小松重哉
製塩稼業面積擴大試驗 優良安價なる天日塩の生産を目的とし現在塩田二副（一副は一甲三分）を一單位とし勞力を按配し一副稼業の過剩勞力を利用す	研	同	永美益夫 小松重哉
塩田淡水排除試驗 淡水湧出の部分に井戸を設備しポンプ吸引により淡水排除を行ふ試驗	未	德島工試	平岡勇三
休止塩田と溝潮との関係試驗 作業休止期間と雖も溝潮の取拔を最盛期同樣なすものと然らざるものとの塩生産力に及ぼす影響を知るにあり	完	專賣三田尻試	水上清 岡村忠雄

研究項目	進度	機關	擔當者
製塩裝置に関する研究 加熟面積を擴大すると共に被熟液の循環を促進する蒸發器を考案し試驗中なるが傳熟良好なり	研	專賣中研	北浦重之 福永範一 外三名
民間機械製塩裝置の各生産塩其の他成分比較試驗 機械製塩改良指導上の具体的參考資料を得る爲民間各種機械製塩裝置の生産塩等に付分析試驗をなす	同	專賣三田尻試	吉武幾甫 福田松壽 高岡靖
温め釜及結晶釜に関する試驗 ＳＴ式平釜製塩裝置に於ける温め釜及結晶釜を特殊なるものに改善し燃料の節約及生産力の增大を計らんとす	未	同	野口三代次 小川通 河内貞弍
濃厚鹹水煎熬試驗 塩田に於て濃厚鹹水を採收し之をＳＴ式製塩裝置により煎熬し燃料の節約を計らんとす	完	同	同
製塩に関する研究 副産物を有利に製する方法を研究す	研	東京工大	加藤與五郎 相川秀雄
眞空製塩試驗 優良安價なる食塩の生産を目的とし塩田生産鹹水を使用し熟帶地に於ける三罐併立眞空罐の成績を調査す、十年度より設備を民間に貸下之を行ふ	同	臺灣專賣局	永美益夫 山田貢
在來式天日製塩法 関東州に於ける在來の方法により塩を生産し他の各種の方法と利益得失に付比較研究せんとす	同	關東鹽試	松田信吉 武田晴彦
大規模天日製塩試驗 優良安價なる天日塩の生産を目的とし現在塩田五副（一副は一甲三分）を一單位とし動力揚水に依り勞力を經濟的に利用す	未	臺灣專賣局	永美益夫 山田貢 小松重哉
撒砂法應用天日製塩試驗 天日塩田蒸發池の一部に細砂を撒布し能率を高めんとす	研	關東鹽試	松田信吉 佐波善勇
改良ＳＴ式第四回製塩試驗 簡易なる中規模合同機械製塩裝置にして塩田生産鹹水により製塩を行ひ生産費の節約を計らんとするにあり	完	專賣三田尻試	野口三代次 野口武 河内貞弍
改良ＳＴ式第五回製塩試驗 第四回試驗同樣にして熟風裝置、苦汁放冷槽其の他改善による試驗なり	未	同	野口三代次 岡克治 加藤光雄
蒸氣利用ＳＴ式第九回及第十回製塩試驗 簡易なる中規模合同機械製塩裝置にして塩田生産鹹水により製塩を行ひ生産費の節約を計らんとするにあり	完	同	野口三代次 岡克治 小川通
蒸氣利用ＳＴ式第十一回製塩試驗 第十回試驗同樣にして濃厚及稀薄鹹水による經濟的関係を調査す	研	同	野口三代次 野口武 岡克治

研究項目	進度	機關	擔當者
改良眞空式第四回製塩試驗 三重效用眞空罐に加熱罐及蒸發罐を連結し塩田生產鹹水により製塩を行ひ蒸氣を四重及五重に利用し燃料及勞力の節約を計らんとするにあり	完	專賣三田尻試	久保田美壽雄 野口三代次 野口武
改良眞空式第五回製塩試驗 第四回試驗同樣にして循環ポンプスケール除去設備其の他改善に依る試驗なり	未	同	久保田美壽雄 野口三代次 岡克治
蒸氣プレスを應用せる第七回製塩試驗 塩田生產鹹水を濃縮製塩し其の蒸發蒸氣を蒸氣プレスにより壓縮し熱源に供し燃料の節約を計らんとするにあり	完	同	安藤兵藏 野口三代次 末松五三郎
蒸氣プレスを應用せる第八回製塩試驗 第七回試驗同樣にして蒸氣プレス油分離機スケール除去設備其の他改善による試驗なり	未	同	安藤兵藏 野口三代次 野口武
木盤製塩試驗 結晶池を木盤として採塩量採塩の品質等を調査し經濟的諸條件を比較研究せんとす	研	關東鹽試	松田信吉 田村光顯
竈及空氣豫熱裝置に関する製塩試驗 在來ＳＴ式製塩裝置の竈を改善し之に空氣豫熱裝置を附設し燃料の節約を計らんとす	未	專賣三田尻試	野口三代次 加藤光雄 千田久
洗滌採塩試驗 塩田より直接生產さるゝ原塩を品位を高むる目的を以て鹹水其の他を使用洗滌する試驗	研	關東鹽試	松田信一吉夫 市川名 外二
長期結晶製塩試驗 結晶を可及的長日に亘りて累積せしめて採塩を行ひ塩質勞力生產量等を比較研究せんとす	同	同	松田信晴吉彦 武田名 外一
集中式塩田による製塩試驗 蒸發池と結晶池を分離し規模大なる塩田を築造し管理經營作業生產經費等の点を在來式塩田と比較せんとす	同	同	松田信吉 加藤良亮
鹹水分割製塩試驗 新舊鹹水を混合せず新鹹水のみにより且比重により三種に區分して各生產塩に付塩質生產等を比較研究せんとす	同	同	松田信晴吉彦 武田名 外二
硫酸マグネシウムによるスケール附着防止製塩試驗 塩田生產鹹水を硫酸マグネシウムにより處理しＳＴ式平釜製塩裝置に於て製塩を行ひスケールの附着を防止せんとす	未	專賣三田尻試	野口幾武 吉武甫 小川通
鑛石鋤込特殊塩製造試驗 第二蒸溜池に硫化鉄とマンガン鋼を鋤込み特殊塩を生產せんとす	研	關東鹽試	松田信光吉顯 田村
冬季一等塩製造試驗 普通冬季一等塩の製造は經濟的ならざるを以て經濟的の方法により試驗をなす	未	德島工試	平岡勇三

研究項目	進度	機關	擔當者
製塩竈燃燒機手焚比較試驗(昭9塩業試驗成績報告書) 從來の手焚と數種の下方給炭燃燒機使用の場合の燃料經濟得失に関する試驗	完	德島工試	平岡勇三
蒸氣利用ＳＴ式製塩煎熬經過中含有成分變化分析試驗 該製塩裝置に於ける製塩改良上の參考等に供する爲煎熬經過中に於ける含有成分變移につき分析試驗をなす	未	專賣三田尻試	吉武幾甫 福田松雄 高岡靖
天日製塩製造工程に於ける成分變移分析試驗 天日自然蒸發濃縮の際の成分變移を系統的に知る爲海水より生產塩及苦汁に至る各行程の資料に付き分析試驗をなす	研	同	久保田美壽雄 吉武幾甫 外二名
塩汁の脫臭及利用試驗	同	秋田釀試	木瀨興六
食塩精製に関する研究 純塩の簡易製造法	同	北海工試	大宅八十松 關場重房
向島眞空式再製塩乾燥後精製塩各成分比較試驗 眞空式製塩裝置各生產塩の品質に付比較研究する爲各行程に於ける各種塩に付き分析試驗をなす	同	專賣三田尻試	吉武幾甫一 横山晉雄 福田松
塩の色相に関する研究(同所研究報告第59號) 新に考案せる光電管式色相測定法に付說明す以上の方法により內地收納販賣塩の白量を測定せるものなり	完	專賣中研	藤貫清 福永範一
內外塩の品質調査 內地及外國產塩の品質を調査するものなり	研	同	島田浦 吉村甚吉
塩藏に関する研究 使用塩の品質が塩藏物に如何なる影響を與ふるかを研究せんとするものなり	同	同	福永範一
野積塩缺減量調査試驗 塩種塩量塩蓋種類天候期間等による自然缺減量を調査し貯塩法の參考に資せんとす	同	關東鹽試	松田信吉 武田晴彦 外一名
塩の包裝に関する研究 塩の包裝材料として適當なるものを得べく研究中なり	同	專賣中研	島田浦
三試式自然輸送裝置の研究 從來沼井の前壺を全廢し撒砂面積の增大を計り鹹水の自然輸送並に海水及藻乘の自然注入等に依り勞力の節約をなす塩の增產と生產費を低減せんとするにあり	同	專賣三田尻試	久保田美壽雄 水上清

5 罐詰

研究項目	進度	機關	擔當者
各種獸肉罐詰の研究 戰時資源擴張の外製法の研究	研	宇品糧秣支廠	下間秀雄 內山武夫

研究項目	進度	機關	擔當者
魚類トマト漬罐詰製造試験 歐米及南洋輸出を目的とする鰮、鯖及鰯等を原料とし此等魚肉の脱水法及殺菌加熟を施すも變色せざるトマトピュレーの製造法に付研究中	研	農林水試	木村金太郎 熊倉悟
鯖油漬罐詰に関する研究(昭8.6同所研究報告) 油と鯖油漬の熟成に付研究	同	農林水講	深山義道 川口武男 猿谷九万
鮪、鰹ペースト罐詰製造試験 歐米輸出を目的とする鮪、鰹を原料とし殺菌加熟を施すも其の肉質の伸展力を失はざる方法に付研究中	同	農林水試	木村金太郎 尾谷茂
鯖油漬罐詰製造試験 歐米輸出を目的とする大鯖及小鯖を用ひ血合肉を分離するの經濟的方法を研究中	同	同	同
鰮油漬罐詰製造試験 歐米輸出を目的とする骨を除き油煠工程を省略し且罐の内面に耐酸塗料を施し外國性に劣らざる優良なる製品を得んとす	同	同	木村金太郎 熊倉悟
鰮共油油漬罐詰製造試験 歐米輸出を目的とする鰮より食用に供し得べき優良なる油を採取し之を用ひ油漬罐詰を製せんとす	同	同	木村金太郎 熊倉悟 江原勇藏
蟹罐詰ブルーミート防止試験 ブルーミートの起因探索及防止方法の研究を目的とし近海産ガザミ肉を材料として肉質の新鮮度に依る青斑生否の如何に付研究中及防止對策として琥珀酸及其の同族列の如き有機酸添加に依る肉質の酸性保持に付試驗中	同	同	山田紀作
牡蠣油漬罐詰製造試験 本罐詰は相當高熱に殺菌するも牡蠣体内に含有する細菌の爲に膨脹を來すが故に此の細菌の性狀に付研究中、尚牡蠣肉色の惡變化及香氣の消失等を防ぐべき罐詰方法をも研究中なり	同	同	木村金太郎 熊倉悟 天野慶之
柿罐詰製造方法 柿を青果に近き狀態にて長期保存に耐へしむる爲各種の藥品にて化學的に處理す	同	廣島工試	林秀美
桃李及洋梨の罐詰製造試験	未	岡山工試	高木數太郎
蜜柑罐詰液汁白濁防止方法の研究 酒石酸ソーダ、枸橼酸ソーダ溶液に浸漬して防止す	完	廣島工試	林秀美
軍用罐詰變化の原因に関する研究 製造並に貯藏中に於ける變化を研究す	同	宇品糧秣支廠	下間秀雄 長竹貞行
罐詰打檢法の本質に付て 打檢音の音響學的分析並に罐詰振動の研究	研	農林水講	岡田光世
罐詰眞空度測定法 罐蓋の彈性的撓に依る眞空度測定法の研究	同	同	富桝建造

研究項目	進度	機關	擔當者
罐詰卷締抵抗に付て 罐詰卷締に際しての抵抗の力學的機構の研究	研	農林水講	富桝建造
ゴム球利用食物長期保存試験 ブリキ代用を目的としゴム球内にゴムと共に伸縮し得る耐酸耐脂、耐熱の塗料を塗り内に食物を詰め糸にて括り殺菌加熟を加ふる方法に付研究中	同	農林水試	木村金太郎 熊倉悟

6 其の他

研究項目	進度	機關	擔當者
煙草醗酵に関する研究 原料葉煙草の熟成を促進して短日月にて使用し得るものとする方法	研	專賣中研	北浦重之 塚田秀男 外二名
ニコチン減少煙草製品に関する研究 ニコチン含量僅少なる煙草製品を製造する方法	同	同	仁尾正義 福島好郎
煙草の吸濕性に関する研究 (1)熱乾式による煙草水分測定に付て (2)塩化コバルト簡易水分測定に付て (3)両切紙卷煙草製造に於ける加香グリセリンの保濕に及ぼす效果に付て	完	同	千藤政男 仁尾正義 外二名
煙草の物理的性質に関する研究 煙草製造原料並に材料の物理的性質を求めんとす	研	同	藤貫清
煙草中のニコチンに関する研究 葉煙草中ニコチンの測定	同	同	千藤政男
煙草燃燒に関する研究 (1)煙中のニコチン測定に付て (2)煙中の一酸化炭素に付て	完	同	千藤政男 福島好郎
煙草燃燒に関する研究 煙草の煙の水素イオン濃度に付て	研	同	福島好郎
本邦産葉煙草の化學的成分に関する研究 (第6報)(同所研究報告第58號) 葉煙草の成分と濕潤作業の難易に付き研究せるものなり	完	同	新井場清
煙草成分と灰の固結性に関する研究 喫煙の際紙卷煙草の灰が脱落する原因を探求し此の性質を改善せんとす	研	同	塚田秀男
煙草原料貯藏に関する研究 開放簡易倉庫中に於ける煙草貯藏試験	同	同	仁尾正義 千藤政男
煙草副産物の利用に関する研究 中骨並に藏柄短骨の利用方法に付て	同	同	田中益美

研究項目	進度	機關	擔當者
煙草製造用材料品に関する研究 (1)包裝用材料品に付て (2)両切煙草卷上機用糊に付て (3)包裝用材料品錫箔の物理的檢査法に付て	研	專賣中研	仁尾正義 境實 藤貫清
綠茶の成分に付て	同	理研	辻村みちよ
綠茶香氣の成分に付て	同	同	武居三吉
綠茶の香の研究(同所彙報第13輯第12號) 綠茶精油中の酸性分質に付て	完	同	武居三吉 酒戸彌二郎 大野稔
玄米モヤシの研究(航空事情主計團記事) 極寒地及不毛地作戰の場合最懸念せらるゝビタミンC補給上玄米を以てするモヤシの研究	同	糧秣本廠	
米胚芽の成分に付て	研	理研	金良瑕
米麥搗精貯藏に関する研究 (1) 混無砂搗精米、精麥の理化學的、經濟的、食味的綜合の比較研究 (2)米搗精法比較選擇研究 (3)穀貯藏力保存食味貯藏に及ぼす影響研究	同	糧秣本廠	阿久津正藏
各種秋田縣產米の成分比較試驗	完	秋田醸試	花岡正庸
米澱粉特に米飯のコロイド化學的研究	研	理研	櫻田一郎
小麥胚芽の成分研究	同	同	市場彰芳
滿洲產雜穀類の利用法に関する廣汎なる研究(糧友) 戰時の食糧不足を緩和し及戰場現地の物資利用を容易にする爲滿州に產する尨大なる雜穀類を日本人の食用に適する如き利用法を研究し之が軍隊及地方普及を圖る	同	糧秣本廠	
各種穀物のヂアスターゼの比較に付て	同	大日本麥酒	西村資治 三木恭平
米糠及醬油の油中の成分並に其の利用法に付て	同	理研	鈴木梅太郎 島本鶴造
手延製素麵の油吹及塩吹防除の試驗 手延製素麵は厄上りを了ずるまで貯藏する要あり此の間油吹及塩吹等の異狀品を生ずるが故に之等を防ぐ方法に付研究し食塩、油、溫度、濕度が如何に影響するかを試驗す	同	岡山工試	橋本鍋太郎 高本數太郎
素麵中の塩分簡易檢定法の研究(昭9同場業務成績報告) 素麵中の食塩分を檢定する簡易法を究め之に依り不良品の取締を容易ならしめたり	完	神戸工試	小谷孝治
生麩製造收穫量と使用水PHの関係研究 生麩製造收穫には使用水に大なる関係あるを以て之が研究をなさんとす	研	神奈川工試	野村平四郎
大豆の研究(日本化學會誌) 朝鮮產大豆の脂肪、蛋白質及其の糖類に付研究	同	京大理	小松茂 久保亮一 外七名

研究項目	進度	機關	擔當者
納豆の研究(昭9同場業務報告) 納豆菌の利用に関し研究す	完	神奈川工試	野村平四郎
凍豆腐膨軟に関する試驗 凍豆腐の膨脹度が其の實調理液の如何なる水素イオン濃度に於て適當なるやを試驗せるものなり	同	奈良工試	玉木昌雄
歐洲向大豆粉粕の變質原因調査 大豆粕を歐州に輸送中印度洋通過の際黑變するものあり之が原因探求防止對策を講ぜんとし黑變化粕に付其の變質狀況を調査し發熱に及ぼす諸條件の影響の檢索並に細菌學的研究より變質惹起の過程に付研究中	研	滿鐵中試	福留廣
果精に関する研究	同	理研	新井勝五郎
乾果製造研究 各種果實の乾果製造	同	神奈川工試	鹽入英次
柑橘加工試驗(昭9業務功程報告書) 蜜柑等の果粒纏詰の汁液の混濁を防止する試驗	完	德島工試	馬場進
蜜柑外皮利用法の研究 廢物蜜柑外皮を利用粉碎して除虫菊線香の混合物及化學處理に依り炭化して脫色炭となしたり	同	廣島工試	林良利
乾燥林檎の製造研究(昭8同場業務報告) 酸性亞硫酸ソーダ液浸漬法により好成績を得たり	同	神奈川工試	鹽入英次
落下林檎の利用に関する研究 關東州内の林檎の生產は年々增加の傾向にあり而して落下林檎は全生產量の約三分の一を占むるを以て之が利用を講ぜんとす	研	滿鐵中試	六所文三 福留廣
苺汁の貯藏方法の研究(一部完了)(醸造學雜誌第13卷第8號) 天然苺汁に發性する微生物の繁殖抑壓方法に付て實驗す	同	大阪市工研	福本壽一郎
乾野菜の研究 (1)乾野菜製造指導要領の決定 (2)乾野菜の貯性に関する研究 (3)壓搾乾野菜の研究 (4)膨脹乾野菜の研究 (5)着色劑に関する研究	完	糧秣本廠	橋本英二
野菜果實等の乾燥品製造試驗 食用野菜果實の保存貯藏を簡易ならしむる試驗	未	德島工試	平岡勇三
野菜乾燥製品原色保存試驗(昭9業務功程報告書) 野菜は主として里芋纖維の乾燥に付試驗せり	完	同	馬場進
寒天の製造に関する研究 京阪神地の氣候に於て未晒原藻を直接煮熟して寒天を製造する方法を研究し寒天の製造原價を著しく低下せしめ得たり	同	大阪市工研	山崎金五郎 高田重之

研究項目	進度	機關	擔當者
寒天の製造に関する研究 原藻の灰汁拔方法、寒天の品質鑑定等に関する研究	研	大阪市工研	山崎金五郎 高田重之
央草晒白試驗(昭9業務功程報告) 變色せざる純白寒天試驗	完	青森工試	久米隆二
黒胡椒より白胡椒の製造研究 黒胡椒の果被を去り白胡椒を製造せんとす	研	神奈川工試	鹽入英次
柿澁製造の比較研究(昭9事業成績報告) 柿澁製造を種々比較研究せる結果採取後直に其の儘搾り即ち後番を仕込む法が最良なり	完	和歌山工試	三田村豐
牛肉簡易加工法に関する研究 運送用として保存並に嗜好に適する加工法の研究	未	宇品糧秣支廠	下間秀雄 内山武夫
コーンドビーフ製造試驗 牛肉よりコーンドビーフの製造法	研	北海工試	佐藤勘之助 丸田一郎
乳製品に関する研究 粉乳特にミルクフードの榮養價と其の製造方法に関する研究	同	大阪市工研	福本壽一郎 下村宏
北海道産牛酪脂肪の理化學性に及ぼす地方的並に季節的影響	同	北海道酪聯	佐藤立傳 鈴木四名 外
北海道産牛乳の成分調査	同	同	同
牛酪中の微生物に関する研究	同	同	同
乳酸菌の利用に付て 有用乳酸菌を摘出培養し諸味の熟成を順調ならしむる研究	同	香川醬試	川野義男
脱脂乳利用の研究 脱脂牛乳より乳酒の製造をなさんとす	同	神奈川工試	野村平四郎
脱脂牛乳利用法の研究(昭9同場業務報告) 食用カゼインの製造をなす	完	同	同
煉乳の保存力風味に付て	研	新田帶革	森田宣雄
牛脂代用品及食用油脂製造法の研究 魚油或は動植物油を原料として牛脂に代用し得べき石鹼原料及食用油脂を得んとす	同	ベルベット石鹼	
人造バターの研究	同	理研	大堀俊雄
鱈蛹及サナギ油の食糧企畫に付て	同	郡是製絲(理研)	奥正巳 山本孝三
微生物食糧化企畫(醸造學雜誌一部發表) ビタミンD源としての麹菌の研究	同	阪大工	高田亮平

研究項目	進度	機關	擔當者
水産動物の酵素の研究 水産動物の酵素の性質並に之を貯藏及加工に利用す	研	農林水講	大谷武夫 島田清
食用魚粉の研究 生魚若くは乾魚より加工魚粉の製造	同	北海工試	辻太郎 玉本隆之
鮮魚性魚粉 魚粉を乾燥粉末とし之に鮮肉性を保持せしむることを目的とし低溫迅速乾燥を行ふことに依りて之を實施せんとす	同	東京工大	田丸節郎 外一名
鮮肉性魚粉製造試驗 生魚肉を破碎擂潰し適量の水を加へて流動性を與へたるものを高速度回轉盤上に落下せしめ回轉盤の遠心力によりて微細なる霧狀となし之に熱風を遭遇せしめて迅速に乾燥を行ふと同時に乾燥溫度を比較的低溫に保ち以て生肉蛋白質の凝固を防止す	同	農林水試	平野弘
魚粕脱脂法の研究 魚粕の脱脂及乾燥により優級魚糧を製造せんとす	同	北海工試	辻太郎 玉本隆之
魚類内臓魚骨利用試驗 魚類内臓中の有效成分を變質せしむることなく抽出し得べき試藥及抽出狀況に関する試驗並に魚骨より可塑物を得るに要する化學處理及適當なる配合劑の選定に付研究中	同	農林水試	右田正男 山下利得 外二名
水産物冷凍試驗 鮮度高き冷凍品を得べき方法の案出を目的とし低溫に冷却せられたる鹹水或は液化二酸化炭素により水産物を急速に冷凍し冷凍速度、冷凍品の品質に付試驗す	同	同	源生一太郎 橋本鶴夫
乾燥の物理的研究 魚肉の乾燥の機構研究	同	農林水講	岡田光世
魚糧の研究 魚糧の製造方法並に貯藏中に於ける物理化學的研究	同	同	松生義勝
塩乾魚の脂肪と貯藏方法に付て 塩乾魚製品の變質原因及其の防止方法の研究	同	同	深山義道 猿谷九万
鰹燻製品製造試驗 燻製方法及貯藏方法に付研究せんとす	未	農林水試	木村金太郎 谷川英一 尾谷茂
鰮利用節代用品製造試驗 鰮を用ひて鰹節代用品を製造せんとし鰮其の他の魚肉の搗肉を造り之に鰮其の他の魚粉末を混和し一定の形とし煮熟後酵素の作用を與へ除々に火乾を主として乾燥せしむ	研	同	山本祥吉 増田興
牡蠣冷凍試驗 牡蠣の自己分解を防ぐべき處理を施したる後急速に冷凍を行ひグレーズを完全にし以て牡蠣冷藏中肉色の惡變及肉の軟化を防ぐべき方法を研究中	同	同	木村金太郎 熊倉悟

研究項目	進度	機關	擔當者
鰮乾製品及塩藏品其の他製品の製造試驗	未	農林水試	木村金太郎 岡屋忠治
牡蠣利用榮養品並に藥品類製造試驗 (1)盜汗治療藥品の製造を目的とし新鮮牡蠣肉の水浸抽出物より各種沈澱劑に依る分別調製物の有效性區分に付化學的及生理學的判定試驗中(2)ビタミン補給榮養品の製造を目的とし牡蠣肝臟を主材料とし其の含有ビタミン其の他有效物質の損傷せざる樣之に加工を施し更に保存性を與へて一定の形狀となす	研	同	山本祥吉 山田紀作
蒲鉾及類似品の研究 原料の種類、鮮度及製造方法、製品の彈力、味及貯藏力に及ぼす影響の研究	同	農林水講	清水亘
菓子類の貯藏方法 菓子類に發生する微生物の生理を研究し菓子の貯藏方法に資せんとす	同	大阪市工研	福本壽一郎 浦島惠正 宇田鑑
製パン法の改良に付て 弱力粉を使用して研究す	同	廣島工試	山田繁一
煉羊羹の製造方法 羊羹內部に生ずる蔗糖の結晶を抑止する方法を研究す	完	大阪市工研	福本壽一郎 宇田鑑
チョコレートに関する研究 チョコレート中に含有する脂肪の分離防止法	同	廣島工試	山田繁一
晒水飴中の亞硫酸の酸化試驗研究(昭9同場業務報告) 未變化の亞硫酸を酸化法にて除去す	同	神奈川工試	鹽入英次
本邦在來製糖法の調査(一部完了) 本邦在來糖の製造技術の殆んど湮滅せんとするを默視し能はずして沿革、製糖技術、秘傳等を汎く集輯せり	研	德島高工	大森貫一
清凉飲料製造に関する研究	未	大阪市工研	福本壽一郎 宇田鑑
携帶用清凉飲料劑の研究 從來の研究を進め炭酸ガスを使用せざる殺菌を兼ねたる清凉飲料劑を研究す	完	糧秣本廠	橋本英二
ソースに関する研究	研	銚子醬油	館野正淳
ソース製造試驗(昭9業務功程報告書) 本邦人の嗜好に適合するソースの製法	完	德島工試	清水良吉
味の素製造時の廢物の利用 蛋白質を分解して味の素を製したる後の廢物は目下廢棄するも之が利用研究	研	第一工業製藥	芝時孝
米酢仕込試驗(同場報告12號) 米酢釀造に純粹培養酵母の添加試驗	同	廣島釀試	川上藤次郎

研究項目	進度	機關	擔當者
製造方法を異にしたる醴の貯藏中に於ける成分變化試驗	研	秋田釀試	池見元一
釀造物の香氣研究	同	理研	庄司謙次郎
ガラスに對する釀造物の浸蝕作用の研究(昭9同場業務報告) 飲食物とガラス器との関係を研究しガラス品質選擇の重要性を指摘す	完	神奈川工試	鹽入英次
調味に関する研究 調味液が被調味物に浸透する際の機作、調味液中の各呈味成分の比の研究	研	農林水講	清水亘
調味料に関する研究	同	野田醬油	梅田勇雄 畔上眞雄 飯倉善一郎
アミノ酸調味料製造に関する研究(釀造學雜誌一部發表) 蛋白酸分解物及グルタミン酸製造に関する研究	同	阪大工	高田亮平
調味劑に関する試驗 アミノ酸及甘草エキスを安價に製造する試驗	未	青森工試	高橋亘理 石田彰
調味成分に関する研究	研	理研	德山總太郎
簡易携帶食(兵糧丸)の研究 (1)携帶口糧よりも容積、重量一層少きものにして一定期間の榮養を保持し且或る期間相當の活動力をも維持し得る食品の研究 (2)上記食品は喫食者に對し興奮又は刺激的效果をも與へ且少量を以て滿腹感をも與へ得るものたる事を要す	完	糧秣本廠	
食品の凍結防止及其の他に関する研究 凍結の食品に及ぼす影響を研究し冱寒地給與上の資料となす(極寒環境設備を利用) (1)凍結防止法の研究 (貯藏庫をも含む) (2)凍結の食品成分ビタミン其の他に及ぼす影響に付研究 (3)凍結食品の失格試驗 (4)凍結を利用し新しき食品を作り出す研究 (5)凍結せざる饭の研究	研	同	川島一之助
補給至便糧食品(粉末食品等)の研究 空中より投下補給に適する食品の研究急速なる追擊に伴ふ追送補給に至便なる食品の研究、以上の目的に適應する爲粉末食品等を一層研究考案す、地方工場をも利用して一部製造の研究を行ふ	同	同	橋本英二
航空勤務者用及其の他特殊勤務者用糧食飲料及器具の研究(航空事情、主計團記事、糧友) 航空勤務者及戰車等特殊勤務者に適應する糧食飲料を今回戰地に於て實際使用せし實驗に鑑み既成品の改良並に新成品の考案	完	同	川島一之助

第八類

染織工業

1 原　料　及　藥　劑

研究項目	進度	機關	擔當者
各種纖維原料の顯微鏡的研究 各種纖維原料を顯鏡し化學的研究結果との関係を討究す	研	鐘紡武藤理研	小菅進之助
エックス線による纖維の研究 種々の條件下に於ける纖維結晶の配列を調べ纖維の工業的性質の機構を明ならしむる研究	未	農林水講	奥野博
纖維の水和性及マーゼル化反應の研究(纖維素工業) (1)濕度變化と纖維伸縮及其の遲れの理論 (2)空氣中濕度變化に依る纖維伸縮の實驗	完	東京工大	祖父江寛
オスシレイテングに関する糸の强伸度 製織の中に於て經糸其の他の糸は種々の繰返し應力を受けたるものなるがこの應力の測定並に其の應力に耐ふるべき糸の張度又は糊付法に関し研究す	研	同	大住吾八
紡績糸の强さに付て(機會學會誌) 纖維の性狀撚數等の紡績糸の强さに及ぼす影響を數式に依り説明す	同	京都高工藝	藤野清久
新出現纖維類の染色及仕上試驗	未	京都市染試	澁木梅二郎 吉武春男
和紡糸(ガラ紡糸)製造試驗(昭9業務報告) 足袋底用緯糸を製造せんとしガラ紡機を以て彈綿より紡糸せり	完	茨城工試	小太刀虎二 手東勤四郎
新規和紡糸製造試驗 綿毛、絹、人絹、麻等の各種纖維を混綿し新規和紡糸を製造せんとす	未	同	同
糸質比較試驗 主なる綿糸及人紡等の糸質比較試驗にして量目長さ强伸度水分正量等を比較試驗	研	愛媛工試	佐藤哲彌
縫糸の研究	未	昭和化研	北島東三
糸の撚と强力関係に付て(試驗見本) 撚數と糸の强伸度の関係に於て研究す	研	大阪奬勵館	吉田亮
撚に對する糸の張伸度 糸の强さは纖維の張度と纖維相互の摩擦力及粘着力に依る、而して其の色は撚の多少に依り變化す、然し所要以上撚を與ふることは紡績機の生産力に影響し又纖維は過度に撚を與ふることに依り强力を減ず本研究は實際に必要なる撚度を決定せんとするものなり	同	東京工大	大住吾八 加藤鉞郎

研究項目	進度	機關	擔當者
撚度の强弱と染着性柞蠶糸等に関する研究	未	京都市染試	吉武春男
新規織物の研究の準備工程の一部和式八丁式撚糸機による特殊撚糸の研究 主として縮緬に関するものスパイラル撚糸(螺旋狀强撚糸)烏帽子縮緬緯東雲縮緬緯スレット撚糸リング撚糸等の研究	研	京都織試	細川遥 山口善二郎
直撚糸と織物関係試驗 直撚糸が織物又は編物として適するや否やの試驗	同	群馬工試	織田博
各種纖維の配合變撚糸製造試驗 各纖維の混撚により變撚糸を得る爲混撚により特殊織物用撚糸の研究	未	福山工試	根本光太郎
各種纖維の合撚糸の研究	研	京都市染試	堀越武雄 坂口清忠
飾撚糸編成試驗(昭9同場業務報告) クロッシェー編機にて小巾ブレイドを編出し之に撚糸加工を施し新規なる飾撚糸を試驗せり	完	神奈川工試	赤石三郎
特殊意匠撚糸製造並に應用試驗 各種原糸を混交し其の特性を利用し加工により特種なる形体と性質を有せしめたる意匠撚糸及其の應用織物の製織	同	新潟染試	清水徹
意匠撚糸の研究 工藝的織物用飾撚糸テキスタイルセロファン使用のもの異種纖維を撚合せたるもの等を含む	研	京都市染試	堀越武雄 坂口清忠
光線に依る纖維劣化 紫外線に依る劣化現象の研究	未	東京工大	祖父江寛
紡織原料風化現象の研究 これに使用すべき積算日照計を研究中	研	桐生高工	森平三郎
製帽用變經緯糸製造試驗(昭9同場業務報告) 製帽用變撚糸を得んとし紙糸と人絹を應用せる製帽用變撚糸の研究	完	福山工試	今村武雄
タイヤ芯地生產に於ける原糸の選擇 市販原糸中本品に適當なるものゝ選擇と特定原糸の考究	研	高島織物(滋賀)	水原登喜雄
原料繭の研究 繭の重量が纖維及糸長品位に及ぼす関係に付て	同	郡是製絲	澤田常夫 山口武右衛門
蠶繭類の新利用に関する研究 (農林省蠶業試驗場委託試驗)	同	長野工試	岡村源一 古谷野正 早乙女新一郎
繭質と生產費との関係試驗 繭質に應じ生糸生產費が如何に增減すべきかを調査せんとす	同	愛知絲試	矢部滿房 刀川三郎

研究項目	進度	機關	擔當者
生繭乾燥 乾燥時に於ける生繭よりの水分蒸發現象を研究す	研	郡是製絲	吉田英次 石井宏森
生繭乾燥に関する理化學的研究	同	同(理研)	三木孝一 山本建義 四方前祝
原料繭に関する試驗 蠶品種乾燥貯藏に関する試驗	同	長野工試	岡村源一 壁谷常彌
原料繭の研究 生繭の冷凍冷藏が製品品質に及ぼす影響に付て	同	郡是製絲	飯塚勝義 森井宏次 二木國平
繭のアンモニアガス中貯藏試驗 繭貯藏期間に於てアンモニアガスを作用せしめたる場合の影響を明にし以て長期貯藏に依る繭糸舒低下の防止策探究の資料たらしめんとす	未	愛知絲試	矢部滿房 中津川信一郎
貯繭期間と脫氣時間との関係試驗(同場製絲試驗成績報告第2號)	完	同	矢部滿房 刀川三郎
繭の吸濕試驗 繭の吸濕程度が繰糸能率生糸量及生糸品位等に及ぼす影響を調査せんとす	未	同	同
繭層エーテル浸出物より揮發する特殊成分の研究(同場彙報第30號) 火藥藥莢地絹布の脂肪含有量過多が自然爆發すると謂ふにあり故に其の原因を探究せんとし多量の繭層をエーテルにて處理し可溶成分を眞空中に長時間放置し其の間蒸發凝固せしむることにより摩擦に依る爆發性物質を得	完	長野工試	早乙女新一郎
生糸に纖度斑を生ずる二つの原因比較 生糸纖度斑の原因は繭糸纖度の原料繭間に於ける變異と繭層部位に依る變化との二つか最も重要なるものなるか之等両者間に於ける関係試驗	同	商工絹試	角替利策 銀治駿吉
繭糸の部分的構造並に化學的特性に関する研究(同場彙報第30號) 絹糸の微細構造を研究し光學的特質を究め絹利用上の途を開拓せんとし構造は顯微鏡により變化を觀察し光學的方面は絹の人工紫外線及太陽紫外線吸收性及吸收量を化學的に證明せり	同	長野工試	早乙女新一郎
生絹纖維構造論に付て セリシン及フィブロインの化學的及物理的成分の差異より生絹纖維中に於ける両者接合の狀態を究めんとす	研	桐生高工	豐田今吉
生糸の組成を明確ならしむる試驗研究	未	横濱絲檢	末次幸雄
天然絹糸の性質の簡明及其の應用 新に染織方面に利用さる可き天然絹糸の性質主として化學的の探査及應用方法の確立を主旨とす	研	京都市染試	小西行雄
天蠶糸の品質試驗	完	商工絹試	鈴木三郎

研究項目	進度	機關	擔當者
日本特有の天蠶糸に付品位及糸質を試驗し特に含有水分率の多少と荷重伸長曲線の變化との關係を明にせり			
煮繭並に繰糸に関する理化學的研究	研	郡是製絲(理研)	山本孝三 小川幸男 樺井博
繭混合方法試驗(同場製絲試驗成績報告第2號)	完	愛知絲試	矢部滿房 刀川三郎
繭混合方法の拙劣に基因して煮繭繰糸並に繰糸生糸に惡影響を齎らす弊を防止すべき最良なる混合方法の究知を主眼として施行せり			
繭の化學處理に関する觧舒研究	研	長野工試	早乙女新一郎
繭より生糸を製造するに熱處理を與へず化學藥品に依り製造せんとし絹糸に影響を與へざる安價なる電解質を處理する方法の研究			
觧舒異る繭の混繰試驗(同場製絲試驗成績報告第2號)	完	愛知絲試	矢部滿房 中津信一郎 大竹保夫
觧舒異る繭を混合繰糸する場合繰糸工程生糸量並に生糸品位に及ぼす影響を究めんとして施行せり			
繭より絹製品に至る系統的試驗	研	長野工試	古谷正 保科野侑
各種絹製品に適切なる原糸の繰糸方法と製織製編試驗			
古繭と新繭との混繰試驗(同場製絲試驗成績報告第2號)	同	愛知絲試	矢部滿房 中津信一郎 大竹保夫
古繭と新繭の混繰に関し最善なる實施方法を探究せんとす			
原料繭の研究	同	郡是製絲	林常吉 太田秀三 澤田常夫
品種を異にする繭を混合繰糸せし場合生糸製品に及ぼす影響に付て			
新緒繭並に落緒繭の分繰試驗(同場製絲試驗成績報告第2號)	同	愛知絲試	矢部滿房 刀川三郎
新緒繭のみ又は落緒繭のみを繰糸したる結果を普通繰糸の場合と比較優良生糸繰糸と新緒繭並に落緒繭との関係を推知せんとす			
超特太糸の繰糸並に其の品質試驗	完	商工絹試	鈴木三郎 銀治駿吉
生糸生産費の低下を計る爲超特太の製糸を必要とするに至れり然るに之が繰糸能率上果して幾何の利あるや且又之を原料としたる場合製品の品質に如何なる影響を及ぼすやに付試驗せり			
玉糸繰糸の機械化試驗	研	愛知絲試	矢部滿房
玉糸繰糸の機械化を計り以て玉糸の生産費を一層低減せしめんとす			
特別太糸繰糸の糸斑及抱合に関する調査	同	郡是製絲	太田秀三 松井正次
生糸整理並檢査に関する研究	同	長野工試	繻島次男 前澤末太郎
檢査格付並束裝方法の研究			
生糸の檢査成績と靴下製品との関係研究	同	横濱絲檢	狩野勝三

研究項目	進度	機關	擔當者
現行生糸檢査方法による成績と靴下製品との関係研究			
糸條斑檢査方法に関する研究	研	横濱絲檢	宮入誠一
生糸の糸條斑の機械的檢査方法の研究			
超特太生糸の檢査格付に関する研究	同	同	狩野勝三
32デニール以上の檢査並に之が格付方法の研究			
生糸の硬軟に関する試驗	完	商工絹試	角替利策 榎本義太郎
生糸の硬軟鑑別は之に依り其の適用を合理的ならしむる爲に肝要なり之が鑑別方法は從來手觸によるを普通としたるも之が機械的の鑑別方法並に硬軟の別れる原因に付研究せり			
黄繭糸の斑の精練後に於ける變化に付て	研	同	銀治駿吉
生糸の膠着節に関する試驗.	同	同	角替利策 銀治駿吉
生糸貯藏に関する研究	同	横濱絲檢	北尾富烈
生糸を長期に亘り安全に貯藏する方法に関する研究			
生糸及副産糸の新規用途に関する化學的研究	同	郡是製絲(理研)	奥村正己 前田義一 外三名
絹紡原料として副蠶糸纖維の品質比較試驗	同	商工絹試	小岩隆道 佐藤文二 近藤一夫
生糸の撚糸試驗	未	大分工試	岡本晴雄
絹纖維の撚度と强伸度の関係試驗	研	長野工試	堀末吉 藤澤廣胖
絹糸に對する種々なる加撚とそれが强伸度に及ぼす影響試驗を行ひ両者の関係を明にせんとす			
絹撚糸の下漬と機械的影響に付て	同	桐生高工	相田祐次郎
生糸纖度の細太及撚數の多少と撚糸の强伸度との関係試驗	完	商工絹試	井野正夫
生糸の纖度と撚數と合撚糸とが强伸度と如何なる関係ありやを系統的に試驗し强撚糸製造上の參考に供せり			
撚糸に関する研究(一部完了)(1)撚止に關する研究 (2)給濕法に関する研究	研	同	成田時治
乾式撚糸の蒸熱撚止に於ける蒸熱時間の長短が撚止效果及撚内力に及ぼす效果に付試驗を行ひたり 乾式撚糸機の使用には高き濕度を要すること周知の事なるが蒸氣を以て糸に給濕するときは工場濕度と何等の関係なく加撚を極めて容易ならしめ優秀なる撚糸を得らるゝことを確め得たるも裝置に付ては目下研究中なり			
撚糸に関する研究	同	同	同
(1) 撚糸が張力下に於ける變質に関する研究 (2) ソーキングに関する研究			
撚糸の撚數の多少と精練による糸長變化並に强伸度との関係試驗	同	同	井野正夫

研究項目	進度	機關	擔當者
細糸の撚糸に関する研究	未	沖縄工指	奥富親次郎
絹モール撚糸の研究	完	京都市染試	堀越武雄 坂口清忠
絹と各種纖維との混紡試驗	研	商工絹試	小岩隆道 佐藤文一 近藤一夫
玉繭屑繭利用の編物糸の研究 繭毛利用を目的とし絹毛混紡の編物糸を試作す	同	岩手工試	藤田清一
特殊絹紡糸に付て 繭衣生糸屑を化學處理し普通の絹紡糸には得難き糸を造る	同	米澤高工	三浦季治
螢光色紬糸の研究(昭9業務報告) 人絹屑と眞綿との混合の研究	完	鹿兒島工試	本間久
フェルト草履用絹糸試驗 絹糸新規用途としての研究	未	同	同
洋式撚糸機を用ひ絹縫糸製造試驗(昭9同場業務報告) 洋式撚糸機を以て絹縫糸を得んとし伊太利式撚糸機及リング式撚糸機を用ひて試驗す	完	福山工試	今村武雄
內外主要絹製品の原糸纖度調査 現在市場に於て取引せられつゝある主要なる絹製品の原糸調査を遂げ生糸製造の參考に供せんとす	研	長野工試	堀末吉 古谷野正
平編靴下に表はれる原糸の缺点と其の檢査方法研究 絹靴下に表はれる缺点の原因を究め之を原糸に於て發見し得る如き檢査方法の研究	未	横濱絲檢	狩野勝三
絹糸及人絹糸に加工して不染糸を得る方法の研究 家蠶糸及人絹糸に特殊加工をなし普通染料に對する親和力を消失せしめ所謂不染糸を得る方法の研究	研	新潟染講	川勝益之助
絹纖維を軍絨に利用の研究 絹纖維を軍絨に利用し之が代用原材としての價値を研究す	同	千住製絨所	藤本廣平 宮寺榮二 永山顯雄
上布原糸に壺糊應用に関する研究	同	沖縄工指	奥富親次郎
吸濕量を異にする絹糸の糸質試驗	同	商工絹試	鈴木三郎
更生絹糸の研究 更生絹糸の新方面を探求しつゝあり	同	鐘紡武藤理研	飛田三郎 平井明 外三名
再生絹糸に関する研究 キチン其の他を原料とする人絹の研究をなす	同	京都市染試	松本康之 關戸錦一 川原保正
絹屑利用研究 農村副產物利用研究の目的にて羊毛及アンゴラ兎毛等と混紡の方法により各種毛織物に利用せんとす	未	尾張染試	原十九三 伴喜美定

研究項目	進度	機關	擔當者
麻糸の糊付加工試驗 市販の糊付加工麻糸の缺点除去の爲其の原因を調査し之に對し適當なる試驗を施す	研	新潟麻試	關家正達
麻糸の意匠撚糸試驗 麻纖維に對し撚糸に依る缺点を除き麻糸の加工糊の效果を應用し意匠撚糸を施す爲麻糸特有の剛直、毛羽、伸度少、糸斑を考慮し加工糊の效果に依り矯正し初定の撚糸を施す	同	同	反町省三
黃麻の加工研究 黃麻より毛布地等に適する羊毛代用品を製造せんとす	同	大阪市工研	三枝八郎
ラミー落綿糸の應用試驗 ラミー落綿糸に特殊加工を施し適當なる試驗を施す	同	新潟麻試	反田省三
手紡苧麻の撚糸に関する研究	同	沖縄工指	奥富親次郎
芭蕉纖維の强撚加工に関する研究	同	同	同
支那羊毛の步留試驗(昭9同場業務報告) 紡績に於ける支那羊毛の步留試驗	完	岐阜工試	矢橋彦四郎
滿州國產羊毛の雜毛に付て 滿洲國產羊毛の雜毛を以て米國向敷物の製造法研究	研	壹岐製作所	壹岐均平
羊毛の熱處理に依る劣化研究	未	東京工大	祖父江寛
羊毛の洗滌及染色試驗 地方農村に於ける緬羊飼育の益々旺盛なるに鑑み副業としてホームスパンの製織を指導せんとす	研	會津工試	鈴木眞三郎 菅策彌
羊毛の塩素化に関する研究(同所報告) 毛織物防縮加工の前提として羊毛の塩素化作用を研究し羊毛塩素化の化學的機構反應生成物及塩素化羊毛の性狀の研究	完	大阪工試	宇高春風
羊毛纖維の化學處理に関する研究(工業化學雜誌) (1)次亞塩素酸カルシウム液處理に依り羊毛の溶解有效塩素損失等を化學的に定量す (2)次亞塩素酸塩溶液處理に依る羊毛の顯微鏡的變化を觀察す (3)類似處理に依る類推的研究	同	東京工大	祖父江寛
羊毛纖維に對する理化學的影響に関する研究 羊毛纖維に對する酸、アルカリ、熱其の他操作上の影響を研究し纖維の損傷を輕減し製品々質の向上を圖らんとす	研	千住製絨所	小野宰平 荒木一夫
梳毛糸の含有水分の其の强伸力に及ぼす影響に就て(昭9同場業務成績報告書) 梳毛糸の含有水分の變化に依る糸の强伸力の變化及天候により左右さるゝ糸の强伸力變化の研究	完	尾張染試	眞能清文

研究項目	進度	機關	擔當者
羊毛加工研究 家内工藝奬勵の爲羊毛加工に関し昭和二年以降研究しつゝあり	研	齋藤農業館	工藤文太郎 毛藤勤治
羊毛のフェルト作用研究 羊毛のフェルト現象の機構研究	同	大阪工試	仙石正
梳毛糸紡績工程の單純化と其の製品に及ぼす影響との関係 梳毛糸を紡績するに當り其の工程數を可成減じ以て其により生ずる糸が如何なる影響を受くるかを比較研究す	未	名古屋高工	太田廣三
特殊紡毛糸の考案研究 各種原料を使用して機械的にホームスパン風の時勢の要求に沿ふべき新規原糸を考案せんとす	同	尾張染試	伴喜美定
ホームスパーンの紡糸及利用試驗 緬羊の増殖に伴ふ屑羊毛の整理を目的とし糸の手紡及原糸の利用法の研究	同	朝鮮中試	村松宗次治 船越順繁重 長瀬繁
紡毛糸の强伸力と撚糸の研究 撚數の變化に依る强伸力の變化及理想的撚數に付研究せんとす	同	岐阜工試	矢橋彦四郎
ホームスパン汚羊毛洗滌に関する試驗 汚羊毛糸用各洗滌劑の比較試驗及其の最經濟的にして容易なる方法を研究す	同	福島川俣工試	栗村市郎 近藤好美
滿蒙及支那羊毛を軍絨に利用の研究 滿蒙及支那羊毛の原料的價値並に具体的利用方法の研究	研	千住製絨所	藤本廣平 宮寺榮二
編組用羊毛の防縮に関する研究 羊毛繊維の有效塩素吸收量測定、塩素處理に依り羊毛繊維の理學的性質變化測定、塩素處理を行へる羊毛メリヤスの防縮度試驗	完	東京工大	齋藤俊吉 中原虎男
意匠撚糸代用紡毛糸の考案(昭9同場業務成績報告書) (1)單糸杢に類似するもの (2)糸の表面を短繊維にて覆ひしもの	同	尾張染試	伴喜美定
羊毛シルケット試驗(昭9同場業務成績報告書) 羊毛のアルカリに對する影響試驗	同	同	山宅俊吾 高野雅夫 坪井錄三郎
アンゴラ兎毛糸及其の應用織物の漂白染色並に整理試驗	未	浦和染試	細谷清
手編用毛糸の研究	研	大阪奬勵館	森清規
羽毛紡績糸に付て(一部完了)(繊維工業學會誌第1卷第1號) 雛羽毛を分離紡績し繊維工業原料とす	同	米澤高工	三浦季治
人絹の長さ(採取試料の長さ)に依る强伸度の變化に付て	未	京都市染試	森源一

研究項目	進度	機關	擔當者
人絹處理試驗 近時人絹は細番手使用に進展し染色方面に付ても特に其等の取扱に考慮を要することゝなれり、然るに染色せる人絹は製織前の準備操作に困難を伴ふこと多し仍て油脂纖質などを以て人絹を處理し糸の手觸外觀操作上の困難防止等に對する改良を企てたるものなり	完	三河染試	渡邊盛雄
人絹に於ける撚度と强伸度との関係並に織物に與ふる影響に付て(昭8業務功程報告)	同	京都市染試	井上新平
人絹繊維後處理法 同社製造法に依て紡出されたる人絹に對する脱硫漂白等の新しき後處理法に付て研究し同時に裝置材料に関し研究	研	鐘紡武藤理研	和食和
强撚糸用人絹糸繰の研究(昭9同場業務報告) 强撚糸の糸繰及加撚を容易ならしむる爲各種油質の添加及適量の研究	完	福山工試	今村武雄
人絹紡績に付て(一部完了)(繊維工業學會誌第1卷第2號) ステープルファイバーとテキスタイルセロファンの紡績法	研	米澤高工	三浦季治
ステープルファイバー紡糸方法の研究	完	日本レイヨン	川井眞三郎 村上二郎
人絹縮緬用撚糸の研究(昭9同場業務報告) 變縮緬撚糸を得べく特殊撚糸工程を施せる撚糸の研究	同	福山工試	今村武雄
人絹の强撚糸に関する研究 人絹各繊度の强撚糸に於て如何なる撚數がシボ立に最良效果を得るやの研究をなす	未	京都市染試	堀越武雄 坂口清忠
人絹强撚糸撚止法の研究	同	山口染試	中股萬次郎
人造絹糸糊付に関する研究 人絹糊の研究並に糊付法	研	東京工大	祖父江寛
飾糸金銀糸の製造に関する研究 尿素ホルマリンの縮合物に金銀粉を混合し紡織用繊維に塗布して飾糸の製造研究	完	大阪工試	宇高春風
ビスコース人絹糸綛糊付試驗(昭9同場業務功程) 人絹綛糊付に於て糊料の選定と糊の絞斑除去法の試驗	同	山梨工試	小野田叔平
人絹經糸糊付に関する研究 廣島地方の風土に適應する糊調合並糊付の研究	研	廣島工試	箕村章
人絹經糊付試驗(昭9同場業務功程) 人絹の糊付に不溶性銅を應用し濕潤に際しても製織容易に又麻との交織にも應用し新規織物を考案せり	完	山口染試	岡本新二